

(案)

千葉県外来種（植物）の現状等に関する報告書

平成 22 年 3 月

千葉県外来種対策（植物）検討委員会

はじめに

記載項目例)

国内外の外来生物概要

外来生物法

県独自の対策の必要性と現在行っている施策紹介(外来動物委員会結果も含む)

「県内の外来植物の把握と対策の基本方針をとりまとめた」

目 次

1	作成の経緯	I
2	「外来種」の定義	I
3	防除の目標	II
4	外来種（植物）対策の基本的方向性	II
5	生物多様性保全の枠組みでの議論の必要性	IV
6	外来種（植物）による生態系や人への影響	V
7	外来植物の侵入経路	VII
8	外来種（植物）のランク付け方法	VIII
9	千葉県外来植物（第1版）	IX
10	要検討種リスト（第1版）	189
11	引用文献	190
	索引	194

1 作成の経緯

平成21年度から2ヵ年をかけて、千葉県における外来植物リストおよび外来植物対策に関する基本的な考え方を取りまとめることとした。取りまとめにあたって、千葉県外来種対策（植物）検討委員会を設置して、県内における外来植物の対象範囲、生態系等への影響度、防除の緊急度および容易性、防除対策などについて検討を行った。

千葉県外来種対策（植物）検討委員会の構成

所属と役職は平成22年度現在

委員長 宮田昌彦（千葉県立中央博物館 分館海の博物館分館長）

委員 谷城勝弘（千葉県立佐原高等学校 教諭）

古木達郎（千葉県立中央博物館 植物学研究科長）

天野 誠（千葉県立中央博物館 植物学研究科上席研究員）

木村陽子（千葉県生物学会）

事務局 千葉県環境生活部自然保護課生物多様性センター

委員会開催状況

第1回委員会 平成20年7月18日開催

第2回委員会 平成20年8月15日開催

第3回委員会 平成20年10月3日開催

第4回委員会 平成21年2月20日開催

第5回委員会 平成21年6月19日開催

第6回委員会 平成22年2月19日開催

第7回委員会 平成22年3月〓日開催

青字・青囲みが前回の委員会での指摘事項

赤字・赤囲みが事務局修正案

2 「外来種」の定義

外来種とは、意図、非意図を問わず人為によって、過去あるいは現在の自然分布域外に導入された種、亜種、変種、品種、雑種であり、生存し、繁殖することができる種子、胞子、配偶子、むかご、その他の繁殖可能な植物の部分を含むものである。さらに、本千葉県外来種（植物）リストが取り扱う対象は、国内の別の地域から持ち込まれた種（国内外来種）や、在来種であっても遺伝子レベルで在来のものとは異質なものの、野外での繁殖が確認されていない未定着種を含み、導入時期としては明治時代以降とし、それ以前では史実がしっかりしているものも含める。野外であっても、圃場や庭園、植林地などにおいて、生育が管理されている個体および個体群は除外する。

3 防除の目標

外来植物の防除の目標は、完全除去、または、部分除去、群落・生態系の復元とする。

4 外来種（植物）対策の基本的方向性

1) 基本的方針

- ・本外来種（植物）リストに掲載されている外来種について、とくに評価ランクが高い種（AAAなど）について優先的に防除対策を講じること。
- ・具体的対策に関しては、誰が、何を守り、どのような施策に成算があるのかを検討し、それに資源を集中的に投入する。
- ・外来種対策は、科学的知見に基づいた早期発見・早期駆除、継続的モニタリング調査を伴う順応的管理が必要である。このため、生物多様性や人間活動への影響に関する情報が不足していることを理由に、外来種対策を遅らせるべきではない。
- ・外来種であっても、社会的に認知された固有の価値を持っている種や、在来種の動物の生息場所を提供する場合もあるので、防除にあたっては、総合的に判断して、対応する。

2) 導入・逸出に対する対応

- ・持ち込まない
- ・野外逸出を防止する
 - a) 公共事業（河川改修・法面緑化・ピオトープ整備・水質浄化のための外来植物導入など）における方針策定。すでに野外逸出してしまっ**て例として、侵入経路分類番号140および150**
 - b) 産業利用（園芸栽培など）における規制
 - すでに野外逸出してしまっ**て例として、侵入経路分類番号110および120,130**
- ・人の管理下にある外来種が野外逸出しない管理の仕組みを作り出す。
 - 対象は侵入経路分類番号100**
 - 栽培植物の管理ガイドライン作り
 - 事故などでの逸出の防止策の実施
- ・誰もが外来種に関する情報を容易に入手できるような環境を整える。
- ・生物多様性と外来種に関する適切な広報・教育活動をおこなう。

3) すでに持ち込まれ、定着している種への対応

- ・生態系や人間の活動に与える影響が大きく、保全上重要な地域から優先的に対策を講じる。
- ・速やかな状況把握のための資料収集や調査，将来予測の実施とそれによる完全排除・軽減方法の発見と方針の確立。
- ・完全排除あるいは軽減策の実施とその後のモニタリング調査の実施。
- ・上記2点を継続的に実施する組織・体制の明確化。

4) 情報収集と防除体制の確立

- ・外来種の状況を含む県内の自然の状況を判断するため、千葉県生物多様性センターは、最新情報を収集し、各関係機関と民間において双方向の情報交流を推進させ、防除主体への情報提供と効果的な対策の速やかな実施を促す。さらに、本委員会が作成した「千葉県の外来植物」について、毎年の情報更新を行う必要がある。
- ・実効的な外来種対策が講じられるように、適切な組織、体制づくりを促進させる。その際、外来種対策の主体について、役割と予算分担を明確にする（市町村や住民による防除について、県などが資金的支援を行うなど）。
- ・千葉県は外来種対策を地域内の自然についての「生物多様性管理」の一部として位置付けるため、条例化等による外来種対策も検討する必要がある。
- ・生物多様性センターに、情報収集・分析・提供のため、外来種の専門知識を有する専門官を配置する。
- ・県民が外来種などの生息情報を容易に連絡するために、生物多様性センターに「生きもの110番」のような窓口を作ることを検討する。
- ・外来種による脅威が迫っている地域などについて、保全上重要な地域を抽出するための検討の場を設ける。

5 生物多様性保全の枠組みでの議論の必要性

本委員会で検討を行いリスト化したものは、種（一部、遺伝子レベルも含む）単位での外来植物種リストである。しかし、生物種は種だけで単独に存在するものではなく、先述したように他の在来種などとの直接、間接を含む種間競争を通じて、生態系全体の一部として生育するものである。よって、今回のような種レベルの議論だけでは、適切な対応策の検討に限界がある。このため、外来生物の問題は希少種保全や生態系保全の議論の場でのような自然環境を守っていくのかという議論の中で取り扱い、適切な施策を展開していく必要がある。

6 外来種（植物）による生態系や人への影響

外来種（植物）による生態系や人への影響は、下記のように分類できる。各項目に該当する種名と事例を示した。数字は9「千葉県外来植物（第一版）」における分類番号を示す。括弧内の数は該当する種数を示す（複数項目に影響が及ぶものもある）。

100 種内のゲノム多様性への影響（19種）	
	遺伝子組み換えナタネの輸送経路における逸出 ソメイヨシノの在来種との交雑
200 種間関係への影響（242種）	
210 植物の他種に対する影響（239）	
211 近似種への影響(3)	ソメイヨシノ, ネズミウシノケグサ(仮称)
212 植物群落内での生活空間をめぐる競合(235)	オオブタクサ（絶滅危惧種を含む群落の種の多様性を低下） セイタカアワダチソウ（絶滅危惧種の生息湿地への侵入） オオカワヂシャ、アレチウリ、ナルトサワギク、オオカナダモなど
213 植物群落内での毒性による他種排除(1)	シバムギ
220 動物相への影響（3）	
221 植物 - 動物の相互関係への影響(2)	アメリカオオアカウキクサ（仮称）
222 食樹・食草の衰退(1)	ミズヒマワリ

300 人への影響 (192 種)

310 人体への生物学的・医学的影響 (71)

311 強毒をもち致死性がある(2)

ドクニンジン、**ドクムギ**

312 健康被害をもたらす(53)

花粉症を引き起こすイネ科外来牧草，ブタクサ類

313 物理的被害がある(14)

ワルナスビ

314 臭気がある(2)

アリタソウ,アメリカアリタソウ

320 農林水産業に対する被害 (121)

321 栽培植物に対する影響(104)

ホソミキンガヤツリ (畦畔雑草)

ハルジオン (薬剤抵抗性獲得，防除困難)

メリケントキンソウ

飼料混入種子 (糞経路で飼料畑やその他の畑に蔓延)

322 舟運・水利への影響(17)

ナガエツルノゲイトウ，オオフサモ，ミズヒマワリ、**ヒレタゴボウ**

400 生態系・景観への影響 (87 種)

410 生態系の構造の破壊 (86)

ハチク,モウソウチク

411 生物的破壊(66)

アレチウリ、オオブタクサ、オオハマガヤ

412 物理的破壊(12)

ホソムギ,ネズミホソムギ

420 景観に対する影響 (126 種)

アツバキミガヨラン、オオキンケイギク、オニハマダイコン、
アレチウリ、オオハマガヤ

7 外来植物の侵入経路

侵入経路には、いくつかの異なる道筋があり、下記のように分類できる。各項目に該当する種名と事例を示した。数字は9「千葉県外来植物(第一版)」における千葉県における侵入経路の分類番号を示す。括弧内の数は該当する種数を示す(複数経路をもつ種もある)。

100	栽培種などの個体の逸出 (580 種)
110	農林作物の拡散 オランダガラシ(219)
111	牧草地の導入牧草の拡散(111) カモガヤ、ハルガヤなど
120	園芸植物の拡散(293) トキワツユクサ、オオキンケイギク、ナガエモウセンゴケ
130	観賞用水生植物(アクアリウムプラント)の拡散(16) ナガエツルノゲイトウ、オオフサモ、オオカナダモ、ミズヒマワリ
140	水質浄化目的などによる水生植物の拡散(1) 手賀沼浄化事業連絡会議による湖沼水質保全計画(手賀沼) ホテイアオイの植栽, 回収
150	環境緑化植物の拡散(48)
151	法面・空き地緑化植物の拡散(16) オオキンケイギク、チャボウシノシッペイ、シナダレスズメガヤ、イタチハギ, ハリエンジュなど
152	公園・街路に植樹された個体の拡散(15) 鳥による散布、トウネズミモチ、ピラカンサ類など
153	砂防・防風のために植栽された個体の拡散(0) オオハマガヤ
200	産業や人の移動に随伴した個体の拡散 (378 種)
210	栽培植物に随伴した個体の拡散(103) ハカマオニゲシ、アツミゲシ
220	環境緑化植物に随伴した個体の拡散(54) シラホシムグラ、ナルトサワギク
230	人の移動に付着・随伴した個体の拡散(64) ミカツキゼニゴケ、メリケントキンソウなど
240	産業原料またはその製品に随伴した個体の拡散(144) マメアサガオ(大豆畑から)イチビ、アナアオサの一種など
241	農業・園芸資材に随伴した個体の拡散(21) コケ植物ギボウシゴケ科など
300	気候変動などの自然環境の変動に伴う自然的分布拡大による拡散(5種) イヌケホシダ, オニハマダイコン, ノアサガオ, コツブキンエノコロ, ユメノシマガヤツリ

8 外来種（植物）のランク付け方法

千葉県外来種（植物）については、下記の3つの評価観点でランク分けを行った。3つの評価観点がともにAの種は、ハカマオニゲシ、アツミゲシ、アカボシツリフネ、ドクニンジン、ミズヒマワリ、オオハンゴンソウ、ナルトサワギク、ボタンウキクサの8種である（2010年3月現在、9「千葉県の外来植物（第一版）」参照）。

生態系又は人に対する影響度

A：生態系又は人に対し、回復が困難となる深刻な影響が認められる、あるいは予測される。（生態系の回復が困難となる深刻な影響は、競争、交雑等による在来種の絶滅）

B：生態系又は人に対し、深刻な影響が認められる、あるいは予測される。

C：生態系に対し、明らかな影響が認められる、あるいは予測される。

D：生態系に対し、明らかな影響はあまり認められない、あるいは予測されない。

情報不足：現時点では、上記A～Dの影響度ランクを判定する情報が得られていない。

根絶の可能性を考慮した防除の緊急度

A：非常に高い。

B：高い。

C：低い。

防除の容易性

生育メッシュ数をもとに分類し、繁殖の形態（種子繁殖か栄養繁殖か）や除草しやすさ、在来種の回復の可能性をもとに調整する。

生育メッシュ数：A：10メッシュ未満

B：10メッシュ～99メッシュ

C：100メッシュ以上

外来種リストに追加するか検討を要する種のリスト（10「要検討種リスト」参照）

野外の植物種の生育状況について、必ずしも正確で全県を網羅した情報が得られているとは限らない。そこで、外来種リストに追加するかどうかの検討を要する種について、将来、情報が集積し、外来種として取り扱うべき段階になるまで、未判定種や外来植物候補種として注意喚起する。なお、要検討種については、取り扱いが未定なので、ランク付けは行わない。

9 千葉県外来植物 (第一版)

項目の凡例と解説

【生育状況】

千葉県内の生育状況を示した。

【散布形態】

種子などの散布の形態と、季節を示した。

【日本への侵入】【県内への侵入】

侵入経路と侵入年を示した。経路は下記の分類番号を記入した。経路について詳細不明な場合は、より上位の分類番号を記入した。

100 栽培種などの個体の逸出

110 農林作物の拡散

111 牧草地の導入牧草の拡散

120 園芸植物の拡散

130 観賞用水生植物(アクアリウムプラント)の拡散

140 水質浄化目的などによる水生植物の拡散

150 環境緑化植物の拡散

151 法面・空き地緑化植物の拡散

152 公園・街路に植樹された個体の拡散

153 砂防・防風のために植栽された個体の拡散

200 産業や人の移動に伴った個体の拡散

210 栽培植物に伴った個体の拡散

220 環境緑化植物に伴った個体の拡散

230 人の移動に伴った個体の拡散

240 産業原料またはその製品に伴った個体の拡散

241 農業・園芸資材に伴った個体の拡散

300 気候変動などの自然環境の変動に伴う自然的分布拡大による拡散

【侵入の影響】

侵入経路を下記の分類番号を記入した。詳細不明な場合は、より上位の分類番号を記入した。

- 100 種内のゲノム多様性への影響
- 200 種間関係への影響
 - 210 植物の他種に対する影響
 - 211 近似種への影響
 - 212 植物群落内での生活空間をめぐる競合
 - 213 植物群落内での毒性による他種排除
 - 220 動物相への影響
 - 221 植物 - 動物の相互関係への影響
 - 222 食樹・食草の衰退
- 300 人への影響
 - 310 人体への生物学的・医学的影響
 - 311 強毒をもち致死性がある
 - 312 健康被害をもたらす
 - 313 物理的被害がある
 - 314 臭気がある
 - 320 農林水産業に対する被害
 - 321 栽培植物に対する影響
 - 322 舟運・水利への影響
- 400 生態系・景観への影響
 - 410 生態系の構造の破壊
 - 411 生物的破壊
 - 412 物理的破壊
 - 420 景観に対する影響

【備考】

「特定外来生物」は、外来生物法による特定外来生物に指定されている種を示し、「要注意外来生物」は、同法による下記の外来生物を示す。

要注意外来生物(適否検討)：被害に係る一定の知見はあり、引き続き指定の適否について検討する外来生物

要注意外来生物(情報不足)：被害に係る知見が不足しており、引き続き情報の集積に努める外来生物

要注意外来生物(緑化植物)：別途総合的な取組みを進める緑化植物

シダ植物 イワヒバ科		影響度	緊急度	容易性
No.1	イヌカタヒバ	D	C	B
Selaginella moellendorffii Hieron.				

【原産地】中国～東南アジア【国内分布】関東以西【県内分布】北部【生育状況】少ない【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】孢子【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：-【県内への侵入】120：縄文以前【侵入の影響】栽培植物、侵入性は低い【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22【文献県内】-

シダ植物 イワヒバ科		影響度	緊急度	容易性
No.2	コンテリク라마ゴケ	D	C	A
Selaginella uncinata (Desv.) Spring				

【原産地】中国南部【国内分布】各地で栽培【県内分布】各地で栽培【生育状況】少ない【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】孢子【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：明治【県内への侵入】120：明治【侵入の影響】栽培植物、侵入性なし【外来種対策】-【備考】ヨーロッパ経由で観賞用に導入【文献全般】19, 22, 41, 56, 74, 78【文献県内】-

シダ植物 イノモトソウ科		影響度	緊急度	容易性
No.3	コバハウライシダ	D	C	A
Adiantum				

【原産地】熱帯アメリカ【国内分布】各地で栽培【県内分布】非常にまれ【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】孢子【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：-【県内への侵入】120：-【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

シダ植物 イノモトソウ科		影響度	緊急度	容易性
No.4	ハウライシダ	D	C	B
Adiantum capillus-veneris L.				

【原産地】熱帯・暖帯（広域）【国内分布】本州～琉球【県内分布】各地に散在【生育状況】少ない【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】孢子【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】120：江戸時代から観賞用に栽培【県内への侵入】120：明治～昭和30年代【侵入の影響】栽培植物、侵入性なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】41, 56, 69, 74【文献県内】-

シダ植物 オシダ科		影響度	緊急度	容易性
No.5	イヌケホシダ	D	C	
Christella dentata (Forssk.) Brownsey et Jermy				

【原産地】世界の暖帯～熱帯【国内分布】本州～琉球【県内分布】非常にまれ【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】孢子【散布形態】風散：夏【日本への侵入】300：-【県内への侵入】300：縄文以前【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】国内帰化【文献全般】-【文献県内】-

シダ植物 ツルシダ科		影響度	緊急度	容易性
No.6	タマシダ	D	C	A
Nephrolepis cordifolia (L.) C.Presl				

【原産地】世界の熱帯【国内分布】本州～琉球【県内分布】各地に散在（生垣）【生育状況】少ない【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】孢子【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：-【県内への侵入】120：明治～昭和30年代【侵入の影響】栽培植物、侵入性なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

シダ植物 サンショウモ科		影響度	緊急度	容易性
No.7	アメリカオオアカウキクサ（仮称）	A	A	
Azolla cristata Kaulf.				

【原産地】南北アメリカ、ヨーロッパ、アジア、オセアニア、アフリカ【国内分布】西日本を中心（宮城県～福岡県）【県内分布】未分布？【生育状況】-【生活形】水生シダ植物【繁殖形態】-【散布形態】-：-【日本への侵入】110：2000年前後【県内への侵入】110：2005年？【侵入の影響】212,221（水中の酸欠、光量不足。静岡県、岡山県ではため池のフナが死んだ）【外来種対策】-【備考】特定外来生物【文献全般】-【文献県内】鈴木武 2007. 千葉県のオオアカウキクサ類について. In 平成19年度佐倉市植物調査業務（畔田沢流域 春・夏）報告書.p.19-24. 佐倉市環境政策課.

シダ植物 サンショウモ科		影響度	緊急度	容易性
No.8	アイオオアカウキクサ（仮称）			
Azolla cristata × A. filiculoides				

【原産地】雑種なので原産地無し【国内分布】本州、四国、九州、西日本を中心【県内分布】市原市、大多喜町、習志野市谷津干潟（2009.9～）【生育状況】-【生活形】水生シダ植物【繁殖形態】正常な孢子は生産できないと考えられている。【散布形態】なし：なし【日本への侵入】110：2000年前後【県内への侵入】110：2005年？【侵入の影響】212,221（水中の酸欠、光量不足。静岡県、岡山県ではため池のフナが死んだ）【外来種対策】-【備考】特定外来生物のA. cristata（アメリカオオアカウキクサ（仮称））とオオアカウキクサ大和型（ニシノオオアカウキクサ（仮称））の人工雑種。合鴨農法で管理されているものは除外。千葉県立中央博物館収蔵標本（CBM-BS-277201）【文献全般】-【文献県内】鈴木武 2007. 千葉県のオオアカウキクサ類について. In 平成19年度佐倉市植物調査業務（畔田沢流域 春・夏）報告書.p.19-24. 佐倉市環境政策課.,鈴木武 2007. 千葉県のオオアカウキクサ類について. 坂月川だより（坂月川愛好会）(16):4-5.

種子植物 ヒノキ科		影響度	緊急度	容易性
No.9	ヒノキ	D	C	C
Chamaecyparis obtusa (Sieb. et Zucc.) Siebold et Zucc.				

【原産地】日本【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】各地に植林から逸出【生育状況】少ない【生活形】常緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：日本原産【県内への侵入】110：江戸時代【侵入の影響】312、花粉アレルギー【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3, 6, 12, 22, 38, 65, 74【文献県内】61, 60

種子植物 ヒノキ科		影響度	緊急度	容易性
No.10	サワラ	D	C	C
Chamaecyparis pisifera (Sieb. et Zucc.) Endlicher				

【原産地】日本【国内分布】本州、九州【県内分布】各地に植林から逸出【生育状況】少ない【生活形】常緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：日本原産【県内への侵入】110：江戸時代【侵入の影響】312、花粉アレルギー【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3, 6, 12, 2, 38, 65, 74【文献県内】61, 60

種子植物	ヒノキ科	影響度	緊急度	容易性
No.11	アスナロ	D	C	B
Thujaopsis dolabrata (L. fil.) Siebold et Zucc.				

【原産地】日本【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地に植林から逸出【生育状況】極小
 【生活形】常緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】翼散：秋【日本への侵入】110：日本原産【県内への侵入】110：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,6,12,22,38,65,74【文献県内】61,60

種子植物	イチョウ科	影響度	緊急度	容易性
No.12	イチョウ	D	C	B
Ginkgo biloba L.				

【原産地】中国【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地に植林から逸出【生育状況】少ない【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：鎌倉【県内への侵入】110：鎌倉～室町【侵入の影響】312、外種皮によるかぶれ【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,6,12,22,38,65,74【文献県内】61,60

種子植物	ソテツ科	影響度	緊急度	容易性
No.13	ソテツ	D	C	B
Cycas revoluta Thunb.				

【原産地】日本【国内分布】九州南部以南【県内分布】各地に植栽、館山で逸出【生育状況】中程度【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：-【県内への侵入】110：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,38,63,74【文献県内】61,60

種子植物	クルミ科	影響度	緊急度	容易性
No.14	ペカン	D	C	A
Carya illinoides Koch				

【原産地】北米南東部【国内分布】本州、各地で単木植栽【県内分布】各地で単木植栽【生育状況】極小
 【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：明治時代【県内への侵入】110：明治時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,8,38,57,63,67,74【文献県内】60

種子植物	クルミ科	影響度	緊急度	容易性
No.15	シナサワグルミ	D	C	A
Pterocarya stenocarpa DC.				

【原産地】中国【国内分布】各地に街路樹等で植栽【県内分布】公園等に植栽【生育状況】少ない【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】翼散：秋【日本への侵入】110：明治初期【県内への侵入】110：江戸時代【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,7,38,48,63,66,74【文献県内】60

種子植物	ヤナギ科	影響度	緊急度	容易性
No.16	ウラジロハコヤナギ	D	C	
	<i>Populus alba</i> L.			

【原産地】欧州・西アジア・ロシア・ヒマラヤ・コーカサス【国内分布】北海道、本州【県内分布】各地の公園等に単木植栽【生育状況】極小【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】種毛による風散（毛散）：夏【日本への侵入】110：明治時代【県内への侵入】110：明治時代？【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,22,38,48,53,56,57,63,65,66【文献県内】60

種子植物	ヤナギ科	影響度	緊急度	容易性
No.17	カロリナポプラ	C	C	
	<i>Populus angulata</i> Aiton			

【原産地】北米東部（改良品種）【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地に並木又は単木植栽【生育状況】市川市で種子散布してやや増えている【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】種毛による風散（毛散）：夏【日本への侵入】110：明治時代【県内への侵入】110：明治時代？【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,22,48,57,63,66【文献県内】60

種子植物	ヤナギ科	影響度	緊急度	容易性
No.18	ナミキドロ	D	C	
	<i>Populus deltoides</i> Bartr.ex Marshall			

【原産地】北米東部【国内分布】各地に街路樹・単木植栽【県内分布】各地に植栽【生育状況】少ない【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】種毛による風散（毛散）：夏【日本への侵入】110：明治時代【県内への侵入】110：明治時代？【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,6,22,48,57,63,66【文献県内】60

種子植物	ヤナギ科	影響度	緊急度	容易性
No.19	シダレヤナギ	D	C	B
	<i>Salix babylonica</i> L.			

【原産地】中国【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地に植栽【生育状況】極小【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】毛散：夏【日本への侵入】110：平安時代？【県内への侵入】110：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,6,22,38,48,57,63,65,66,74【文献県内】61,10,60

種子植物	ヤナギ科	影響度	緊急度	容易性
No.20	セイコヤナギ	D	C	A
	<i>Salix babylonica</i> L. form. seiko Kimura			

【原産地】中国【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地に植栽【生育状況】極小【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】毛散：夏【日本への侵入】110：江戸時代？【県内への侵入】110：明治時代？【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,7,22,38,48,57,63【文献県内】60

種子植物	ヤナギ科	影響度	緊急度	容易性
No.21	ネコヤナギ	D	C	
	<i>Salix gracilistyla</i> Miq.			

【原産地】日本【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地に植栽【生育状況】極小【生活形】夏緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】毛散：夏【日本への侵入】 - :日本原産【県内への侵入】110：明治時代？【侵入の影響】 - 【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】6,38,48,63,74【文献県内】61,60

種子植物	ヤナギ科	影響度	緊急度	容易性
No.22	クロヤナギ	D	C	A
	<i>Salix gracilistyla</i> Miq. var. <i>melanostachys</i> (Makino) C.K.Schneider			

【原産地】日本【国内分布】本州【県内分布】花材として各地で植栽【生育状況】極小【生活形】夏緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】毛散：夏【日本への侵入】110：江戸時代に作出【県内への侵入】110：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】6,38,48,63【文献県内】60

種子植物	ヤナギ科	影響度	緊急度	容易性
No.23	キヌヤナギ	D	C	B
	<i>Salix kinuyanagi</i> Kimura			

【原産地】朝鮮半島【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】各地に逸出【生育状況】極小【生活形】夏緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】毛散：夏【日本への侵入】110：江戸時代【県内への侵入】110：昭和30年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】6,38,48,63,74【文献県内】61,60

種子植物	ヤナギ科	影響度	緊急度	容易性
No.24	コリヤナギ	D	C	B
	<i>Salix koriyanagi</i> Kimura ex Grz			

【原産地】朝鮮半島【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】各地に植栽【生育状況】極小【生活形】夏緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】毛散：夏【日本への侵入】110：江戸時代？【県内への侵入】110：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】6,38,48,63,74【文献県内】60

種子植物	ヤナギ科	影響度	緊急度	容易性
No.25	ウンリュウヤナギ	D	C	A
	<i>Salix matsudana</i> Koidz. var. <i>tortuosa</i> Vilm.			

【原産地】中国【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地に花材として栽培【生育状況】極小【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】毛散：夏【日本への侵入】110：江戸時代？【県内への侵入】110：明治時代？【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】1,6,7,22,48,53,57,63,65,66【文献県内】60

種子植物	ヤナギ科	影響度	緊急度	容易性
No.26	シグレヤナギ	D	C	A
Salix x eriocataphylla Kimura				

【原産地】日本（雑種）【国内分布】本州【県内分布】泉自然公園【生育状況】極小【生活形】夏緑・低木
 【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】毛散：夏【日本への侵入】 - : 日本原産【県内への侵入】 - :
 昭和時代【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】6,48,57【文献県内】60

種子植物	ヤナギ科	影響度	緊急度	容易性
No.27	フリソデヤナギ	D	C	A
Salix x leucopithecia Kimura				

【原産地】日本（雑種）【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】各地で花材として栽培【生育状況】極小
 【生活形】夏緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】毛散：夏【日本への侵入】110：江戸
 時代【県内への侵入】110：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】6,48,63
 【文献県内】60

種子植物	カバノキ科	影響度	緊急度	容易性
No.28	ヒメヤシャブシ	D	C	
Alnus pendula Matsum.				

【原産地】北海道、本州北部【国内分布】北海道、本州北部【県内分布】東京大学演習林見本林に植栽【生
 育状況】極小【生活形】夏緑・中高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：秋【日本への侵
 入】日本原産： - 【県内への侵入】110：明治時代？【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文
 献全般】6,38,48,63,74【文献県内】61,60

種子植物	ブナ科	影響度	緊急度	容易性
No.29	マテバシイ	B	B	C
Lithocarpus edulis (Makino) Nakai				

【原産地】九州【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】公園に植栽、主に県南部に植林【生育状況】中
 程度（植林地では極多）【生活形】常緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本
 への侵入】日本原産： - 【県内への侵入】240：江戸時代【侵入の影響】420【外来種対策】 - 【備考】 - 【文
 献全般】6,38,48,63,74【文献県内】61,60

種子植物	ブナ科	影響度	緊急度	容易性
No.30	アベマキ	D	C	A
Quercus variabilis Blume				

【原産地】日本【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】北総、南総丘陵【生育状況】極小【生活形】夏
 緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】日本原産： - 【県内への侵
 入】植栽木から逸出？：明治時代以降【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】38,48,6
 3,74【文献県内】61,60

種子植物	ニレ科	影響度	緊急度	容易性
No.31	アキノレ	D	C	B
<i>Ulmus parvifolia</i> Jacq.				

【原産地】日本【国内分布】本州（西部）、四国、九州【県内分布】主に北総に逸出【生育状況】少ない
 【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】日本原産： -
 【県内への侵入】110：昭和30年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】6,3
 8,48,63,74【文献県内】61,60

種子植物	トチュウ科	影響度	緊急度	容易性
No.32	トチュウ	D	C	A
<i>Eucommia ulmoides</i> Oliv.				

【原産地】中国【国内分布】本州【県内分布】薬用植物園に植栽【生育状況】極小【生活形】夏緑・高木
 【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】12
 0：昭和時代【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】6,48,63,74【文献県内】60

種子植物	クワ科	影響度	緊急度	容易性
No.33	コウゾ	C	C	C
<i>Broussonetia kazinoki</i> x <i>papyrifera</i>				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】各地に分布【生育状況】中程度【生活形】夏
 緑・中高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】鳥食散：夏【日本への侵入】110：奈良時代以前
 【県内への侵入】110：江戸時代【侵入の影響】212【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】6,38,48,63,74
 【文献県内】61,60

種子植物	クワ科	影響度	緊急度	容易性
No.34	カジノキ	D	C	A
<i>Broussonetia papyrifera</i> (L.) Vent				

【原産地】インド、中国、太平洋諸島【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】北総散在（船橋、野田）
 【生育状況】極小【生活形】夏緑・中高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】鳥食散：夏【日本へ
 の侵入】110：弥生時代以降【県内への侵入】110：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 -
 【文献全般】6,38,48,56,57,63【文献県内】61,60

種子植物	クワ科	影響度	緊急度	容易性
No.35	イチジク	D	C	B
<i>Ficus carina</i> L.				

【原産地】小アジア【国内分布】本州、四国、九州で栽培【県内分布】各地に散在【生育状況】極小【生活
 形】夏緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】110：江戸時代
 【県内への侵入】110：明治時代【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】6,38,48,57,6
 3,74【文献県内】61,60

種子植物	クワ科	影響度	緊急度	容易性
No.36	マゲワ	D	C	B
	<i>Morus alba</i> L.			

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】各地に散在（かつて桑畑として存在）【生育状況】少ない【生活形】夏緑・中高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】110：弥生時代以降【県内への侵入】110：弥生～室町【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,38,48,63,74【文献県内】61,60

種子植物	アサ科	影響度	緊急度	容易性
No.37	アサ	D	A	A
	<i>Cannabis sativa</i> L.			

【原産地】インド【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】北総に散在【生育状況】極小【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：弥生時代【県内への侵入】110：江戸時代【侵入の影響】312【外来種対策】-【備考】-【文献全般】37,50,57,74【文献県内】61,60

種子植物	イラクサ科	影響度	緊急度	容易性
No.38	カラムシ	C	C	C
	<i>Boehmeria nipponivea</i> Koidz.			

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】各地に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：弥生時代【県内への侵入】110：弥生～室町【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】37,50,57,74【文献県内】61,60

種子植物	イラクサ科	影響度	緊急度	容易性
No.39	ナンバンカラムシ	C	C	B
	<i>Boehmeria nivea</i> (L.) Gaudich.			

【原産地】中国中南部【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】各地に散在【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：江戸時代【県内への侵入】110：明治～昭和30年代【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,10,12,14,15,19,22,37,41,42,50,56,57,59,67,74,78,85【文献県内】61,60

種子植物	イラクサ科	影響度	緊急度	容易性
No.40	カベイラクサ	D	D	A
	<i>Parietalia judaica</i> L.			

【原産地】南欧【国内分布】兵庫県、神奈川県【県内分布】千葉市千葉港【生育状況】少ない【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒？【散布形態】重散：夏【日本への侵入】230：-【県内への侵入】230：1982年以前【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】侵入確認：千葉県立中央博物館収蔵標本（千葉市千葉港、1982.10.24、CBM-BS-259703）【文献全般】22,42,53,59,66【文献県内】-

種子植物	イラクサ科	影響度	緊急度	容易性
No.41	セイヨウイラクサ	D	C	
	<i>Urtica dioica</i> L.			

【原産地】欧州【国内分布】岡山県、千葉県【県内分布】勝浦市杉戸で記録【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】230：平成【県内への侵入】230：平成【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】42,55,57,59,66【文献県内】なし

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.42	シャクチリソバ	D	C	B
	<i>Fagopyrum cymosum</i> Meissn.			

【原産地】インド北部～中国【国内分布】本州【県内分布】主に北総に散在【生育状況】多い【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】110：明治時代【県内への侵入】110：昭和時代【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,12,14,19,22,41,42,48,53,55,56,59,67,74,78,85【文献県内】61,60

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.43	ソバ	D	C	B
	<i>Fagopyrum esculentum</i> Gilib.			

【原産地】東アジアの温帯北部【国内分布】日本各地で栽培【県内分布】各地で栽培、まれに逸出【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：縄文以降【県内への侵入】110：弥生～室町【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】57,63,74【文献県内】60

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.44	ソバカズラ	D	C	B
	<i>Fallopia convolvulus</i>			

【原産地】欧州～西アジア【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・つる1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】230：1910年以前【県内への侵入】230：明治～昭和30年代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,8,14,15,19,22,37,41,42,53,55,56,57,59,65,66,69,74,78,85【文献県内】61,60

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.45	ツルタデ	D	C	A
	<i>Fallopia dumetora</i> (L.) Holub			

【原産地】欧州～西アジア【国内分布】本州【県内分布】松戸【生育状況】極小【生活形】夏緑・つる1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】240：1950年以前【県内への侵入】240：明治～昭和30年代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,19,22,41,42,56,57,59,65,74,78,85【文献県内】61,60

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.46	ヒメツルソバ	C	C	B
<i>Persicaria capitata</i> (Hamilt.) H.Gross				

【原産地】ヒマラヤ【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】主に北総各地に散在【生育状況】中程度
 【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：明治中期【県内への侵入】120：明治～昭和30年代【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,15,19,22,41,42,53,56,57,58,59,66,78,85【文献県内】60

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.47	オオベニタデ	D	C	
<i>Persicaria orientalis</i> (L.) Assenov				

【原産地】インド・マレーシア，中国南部【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地に栽培【生育状況】中程度【生活形】1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：明治時代以降【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,12,22,42,55,63,74,78【文献県内】60

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.48	オオケタデ	D	C	C
<i>Persicaria pilosa</i> (Roxb.) Kitaga				

【原産地】インド、マレーシア、中国南部【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地に栽培【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：明治時代以降【県内への侵入】120：明治～昭和30年代【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,2,3,8,12,14,15,22,41,42,53,55,56,57,59,62,66,67,74【文献県内】61,60

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.49	ニオイタデ	D	C	A
<i>Persicaria viscosa</i> (Hamilt.) H.Gross				

【原産地】東アジア【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】市川【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】230：江戸時代【県内への侵入】230：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,14,15,19,37,41,42,56,57,59,66,69,74,78,85【文献県内】61,60

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.50	ハルタデ	C	C	B
<i>Persicaria vulgaris</i> Webb. et Moq.				

【原産地】北半球温帯【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主に北総に分布【生育状況】多【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】210：弥生【県内への侵入】210：弥生～室町【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,14,15,22,37,41,42,55,57,67,74【文献県内】61,60

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.51	オオハルタデ	D	C	B
<i>Persicaria vulgaris</i> Webb. et Moq. var. <i>pubescens</i> Nemoto				

【原産地】北半球温帯【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地に分布【生育状況】多【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】210：弥生【県内への侵入】210：弥生～室町【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】国内帰化【文献全般】1,10,22,37,42,50,57【文献県内】61,60

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.52	ツルドクダミ	C	B	B
<i>Pleuropterus multiflorus</i>				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】主に北総に分布【生育状況】少ない【生活形】夏緑・つる多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120(薬用植物)：江戸時代【県内への侵入】120：明治～昭和30年代【侵入の影響】411【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,37,41,42,53,56,57,59,63,65,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.53	ハイミチヤナギ	D	C	B
<i>Polygonum arenastrum</i> Boreau.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】北海道、本州【県内分布】主として千葉市周辺の湾岸【生育状況】市街地の道端や空き地に【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】230：1964年以前【県内への侵入】230：明治～昭和30年代【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,14,15,19,22,41,42,50,53,56,59,66,78,85【文献県内】61,60

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.54	ミチヤナギ	C	C	C
<i>Polygonum aviculare</i> L.				

【原産地】世界中【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】県下全域【生育状況】多【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】210：弥生以降【県内への侵入】210：弥生～室町【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,12,22,57,65,67,74【文献県内】61,60

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.55	ヤンバルミチヤナギ	D	C	A
<i>Polygonum plebeium</i> R.Br.				

【原産地】熱帯アジア【国内分布】九州【県内分布】野田市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】210：江戸時代？【県内への侵入】210：平成【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,42,55,56,57,74【文献県内】61,60

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.56	ホザキニワヤナギ	D	C	A
	<i>Polygonum ramosissium</i> Michx.			

【原産地】北米【国内分布】本州【県内分布】船橋市、富里市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草
 【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】210：1970年以前【県内への侵入】210：昭和時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,8,14,22,50,53,56,57,59,78,85【文献県内】61,60,82,32

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.57	ヒメスイバ	C	C	C
	<i>Rumex acetosella</i> L.			

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】安房地方を除く全県下【生育状況】中程度【生活形】夏緑・草本【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】210(牧草)：1884年以前【県内への侵入】210：明治時代【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,14,15,19,37,41,42,50,53,55,56,59,65,66,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31,35

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.58	アレチギシギシ	B	B	C
	<i>Rumex conglomeratus</i> Murr.			

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】東京湾側に多く、全県に分布【生育状況】多い【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】240：1905年【県内への侵入】240：明治～昭和7年【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,8,12,14,15,19,22,37,41,42,50,53,55,56,59,65,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31,35

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.59	アレチナガバギシギシ	C	C	A
	<i>Rumex conglomeratus</i> x <i>crispus</i>			

【原産地】ユーラシア【国内分布】不明【県内分布】千葉市、船橋市、八日市場【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散？（不稔？）：夏【日本への侵入】-(日本で交雑)：-【県内への侵入】現地で交雑：-【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】57【文献県内】60

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.60	アレチエゾノギシギシ	C	C	A
	<i>Rumex conglomeratus</i> x <i>obtusifolius</i>			

【原産地】ユーラシア【国内分布】不明【県内分布】千葉市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散？（不稔？）：夏【日本への侵入】-(日本で交雑)：-【県内への侵入】現地で交雑：-【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】57【文献県内】60

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.61	ナガバギシギシ	B	B	C
	<i>Rumex crispus</i> L.			

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】多い【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】210：1891年以前【県内への侵入】210：明治～昭和10年【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,37,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,60

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.62	コガネギシギシ	D	C	A
	<i>Rumex maritimus</i> L.			

【原産地】欧州・北米【国内分布】北海道（自生）、本州【県内分布】野田市、佐原市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】230：-【県内への侵入】河川で移動：昭和時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,37,42,55,56,57,59,66,67,74【文献県内】60

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.63	エゾノギシギシ	B	B	C
	<i>Rumex obtusifolius</i> var. <i>agrestis</i>			

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】210：1909年以前【県内への侵入】210：明治時代【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,37,41,42,50,53,55,56,57,59,69,74,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	タデ科	影響度	緊急度	容易性
No.64	ノハラダイオウ	D	C	A
	<i>Rumex x pratensis</i> Mert. et Koch.			

【原産地】ユーラシア【国内分布】不明【県内分布】千葉市、佐倉市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】-(日本で交雑)：明治～昭和30年代【県内への侵入】現地で交雑：明治～昭和30年代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,37,42,50,57,59【文献県内】61,60

種子植物	ヤマゴボウ科	影響度	緊急度	容易性
No.65	ヨウシュヤマゴボウ	C	C	C
	<i>Phytolacca americana</i> L.			

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県下【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】230：明治【県内への侵入】230：明治～昭和30年代【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,37,41,42,50,53,56,59,63,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	ヤマゴボウ科	影響度	緊急度	容易性
No.66	ヤマゴボウ	D	C	B
	<i>Phytolacca esculenta</i> Van Houtte			

【原産地】中国【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】丘陵地に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120(薬用)：江戸時代【県内への侵入】120：江戸時代以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,19,37,42,50,53,57,59,65,66,74,78,85【文献県内】61,60

種子植物	オシロイバナ科	影響度	緊急度	容易性
No.67	ナハカノコソウ	D	C	
	<i>Boerhavia diffusa</i> L.			

【原産地】太平洋諸島、中国【国内分布】沖縄県に自生【県内分布】船橋市に一次帰化【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散：秋【日本への侵入】不明：-【県内への侵入】241：平成【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】37,66,67【文献県内】60

種子植物	オシロイバナ科	影響度	緊急度	容易性
No.68	オシロイバナ	C	C	C
	<i>Mirabilis jalapa</i> L.			

【原産地】南米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県下【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,15,22,37,41,42,50,53,55,56,57,59,62,63,66,69,74,78【文献県内】61,10,31

種子植物	ザクロソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.69	ホソバモンパミミナグサ	D	C	A
	<i>Glinus oppositifolius</i> (L.) A.DC.			

【原産地】世界の熱帯～亜熱帯【国内分布】本州【県内分布】船橋市で一時帰化【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】241：平成【県内への侵入】241：平成【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】42,57【文献県内】60

種子植物	ザクロソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.70	ハナビザクロソウ	D	C	A
	<i>Mollugo nudicaulis</i> Lam.			

【原産地】アフリカ【国内分布】本州【県内分布】船橋市で一時帰化【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】241：平成【県内への侵入】241：平成【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】42,57【文献県内】60

種子植物	ザクロソウ科	影響度	緊急度	容易性
No. 71	クルマバザクロソウ	D	C	B
	<i>Mollugo verticillata</i> L.			

【原産地】熱帯米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主として北総に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】230：江戸時代末期【県内への侵入】230：明治～昭和30年代【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,15,19,22,37,41,42,50,53,55,56,57,59,66,69,74,78,85【文献県内】61,60,31

種子植物	ツルナ科	影響度	緊急度	容易性
No. 72	ハナツルソウ	D	C	A
	<i>Aptenia cordifolia</i> Schw.			

【原産地】南アフリカ【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】各地に散在【生育状況】少ない【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：江戸時代末期【県内への侵入】120：昭和時代【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】63【文献県内】60

種子植物	ツルナ科	影響度	緊急度	容易性
No. 73	バクヤギク	D	C	
	<i>Carpobrotus chilensis</i> (Molina) N.E. Br.			

【原産地】南アフリカ【国内分布】愛知県渥美半島【県内分布】？【生育状況】-【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥散：秋【日本への侵入】120：明治時代【県内への侵入】120：？【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】不法投棄と思われる愛知県渥美半島の西の浜に広がっている【文献全般】63【文献県内】-

種子植物	ツルナ科	影響度	緊急度	容易性
No. 74	マツバギク	D	C	A
	<i>Lampranthus spectabilis</i> N.E.Br.			

【原産地】南アフリカ【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県で栽培、時に逸出【生育状況】少ない（一株で一面に広がる）【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：明治（導入）【県内への侵入】120：昭和？【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,50,57,59,63,67【文献県内】60

種子植物	スベリヒコ科	影響度	緊急度	容易性
No. 75	タチスベリヒコ	D	C	
	<i>Portulaca oleracea</i> L. var. <i>sativa</i> DC.			

【原産地】欧州【国内分布】野菜として稀に栽培【県内分布】松戸？【生育状況】極小【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】120：明治時代【県内への侵入】120？：昭和？【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】50【文献県内】60

種子植物	スベリヒユ科	影響度	緊急度	容易性
No.76	ヒメマツバボタン	D	C	B
Portulaca pilosa L.				

【原産地】熱帯米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県の平野部【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】230：1963年頃【県内への侵入】230：明治～昭和30年代【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,14,15,19,22,42,50,55,56,57,59,66,67,78,85【文献県内】61,10,60,31,83

種子植物	スベリヒユ科	影響度	緊急度	容易性
No.77	ハゼラン	C	C	B
Talinum crassifolium Willd.				

【原産地】西インド諸島【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】主として北総の平野部【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年～多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：明治初期【県内への侵入】120：明治～昭和30年代【侵入の影響】あると目だつので、景観的に問題【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,22,41,42,50,53,55,57,59,63,66,67,74,78【文献県内】10,60

種子植物	ツルムラサキ科	影響度	緊急度	容易性
No.78	アカザカズラ	D	C	A
Anderera cordifolia (Ten.) Steenis				

【原産地】南米熱帯【国内分布】神奈川県～岡山県【県内分布】南房総市【生育状況】極小【生活形】つる・夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】むかご：秋【日本への侵入】120：1905年【県内への侵入】120：昭和？【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,14,22,41,42,50,56,59,66,69,78,85【文献県内】60,久内清孝 1971. マディラカズラが房州に逸出している. 植物研究雑誌46(6):192.

種子植物	ツルムラサキ科	影響度	緊急度	容易性
No.79	ツルムラサキ	D	C	A
Basella rubra L. var. alba Makino				

【原産地】熱帯アフリカ～アジア【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】東京湾沿岸の平野に散在【生育状況】極小【生活形】夏緑・つる1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：明治～昭和10年代【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,22,42,50,52,56,57,59,63,66,67,74,78【文献県内】60

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.80	ネバリノミノツヅリ	D	C	B
Arenaria serpyrifolia L. var. viscida (Loisel.) Ascherson				

【原産地】ユーラシア？【国内分布】北海道、本州【県内分布】全県に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】230：不明【県内への侵入】230：昭和時代【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,57【文献県内】60

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.81	オランダミミナグサ	C	C	C
	<i>Cerastium glomeratum</i> Thuill.			

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県下【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】230：明治末期【県内への侵入】230：明治～昭和10年代【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,37,41,42,50,53,55,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】61,10,60,36

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.82	ノハラナデシコ	D	C	B
	<i>Dianthus armeria</i> L.			

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主として北総に分布【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】220：1966年【県内への侵入】220：昭和30年代【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,41,42,53,56,57,59,66,78,85【文献県内】61,60,29,34,斉藤吉永 1971. 千葉県野田に帰化したノハラナデシコ. 植物採集ニュース(57):88-89.

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.83	カスミソウ	D	C	A
	<i>Gypsophila elegans</i> Bieb.			

【原産地】コーカサス【国内分布】全国で栽培【県内分布】各地でワイルドフラワーとして栽培【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：大正【県内への侵入】120：昭和【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,42,50,53,55,56,57,63,66,74【文献県内】60

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.84	ヌカイトナデシコ	D	C	A
	<i>Gypsophila muralis</i> L.			

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州【県内分布】東京湾岸の平野に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】230：1997年以前【県内への侵入】230：1999年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,42,50,53,59【文献県内】60

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.85	イヌコモチナデシコ	D	C	B
	<i>Petrorhagia nanteuilli</i> (Burnat) P. W. Ball et Heywood			

【原産地】欧州【国内分布】本州、九州【県内分布】北総の平野部に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】230：1960年【県内への侵入】230：平成以前【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,8,14,15,19,22,41,42,53,56,57,59,66,78,85【文献県内】60

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.86	アライトツメクサ	D	C	A
	<i>Sagina procumbens</i> L.			

【原産地】欧州、北アメリカ、オーストラリア【国内分布】北海道、本州【県内分布】佐倉市【生育状況】中程度【生活形】冬緑・2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】230：昭和30年代以前【県内への侵入】230：平成以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,22,41,42,50,53,55,59,66,78【文献県内】60

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.87	シバツメクサ	D	C	A
	<i>Scleranthus annuus</i> L.			

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州【県内分布】千葉市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】230：戦後【県内への侵入】230：平成【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,15,42,50,55,57,59,66,78,85【文献県内】60

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.88	マツヨイセンノウ	D	C	A
	<i>Silene alba</i> (Mill.) E.H. L.Krause			

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主として北総の平野部【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：明治【県内への侵入】120：明治～昭和10年代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,8,22,37,41,42,50,53,55,57,59,63,66,78,85【文献県内】61,60,35

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.89	ムシトリマンテマ	D	C	B
	<i>Silene antirrhina</i> L.			

【原産地】中南米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地の平野部に散在【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：1951年以前【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,14,19,22,42,50,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】61,60,33,34

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.90	ムシトリナデシコ	D	C	B
	<i>Silene armeria</i> L.			

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県の平野部に逸出【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：明治～昭和10年代【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,19,22,37,41,42,53,55,56,57,59,62,65,66,67,69,74,78,85【文献県内】10,63

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.91	オオシラタマソウ	D	C	A
	<i>Silene conoidea</i> L.			

【原産地】欧州～西アジア【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】鴨川市【生育状況】極小
 【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1912
 年以前【県内への侵入】210：昭和20年代以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】
 1, 8, 14, 15, 19, 22, 41, 50, 55, 56, 57, 59, 67, 78, 85【文献県内】61, 60, 35

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.92	ホザキマンテマ	D	C	A
	<i>Silene dichotoma</i> Ehrh.			

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国【県内分布】富里市【生育状況】極小【生活形】夏緑・多
 年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1950年【県内への侵入】2
 10：昭和30年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1, 7, 19, 22, 41, 50, 53, 5
 5, 56, 57, 59, 66, 78, 85【文献県内】61, 10, 60, 29, 33, 35

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.93	シロバナマンテマ	B	C	B
	<i>Silene gallica</i> L.			

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主に北総に分布【生育状況】中程度。
 千葉県では空き地などで割にみかける【生活形】夏緑・2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】
 重散：夏【日本への侵入】210：江戸末期【県内への侵入】210：昭和20年代以前【侵入の影響】420, 212
 【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1, 8, 12, 14, 15, 19, 22, 50, 55, 56, 57, 59, 61, 66, 69, 85【文献県内】61,
 10, 60

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.94	マンテマ	C	C	B
	<i>Silene gallica</i> L. var. <i>quinquevulnera</i> (L.) Koch			

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主に北総に分布【生育状況】中程度
 【生活形】夏緑・2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：江戸時
 代末期【県内への侵入】120：昭和10年代以前【侵入の影響】420, 212【外来種対策】-【備考】元々観賞
 用。シロバナマンテマよりずっと少ない【文献全般】3, 8, 12, 14, 15, 19, 22, 41, 50, 53, 56, 57, 59, 66, 69, 74, 7
 8, 85【文献県内】61, 10, 60

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.95	ツキミセンノウ	D	C	A
	<i>Silene noctiflora</i> L.			

【原産地】欧州【国内分布】本州【県内分布】富里市、印西市【生育状況】極小【生活形】夏緑・2年草
 【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1899年【県内への侵入】210：
 平成以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1, 3, 8, 14, 15, 19, 22, 41, 50, 53, 55, 56, 5
 9, 66, 69, 78, 85【文献県内】61, 60, 29, 33, 35

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.96	シラタマソウ	D	C	A
	<i>Silene vulgaris</i> (Moench) Garcke			

【原産地】地中海沿岸【国内分布】北海道、本州【県内分布】千葉市、印西市【生育状況】極小【生活形】夏緑・2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：明治【県内への侵入】210：昭和40年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,8,14,15,19,22,41,50,55,56,59,66,74,78,85【文献県内】61,60,35

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.97	ノハラツメクサ	D	C	B
	<i>Spergularia arvensis</i> L.			

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】富津市、南房総市、浦安市、本埜村、千葉市、君津市【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】230：明治【県内への侵入】230：昭和30年代以前【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,14,15,19,22,41,50,55,56,57,59,66,67,78,85【文献県内】61,60

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.98	ウシオハナツメクサ	B	B	B
	<i>Spergularia bocconii</i> (Scheele) Ascherson et Graebn.			

【原産地】欧州【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】主として東京湾岸に分布【生育状況】中程度、塩湿地生の植物【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】水散：夏【日本への侵入】230：1934年以前【県内への侵入】230：1934年以前【侵入の影響】420,212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,22,42,53,57,59,66,67【文献県内】60,木村陽子 1989. 船橋市・海浜公園の帰化植物3種. 千葉生物誌 39(1):32-34.

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.99	ウスベニツメクサ	D	C	A
	<i>Spergularia rubra</i> (L.) J. et C. Presl			

【原産地】北半球温帯【国内分布】北海道、本州、四国【県内分布】勝浦市？（標本未見）【生育状況】極小？【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】230：1932年以前【県内への侵入】230：昭和40年代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,60

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.100	ノミノコブスマ	D	C	A
	<i>Stellaria alsine</i> Grimm Var. <i>alsine</i>			

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、九州【県内分布】八街市【生育状況】極小【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】230：1978年以前【県内への侵入】230：平成以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,41,42,50,53,55,57,66,78【文献県内】なし

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.101	コハコベ	C	C	C
	<i>Stellaria media</i> (L.) Vill.			

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】多い【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：春～秋【日本への侵入】210：弥生？【県内への侵入】210：弥生～室町【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,8,12,14,19,22,41,55,56,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,53,31

種子植物	ナデシコ科	影響度	緊急度	容易性
No.102	イヌコハコベ	C	B	B
	<i>Stellaria pallida</i> (Dumort.) Pir			

【原産地】欧州【国内分布】本州【県内分布】砂質生・市川市、船橋市の沿海部では多い【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1978年以前【県内への侵入】210：1978年以前【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,22,41,42,53,55,56,57,59,66,78【文献県内】10,60,木村陽子 1998. イヌコハコベとコハコベ. 千葉県植物誌資料 12:81-82. 倉俣武男 1998. イヌコハコベの分布について?八千代市および和田町,富山町?. 千葉県植物誌資料 13:93.

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度	容易性
No.103	アメリカビコ	D	C	A
	<i>Amaranthus blitoides</i> S.Watson			

【原産地】北米【国内分布】本州【県内分布】袖ヶ浦市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】210：1948年以前【県内への侵入】210：平成以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,8,14,22,42,50,53,55,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】61,60

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度	容易性
No.104	ホコガタアカザ	B	B	B
	<i>Atriplex prostrata</i> Boucher ex DC. (syn. <i>A. hastata</i> non. L.)			

【原産地】欧州【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県の海岸部に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】230：1940年以前【県内への侵入】230：昭和20年代以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,14,15,19,22,41,50,53,55,56,57,59,69,74,78,85【文献県内】61,60,35

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度	容易性
No.105	アカザ	D	C	B
	<i>Chenopodium album</i> L. var.			

【原産地】中国【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】千葉市、柏市、市原市、鴨川市など【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：弥生？【県内への侵入】110：弥生～室町【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,8,12,41,50,53,55,66,67,74,78,85【文献県内】60,31

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度	容易性
No.106	シロザ	C	C	C
Chenopodium album L. var. album				

【原産地】ユーラシア【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】極多
 【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】210：弥生？
 【県内への侵入】210：弥生～室町【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,9,12,14,50,53,57,67,74【文献県内】61,10,60,31,35

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度	容易性
No.107	ホソバアカザ	D	C	A
Chenopodium album L. var. stenophyllum Makino (syn. C. stenophyllum (Makino) Koidz.)				

【原産地】アジア北部【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】海岸部に散在【生育状況】中程度。海岸，河原にでる。【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】210：昭和以前【県内への侵入】210：昭和10年代【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】57【文献県内】60

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度	容易性
No.108	アリタソウ	C	C	C
Chenopodium ambrosioides L.				

【原産地】南米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】多い【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：江戸時代【県内への侵入】110：昭和10年代以前【侵入の影響】314,212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,12,14,15,19,22,41,42,53,55,56,57,59,69,74,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度	容易性
No.109	アメリカアリタソウ	C	C	A
Chenopodium anthelminticum L. (syn. Ambrina anthelminticum (L.) Spach)				

【原産地】南米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】富津市、佐倉市、鴨川市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：昭和以前【県内への侵入】110：昭和10年代以前【侵入の影響】314,212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,8,14,15,19,22,37,42,50,53,55,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】61,57

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度	容易性
No.110	コアカザ	B	C	C
Chenopodium ficiforium Sm. (syn. C. serotinum non. L.)				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主として東京湾岸の平野部に分布【生育状況】極多【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：春～秋【日本への侵入】210：弥生～室町【県内への侵入】210：弥生～室町【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,22,41,42,50,53,55,56,66,67,69,74,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度	容易性
No.111	ウラジロアカザ	B	C	B
Chenopodium glaucum L.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】北総内陸部及び全県海岸に分布【生育状況】多い【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】210：1891年以前【県内への侵入】210：昭和初期【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,58,59,66,67,74,78,85【文献県内】61,10,60,35

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度	容易性
No.112	ヒメハマアカザ	D	C	A
Chenopodium leptophyllum Nutt.				

【原産地】北米【国内分布】本州、【県内分布】木更津市【生育状況】極少【生活形】-【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：-【日本への侵入】210：1973年以前【県内への侵入】210：1973年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,22,42,53,55,56,57,59,61,66,67,78【文献県内】61,60

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度	容易性
No.113	ミナトアカザ	D	C	A
Chenopodium murale L.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】北海道、本州、四国、【県内分布】富里市、芝山町【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：1965年【県内への侵入】240：平成以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,12,14,22,41,50,55,56,57,59,66,67,78,85【文献県内】60

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度	容易性
No.114	ゴウシュウアリタソウ	B	B	B
Chenopodium pumilio R.Br.				

【原産地】豪州【国内分布】北海道、本州、四国、【県内分布】主として北総西部に分布【生育状況】多い【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：春【日本への侵入】240：1933年【県内への侵入】240：昭和20年代以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	アカザ科	影響度	緊急度	容易性
No.115	ハウキギ	D	C	B
Kochia scoparia (L.) Schrad. var. scoparia				

【原産地】ユーラシア【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主として北総に散在【生育状況】少ない【生活形】-【繁殖形態】-【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：江戸時代以前【県内への侵入】120：昭和以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】栽培植物【文献全般】1,1,3,7,8,15,41,42,57,59,61,65,67,74【文献県内】61,60,31

種子植物	ヒコ科	影響度	緊急度	容易性
No.116	ケイノコヅチモドキ (仮称)	D	C	A
Achyranthes sp.				

【原産地】亜熱帯アジア? 【国内分布】千葉県のみ? 【県内分布】富里市両国 【生育状況】少ない 【生活形】夏緑一年草? 【繁殖形態】花粉媒介型: 虫媒 【散布形態】重散: 秋 【日本への侵入】210: 2008年 【県内への侵入】210: 2008年 【侵入の影響】- 【外来種対策】- 【備考】- 【文献全般】木村陽子 2009. ケイノコヅチモドキ (仮称) が富里市に一時帰化. 千葉県植物誌資料25:247-248. 【文献県内】木村陽子 2009. ケイノコヅチモドキ (仮称) が富里市に一時帰化. 千葉県植物誌資料25:247-248.

種子植物	ヒコ科	影響度	緊急度	容易性
No.117	ホソバツルノゲイトウ	D	C	A
Alternanthera nodiflora R.Br.				

【原産地】熱帯米 【国内分布】本州、四国、九州、 【県内分布】市川市、柏市 【生育状況】少ない 【生活形】夏緑・匍匐1年草 【繁殖形態】花粉媒介型: 虫媒 【散布形態】重散: 秋 【日本への侵入】240: 1897年以前 【県内への侵入】240: 昭和30年代以前 【侵入の影響】なし 【外来種対策】- 【備考】- 【文献全般】7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,69,85 【文献県内】61,60

種子植物	ヒコ科	影響度	緊急度	容易性
No.118	ナガエツルノゲイトウ	A	A	B
Alternanthera philoxeroides				

【原産地】中央米 【国内分布】本州、四国、九州、 【県内分布】印旛沼周辺 【生育状況】多い 【生活形】夏緑・多年草 【繁殖形態】- 【散布形態】重散: 秋 【日本への侵入】130: 1989年 【県内への侵入】130: 1992年以前 【侵入の影響】322,212 【外来種対策】- 【備考】特定外来生物 【文献全般】19,41,42,55,56,57,59,66,78 【文献県内】10,60

種子植物	ヒコ科	影響度	緊急度	容易性
No.119	ツルノゲイトウ	B	B	B
Alternanthera sessilis (L.) DC.				

【原産地】南米? 【国内分布】本州、四国、九州、 【県内分布】主として利根川、江戸川流域 【生育状況】多い 【生活形】夏緑・匍匐1年草 【繁殖形態】花粉媒介型: 虫媒 【散布形態】重散: 秋 【日本への侵入】130: 明治中期以前 【県内への侵入】130: 1984年以前 【侵入の影響】212,322 【外来種対策】- 【備考】- 【文献全般】7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,54,55,56,57,59,66,69,74,78,85 【文献県内】60

種子植物	ヒコ科	影響度	緊急度	容易性
No.120	ヒメシロビユ	D	C	A
Amaranthus albus L.				

【原産地】北米 【国内分布】北海道、本州、四国、九州 【県内分布】銚子など各地に散在 【生育状況】少ない 【生活形】夏緑・匍匐1年草 【繁殖形態】花粉媒介型: 虫媒 【散布形態】重散: 秋 【日本への侵入】240: 1941年以前 【県内への侵入】240: 昭和30年代 【侵入の影響】なし 【外来種対策】- 【備考】- 【文献全般】1,3,7,8,14,15,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,69,78,85 【文献県内】61,60

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度	容易性
No. 121	ヒメアオゲイトウ	D	C	A
<i>Amaranthus arenicola</i> I.M.Johnst.				

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】市川市、一宮町【生育状況】少ない【生活形】夏緑・匍匐1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：1958年以前【県内への侵入】240：昭和20年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,15,19,22,41,42,53,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】60

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度	容易性
No. 122	スギモリゲイトウ	D	C	A
<i>Amaranthus cruentus</i> L.				

【原産地】熱帯米【国内分布】本州、【県内分布】北総に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：明治時代以降【県内への侵入】120：昭和50年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,14,22,42,50,53,56,57,59,66,67,78,85【文献県内】60

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度	容易性
No. 123	ハイビユ	D	C	A
<i>Amaranthus deflexus</i> L.				

【原産地】広域分布【国内分布】本州、【県内分布】各地に散在【生育状況】中程度【生活形】夏緑・匍匐1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】210：1921年【県内への侵入】210：昭和20年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,8,14,15,19,22,42,50,53,55,56,57,59,66,69,74,78,85【文献県内】61,60

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度	容易性
No. 124	ホソバイヌビユ	D	C	A
<i>Amaranthus graecizanus</i> L. (syn.)				

【原産地】欧州、アフリカ【国内分布】本州、【県内分布】船橋【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：1920年頃【県内への侵入】240：昭和50年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】50,66【文献県内】61,60

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度	容易性
No. 125	ホソアオゲイトウ	B	B	C
<i>Amaranthus hybridus</i> L. (syn.)				

【原産地】南米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】多い【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】210：1937年以前【県内への侵入】210：昭和20年代以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,56,59,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度	容易性
No.126	ヒユ	D	C	A
Amaranthus mangostanus L.				

【原産地】アジア【国内分布】本州、【県内分布】各地に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・匍匐1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：奈良時代以前【県内への侵入】110：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】古来食用とされた【文献全般】14,50,66【文献県内】60

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度	容易性
No.127	オオホナガアオゲイトウ	D	C	A
Amaranthus palmeri S.Watson				

【原産地】北米【国内分布】本州、九州、【県内分布】船橋【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：1964年以前【県内への侵入】240：昭和30年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,8,12,15,19,22,41,42,53,56,57,59,66,67,78,85【文献県内】61,60

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度	容易性
No.128	イガホヒユ	B	B	B
Amaranthus powellii S.Watson				

【原産地】中央米【国内分布】本州、【県内分布】北総及び東京湾岸に散在【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：1937年以前【県内への侵入】240：平成以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,8,22,42,50,53,56,57,58,59,66,67,78【文献県内】61,10,60

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度	容易性
No.129	アオゲイトウ	D	C	B
Amaranthus retroflexus L.				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主として北総の分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：明治30年代以前【県内への侵入】240：昭和30年代【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,14,15,22,41,42,50,53,57,59,66,67,74【文献県内】61,10,60,31,35

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度	容易性
No.130	ハリヒユ	B	B	B
Amaranthus spinosus				

【原産地】熱帯米【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】主として北総に分布【生育状況】中程度、畑地の強害草【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：明治【県内への侵入】240：昭和30年代【侵入の影響】312,321【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,58,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,60,31

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度	容易性
No.131	ホナガイヌビユ	B	B	C
Amaranthus viridis L.				

【原産地】熱帯米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】極多【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】210：大正時代【県内への侵入】210：昭和10年代後半以降【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,22,42,50,53,56,57,59,66,69,74,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度	容易性
No.132	ノゲイトウ	D	C	A
Celosia argentea L.				

【原産地】熱帯米【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】佐倉、富里、富津【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：1856年以前【県内への侵入】120：平成以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,58,59,62,66,67,69,74,78,85【文献県内】60,10

種子植物	ヒユ科	影響度	緊急度	容易性
No.133	ケイトウ	D	C	B
Celosia cristata L.				

【原産地】熱帯アジア【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】主として北総に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：室町時代以降【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】園芸植物として広く栽培【文献全般】14,42,50,53,59,74【文献県内】60

種子植物	サボテン科	影響度	緊急度	容易性
No.134	ウチワサボテン	B	B	A
Opuntia ficus-indica (L.) Mill.				

【原産地】南米【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】銚子、館山など、太平洋岸の海岸【生育状況】少ない【生活形】常緑・半低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：夏～秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：昭和時代【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】66,74【文献県内】60

種子植物	モクレン科	影響度	緊急度	容易性
No.135	ユリノキ	D	C	A
Liriodendron tulipifera L.				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】翼散：秋【日本への侵入】120：明治時代【県内への侵入】120：昭和30年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,48,74【文献県内】60

種子植物	バンレイシ科	影響度	緊急度	容易性
No.136	アケビガキ	D	C	A
Asimina triloba Dunal				

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】主として東京湾岸の都市に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】110：明治時代【県内への侵入】110：昭和30年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,22,66【文献県内】10,60

種子植物	クスノキ科	影響度	緊急度	容易性
No.137	クスノキ	C	C	C
Cinnamomum camphora (L.) Siebold				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州（自生）、【県内分布】全県に分布【生育状況】極少【生活形】常緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】110：縄文時代（自生？）【県内への侵入】110：弥生～室町【侵入の影響】100,212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,6,8,22,38,67【文献県内】46,60

種子植物	クスノキ科	影響度	緊急度	容易性
No.138	ニッケイ	D	C	C
Cinnamomum sieboldii Meissn.				

【原産地】アジア南部【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】全県に分布【生育状況】極少【生活形】常緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】110：江戸時代以前【県内への侵入】110：江戸時代【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,8,22,40,53【文献県内】60

種子植物	クスノキ科	影響度	緊急度	容易性
No.139	ゲッケイジュ	D	C	B
Laurus nobilis L.				

【原産地】南欧【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】北総に散在、暖地では自然散布する。【生育状況】極少【生活形】常緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】110：江戸時代【県内への侵入】110：明治【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,22,53【文献県内】10,60,31

種子植物	クスノキ科	影響度	緊急度	容易性
No.140	アオモジ	D	C	B
Litsea citriodora (Siebold et Zucc.) Hatus.				

【原産地】中国、日本【国内分布】本州（山口）・九州、国内帰化【県内分布】安房地方に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・中高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：日本原産【県内への侵入】120：戦後【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,8,38,57,74【文献県内】60

種子植物	キンポウゲ科	影響度	緊急度	容易性
No.141	シュウメイギク	D	C	B
<i>Anemone hupehensis</i> Lemoine var. <i>japonica</i> (Thunb.) Bowles et Stearn				

【原産地】中国【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・草本【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：室町【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,41,53,55,56,57,59,62,66,74,78,85【文献県内】10,60

種子植物	キンポウゲ科	影響度	緊急度	容易性
No.142	キクバオウレン	D	C	A
<i>Optis japonica</i> (Thunb.) Makino var. <i>anemonifolia</i> (Siebold et Zucc.) H.Ohba				

【原産地】日本【国内分布】本州、四国、【県内分布】柏市、富津市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】110：日本原産【県内への侵入】110：昭和以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】10,37,50,74【文献県内】60

種子植物	キンポウゲ科	影響度	緊急度	容易性
No.143	セリバヒエンソウ	D	C	A
<i>Delphinium anthriscifolium</i> Hance				

【原産地】中国【国内分布】本州、【県内分布】佐倉市、袖ヶ浦市【生育状況】少ない。薬草園や庭先にもうえられている【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】230：明治【県内への侵入】230：平成以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,14,15,19,22,42,50,53,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】60

種子植物	キンポウゲ科	影響度	緊急度	容易性
No.144	トゲミノキツネノボタン	B	B	
<i>Ranunculus muricatus</i> L.				

【原産地】欧州【国内分布】本州、【県内分布】八街市、館山市、大多喜町【生育状況】中程度【生活形】冬緑【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：春～夏【日本への侵入】230：1915年【県内への侵入】230：昭和30年代以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,69,74,78,85【文献県内】61,60

種子植物	キンポウゲ科	影響度	緊急度	容易性
No.145	ハイキンポウゲ	B	B	
<i>Ranunculus repens</i> L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、【県内分布】芝山町【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：1983年【県内への侵入】120：平成以前【侵入の影響】212,栽培植物であるが、宝塚市にはクレソンと同等に繁殖がみられるところがあり、要注意【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,22,53,55,56,57,59,66,74【文献県内】-

種子植物	メギ科	影響度	緊急度	容易性
No. 146	ホソバヒラギナンテン	D	C	B
Mahonia fortunei Fedde				

【原産地】中国【国内分布】本州、【県内分布】各地に散在【生育状況】少ない【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：明治時代初期【県内への侵入】120：明治～昭和30年代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,22,53,57,66,74【文献県内】60

種子植物	メギ科	影響度	緊急度	容易性
No. 147	ヒラギナンテン	D	C	B
Mahonia japonica (Thunb.) DC.				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】主として北総の丘陵に分布【生育状況】少ない【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：明治～昭和30年代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,6,22,53,57,74【文献県内】10,60

種子植物	メギ科	影響度	緊急度	容易性
No. 148	ナンテン	D	C	C
Nandina domestica Thunb.				

【原産地】東アジア、インド【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】全県に分布【生育状況】少ない【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：日本原産【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】100(もし千葉県に自生があるなら)【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,6,7,12,22,38,48,50,53,63,65,74【文献県内】61,10,60

種子植物	スイレン科	影響度	緊急度	容易性
No. 149	フサジュンサイ	A	A	B
Cabomba caroliniana A.Gray				

【原産地】北米東南部【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】北総の水辺に散在【生育状況】中程度【生活形】夏緑・浮葉多年水草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】水散：-【日本への侵入】130：昭和初期【県内への侵入】130：昭和30年代【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,15,21,22,41,42,50,53,59,66,74【文献県内】61,10,60,31

種子植物	ハス科	影響度	緊急度	容易性
No. 150	ハス	C	C	B
Nelumbo nucifera Gaertn.				

【原産地】アジア【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】全県の水辺に散在【生育状況】多い【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】水散：秋【日本への侵入】110：日本原産？【県内への侵入】110：江戸時代以前【侵入の影響】322,212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,12,22,37,53,62,74【文献県内】61,60

種子植物	マタタビ科	影響度	緊急度	容易性
No. 151	シナサルナシ	C	C	B
Actinidia chinensis Planch.				

【原産地】中国南部【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】全県に丘陵地に分布【生育状況】極小
 【生活形】夏緑・つる性【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】110：昭和30年代後半以降【県内への侵入】110：昭和30年代後半以降【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-
 【文献全般】3,6,22,53,57,66【文献県内】10,60

種子植物	ツバキ科	影響度	緊急度	容易性
No. 152	チャノキ	D	C	C
Camellia sinensis (L.) Kuntze				

【原産地】中国南部、東南アジア【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】全県に分布【生育状況】少ない
 【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：-【日本への侵入】110：鎌倉時代
 【県内への侵入】110：鎌倉～室町【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,6,7,12,22,38,48,57,63,74【文献県内】61,60

種子植物	ツバキ科	影響度	緊急度	容易性
No. 153	ハマヒサカキ	D	C	B
Eurya emarginata (Thunb. ex Murray) Makino				

【原産地】日本自生【国内分布】本州西南部、四国、九州（国内帰化）【県内分布】一部半野生化、各地の
 海岸に分布【生育状況】中程度【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：
 秋【日本への侵入】120：日本原産【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-
 【文献全般】6,12,22,38,57,63,67,74【文献県内】60

種子植物	ツバキ科	影響度	緊急度	容易性
No. 154	ナツツバキ	D	C	
Stuartia pseudo-camellia Maxim.				

【原産地】日本自生（国内帰化）【国内分布】本州（中部以西）、四国、九州、【県内分布】全県の丘陵地
 に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本
 への侵入】120：日本原産【県内への侵入】120：江戸時代以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-
 【文献全般】6,12,38,48,57,63,74【文献県内】60

種子植物	オトギリソウ科	影響度	緊急度	容易性
No. 155	トミサトオトギリ	B	B	B
Hypericum mutillum L.				

【原産地】北米【国内分布】千葉県【県内分布】富津市【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖
 形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】230：1998年【県内への侵入】230：1998年
 【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】57,66【文献県内】60,大場・木村 2000. トミ
 サトオトギリ（新称）Hypericum mutillum L.の帰化. 植物研究雑誌75(5):316-318.

種子植物	オトギリソウ科	影響度	緊急度	容易性
No. 156	コゴメバオトギリ	D	C	B
Hypericum perforatum L. var. angustifolium DC.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州、【県内分布】主として北総の丘陵部に散在【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】230：1934年【県内への侵入】230：昭和50年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,56,57,59,66,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	オトギリソウ科	影響度	緊急度	容易性
No. 157	セイヨウトドリ	D	C	A
Hypericum perforatum L. var. perforatum				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州、【県内分布】船橋市【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：昭和以前【県内への侵入】120：平成以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,6,8,14,15,41,42,56,57,59,66,78【文献県内】60

種子植物	オトギリソウ科	影響度	緊急度	容易性
No. 158	ビヨウヤナギ	D	C	A
Norysca chinensis (L.) Spach				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】各地の丘陵地に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：昭和以前【侵入の影響】212,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,15,22,38,48,62,63,74【文献県内】60

種子植物	オトギリソウ科	影響度	緊急度	容易性
No. 159	キンシバイ	C	C	B
Norysca patula (Thunb.) Voigt				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】各地の丘陵地に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：昭和以前【侵入の影響】212,400【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,19,22,38,48,62,63,74,78,85【文献県内】60

種子植物	モウセンゴケ科	影響度	緊急度	容易性
No. 160	アフリカナガバモウセンゴケ	C	C	
Drosera capensis L.				

【原産地】南アフリカ【国内分布】本州、【県内分布】茂原市で、逸出がある。山野草屋で売られている。【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：戦後？【県内への侵入】120：昭和以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】57【文献県内】-

種子植物	モウセンゴケ科	影響度	緊急度	容易性
No. 161	ナガエモウセンゴケ	A	A	
Drosera intermedia Hayne				

【原産地】欧州・北米【国内分布】本州、【県内分布】長生村【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：戦後？【県内への侵入】120：昭和以前【侵入の影響】212【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】57,66【文献県内】 -

種子植物	ケシ科	影響度	緊急度	容易性
No. 162	シラユキゲシ	D	C	A
Eomecon chionantha Hance				

【原産地】中国【国内分布】本州、【県内分布】千葉市【生育状況】少ない【生活形】冬緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏【日本への侵入】120：平成【県内への侵入】120：平成【侵入の影響】212【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】22,53,57,59,66【文献県内】60

種子植物	ケシ科	影響度	緊急度	容易性
No. 163	ハナビシソウ	D	C	A
Eschscholtzia californica Cham.				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】市街地に散在【生育状況】少ない。ワイルドフラワーでまかれたものがある【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：1870年頃【県内への侵入】120：昭和【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】22,42,53,55,59,62,66,74【文献県内】60

種子植物	ケシ科	影響度	緊急度	容易性
No. 164	ハカマオニゲシ	A	A	A
Papaver bracteatum Lindl.				

【原産地】イラン【国内分布】本州、【県内分布】芝山町【生育状況】極少【生活形】冬緑・2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】210：平成以前【県内への侵入】210：平成以前【侵入の影響】312,麻薬及び向精神薬取締法指定種【外来種対策】 - 【備考】別名：ボタンゲシ【文献全般】57【文献県内】60

種子植物	ケシ科	影響度	緊急度	容易性
No. 165	ナガミヒナゲシ	B	B	C
Papaver dubium L.				

【原産地】地中海沿岸・欧州中部【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主として北総の平野部に分布【生育状況】極多【生活形】冬緑・2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1961年【県内への侵入】210：昭和30年代後半以降【侵入の影響】420【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,41,42,50,53,55,56,57,78,85【文献県内】10,60

種子植物	ケシ科	影響度	緊急度	容易性
No.166	モンツキナガミヒナゲシ (仮称)	B	B	A
Papaver dubium L. の品種レベル?				

【原産地】地中海沿岸、欧州中部【国内分布】本州、【県内分布】野田市【生育状況】極少、ナガミヒナゲシのなかに、稀に混じる【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】-：平成以前【県内への侵入】210：平成以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】岩槻秀明 2008. モンツキナガミヒナゲシ (仮称) の発見. 千葉県植物誌資料 24:218.

種子植物	ケシ科	影響度	緊急度	容易性
No.167	トゲミゲシ	D	C	A
Papaver hybridum L.				

【原産地】地中海沿岸・欧州中部【国内分布】本州、【県内分布】市川【生育状況】極少【生活形】冬緑・2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】210：1961年【県内への侵入】210：昭和30年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,8,14,15,22,42,53,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】61,60,83

種子植物	ケシ科	影響度	緊急度	容易性
No.168	オニゲシ	D	C	A
Papaver orientale L.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】全国で栽培【県内分布】佐倉【生育状況】極少【生活形】冬緑・2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：明治【県内への侵入】120：昭和以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,50,53,55,62,66【文献県内】60

種子植物	ケシ科	影響度	緊急度	容易性
No.169	ヒナゲシ	D	C	A
Papaver rhoeas L.				

【原産地】欧州【国内分布】全国で栽培【県内分布】北総に散在【生育状況】極少【生活形】冬緑・2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：明治～昭和30年代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,62,66,74,78,85【文献県内】60

種子植物	ケシ科	影響度	緊急度	容易性
No.170	アツミゲシ	A	A	A
Papaver setigerum L.				

【原産地】北アフリカ【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】船橋【生育状況】少ない【生活形】夏緑・2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】210：1964年【県内への侵入】210：昭和30年代後半以降【侵入の影響】312、あへん法指定種。麻薬成分がある【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,8,15,22,41,42,53,55,56,57,62,66,78,85【文献県内】60,吉川代之助 1974. 千葉の新帰化植物アツミゲシとノスズメノテッポウ. 植物採集ニュース(74):24.

種子植物	ヤブケマン科	影響度	緊急度	容易性
No.171	カラクサケマン	D	C	A
	<i>Fumaria officinalis</i> L.			

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、【県内分布】南房総市【生育状況】中程度【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1981年【県内への侵入】210：平成以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,8,15,41,42,50,53,55,56,57,66,78,85【文献県内】なし

種子植物	フウチョウソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.172	キバナヒメフウチョウ	D	C	
	<i>Cleome icosandra</i> L.			

【原産地】熱帯アジア【国内分布】本州、【県内分布】船橋市に一時帰化【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏【日本への侵入】241：平成以前【県内への侵入】241：平成以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】42,53,57,58,66【文献県内】60

種子植物	フウチョウソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.173	アフリカフウチョウソウ	C	B	A
	<i>Cleome rutidosperma</i> DC.			

【原産地】熱帯アフリカ【国内分布】本州、【県内分布】市川市、船橋市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】241：1999年【県内への侵入】241：平成【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】ヒメムラサキフウチョウとしてあるデータを入れれば、県内でときおりみかける。【文献全般】42,53,57,59【文献県内】60

種子植物	フウチョウソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.174	セイヨウフウチョウソウ	D	C	B
	<i>Cleome spinosa</i> L.			

【原産地】熱帯米【国内分布】各地で栽培【県内分布】北総各地に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：1870年頃【県内への侵入】120：明治以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,8,19,22,41,42,50,53,55,62,66,74,78【文献県内】60,31

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.175	アレチナズナ	D	C	A
	<i>Alyssum alyssoides</i> L.			

【原産地】欧州【国内分布】本州、【県内分布】船橋など東京湾岸に散在【生育状況】極少【生活形】冬緑・2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏【日本への侵入】210：1961年【県内への侵入】210：1969年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,14,15,41,42,50,56,57,59,66,78,85【文献県内】61,60,81,35,33

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.176	シロイヌナズナ	C	C	B
Arabidopsis thaliana (L.) Heynh.				

【原産地】ユーラシア【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】北総の市街地に散在【生育状況】極多【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】220：不明（自生の可能性あり）【県内への侵入】220：昭和以前【侵入の影響】312,420,シバ地【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,12,22,37,42,53,57,66,74【文献県内】10,60,大野景德・竹内美亀 1995. シロイヌナズナが八千代市に生育する.千葉県植物誌資料 3:8.,田井中信子 1995. 千葉市内のシロイヌナズナ.千葉県植物誌資料 3:8.,大場達之 1995. シロイヌナズナ蛇足.千葉県植物誌資料 3:8.

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.177	ミヤマハタザオ	D	C	A
Arabis lyrata L. var. kamtschatica Fischer				

【原産地】日本、北東アジア【国内分布】北海道、本州、四国、【県内分布】船橋（一時帰化？）【生育状況】極少【生活形】夏緑・草本【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】230：自生【県内への侵入】230：昭和【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】57【文献県内】60

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.178	セイヨウワサビ	D	C	A
Armoracia rusticana P.Gaert., B.May. et Schreb."				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、【県内分布】柏市、富里市【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：明治【県内への侵入】110：平成以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,14,15,19,22,41,42,50,55,56,57,59,66,74,78,85【文献県内】60

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.179	ハルザキヤマガラシ	C	C	B
Barbarea vulgaris				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主として北総の市街地に散在【生育状況】中程度【生活形】冬緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：明治【県内への侵入】210：昭和30年代後半以降【侵入の影響】411【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,74,78,85【文献県内】61,60,29

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.180	カラシナ	B	B	B
Brassica juncea Czern.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主として北総に分布【生育状況】極多【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120,220：1976年以前【県内への侵入】120,220：昭和30年代後半以降【侵入の影響】212,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,15,19,22,41,42,50,55,56,57,59,66,67,78,85【文献県内】60,10

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.181	セイヨウアブラナ (アブラナを含む)	B	B	B
Brassica napus L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、九州、【県内分布】全県に分布【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】110：明治【県内への侵入】110：昭和【侵入の影響】212,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,12,15,22,41,42,42,50,53,57,59,66,67【文献県内】60,10

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.182	ハナナ	D	C	A
Brassica napus L. form.				

【原産地】日本で育種【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】北総の市街地、ワイルドフラワーの残存【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：明治【県内への侵入】120：昭和【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】60【文献県内】-

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.183	クロガラシ	D	C	
Brassica nigra Koch				

【原産地】欧州～西アジア【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】富里市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1947年以前【県内への侵入】210：昭和30年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,14,19,22,41,42,55,56,78,85【文献県内】60

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.184	ハリゲナタネ	C	A	A
Brassica tornefortii Gouan				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】本州、四国、【県内分布】柏市、流山市【生育状況】中程度、柏市中心にふえており、一面群生し、微細なとげがある【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1978年以前【県内への侵入】210：平成【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】41,42,57【文献県内】木村陽子・蓮見和子・小土井智行 2007. ハリゲナタネの千葉県での分布状況. 千葉県植物誌資料 23:202-203.

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.185	オニハマダイコン	A	A	
Cakile edentula (Bigel.) Hook.				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、【県内分布】銚子、九十九里【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】海流散布：夏【日本への侵入】230：1981年【県内への侵入】300(海流散布)：2007年以前【侵入の影響】212,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,19,41,42,56,57,59,66,78【文献県内】鶴岡繁・木村陽子 2008. ハマベンケイソウ(ムラサキ科), 銚子に出現. 千葉県植物誌資料 24:226-228. (タイトルにははっていないが、この中でオニハマダイコンも新産報告)

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.186	アマナズナ	D	C	A
Camelina alyssum Thell.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、【県内分布】成田市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草
 【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1956年頃【県内への侵入】210：昭和30年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,8,12,14,19,22,42,50,53,55,56,57,66,69,78,85【文献県内】60

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.187	ヒメアマナズナ	D	C	A
Camelina microcarpa Andr. et DC.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、九州、【県内分布】袖ヶ浦市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】210：1957年【県内への侵入】210：昭和30年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】61,60,35,33

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.188	ミチタネツケバナ	C	C	B
Cardamine hirsuta L.				

【原産地】欧州～東アジア【国内分布】北海道、本州、【県内分布】主として北総に分布【生育状況】極多【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏【日本への侵入】210：1988年【県内への侵入】210：平成以前【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,19,22,41,42,53,55,57,59,66,78【文献県内】60,10

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.189	コタネツケバナ	D	C	A
Cardamine parviflora L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、九州、【県内分布】成田市【生育状況】極多【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1952年【県内への侵入】210：平成以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,66,67,78,85【文献県内】60

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.190	アコウゲンバイ	D	C	A
Cardaria draba (L.) Desv.				

【原産地】欧州【国内分布】本州、四国、【県内分布】市川市、富津市【生育状況】少ない【生活形】冬緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1951年【県内への侵入】210：昭和30年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】14,22,41,42,50,53,55,56,57,66,78,85【文献県内】61,60

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.191	ツノミナズナ	D	C	
Chorispora tenella (Pall.) DC.				

【原産地】地中海東部～中央アジア【国内分布】北海道、本州、四国、【県内分布】習志野市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】240：1953年【県内への侵入】240：1953年【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,22,41,42,50,56,57,59,66,78,85【文献県内】61

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.192	ナタネハタザオ	D	C	A
Conringia orientalis (L.) Dumort.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、【県内分布】船橋市、君津市【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1952年以前【県内への侵入】210：昭和30年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,42,50,53,56,57,66,69,78,85【文献県内】61,60

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.193	カラクサナズナ	C	C	B
Coronopus didymus (L.) J.E.Smith				

【原産地】南米・欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州、【県内分布】主として北総と南総の海岸に分布【生育状況】中程度【生活形】-【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：-【日本への侵入】210：1930年【県内への侵入】210：昭和50年代以前【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,69,78,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.194	クジラグサ	D	C	A
Descurainia sophia (L.) Webb ex Pran.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】北総に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑または冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏・秋【日本への侵入】210：1899年以前【県内への侵入】210：昭和50年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,69,74,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.195	キバナスズシロ	D	C	A
Eruca sativa Miller				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】本州、【県内分布】袖ヶ浦市【生育状況】極少【生活形】夏緑または冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏または秋【日本への侵入】210：1987年以前【県内への侵入】210：平成以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,42,50,53,55,57,59,66【文献県内】60

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.196	オハツキガラシ	D	C	A
<i>Erucastrum gallicum</i> O. E. Schulz				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】北総に散在【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：-【日本への侵入】210：1970年代以前【県内への侵入】210：1970年代以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,8,14,15,19,22,41,42,53,56,57,59,66,78,85【文献県内】61,60,35

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.197	エゾスズシロ	D	C	A
<i>Erysimum cheiranthoides</i> L.				

【原産地】ユーラシア、北米【国内分布】北海道（自生？）、本州、四国、【県内分布】成田市【生育状況】少ない【生活形】冬緑または夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏・秋【日本への侵入】210：不明【県内への侵入】210：平成以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】14,15,37,41,42,50,53,57,59,74【文献県内】60

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.198	ワサビ	D	C	
<i>Eutrema japonica</i> (Miq.) Koidz.				

【原産地】日本【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】市原市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・草本【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】110：自生【県内への侵入】110：明治以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,12,22,37,50,63【文献県内】60

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.199	ウロコナズナ	D	C	A
<i>Lepidium campestre</i> R. Br.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】東京湾岸と北総台地に散在【生育状況】少ない【生活形】冬緑または夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏・秋【日本への侵入】210：1950年【県内への侵入】210：昭和30年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,14,15,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】60,61

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.200	コシミノナズナ	D	C	A
<i>Lepidium perfoliatum</i> L.				

【原産地】欧州～西アジア【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】茂原市【生育状況】少ない【生活形】冬緑または夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏・秋【日本への侵入】210：1920年以前【県内への侵入】210：1932年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,8,14,15,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,69,78,85【文献県内】61,60

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.201	ニセマメゲンバイナズナ	D	C	A
Lepidium pinnatifidum Ledeb.				

【原産地】中欧【国内分布】本州、【県内分布】千葉市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1995年以前【県内への侵入】210：1995年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】57【文献県内】60

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.202	マメゲンバイナズナ	C	C	C
Lepidium virginicum L.				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】極多【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏・秋【日本への侵入】210：1892年前後【県内への侵入】210：明治～昭和30年代【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,55,56,58,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,35

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.203	ニワナスナ	D	C	A
Lobularia maritima Desv.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】全国で栽培【県内分布】北総に散在、ワイルドフラワーの残存【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草、多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：明治以降【県内への侵入】120：昭和30年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,50,55,57,59,62,66,74【文献県内】60

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.204	ゴウダソウ	D	C	A
Lunaria annua L.				

【原産地】欧州【国内分布】全国で栽培【県内分布】富里市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：1901年【県内への侵入】120：平成以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,14,19,22,41,42,50,55,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】60,10

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.205	オランダガラシ	A	A	C
Nasturtium officinale				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】極多【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】110：1870年頃【県内への侵入】110：昭和20年代以前【侵入の影響】212,322【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）、クレソンとして栽培【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,21,22,41,42,50,52,53,55,56,57,59,69,74,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.206	タマガラシ	D	C	A
<i>Neslia paniculata</i> (L.) Desv. var. <i>thracica</i> (Valen.) Bornm.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】北海道、本州、【県内分布】船橋市、松戸市【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：昭和初期【県内への侵入】210：昭和30年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,8,14,15,42,50,55,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】61,60

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.207	ショカツサイ	C	C	B
<i>Orychophragmus violaceus</i> (L.) O.E.Schulz				

【原産地】中国【国内分布】全国で栽培【県内分布】主として北総・南総に分布【生育状況】多い【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：1940年代【県内への侵入】120：昭和以降【侵入の影響】212,420【外来種対策】-【備考】逸出しやすい、花ゲリラと称し、空き地にまかれることがあった。別名：オオアラセイトウ、ムラサキハバナ、ハナダイコン、シキンサイ【文献全般】3,7,8,42,50,53,57,59,65,67,74【文献県内】60,10,35

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.208	セイヨウノダイコン	D	C	A
<i>Raphanus raphanistrum</i> L.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】船橋、北総に散在【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】水散：夏【日本への侵入】210：1929年以前【県内への侵入】210：1950年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】60,61

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.209	ミヤガラシ	D	C	B
<i>Rapistrum rugosum</i> All. var. <i>venosum</i> DC.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主として北総東部に分布【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1941年以前【県内への侵入】210：昭和30年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,69,78,85【文献県内】60,61

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.210	ミミイヌガラシ	D	C	A
<i>Rorippa austriaca</i> (Crantz) Besser				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、【県内分布】佐倉市、船橋市、酒々井町【生育状況】少ない【生活形】冬緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1974年【県内への侵入】210：昭和40年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,15,22,42,53,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】60,61

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.211	キレハイヌガラシ	C	C	A
	<i>Rorippa sylvestris</i> (L.) Besser			

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、【県内分布】北総に散在【生育状況】少ない。東葛地方では、散見される【生活形】冬緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1963年【県内への侵入】210：平成以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1, 3, 8, 14, 15, 19, 22, 41, 42, 50, 53, 55, 56, 57, 59, 66, 74, 78, 85【文献県内】60, 61, 10

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.212	シロガラシ	D	C	A
	<i>Sinapis alba</i> L.			

【原産地】地中海沿岸【国内分布】北海道、本州、【県内分布】船橋市、富里市【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：明治中期【県内への侵入】210：昭和30年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1, 3, 7, 8, 15, 22, 41, 42, 50, 53, 55, 56, 57, 59, 66, 78, 85【文献県内】60

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.213	ノハラガラシ	A	A	B
	<i>Sinapis arvensis</i> L.			

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、【県内分布】船橋市、富里市、我孫子市、銚子市【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1928年【県内への侵入】210：昭和30年代後半以降【侵入の影響】312, 有毒【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1, 7, 8, 14, 15, 19, 22, 42, 50, 53, 55, 56, 57, 59, 66, 69, 78, 85【文献県内】60, 61

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.214	ハタザオガラシ	D	C	B
	<i>Sisymbrium altissimum</i> L.			

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主として北総に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・草本【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1926年以前【県内への侵入】210：昭和30年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1, 3, 7, 8, 12, 14, 15, 19, 22, 41, 42, 50, 53, 55, 56, 57, 59, 66, 69, 78, 85【文献県内】60, 61

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.215	ホソエガラシ	D	C	A
	<i>Sisymbrium irio</i> L.			

【原産地】欧州南部【国内分布】本州、【県内分布】船橋市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】220：1955年【県内への侵入】220：昭和30年代後半以降【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3, 7, 14, 22, 41, 42, 53, 55, 56, 57, 59, 66, 67, 78, 85【文献県内】60

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.216	ハマカキネガラシ	C	C	B
<i>Sisymbrium officinale</i> (L.) Scop. var. <i>leiocarpum</i> DC.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】野田市【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】220：1902年以前【県内への侵入】220：昭和30年代後半以降【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,12,14,42,50,55,66,78,85【文献県内】61,53

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.217	ケカキネガラシ	C	C	B
<i>Sisymbrium officinale</i> (L.) Scop. var. <i>officinale</i>				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】北総東部に分布【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】220：1902年？【県内への侵入】220：昭和30年代後半以降【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,42,57【文献県内】60

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.218	イヌカキネガラシ	C	C	B
<i>Sisymbrium orientale</i> L.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主として北総東部に分布【生育状況】中程度【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】220：1912年【県内への侵入】220：昭和30年代後半以降【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,60,31,35

種子植物	アブラナ科	影響度	緊急度	容易性
No.219	ゲンバイナズナ	D	C	B
<i>Thlaspi arvense</i> L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主として北総に分布【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏【日本への侵入】210：江戸時代【県内への侵入】210：明治～昭和30年代【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,15,19,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31,35

種子植物	スズカケノキ科	影響度	緊急度	容易性
No.220	アメリカスズカケノキ	D	C	A
<i>Platanus occidentalis</i> L.				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】鴨川市【生育状況】極少【生活形】落葉高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：明治【県内への侵入】120：明治～昭和30年代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,38,63【文献県内】60

種子植物	スズカケノキ科	影響度	緊急度	容易性
No.221	スズカケノキ	D	C	B
	<i>Platanus orientalis</i> L.			

【原産地】中国【国内分布】全国（栽培）【県内分布】各地に栽培【生育状況】極少【生活形】落葉高木
 【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：明治【県内への侵入】120：明
 治～昭和30年代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,38,63【文献県内】60

種子植物	スズカケノキ科	影響度	緊急度	容易性
No.222	モミジバスズカケノキ	D	C	B
	<i>Platanus x acerifolia</i> Willd.			

【原産地】雑種由来の園芸種【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地に散在【生育状況】
 極少【生活形】落葉高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：明治
 【県内への侵入】120：明治～昭和30年代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,38,
 63【文献県内】60

種子植物	マンサク科	影響度	緊急度	容易性
No.223	イスノキ	D	C	
	<i>Distylium racemosum</i> Siebold et Zucc.			

【原産地】日本、台湾、中国【国内分布】本州西部・四国・九州【県内分布】主として東京湾側の平地に散
 在【生育状況】極少【生活形】常緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への
 侵入】自生：自生【県内への侵入】120,152：明治以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文
 献全般】6,38,63【文献県内】60

種子植物	ベンケイソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.224	オノマンネングサ	D	C	B
	<i>Sedum lineare</i> Thunb.			

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州（栽培も含む）【県内分布】各地に散在【生育状況】中程度
 【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：江戸
 時代？【県内への侵入】120：江戸時代？【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】国内帰化【文献全
 般】8,12,22,42,53,57,74【文献県内】60

種子植物	ベンケイソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.225	マルバマンネングサ	D	C	
	<i>Sedum makinoi</i> Maxim.			

【原産地】本州西部、四国（自生）、九州【国内分布】本州西部、四国（自生）、九州【県内分布】主とし
 て北総東部に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】
 風散：夏【日本への侵入】自生：自生【県内への侵入】120：江戸時代？【侵入の影響】なし【外来種対
 策】-【備考】-【文献全般】3,7,22,37,50,63,65,74【文献県内】60,61

種子植物	ベンケイソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.226	メキシコマンネングサ	C	C	B
Sedum mexicanum Britton				

【原産地】中国東部？メキシコは經由地【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】各地に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：1969年【県内への侵入】120：昭和30年代後半以降【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,22,37,41,42,53,57,59,66,67,74【文献県内】60,10

種子植物	ベンケイソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.227	ツルマンネングサ	C	C	B
Sedum sarmentosum Bunge				

【原産地】朝鮮～中国北部【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地に分布【生育状況】中程度【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：1941年以前【県内への侵入】120：昭和30年代後半以降【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,56,57,59,63,66,74,78,85【文献県内】60,10

種子植物	ベンケイソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.228	ヨコハママンネングサ	C	C	
Sedum sp.				

【原産地】不明【国内分布】本州、【県内分布】各地に散在【生育状況】少ない【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】230：平成【県内への侵入】230：平成【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,53,57,66【文献県内】岩槻秀明 2007.千葉県野田市でヨコハママンネングサ確認.千葉県植物誌資料 23:204.

種子植物	ベンケイソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.229	オカタイトゴメ	C	C	B
Sedum uniflorum Hook. et Arnott subsp. oryzifolium (Makino) H.Ohba var. pumilum H.Ohba				

【原産地】中国？【国内分布】本州、【県内分布】各地に分布【生育状況】多い【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：1980年代以降？【県内への侵入】120：平成以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,22,53,55,57,66【文献県内】60,10

種子植物	ベンケイソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.230	メノマンネングサ	D	C	
Sedum uniflorum subsp. japonicum (Siebold) H. Ohba				

【原産地】本州、四国、九州（自生）【国内分布】本州、四国、九州（自生）【県内分布】富里市、富津市【生育状況】少ない【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】自生：自生【県内への侵入】120：昭和以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】国内帰化【文献全般】7,12,37,65【文献県内】60

種子植物	バラ科	影響度	緊急度	容易性
No.231	イワムシロ	D	C	A
<i>Aphanes arvensis</i> L.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】本州、九州、【県内分布】市原市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草 また 夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散：夏【日本への侵入】220：1960年【県内への侵入】220：2009年【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】侵入確認：2009.7.11 小土井智行（県内2例目）【文献全般】14,42,50,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】60,平田和弘 2000. イワムシロ?帰化植物の悲しいサダメ?.千葉県植物誌資料 15:110-111.

種子植物	バラ科	影響度	緊急度	容易性
No.232	ソメイヨシノ	C	C	B
<i>Cerasus yedoensis</i> (Matsum.) A.V.Vassil. (syn.)				

【原産地】日本・交雑種【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】各地に栽培【生育状況】多い（逸出は極少）【生活形】落葉高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒・鳥媒【散布形態】鳥食散：夏【日本への侵入】交雑選抜：-【県内への侵入】120,大部分は植栽：-【侵入の影響】100,211【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,6,7,22,48,62,63,65【文献県内】61,60

種子植物	バラ科	影響度	緊急度	容易性
No.233	ビワ	D	C	C
<i>Eriobotrya japonica</i> (Thunb.) Lindl.				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】各地に分布【生育状況】少ない【生活形】常緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：夏【日本への侵入】110：江戸時代以前【県内への侵入】110：江戸時代【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,7,22,38,48,53,63,74【文献県内】61,60

種子植物	バラ科	影響度	緊急度	容易性
No.234	カナメモチ	D	C	B
<i>Photinia glabra</i> (Thunb. ex Murray) Maxim.				

【原産地】中国、本州西部、四国（自生）、九州（自生）【国内分布】本州西部、四国（自生）、九州（自生）【県内分布】主として北総に散在【生育状況】少ない【生活形】常緑・中高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】自生：自生【県内への侵入】120,152：江戸時代【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,7,40,48,63,74【文献県内】61,60

種子植物	バラ科	影響度	緊急度	容易性
No.235	オオカナメモチ	D	C	A
<i>Photinia serrulata</i> Lindl.				

【原産地】中国、フィリピン、台湾、琉球【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】富津市、市原市、富里市【生育状況】極少【生活形】常緑・中高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120,152：昭和以前【県内への侵入】120：昭和以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,38,48,63,67【文献県内】60

種子植物	バラ科	影響度	緊急度	容易性
No.236	コバナキジムシロ	C	C	B
Potentilla amurensis Maxim.				

【原産地】中国北部～朝鮮半島【国内分布】本州、【県内分布】主として利根川沿いに散在【生育状況】多い【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】220：1930年以前【県内への侵入】220：1960年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,14,15,19,22,41,50,56,57,59,66,78,85【文献県内】61,60,31

種子植物	バラ科	影響度	緊急度	容易性
No.237	ハイキジムシロ	D	C	A
Potentilla anglica Laichard.				

【原産地】欧州【国内分布】本州、【県内分布】八千代市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】220：1997年【県内への侵入】220：1999年【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,22,42,53,56,57,59,66【文献県内】60,大野景德 2000. 八千代市に帰化したハイキジムシロ, ナガエコミカンソウ, アメリカカカシグサ.千葉県植物誌資料 15:108-109.

種子植物	バラ科	影響度	緊急度	容易性
No.238	ミツモトソウ	D	C	
Potentilla cryptotaeniae Maxim. var. insularis Kitag.				

【原産地】日本【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】市原市【生育状況】少ない。在来種の国内帰化？【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】自生：自生【県内への侵入】220：1989年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】国内帰化【文献全般】3,22,37,50,74【文献県内】60

種子植物	バラ科	影響度	緊急度	容易性
No.239	オキジムシロ	C	C	B
Potentilla paradoxa Nutt.				

【原産地】欧州【国内分布】本州、【県内分布】各地に分布【生育状況】多い【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】220：1950年以前【県内への侵入】220：1959年【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	バラ科	影響度	緊急度	容易性
No.240	オオヘビイチゴ	D	C	A
Potentilla recta L.				

【原産地】欧州【国内分布】本州【県内分布】主として北総東部に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120,220：明治中期（栽培）【県内への侵入】220：1957年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,8,14,15,19,22,41,42,50,55,56,57,59,78,85【文献県内】61,60

種子植物	バラ科	影響度	緊急度	容易性
No.241	タチバナモドキ	B	B	B
Pyracantha angustifolia Schneid.				

【原産地】中国西南部【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地に散在【生育状況】少ない
 【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：冬【日本への侵入】120,152：1890年頃【県内への侵入】120,152：昭和初期（栽培）【侵入の影響】212,420(果実が目だつ)【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,6,8,19,22,42,53,55,57,59,62,66,74,78【文献県内】60,31

種子植物	バラ科	影響度	緊急度	容易性
No.242	トキワサンザシ	B	B	B
Pyracantha coccinea Roem.				

【原産地】西アジア【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地に散在【生育状況】少ない
 【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：冬【日本への侵入】120,152：明治【県内への侵入】120,152：昭和初期（栽培）【侵入の影響】212,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,22,42,53,57,62,66【文献県内】60

種子植物	バラ科	影響度	緊急度	容易性
No.243	カザンデマリ	B	B	B
Pyracantha crenulata Roem.				

【原産地】ヒマラヤ【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】北総東部に散在【生育状況】少ない
 【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：冬【日本への侵入】120,152：昭和初期【県内への侵入】120,152：平成以前【侵入の影響】212,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,22,42,53,62,66【文献県内】60,10

種子植物	バラ科	影響度	緊急度	容易性
No.244	シャリンバイ	B	B	B
Raphiolepis umbellata (Thunb.) Makino				

【原産地】本州西部、四国、九州（自生）【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】主として北総東部と安房の海岸【生育状況】少ない【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：冬【日本への侵入】自生：自生【県内への侵入】120,152：昭和時代【侵入の影響】100,212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,7,12,22,38,48,63,67,74【文献県内】61,60

種子植物	バラ科	影響度	緊急度	容易性
No.245	シロヤマブキ	D	C	A
Rhodotypos scandens (Thunb.) Makino				

【原産地】中国、朝鮮半島、日本（中国地方・自生）【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主として北総に散在【生育状況】極少【生活形】落葉低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120（自生もあり）：江戸時代、自生【県内への侵入】120,152：昭和以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,8【文献県内】60

種子植物	バラ科	影響度	緊急度	容易性
No.246	オニクロイチゴ	D	C	A
	<i>Rubus argutus</i> Link			

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、【県内分布】佐倉市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・低木
 【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：夏【日本への侵入】120：1999年以前【県内への侵入】120：1999年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】66【文献県内】60,10

種子植物	バラ科	影響度	緊急度	容易性
No.247	セイヨウヤブイチゴ	B	B	A
	<i>Rubus fruticosus</i> L.			

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】柏市、千葉市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：夏【日本への侵入】120：1950年以前【県内への侵入】120：昭和末期以前【侵入の影響】212,トゲがあり,川岸などで広範囲にひろがる【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,8,12,15,19,22,41,42,53,55,56,57,59,66,69,74,78,85【文献県内】60,31

種子植物	バラ科	影響度	緊急度	容易性
No.248	ユキヤナギ	C	C	B
	<i>Spiraea thunbergii</i> Siebold ex Blume			

【原産地】中国、本州、四国、九州（自生？）【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主として北総、南総に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120,152：自生？【県内への侵入】120,152：江戸時代？【侵入の影響】212,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,6,22,65,74【文献県内】60,10

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.249	イタチハギ	B	B	B
	<i>Amorpha fruticosa</i>			

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地に分布【生育状況】少ない【生活形】夏緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】111,151：大正【県内への侵入】151：昭和30年代前半以降【侵入の影響】212,420【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（緑化植物）【文献全般】1,3,6,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,78,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.250	アメリカホドイモ	D	C	A
	<i>Apios americana</i> Medic.			

【原産地】北米東南部【国内分布】北海道、本州、【県内分布】富里市、柏市、大多喜町（栽培）【生育状況】少ない【生活形】夏緑・つる性草本【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：明治中期【県内への侵入】120：平成以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,14,15,21,42,50,53,57,59,66【文献県内】61,60,31

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.251	ゲンゲ	C	C	B
Astragalus sinicus L.				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】各地で栽培、一部逸出【生育状況】中程度（栽培は極多）【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏【日本への侵入】120：室町【県内への侵入】120：明治【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,12,22,41,42,50,53,57,58,59,69,74【文献県内】61,10,60,31

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.252	オオミツバタヌキマメ	D	C	A
Crotalaria pallida Ait. var. obovata (G.Don) Polhill				

【原産地】熱帯アジア～ポリネシア【国内分布】本州、九州、【県内分布】船橋【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：秋【日本への侵入】120：江戸時代（栽培）【県内への侵入】120：平成以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,42,50,55,56,57,58,58,59,66,78【文献県内】60,11

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.253	カワリバマキエハギ	D	C	
Desmodium heterophyllum (Willd.) DC.				

【原産地】アジア南部、オーストラリア、アフリカ【国内分布】本州、【県内分布】船橋市で一時帰化【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散：秋【日本への侵入】241：1970年以前【県内への侵入】241：1999年【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】67【文献県内】60

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.254	アレチヌスビトハギ	C	B	B
Desmodium paniculatum (L.) DC.				

【原産地】北米【国内分布】本州、【県内分布】主として北総東部に分布【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散：秋【日本への侵入】230：1940年【県内への侵入】230：昭和40年代後半以降【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】60,10

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.255	ハイマキエハギ	D	C	A
Desmodium triflorum (L.) DC.				

【原産地】南アジア、小笠原、琉球（自生）【国内分布】本州【県内分布】船橋市で一時帰化【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散：秋【日本への侵入】240：自生【県内への侵入】240：1999年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】57,67【文献県内】60,11

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.256	ニワフジ	D	C	A
Indigofera decora Lindl.				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】各地に散在、各地で栽培【生育状況】極少
 【生活形】夏緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,37,50,62,63,65【文献県内】61,60

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.257	キダチコマツナギ(仮称)	B	B	
Indigofera pseudotinctoria Matsum.				

【原産地】中国【国内分布】本州、主として全国に分布【県内分布】南房総市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：秋【日本への侵入】151：平成以前【県内への侵入】151：平成10年以降【侵入の影響】100,212【外来種対策】-【備考】学名に問題があり、現在の所、コマツナギの学名と同じになってしまう。形態で中国産は区別できる。【文献全般】-【文献県内】木村陽子 2007. キダチコマツナギ(大型コマツナギ)が流山市で記録.千葉県植物誌資料 22:194-196.

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.258	セイヨウミヤコグサ	C	C	B
Lotus corniculatus L. subsp. corniculatus				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地に散在【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏【日本への侵入】220：1946年以前【県内への侵入】220：昭和末期以降【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,58,59,66,74,78,85【文献県内】61,60,35

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.259	ネビキミヤコグサ	D	C	A
Lotus pedunculatus Cav.				

【原産地】欧州～アフリカ【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】千葉市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏【日本への侵入】240：1974年【県内への侵入】240：1982年【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,15,19,22,41,42,53,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】60

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.260	ワタリミヤコグサ	D	C	A
Lotus tenuis Waldst. et Kit. ex Willd.				

【原産地】欧州～アフリカ【国内分布】本州、【県内分布】白井市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏【日本への侵入】240：1970年頃【県内への侵入】240：1973年【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,8,15,19,22,41,42,53,55,56,57,59,66,67,78,85【文献県内】61,60

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.261	コメツブウマゴヤシ	C	C	C
Medicago lupulina L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草 また 冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】111：江戸時代【県内への侵入】111：1927年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,22,41,42,50,55,56,57,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31,35

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.262	コウマゴヤシ	C	C	B
Medicago minima (L.) Bartal.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主として海岸部に散在【生育状況】中程度【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】111：1868年前後【県内への侵入】111：1923年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,60,35

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.263	ウマゴヤシ	C	C	B
Medicago polymorpha L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地に散在【生育状況】中程度【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散：夏【日本への侵入】111：江戸時代【県内への侵入】111：1923年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,60

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.264	ムラサキウマゴヤシ	C	C	B
Medicago sativa L.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】各地に散在、牧草として栽培【生育状況】少ない。牧草として極多【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】111：1870年前後【県内への侵入】111：1931年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,60,31

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.265	コシナガワハギ	C	C	B
Melilotus indica (L.) All.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主に北総西部に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1939年以前【県内への侵入】210：昭和30年代後半以降【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,41,42,50,53,55,56,57,58,59,66,67,69,78,85【文献県内】61,60

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.266	シロバナシナガワハギ	C	C	B
Melilotus officinalis (L.) Pall. subsp. alba (Medic.) H.Obashi et Tateishi				

【原産地】中央アジア【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主に北総西部に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】111：江戸時代末期【県内への侵入】111：昭和30年代後半以降【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,41,42,50,53,55,56,57,58,59,66,67,69,78,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.267	シナガワハギ	C	C	B
Melilotus officinalis (L.) Pall. subsp. suaveolens (Ledeb.) H.Obashi				

【原産地】アジア【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】北総及び南総・安房の海岸部【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】111,江戸時代,ユーラシアから：1856年以前【県内への侵入】111：昭和30年代後半以降【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,41,42,50,53,55,56,58,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.268	ハリエンジュ	A	B	C
Robinia pseudoacacia				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110,120：1877年頃【県内への侵入】110,120：昭和初期栽培？【侵入の影響】411,212【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（緑化植物）【文献全般】1,3,7,8,19,22,48,53,55,56,57,66,67,69,74,78【文献県内】61,10,60,31

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.269	ミヤコグサモドキ	D	C	
Rothia indica (L.) Thun				

【原産地】アジア南部・東南アジア・オーストラリア【国内分布】本州、【県内分布】船橋市に一時帰化【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：秋【日本への侵入】241：1999年以前【県内への侵入】241：1999年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】60

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.270	タマザキクサフジ	D	C	
Securigera varia (L.) Lassen				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、【県内分布】四街道市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏【日本への侵入】210：1951年【県内への侵入】210：平成以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】文献情報なし、千葉県立中央博物館収蔵標本（四街道市、2006.6.10、CBM-BS-234409）【文献全般】1,3,22,41,42,56,57,59,66,78【文献県内】-

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.271	アメリカツノクサネム	D	C	B
Sesbania exaltata (Raf.) Rydb.ex A.W.Hill				

【原産地】北米・中米【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】主に北総西部に分布【生育状況】極少
 【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：1953年
 【県内への侵入】240：1988年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,78,85【文献県内】61,60,31

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.272	トガリバツメクサ	D	C	A
Trifolium angustifolium L.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】北海道、本州、四国、【県内分布】市川市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】240：1953年【県内への侵入】240：平成以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,14,15,19,41,42,50,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】60

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.273	シャグマハギ	D	C	A
Trifolium arvense L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、【県内分布】千葉市、富里市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】220：1950年代【県内への侵入】220：昭和30年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,78,85【文献県内】60

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.274	クスタマツメクサ	C	C	B
Trifolium campestre Schreb.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主に北総西部に分布【生育状況】中程度【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】220：1943年【県内への侵入】220：昭和30年代後半以降【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.275	コメツブツメクサ	C	C	C
Trifolium dubium Sibth.				

【原産地】欧州～西アジア【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】極多【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】220：1935年【県内への侵入】220：昭和初期後半以降【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,58,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.276	ツメクサダマシ	D	C	A
	<i>Trifolium fragiferum</i> L.			

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、【県内分布】千葉市、佐倉市【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】220：1939年以前【県内への侵入】220：昭和30年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,14,15,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】61,66

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.277	タチオランダゲンゲ	D	C	B
	<i>Trifolium hybridum</i> L.			

【原産地】欧州～西アジア【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】北総・南総西部【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】111：明治【県内への侵入】111：昭和30年代後半以降【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,35

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.278	ベニバナツメクサ	D	C	B
	<i>Trifolium incarnatum</i> L.			

【原産地】欧州～西アジア【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主に北総西部に分布【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：明治【県内への侵入】120：昭和30年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】園芸植物として栽培されている（ストロベリー・トーチ）【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,55,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】61,60

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.279	ムラサキツメクサ	C	C	C
	<i>Trifolium pratense</i> L.			

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県の分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】111：1868年前後【県内への侵入】111：昭和初期以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,58,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31,35,木村陽子・岩槻秀明 2007. 野田市で採集された無花弁・重萼型ムラサキツメクサと遺伝子変異. 千葉県植物誌資料 23:205.

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.280	シロツメクサ	C	C	C
	<i>Trifolium repens</i> L.			

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】多い【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】111：江戸時代【県内への侵入】111：昭和初期以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,58,59,66,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31,35

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.281	ヒナツメクサ	D	C	A
<i>Trifolium resupinatum</i> L.				

【原産地】欧州【国内分布】本州、九州、【県内分布】富津市、市原市、流山市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1952年【県内への侵入】210：1992年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】14,22,42,50,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】60,木村陽子・引田園子・関口晋太郎 2007. 流山市に出現したヒナツメクサとコメバミソハギ. 千葉県植物誌資料 22:191-194.

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.282	オオカラスノエンドウ	D	C	A
<i>Vicia sativa</i> L. var. <i>sativa</i>				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】市川市、芝山町【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏【日本への侵入】111：大正【県内への侵入】111：昭和初期【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,14,19,22,50,55,56,57,59,67,69,78,85【文献県内】61,60

種子植物	マメ科	影響度	緊急度	容易性
No.283	ナヨクサフジ	C	C	B
<i>Vicia villosa</i> Roth subsp. <i>varia</i> (Host) Corb.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】北総に散在【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】220：1943年以前【県内への侵入】220：1996年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,8,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】60

種子植物	カタバミ科	影響度	緊急度	容易性
No.284	イモカタバミ	C	C	C
<i>Oxalis articulata</i> Savigny				

【原産地】南米【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】全県に分布【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏～秋【日本への侵入】120：1967年以前【県内への侵入】120：1965年以前【侵入の影響】212,321【外来種対策】-【備考】逸出をよくみかける【文献全般】7,8,14,15,19,22,41,42,53,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	カタバミ科	影響度	緊急度	容易性
No.285	ハナカタバミ	D	C	B
<i>Oxalis bowiei</i> Lindl.				

【原産地】アフリカ南部【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】全県に分布【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏【日本への侵入】120：江戸時代末期【県内への侵入】120：昭和20年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,55,56,57,59,62,66,67,69,74,78,85【文献県内】60,10

種子植物	カタバミ科	影響度	緊急度	容易性
No.286	ベニカタバミ	C	C	B
Oxalis brasiliensis Lodd.				

【原産地】南米【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】全県に分布【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏～秋【日本への侵入】120：1954年【県内への侵入】120：1989年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】14,15,22,41,42,53,56,57,59,62,63,66,78,85【文献県内】61,60,31

種子植物	カタバミ科	影響度	緊急度	容易性
No.287	ムラサキカタバミ	B	B	C
Oxalis corymbosa				

【原産地】南米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏【日本への侵入】120：江戸時代末期【県内への侵入】120：昭和初期以前【侵入の影響】212,321【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,58,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	カタバミ科	影響度	緊急度	容易性
No.288	オッタチカタバミ	C	C	B
Oxalis dillenii Jacq.				

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】主に北総西部に分布【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏～秋【日本への侵入】220：1965年以前【県内への侵入】220：1991年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,15,19,22,41,42,53,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】60,10

種子植物	カタバミ科	影響度	緊急度	容易性
No.289	オオキバナカタバミ	C	C	A
Oxalis pes-caprae L.				

【原産地】南アフリカ【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】鴨川市、千葉市【生育状況】少ない【生活形】冬緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏【日本への侵入】120：1967年以前【県内への侵入】120：1991年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,12,15,22,41,42,50,53,57,59,63,66,67【文献県内】60

種子植物	カタバミ科	影響度	緊急度	容易性
No.290	フヨウカタバミ	C	C	A
Oxalis variabilis Jacq.				

【原産地】アフリカ南部【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】鴨川市、千葉市【生育状況】少ない【生活形】冬緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏【日本への侵入】120：1890年【県内への侵入】120：1991年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】15,41,42,50,55,56,57,59,62,63,66,78,85【文献県内】60

種子植物	フウロソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.291	ツノミオランダフウロ	D	C	A
Erodium botrys (Cav.) Bertol.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】本州、【県内分布】市川市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草
 【繁殖形態】 - 【散布形態】自散：夏【日本への侵入】240：1954年【県内への侵入】240：1954年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】7,14,22,42,50,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】61,60

種子植物	フウロソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.292	オランダフウロ	D	C	B
Erodium cicutarium (L.) L'Her.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】本州、【県内分布】各地に散在【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏【日本への侵入】240：江戸時代【県内への侵入】240：1967年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,69,74,78,85【文献県内】61,60,33

種子植物	フウロソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.293	ジャコウオランダフウロ	D	C	A
Erodium moschatum (L.) L'Herit.				

【原産地】ユーラシア（広域）・アフリカ【国内分布】本州、四国、【県内分布】市川市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏【日本への侵入】240：1957年【県内への侵入】240：1957年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】1,7,14,15,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】60

種子植物	フウロソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.294	アメリカフウロ	C	C	C
Geranium carolinianum L.				

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】全県に分布【生育状況】多い【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏～秋【日本への侵入】210：1932年【県内への侵入】210：1981年以前【侵入の影響】212【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,58,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	フウロソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.295	オトメフウロ	D	C	A
Geranium dissectum L.				

【原産地】欧州【国内分布】本州、【県内分布】南房総市【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏【日本への侵入】210：1950年以前【県内への侵入】210：2005年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】1,22,42,55,56,57,59,66,78【文献県内】寺村敬子 2006. 印旛村岩戸でオトメフウロを確認.千葉県植物誌資料 21:167-169.

種子植物	フウロソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.296	チゴフウロ	D	C	A
Geranium pusillum L.				

【原産地】欧州【国内分布】本州、四国、【県内分布】富津市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草
 【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏【日本への侵入】210：1932年【県内への侵入】210：1969年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,14,15,22,42,50,55,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】60,29

種子植物	フウロソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.297	ヒメフウロ	D	C	A
Geranium robertianum L.				

【原産地】ユーラシア、北米、南米【国内分布】本州、四国、【県内分布】主として北総に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：夏～秋【日本への侵入】120：自生【県内への侵入】120：1997年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,22,53,57【文献県内】60

種子植物	アマ科	影響度	緊急度	容易性
No.298	ヒメアマ	D	C	A
Linum bienne Miller.				

【原産地】-【国内分布】本州、【県内分布】八千代市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】220：1991年以前【県内への侵入】220：1991年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】60

種子植物	アマ科	影響度	緊急度	容易性
No.299	キバナノマツバニンジン	B	B	B
Linum medium (Planch.) Britton				

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】主として北総に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】220：1943年以前【県内への侵入】220：1907年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,53,56,57,59,66,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	アマ科	影響度	緊急度	容易性
No.300	シュクコンアマ	D	C	A
Linum perenne L.				

【原産地】欧州【国内分布】本州、【県内分布】我孫子市、印旛村、市原市【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：明治【県内への侵入】120：1977年以前（1933年栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】42,50,59,63,66,74【文献県内】61,60,33

種子植物	アマ科	影響度	緊急度	容易性
No.301	アマ	D	C	A
	<i>Linum usitatissimum</i> L.			

【原産地】中央アジア? 【国内分布】 - 【県内分布】船橋市、千葉市【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】110：江戸時代（元禄年間）【県内への侵入】110：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】1,7,8,19,22,42,50,53,57,59,62,63,66,78【文献県内】61,60

種子植物	トウダイグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.302	オオバベニガシワ	D	C	B
	<i>Alchornea davidii</i> Franch.			

【原産地】中国南部【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】東京湾側都市部に散在【生育状況】極少【生活形】落葉低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：昭和30年代以前【県内への侵入】120：1985年以前植栽? 【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】6,8,42,57,63【文献県内】60

種子植物	トウダイグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.303	コニシキソウ	C	C	C
	<i>Chamaesyce maculata</i> (L.) Small			

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】極多【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】210：1887年頃【県内への侵入】210：昭和初期以前【侵入の影響】212,321【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,58,58,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】10,60,31,35

種子植物	トウダイグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.304	コバノニシキソウ	D	C	A
	<i>Chamaesyce makinoi</i> (Hayata) H. Hara			

【原産地】中国・台湾・フィリピン【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】鴨川市【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】210：1951年以前【県内への侵入】210：1951年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】22,42,57,59,66【文献県内】60

種子植物	トウダイグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.305	オオニシキソウ	C	C	C
	<i>Chamaesyce nutans</i> (Lag.) Small			

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】全県に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】210：1903年【県内への侵入】210：昭和10年代以前【侵入の影響】212【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	トウダイグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.306	ハイニシキソウ	D	C	
<i>Chamaesyce prostrata</i> (Aiton) Small				

【原産地】熱帯米【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】館山市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】210：1954年以前【県内への侵入】210：1959年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,74,85【文献県内】60

種子植物	トウダイグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.307	アレチニシキソウ	C	B	A
<i>Chamaesyce</i> sp. aff. <i>prostrata</i> (Aiton) Small				

【原産地】熱帯アメリカ【国内分布】関東以南？【県内分布】船橋市坪井町 八千代市高津，保品【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】220：-【県内への侵入】-：2009年【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】木村陽子2009. 船橋市に出現したアレチニシキソウ. 千葉県植物誌資料25:246-247.

種子植物	トウダイグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.308	チャボタイゲキ	C	C	
<i>Euphorbia peplus</i> L.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】東葛には散見する【生育状況】極少、【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1940年代【県内への侵入】210：2006年栽培？【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】14,22,41,42,50,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】寺村敬子 2004. 佐倉市に帰化したチャボタイゲキ.千葉県植物誌資料 20:156.,木村陽子 2004. 流山市でもチャボタイゲキ出現.千葉県植物誌資料 20:156.

種子植物	トウダイグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.309	オガサワラコミカンソウ	D	C	A
<i>Phyllanthus debilis</i> Klein ex Willd.				

【原産地】インド？【国内分布】本州、【県内分布】船橋市で一時帰化【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】240：1999年以前【県内への侵入】240：1999年以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】50,56,57,59,66,67,74【文献県内】60

種子植物	トウダイグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.310	ナガエコミカンソウ	C	C	B
<i>Phyllanthus tenellus</i> Roxb. (syn. <i>Phyllanthus corcovadensis</i> Mill.Arg.)				

【原産地】インド洋マスカレーヌ諸島【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】主に北総西部に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】240：1987年【県内への侵入】240：2000年以前【侵入の影響】312【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,22,41,42,53,55,56,57,59,66【文献県内】60,10,大野景徳 2000. 八千代市に帰化したハイキジムシロ、ナガエコミカンソウ、アメリカカカシグサ.千葉県植物誌資料 15:108-109.

種子植物	トウダイグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.311	トウゴマ	D	C	A
Ricinus communis L.				

【原産地】アフリカ北東部【国内分布】本州、四国、九州で栽培【県内分布】北総西部に散在【生育状況】極少【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：江戸時代【県内への侵入】110：昭和初期以前栽培？【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,8,15,22,41,42,50,55,56,57,59,66,67,69,74,78【文献県内】60

種子植物	トウダイグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.312	ナンキンハゼ	B	B	B
Sapium sebiferum (L.) Roxb. (syn. Triadica sebifera (L.) Small)				

【原産地】中国【国内分布】北海道、本州、四国、九州で栽培【県内分布】北総西部に分布【生育状況】極少【生活形】夏緑・中高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：昭和初期以前栽培？【侵入の影響】411,212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,19,38,42,48,57,63,66,74,78【文献県内】60,10

種子植物	トウダイグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.313	アブラギリ	B	B	C
Vernicia cordata (Thunb.) Airy Shaw (syn. Aleurites cordata (Thunb.) R.Br. ex Stend.)				

【原産地】中国南部【国内分布】本州、四国、九州で栽培【県内分布】主に南総と安房に分布【生育状況】少ない【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：江戸時代【県内への侵入】110：昭和初期以前栽培？【侵入の影響】411,212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,42,48,55,56,63,66,67,69,74,78【文献県内】10,60,31

種子植物	トウダイグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.314	オオアブラギリ	D	C	
Vernicia fordii (Thunb.) Airy Shaw				

【原産地】中国南部【国内分布】本州、【県内分布】野田市【生育状況】極少【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：昭和初期【県内への侵入】110：昭和20年代栽培？【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】アブラギリとされている場合があるかもしれない【文献全般】63,66,67【文献県内】60

種子植物	ミカン科	影響度	緊急度	容易性
No.315	ユズ	D	C	B
Citrus junos Siebold ex Tanaka				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】各地に散在【生育状況】極少【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋～冬【日本への侵入】110：江戸時代以前【県内への侵入】110：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,38,48,63,74【文献県内】60

種子植物	ミカン科	影響度	緊急度	容易性
No.316	ナツダイダイ	D	C	B
Citrus natsudaidai Hayata				

【原産地】山口県（海岸漂着）【国内分布】本州、四国、九州、栽培【県内分布】南房総の丘陵に散在【生育状況】極少【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：冬【日本への侵入】110：江戸時代【県内への侵入】110：昭和（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,38,48,63【文献県内】60

種子植物	ミカン科	影響度	緊急度	容易性
No.317	ウンシュウミカン	D	C	A
Citrus unshu Marcovitch				

【原産地】鹿児島（中国から？）【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】富津市【生育状況】極少【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：冬【日本への侵入】110：江戸時代【県内への侵入】110：昭和【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,48,63【文献県内】60

種子植物	ミカン科	影響度	緊急度	容易性
No.318	イヌゴシュユ	D	C	A
Euodia danielli (Benn.) Hesml.				

【原産地】中国【国内分布】本州、【県内分布】船橋市【生育状況】極多【生活形】夏緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：平成以前【県内への侵入】120：2001年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6【文献県内】60

種子植物	ミカン科	影響度	緊急度	容易性
No.319	ゴシュユ	D	C	A
Euodia ruticarpa (A.Juss.) Benth.				

【原産地】中国・ヒマラヤ【国内分布】本州【県内分布】北総に散在【生育状況】極少【生活形】落葉低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,7,22,38,48,53,56,57,66,69,74【文献県内】60,31

種子植物	ミカン科	影響度	緊急度	容易性
No.320	ナガキンカン	D	C	A
Fortunella margarita Swingle				

【原産地】中国？栽培由来【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】船橋市【生育状況】極少【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：冬【日本への侵入】110：江戸時代【県内への侵入】110：昭和以前、栽培【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,38,48,63【文献県内】60

種子植物	ミカン科	影響度	緊急度	容易性
No.321	オオバノキハダ	D	C	
Phellodendron amurense Rupr. var. japonicum (Maxim.) Ohwi				

【原産地】本州(関東・中部)【国内分布】関東・中部【県内分布】船橋市【生育状況】在来種の国内帰化？
 極少【生活形】落葉低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】110：自
 生【県内への侵入】110：2000年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,38,48
 【文献県内】60

種子植物	ミカン科	影響度	緊急度	容易性
No.322	カラタチ	D	C	B
Poncirus trifoliata (L.) Rafin.				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州(栽培)【県内分布】全県に散在【生育状況】極少【生活
 形】落葉低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：冬【日本への侵入】120：奈良時代【県
 内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,38,48,63【文献
 県内】60

種子植物	二ガキ科	影響度	緊急度	容易性
No.323	ニワウルシ	C	B	B
Ailanthus altissima (Miller) Swingle				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州(栽培)【県内分布】北総に散在【生育状況】極少【生活
 形】落葉高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：明治時代【県内
 への侵入】120：昭和以前【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,22,42,50,53,5
 7,63,65,66,67,69,74【文献県内】10,60,31

種子植物	センダン科	影響度	緊急度	容易性
No.324	チャンチン	D	C	A
Cedrela sinensis A.Juss. (syn. Toona sinensis (A.Juss.) Roem.)				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州(栽培)【県内分布】千葉市【生育状況】極少【生活形】落
 葉高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵
 入】120：1920年代以前【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,7,56,57,65,66,67,69,
 74【文献県内】60

種子植物	センダン科	影響度	緊急度	容易性
No.325	センダン	C	C	C
Melia azedarach L. var. subtripinnata Miq.				

【原産地】ヒマラヤ、日本【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】市川・船橋
 でよく逸出、有毒、少ない【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：春～
 秋【日本への侵入】120：自生？【県内への侵入】120：1930年代以前【侵入の影響】420,212【外来種対
 策】-【備考】-【文献全般】6,7,22,50,53,57,67,74【文献県内】10,60,31

種子植物	ヒメハギ科	影響度	緊急度	容易性
No.326	ハリヒメハギ	C	C	B
	<i>Polygala ambigua</i> Nutt.			

【原産地】北米【国内分布】千葉県、神奈川県【県内分布】主として北総中央に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】220：1931年以前【県内への侵入】220：1931年以前【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】14,22,42,56,57,59,66,69,78【文献県内】61,10,60

種子植物	ヒメハギ科	影響度	緊急度	容易性
No.327	クルマバヒメハギ	C	C	B
	<i>Polygala verticillata</i> L.			

【原産地】北米【国内分布】千葉県【県内分布】主として北総中央に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】220：1976年【県内への侵入】220：1976年以前【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】42,56,57,59【文献県内】60

種子植物	ウルシ科	影響度	緊急度	容易性
No.328	リュウキュウハゼ	C	B	C
	<i>Rhus succedanea</i> L.			

【原産地】中国、ヒマラヤ【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】少ない【生活形】落葉高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：冬【日本への侵入】110：江戸時代【県内への侵入】110：1930年代以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,6,7,22,50,53,57,67,74【文献県内】60,10

種子植物	ウルシ科	影響度	緊急度	容易性
No.329	ウルシ	D	C	B
	<i>Rhus verniciflua</i> Stokes			

【原産地】中国、日本？【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県の丘陵に分布【生育状況】少ない【生活形】落葉低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：冬【日本への侵入】110：奈良時代【県内への侵入】110：1920年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,7,8,48,53,57,69,74【文献県内】10,60,31

種子植物	カエデ科	影響度	緊急度	容易性
No.330	トウカエデ	D	C	B
	<i>Acer buergerianum</i> Miq.			

【原産地】中国【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主として北総の都市部に分布【生育状況】極少【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：1950年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,22,50,53,57,66,74,78【文献県内】60,10

種子植物	ムクロジ科	影響度	緊急度	容易性
No.331	フウセンカズラ	D	C	
Cardiospermum halicacabum L.				

【原産地】全世界の熱帯【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】北総に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：1920年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,19,22,41,50,53,56,57,58,62,66,67,74,78【文献県内】60,31

種子植物	ムクロジ科	影響度	緊急度	容易性
No.332	モクゲンジ	D	C	A
Koelreuteria paniculata Laxm.				

【原産地】中国、朝鮮半島【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】南総に散在【生育状況】極少【生活形】落葉高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：江戸時代以前【県内への侵入】120：1990年代以前【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,22,57,67,74【文献県内】60

種子植物	ムクロジ科	影響度	緊急度	容易性
No.333	ムクロジ	D	C	B
Sapindus mukorossi Gaertn.				

【原産地】中国、東南アジア、インド【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】全県に分布【生育状況】極少【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散、鳥食散：秋【日本への侵入】110：奈良時代【県内への侵入】110：1920年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,38,48,63【文献県内】60

種子植物	ツリフネソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.334	アカボシツリフネ	A	A	A
Impatiens capensis Meerb.				

【原産地】北米【国内分布】千葉県【県内分布】野田市【生育状況】多い、利根運河などで大群落【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自散：秋【日本への侵入】120：1992年以前（千葉）【県内への侵入】120：1992年以前【侵入の影響】212,繁殖力強く、大型になるので、他の湿性植物を駆逐？【外来種対策】-【備考】-【文献全般】42,57,59【文献県内】60

種子植物	ニシキギ科	影響度	緊急度	容易性
No.335	マサキ	D	C	
Euonymus japonicus Thunb. var. japonicus				

【原産地】北海道、本州、四国、九州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】北総西部に分布【生育状況】少ない【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：冬【日本への侵入】120：自生【県内への侵入】120：明治以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,38,48,63【文献県内】60

種子植物	ツゲ科	影響度	緊急度	容易性
No.336	フッキソウ	D	C	
<i>Pachysandra terminalis</i> Siebold et Zucc.				

【原産地】北海道、本州、四国、九州【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】八街市
 【生育状況】極少【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋～冬【日本への侵入】120：自生【県内への侵入】120：平成以前(栽培)【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】逸出しているのは栽培型、分類学的に問題あり【文献全般】3,22,37,50,63,65,74【文献県内】60

種子植物	シナノキ科	影響度	緊急度	容易性
No.337	ツナソ	D	C	
<i>Corchorus capsularis</i> L.				

【原産地】インド、中国南部【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】南房総市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：明治時代以前【県内への侵入】110：1940年代以前(栽培)【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】57,59,74【文献県内】60

種子植物	シナノキ科	影響度	緊急度	容易性
No.338	タイワンツナソ	D	C	A
<i>Corchorus olitorius</i> L.				

【原産地】インド【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】市川市、松戸市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：明治以前【県内への侵入】110：1980年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】野菜名モロヘイヤ【文献全般】7,8,41,50,55,56,57,58,59,66,74,78【文献県内】60

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度	容易性
No.339	イチビ	B	B	B
<i>Abutilon theophrasti</i>				

【原産地】インド【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】極多【生活形】夏緑・草本【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】240：江戸時代以前【県内への侵入】240：1930年代以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】1,3,7,8,14,15,22,41,42,50,53,55,56,57,58,59,65,66,67,69,74,78【文献県内】61,60,31

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度	容易性
No.340	ニシキアオイ	D	C	A
<i>Anoda hastata</i> Cav.				

【原産地】メキシコ・南米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】佐倉市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：昭和以前【県内への侵入】120：1998年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,22,41,42,50,55,57,59,62,65,66,78【文献県内】大野景德・竹内美亀 1999. ニシキアオイを八千代市上高野に採る.千葉県植物誌資料 14:100.62

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度	容易性
No.341	アオイツナソ	D	C	A
Hibiscus cannabinus L.				

【原産地】アフリカ【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】船橋市【生育状況】栽培植物、極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：平成以前(栽培)【県内への侵入】110：平成以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】別名ケナフ【文献全般】57,66【文献県内】60

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度	容易性
No.342	モミジアオイ	D	C	A
Hibiscus coccineus Walt.				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州(栽培)【県内分布】船橋市【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：1870年代【県内への侵入】120：昭和30年代後半以降【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】42,50,55,57,59,62,65,66,74【文献県内】60,31

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度	容易性
No.343	フヨウ	D	C	B
Hibiscus mutabilis L.				

【原産地】中国、四国、九州に自生【国内分布】北海道、本州、四国、九州(栽培)【県内分布】全県に散在【生育状況】少ない【生活形】落葉低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：自生【県内への侵入】120：明治時代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,7,22,53,55,57,62,66,74【文献県内】60,31

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度	容易性
No.344	ムクゲ	D	C	B
Hibiscus syriacus L.				

【原産地】中国・インド・朝鮮半島【国内分布】北海道、本州、四国、九州(栽培)【県内分布】全県に散在【生育状況】極少【生活形】落葉低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：安土桃山時代【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,12,19,22,38,42,50,53,55,56,57,59,62,63,66,67,69,74,78【文献県内】60,31

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度	容易性
No.345	ギンセンカ	D	C	B
Hibiscus trionum L.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】北総に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】鑑賞用として江戸時代に、120,240：江戸時代【県内への侵入】120,240：昭和30年代以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,14,15,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度	容易性
No.346	ゼニバアオイ	C	C	B
Malva neglecta Wallr.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】中程度【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：1958年以前【県内への侵入】240：1980年代【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,42,53,55,56,57,59,65,66,78,85【文献県内】60

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度	容易性
No.347	ウサギアオイ	C	C	B
Malva parviflora L.				

【原産地】欧州【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】中程度【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：1948年【県内への侵入】240：1970年代以降【侵入の影響】212,321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,58,59,66,78,85【文献県内】61,60

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度	容易性
No.348	ハイアオイ	D	C	B
Malva rotundifolia L.				

【原産地】欧州【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】中程度【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：昭和以前【県内への侵入】240：1980年代以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,12,14,15,19,41,50,53,55,56,57,63,66,74,78,85【文献県内】60

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度	容易性
No.349	ゼニアオイ	D	C	B
Malva sylvestris L. var. mauritiana (L.) Boiss.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：1930年代以前(栽培)【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,62,63,65,66,69,74,78,85【文献県内】10,60,31

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度	容易性
No.350	フユアオイ	D	C	B
Malva verticillata L.				

【原産地】東アジア【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】中程度【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110,240：平安時代【県内への侵入】110,240：1930年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】14,19,22,41,42,50,55,56,57,59,63,65,66,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度	容易性
No.351	キクノハアオイ	D	C	A
<i>Modiola caroliniana</i> G.Don				

【原産地】北米～熱帯米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】勝浦市・南房総市【生育状況】少ない
 【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散：秋【日本への侵入】240：1913
 年以前【県内への侵入】240：1996年以前【侵入の影響】420,212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1
 4,22,41,42,50,53,56,57,58,59,66,67,69,78,85【文献県内】野口昭造 1996. 勝浦市行川アイランドに帰化
 したキクノハアオイ.千葉県植物誌資料 8:52-53.,62

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度	容易性
No.352	ヤノネボンテンカ	D	C	A
<i>Pavonia hastata</i> Cav.				

【原産地】南米【国内分布】本州、四国、九州(栽培)、本州(神奈川県・千葉県)逸出【県内分布】江戸川河
 原にも、柏市、松戸市、千葉市【生育状況】極少【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散
 布形態】重散：秋【日本への侵入】120：昭和以前(栽培)【県内への侵入】120：1990年代以前【侵入の影
 響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,7,22,42,53,57,59,66,67【文献県内】60

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度	容易性
No.353	ホソバキンゴジカ	D	C	A
<i>Sida acuta</i> Burn. f.				

【原産地】熱帯アジア～亜熱帯【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】柏市、八街市【生育状況】少な
 い【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：戦後
 【県内への侵入】240：昭和以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,14,41,42,5
 0,55,56,57,58,59,66,67,69,78,85【文献県内】60

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度	容易性
No.354	キンゴジカ	D	C	A
<i>Sida rhombifolia</i> L.				

【原産地】熱帯（全世界）【国内分布】小笠原、四国、九州【県内分布】柏市、佐倉市、山武市【生育状
 況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散：秋【日本への侵入】2
 40：自生【県内への侵入】240：1980年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】
 7,8,14,15,22,41,50,53,56,57,58,65,66,67,69,74【文献県内】61,60

種子植物	アオイ科	影響度	緊急度	容易性
No.355	アメリカキンゴジカ	C	C	B
<i>Sida spinosa</i> L.				

【原産地】北米～熱帯米【国内分布】本州【県内分布】全県に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1
 年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散：夏【日本への侵入】240：1950年以前【県内への侵
 入】240：1950年以前【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,12,14,15,19,22,41,
 42,50,53,55,56,57,59,66,67,78,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	アオギリ科	影響度	緊急度	容易性
No.356	アオギリ	D	C	B
<i>Firmiana simplex</i> (L.) W.F.Wight				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】全県に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,22,38,48,63,74【文献県内】61,60

種子植物	スミレ科	影響度	緊急度	容易性
No.357	ヒゴスミレ	D	C	
<i>Viola chaerophylloides</i> (Regel) W.Becker form. <i>sieboldiana</i> (Maxim.) F.Maek. et T.Hashim.				

【原産地】本州、四国、九州【国内分布】本州、四国、九州、千葉県は逸出【県内分布】柏市、市原市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫+自媒【散布形態】自+虫散：夏～秋【日本への侵入】120：自生【県内への侵入】120：戦後【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】2,22,63,74【文献県内】61,60

種子植物	スミレ科	影響度	緊急度	容易性
No.358	ニオイスミレ	D	C	A
<i>Viola odorata</i> L.				

【原産地】欧州南部～西アジア【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】北総に散在【生育状況】少ない【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫+自媒【散布形態】自+虫散：夏～秋【日本への侵入】120：1900年頃【県内への侵入】120：1930年代以前（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,22,41,42,50,53,55,56,57,59,62,66,74,78,85【文献県内】60

種子植物	スミレ科	影響度	緊急度	容易性
No.359	アメリカスミレサイシン	C	C	B
<i>Viola sororia</i> Willd.				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】北総西部に分布【生育状況】少ない【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫+自媒【散布形態】自+虫散：夏～秋【日本への侵入】120：1989年以前【県内への侵入】120：1990年代以前【侵入の影響】212,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,1,3,3,10,19,19,22,53,57,59,66,78【文献県内】60

種子植物	スミレ科	影響度	緊急度	容易性
No.360	サンシキスミレ	D	C	B
<i>Viola tricolor</i> L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】北総・南総に散在【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫+自媒【散布形態】自～虫散：夏【日本への侵入】120：1860年頃【県内への侵入】120：1920年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,19,22,42,53,55,57,59,62,66,74,78【文献県内】60

種子植物	スマレ科	影響度	緊急度	容易性
No.361	ファイリゲンジスマレ	D	C	A
<i>Viola variegata</i> Fisch. var. <i>variegata</i>				

【原産地】朝鮮半島【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】我孫子市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫+自媒【散布形態】自散+虫散：夏～秋【日本への侵入】120：昭和以前【県内への侵入】120：平成以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,22,57,66【文献県内】60

種子植物	トケイソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.362	クサトケイソウ	D	C	
<i>Passiflora foetida</i> L. var. <i>hispida</i> (DC.) Killip.				

【原産地】南米【国内分布】本州（小笠原）、九州【県内分布】船橋市に一時帰化【生育状況】極少【生活形】夏緑・つる1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】241：1966年【県内への侵入】241：1991年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】41,56,57,58,66,67,78【文献県内】60

種子植物	シュウカイドウ科	影響度	緊急度	容易性
No.363	シュウカイドウ	D	C	B
<i>Begonia grandis</i> Dryand. (syn. <i>B. evansiana</i> Andrews)				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】各地に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：江戸以前【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,22,41,42,50,53,57,59,66,74,78【文献県内】61,10,60

種子植物	ウリ科	影響度	緊急度	容易性
No.364	アレチウリ	A	A	C
<i>Sicyos angulatus</i>				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】極多【生活形】夏緑・つる1年草本【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】水散、付着散：秋【日本への侵入】240：1952年【県内への侵入】240：昭和30年代以前【侵入の影響】212,312,322,411,420【外来種対策】-【備考】特定外来生物【文献全般】1,3,7,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,74,78,85【文献県内】60,31

種子植物	ミソハギ科	影響度	緊急度	容易性
No.365	ナンゴクヒメミソハギ	B	B	A
<i>Ammannia auriculata</i> Willd.				

【原産地】北米・アジア・アフリカの熱帯【国内分布】本州、九州【県内分布】南房総市・館山市【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：1968年【県内への侵入】240：1937年以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,22,41,42,53,55,56,57,59,66,67,78【文献県内】60

種子植物	ミソハギ科	影響度	緊急度	容易性
No.366	シマミソハギ	C	C	A
Ammannia baccifera L. (syn. Ammannia discolor Nakai)				

【原産地】熱帯アジア【国内分布】本州【県内分布】船橋市・市原市・富里市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風水散：秋【日本への侵入】240：戦後【県内への侵入】240：1991年以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】別名ナガトミソハギ【文献全般】12,41,50,55【文献県内】10,60

種子植物	ミソハギ科	影響度	緊急度	容易性
No.367	ホソバヒメミソハギ	B	B	B
Ammannia coccinea Rottb. subsp. purpurea Koehne				

【原産地】アメリカ大陸【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】多い【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風水散：秋【日本への侵入】240：1952年【県内への侵入】240：1980年代以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,14,15,19,22,41,50,53,55,56,57,58,59,66,67,78,85【文献県内】10,60

種子植物	ミソハギ科	影響度	緊急度	容易性
No.368	サルスベリ	D	C	B
Lagerstroemia indica L.				

【原産地】インド・中国南部・東南アジア【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】北総・南総西部に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・亜高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,38,48,62,63【文献県内】60

種子植物	ミソハギ科	影響度	緊急度	容易性
No.369	コメバミソハギ	D	C	A
Lythrum hyssopifolia L.				

【原産地】熱帯米【国内分布】本州、四国【県内分布】流山市【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】240：1960年【県内への侵入】240：2006年【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,8,12,15,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】木村陽子・引田園子・関口晋太郎 2007. 流山市に出現したヒナツメクサとコメバミソハギ. 千葉県植物誌資料 22:191-194.,木村陽子 2007. コメバミソハギの初出文献.千葉県植物誌資料 23:199.

種子植物	ミソハギ科	影響度	緊急度	容易性
No.370	アメリカキカシグサ	C	B	B
Rotala ramosior (L.) Koehne				

【原産地】熱帯米【国内分布】神奈川県・千葉県【県内分布】北総西部【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】240：1997年【県内への侵入】240：1999年【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,42,53,55,57,59,66【文献県内】大野景德 2000. 八千代市に帰化したハイキジムシロ, ナガエコミカンソウ, アメリカキカシグサ.千葉県植物誌資料 15:108-109.,62,30

種子植物	ザクロ科	影響度	緊急度	容易性
No.371	ザクロ	D	C	A
	<i>Punica granatum</i> L.			

【原産地】小アジア【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】北総・南総の市街地に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・亜高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：平安時代【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,38,48,50,63,73【文献県内】60

種子植物	アカバナ科	影響度	緊急度	容易性
No.372	ヒレタゴボウ	B	B	B
	<i>Ludwigia decurrens</i> Walt.			

【原産地】熱帯米【国内分布】本州、四国【県内分布】主として北総西部に分布【生育状況】極多【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】水散：秋【日本への侵入】240：1955年【県内への侵入】240：1980年代以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,8,14,15,19,22,37,41,42,50,53,55,56,57,59,64,78,85【文献県内】60,10

種子植物	アカバナ科	影響度	緊急度	容易性
No.373	アメリカミズユキノシタ	B	A	A
	<i>Ludwigia repens</i>			

【原産地】北米？熱帯アジア？【国内分布】京都府～千葉県【県内分布】八千代市【生育状況】少ない【生活形】常緑・多年草（水槽内）【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】130：1970年頃【県内への侵入】130：2007年以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】21,22,42,55,56,57,59,66,78【文献県内】倉俣武男 2007. アメリカミズユキノシタ,千葉県に出現.千葉県植物誌資料 23:202.

種子植物	アカバナ科	影響度	緊急度	容易性
No.374	メマツヨイグサ	B	C	C
	<i>Oenothera biennis</i>			

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】多い【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：1920年代【県内への侵入】120：1950年代以前【侵入の影響】420,212【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,41,42,50,53,55,56,57,59,66,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,34

種子植物	アカバナ科	影響度	緊急度	容易性
No.375	オオマツヨイグサ	C	C	B
	<i>Oenothera erythrosepala</i> Borbs			

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：1870年頃【県内への侵入】120：1930年代以前【侵入の影響】420,212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,60,31

種子植物	アカバナ科	影響度	緊急度	容易性
No.376	コマツヨイグサ	B	C	C
Oenothera laciniata				

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】多い【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】230：1914年以前【県内への侵入】230：1950年代以前【侵入の影響】420,212【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】1,3,8,12,14,15,19,22,37,41,42,50,53,55,56,57,58,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,82

種子植物	アカバナ科	影響度	緊急度	容易性
No.377	ユウゲシヨウ	C	C	B
Oenothera rosea Ait.				

【原産地】アメリカ大陸【国内分布】本州、四国【県内分布】主として北総西部に分布【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：明治（栽培）【県内への侵入】120：1990年代以前【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,14,15,19,22,41,42,50,55,56,57,58,59,66,67,78,85【文献県内】61,10,61,60,31

種子植物	アカバナ科	影響度	緊急度	容易性
No.378	ヒルザキツキミソウ	C	C	B
Oenothera speciosa Nutt.				

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】主として北総西部に分布【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：-【日本への侵入】120：1957年以前（栽培）【県内への侵入】120：1950年代以前【侵入の影響】420,212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,58,59,66,67,74,78,85【文献県内】60,10

種子植物	アカバナ科	影響度	緊急度	容易性
No.379	マツヨイグサ	C	C	C
Oenothera striata Ledeb. ex. Link				

【原産地】南米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：1920年代以前【侵入の影響】420,212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,56,57,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	アカバナ科	影響度	緊急度	容易性
No.380	ツキミソウ	D	C	
Oenothera tetraptera				

【原産地】北米【国内分布】本州【県内分布】市原市【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：江戸時代末期(栽培)【県内への侵入】120：平成以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】14,15,22,42,50,55,56,57,59,62,66,69,74,78,85【文献県内】なし

種子植物	ヒシ科	影響度	緊急度	容易性
No.381	トウビシ	D	C	A
<i>Trapa bispinosa</i> Roxb.				

【原産地】インド～中国？【国内分布】本州【県内分布】八千代市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・浮葉1年水草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】水散：秋【日本への侵入】110：昭和以前【県内への侵入】110：1994年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】21【文献県内】60

種子植物	アリノトウグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.382	オオフサモ	A	A	B
<i>Myriophyllum aquaticum</i>				

【原産地】ブラジル【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】多い【生活形】夏緑・水草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】水散：秋【日本への侵入】130：大正【県内への侵入】130：1960年代以前【侵入の影響】212,322【外来種対策】-【備考】特定外来生物【文献全般】1,3,7,8,12,15,19,21,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,69,78,85【文献県内】61,60,31

種子植物	ウコギ科	影響度	緊急度	容易性
No.383	ヒメウコギ	C	C	B
<i>Eleutherococcus sieboldianus</i> (Makino) Nakai				

【原産地】中国【国内分布】本州【県内分布】全県に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：夏～秋【日本への侵入】110：江戸時代以前【県内への侵入】110：江戸時代【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,6,12,22,38,48,63,74【文献県内】61,60

種子植物	ウコギ科	影響度	緊急度	容易性
No.384	カナリーキツタ	D	C	A
<i>Hedera canariensis</i> Willd.				

【原産地】カナリー諸島【国内分布】北海道、本州、四国、九州（室内栽培）【県内分布】-【生育状況】極少【生活形】常緑・藤本【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥分散：秋【日本への侵入】120：昭和時代（栽培導入）【県内への侵入】120：昭和時代（栽培導入）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】63【文献県内】なし

種子植物	ウコギ科	影響度	緊急度	容易性
No.385	セイヨウキツタ	D	C	A
<i>Hedera helix</i> L.				

【原産地】欧州・北アフリカ【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】東京湾岸市街地に散在【生育状況】極少【生活形】常緑・藤本【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：明治時代【県内への侵入】120：1980年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,48,57,63【文献県内】60

種子植物	ウコギ科	影響度	緊急度	容易性
No.386	カミヤツデ	D	C	A
Tetrapanax papyrifer K.Koch				

【原産地】中国・台湾【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】南総・安房に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：1940年代以前（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,22,48,53,56,57,66,67【文献県内】60

種子植物	セリ科	影響度	緊急度	容易性
No.387	ドクゼリモドキ	D	C	A
Ammi majus L.				

【原産地】欧州南部【国内分布】本州、四国【県内分布】船橋市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：1953年以前【県内への侵入】240：1970年代以前【侵入の影響】観賞用・皮膚炎をおこす【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,14,15,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】61,60,82,83

種子植物	セリ科	影響度	緊急度	容易性
No.388	ノハラジャク	C	C	A
Anthriscus vulgaris Pers. (syn. A. caucalis M.Bieb.)				

【原産地】欧州・西アジア・北アフリカ【国内分布】本州、四国【県内分布】八千代市【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】240：1969年【県内への侵入】240：1998年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,15,19,22,41,42,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】60

種子植物	セリ科	影響度	緊急度	容易性
No.389	オランダミツバ	D	C	A
Apium graveolens L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】鴨川市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】110：江戸時代【県内への侵入】110：1930年代以前（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,22,42,50,52,55,57,59,66,74,78【文献県内】60

種子植物	セリ科	影響度	緊急度	容易性
No.390	マツバゼリ	C	C	B
Ciclospermum leptophyllum (Pers.) Sprague ex Britton et E.H.Wilson (syn. Apium leptophyllum (Pers.) F.Muell. ex Benth.)				

【原産地】エジプト・熱帯米？【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】市川市・千葉市・市原市・鴨川市【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1893年【県内への侵入】210：1950年代以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,58,59,66,67,78,85【文献県内】60

種子植物	セリ科	影響度	緊急度	容易性
No.391	ドクニンジン	A	A	A
Conium maculatum				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州【県内分布】船橋市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草
 【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：1959年【県内への侵入】120：1950年代以前（栽培）【侵入の影響】有毒,311【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】1,7,8,14,15,41,42,50,55,56,57,59,66【文献県内】60

種子植物	セリ科	影響度	緊急度	容易性
No.392	コエンドロ	D	C	A
Coriandrum sativum L.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】富津市、柏市、市川市
 【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】110：江戸時代【県内への侵入】110：1950年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,74【文献県内】61,60,31,5

種子植物	セリ科	影響度	緊急度	容易性
No.393	ノラニンジン	C	C	B
Daucus carota L.				

【原産地】欧州・アフガニスタン【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主として北総西部に分布【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散：夏【日本への侵入】240：1929年以前【県内への侵入】240：1930年代以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,78,85【文献県内】61,60

種子植物	セリ科	影響度	緊急度	容易性
No.394	ウイキョウ	D	C	A
Foeniculum vulgare Mill.				

【原産地】地中海沿岸・西アジア【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】北総西部に分布【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：1920年代以前（剤倍）【侵入の影響】212,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,37,41,42,50,51,53,55,56,57,59,66,73,74,78【文献県内】60

種子植物	セリ科	影響度	緊急度	容易性
No.395	ウチワゼニクサ	B	B	A
Hydrocotyle verticillata Thunb. var. triradiata (A.Rich.) Fernald				

【原産地】北米西部【国内分布】本州【県内分布】佐倉市（印旛沼）【生育状況】多い【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】水散：夏【日本への侵入】130：1960年代【県内への侵入】130：1990年代以前【侵入の影響】212,322【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,42,55,57,59,66,78【文献県内】60,10

種子植物	セリ科	影響度	緊急度	容易性
No.396	オランダゼリ	D	C	
Petroselinum hortense Hoffm. (syn.)				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】市原市【生育状況】少ない【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型・虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】110：江戸時代【県内への侵入】110：1930年代以前（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】別名パゼリ【文献全般】22,52,53,55,57,59,66,78【文献県内】60

種子植物	ツツジ科	影響度	緊急度	容易性
No.397	オオムラサキ	C	C	B
Rhododendron pulchrum Sweet				

【原産地】日本（交雑種）【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】全県に栽培【生育状況】多い【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：江戸時代（交雑）【県内への侵入】120：明治時代【侵入の影響】100【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,62,63【文献県内】60

種子植物	サクラソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.398	アカバナリハコベ	D	C	A
Anagallis arvensis L.				

【原産地】欧州【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】富津市、佐倉市、市川市【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】240,120：江戸時代（栽培）【県内への侵入】240,120：1995年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,12,22,41,42,50,53,55,57,59,66,74,85【文献県内】60,10

種子植物	カキノキ科	影響度	緊急度	容易性
No.399	カキノキ	C	C	C
Diospyros kaki Thunb.				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】少ない【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】110：弥生時代【県内への侵入】110：弥生～室町時代【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,38,51,57,63【文献県内】61,60

種子植物	カキノキ科	影響度	緊急度	容易性
No.400	マメガキ	D	C	B
Diospyros lotus L.				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】主として南総丘陵地に分布【生育状況】極少【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】110：弥生時代【県内への侵入】110：弥生～室町時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,38,48,63,65,74【文献県内】60

種子植物	モクセイ科	影響度	緊急度	容易性
No.401	チョウセンレンギョウ	D	C	A
	<i>Forsythia koreana</i> Nakai			

【原産地】朝鮮半島【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】市街地に散在【生育状況】極少
 【生活形】夏緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：明治時代（導入）【県内への侵入】120：明治～昭和30年代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,38,48,63【文献県内】60

種子植物	モクセイ科	影響度	緊急度	容易性
No.402	トネリコ	D	C	B
	<i>Fraxinus japonica</i> Blume			

【原産地】本州【国内分布】本州（自生）【県内分布】北総・南総に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：自生【県内への侵入】120：1930年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,6,22,38,48,63【文献県内】60

種子植物	モクセイ科	影響度	緊急度	容易性
No.403	トウネズミモチ	B	B	C
	<i>Ligustrum lucidum</i>			

【原産地】中国【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】主として北総・南総の市街地に分布【生育状況】少ない【生活形】常緑・中高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋～冬【日本への侵入】152：明治初期【県内への侵入】152：1970年代以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（緑化植物）【文献全般】3,6,7,19,53,57,66,78【文献県内】60,10

種子植物	モクセイ科	影響度	緊急度	容易性
No.404	キンモクセイ	D	C	B
	<i>Osmanthus fragrans</i> Lour. var. <i>aurantiacus</i> Makino			

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】北総～南総の市街地に散在【生育状況】極少
 【生活形】常緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋～冬【日本への侵入】120：江戸時代（栽培）【県内への侵入】120：1930年代以前（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,23,48,63,74【文献県内】60

種子植物	モクセイ科	影響度	緊急度	容易性
No.405	ギンモクセイ	D	C	A
	<i>Osmanthus fragrans</i> Lour. var. <i>fragrans</i> （花は白く鋸歯がある）			

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】北総に散在【生育状況】極少【生活形】常緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋～冬【日本への侵入】120：江戸時代（栽培）【県内への侵入】120：1930年代以前（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	モクセイ科	影響度	緊急度	容易性
No. 406	ヒイラギモクセイ	D	C	A
Osmanthus x fortunei Carr. (

【原産地】中国（雑種期限？）【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】北総・南総に散在【生育状況】極少【生活形】常緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋～冬【日本への侵入】120：昭和以前（栽培）【県内への侵入】120：1930年代以前（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,38,48,63,74【文献県内】60

種子植物	リンドウ科	影響度	緊急度	容易性
No. 407	ベニバナセンブリ	D	C	A
Centaurium erythraea Raf.				

【原産地】欧州？【国内分布】本州【県内分布】山武市・八街市【生育状況】中程度【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】240：1918年以前【県内への侵入】240：1990年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,8,12,22,42,50,53,56,57,59,63,66,78【文献県内】60,10

種子植物	リンドウ科	影響度	緊急度	容易性
No. 408	ハナハマセンブリ	C	C	
Centaurium tenuiflorum (Hoffmanns. et Link) Fritsch				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】本州【県内分布】北総西部【生育状況】中程度【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】240：1977年【県内への侵入】240：1980年代以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】19,22,41,42,57,59,66,78【文献県内】60,10

種子植物	キョウチクトウ科	影響度	緊急度	容易性
No. 409	キョウチクトウ	D	C	B
Nerium oleander L. var. indicum (Mill.) O.Deg et Greenwell				

【原産地】インド・ペルシャ【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】全県市街地に散在【生育状況】極少【生活形】常緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：江戸時代（栽培）【県内への侵入】120：明治時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,22,38,42,48,53,55,56,57,62,63,66,69,74【文献県内】60

種子植物	キョウチクトウ科	影響度	緊急度	容易性
No. 410	ツルニチニチソウ	B	B	B
Vinca major L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】極多【生活形】常緑・藤本【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：明治時代（導入）【県内への侵入】120：1930年代以前【侵入の影響】212,411【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,19,22,41,42,50,53,55,57,59,62,66,74,78【文献県内】60,10

種子植物	ガガイモ科	影響度	緊急度	容易性
No.411	ヤナギトウワタ	D	C	A
Asclepias tuberosa L.				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】市原市【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】毛散：夏～秋【日本への侵入】120：昭和以前【県内への侵入】120：平成以前（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】60

種子植物	アカネ科	影響度	緊急度	容易性
No.412	オオフタバムグラ	B	B	B
Diodia teres				

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】北総・南総の低地【生育状況】多い【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】220：1927年【県内への侵入】220：1950年代以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】3,7,8,14,15,19,22,41,50,53,56,57,59,66,69,74,78,85【文献県内】61,60

種子植物	アカネ科	影響度	緊急度	容易性
No.413	メリケンムグラ	D	C	A
Diodia virginiana L.				

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】野田市・香取市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】220：1953年以前【県内への侵入】220：1997年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,8,14,15,19,22,41,42,56,57,59,66,78,85【文献県内】60

種子植物	アカネ科	影響度	緊急度	容易性
No.414	シラホシムグラ	A	A	
Galium aparine L.				

【原産地】欧州【国内分布】本州・四国【県内分布】江戸川流域に多産し，河原の在来植物を駆逐する．
【生育状況】極多【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】付着散：夏【日本への侵入】220：1995年香川県【県内への侵入】220：2007年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】植村修二・水田光雄・藤平明（2004）日本に帰化したシラホシムグラ（新称）. 帰化植物写真ニュース4:全農協（東京）【文献県内】木村陽子・小土井智行 2008. シラホシムグラ(アカネ科)が，千葉県江戸川流域に多産. 千葉県植物誌資料 24:230-232.

種子植物	アカネ科	影響度	緊急度	容易性
No.415	ミナトムグラ	D	C	A
Galium tricornutum Dandy (syn. Galium tricorne Stokes)				

【原産地】地中海沿岸・西アジア【国内分布】本州【県内分布】富津市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・草本【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散・付着散：夏【日本への侵入】240：1951年【県内への侵入】240：1992年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】41,42,50,55,57,59,66【文献県内】60

種子植物	アカネ科	影響度	緊急度	容易性
No.416	クチナシ	D	C	B
Gardenia jasminoides Ellis				

【原産地】本州、四国、九州（自生）、中国・ベトナム【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】各地に散在【生育状況】極少【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】自生：自生【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,38,48,63【文献県内】60

種子植物	アカネ科	影響度	緊急度	容易性
No.417	タマザキフタバムグラ	C	C	A
Hedyotis corymbosa (L.) Lam.				

【原産地】東南アジア～インド【国内分布】千葉県【県内分布】船橋市に一時帰化【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】240：1992年以前【県内への侵入】240：1992年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,53,55,56,57,59,66,67【文献県内】60

種子植物	アカネ科	影響度	緊急度	容易性
No.418	ハシカグサモドキ	D	C	A
Richardia scabra L.				

【原産地】熱帯米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】銚子市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】230：1956年以前【県内への侵入】230：1956年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,14,41,42,50,55,56,57,59,66,67,85【文献県内】61,60

種子植物	アカネ科	影響度	緊急度	容易性
No.419	ハクチョウゲ	D	C	B
Serissa japonica (Thunb.) Thunb.				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】北総・南総西部に散在【生育状況】極少【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,7,38,50,74【文献県内】60

種子植物	アカネ科	影響度	緊急度	容易性
No.420	ハナヤエムグラ	C	C	B
Sherardia arvensis L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国【県内分布】主として北総・南総西部に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】220：1957年【県内への侵入】220：1980年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】61,10,60,35

種子植物	アカネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 421	アメリカハリフタバ	D	C	A
<i>Spermacoce glabra</i> Michx.				

【原産地】北米【国内分布】本州（千葉県）、九州【県内分布】南房総市【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】230：1952年以前【県内への侵入】230：1952年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】14,22,42,50,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】61,60

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度	容易性
No. 422	ツレザキヒルガオ	D	C	A
<i>Calystegia fraternifolia</i> (Mackenzie et Busch) Burmon.				

【原産地】北米【国内分布】千葉県【県内分布】市川市【生育状況】極少【生活形】夏緑・つる植物【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：1968年以前【県内への侵入】240：1968年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】57,66【文献県内】61,42,小松崎一雄（1976）ツレザキヒルガオを千葉県市川市で採る 植物採集ニュース(49):18.

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度	容易性
No. 423	セイヨウヒルガオ	D	C	B
<i>Convolvulus arvensis</i>				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】北総西部に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・つる多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】230：1945年以前【県内への侵入】230：1957年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,74,78,85【文献県内】61,60,31

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度	容易性
No. 424	アメリカネナシカズラ	B	B	B
<i>Cuscuta pentagona</i>				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】北総と南総海岸部に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・つる1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】240：1970年以前【県内への侵入】240：1955年以前【侵入の影響】321,411(寄生)【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】1,3,8,15,19,22,41,42,53,56,57,59,66,67,74,78,85【文献県内】60,10

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度	容易性
No. 425	カロリナアオイゴケ	C	C	B
<i>Dichondra repens</i> Forst. var. <i>carolinensis</i> Chois.				

【原産地】北米南部【国内分布】本州、四国【県内分布】北総と南総の市街地に散在【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】150：1955年頃【県内への侵入】150：1991年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】グランドカバーで使われているものは、アオイゴケそのものの可能性がある。【文献全般】22,42,50,53,55,57,59,66,78【文献県内】60,10

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度	容易性
No. 426	サツマイモ	D	C	A
<i>Ipomoea batatas</i> (L.) Poir.				

【原産地】中米【国内分布】北海道、本州、四国、九州(栽培)【県内分布】全県で栽培【生育状況】極少(逸出)【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：江戸時代(栽培)【県内への侵入】110：江戸時代(栽培)【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】50【文献県内】60

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度	容易性
No. 427	マルバルコウ	D	C	B
<i>Ipomoea coccinea</i> L. (syn. <i>Quamoclit coccinea</i> L. ;				

【原産地】熱帯米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】主として北総西部に分布【生育状況】少ない【生活形】夏緑・つる1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：1951年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度	容易性
No. 428	アメリカアサガオ	C	C	B
<i>Ipomoea hederacea</i> (L.) Jacq.				

【原産地】熱帯米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】主として北総西部に分布【生育状況】少ない【生活形】夏緑・つる1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：江戸時代末期【県内への侵入】120：1987年以前【侵入の影響】212,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,55,56,57,59,66,67,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度	容易性
No. 429	マルバアメリカアサガオ	C	C	B
<i>Ipomoea hederacea</i> (L.) Jacq. var. <i>integriuscula</i> A. Gray				

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】主として北総西部に分布【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：1971年以前【県内への侵入】120：1985年以前【侵入の影響】212,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,41,42,53,55,56,57,58,59,66,67,78,85【文献県内】60,10

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度	容易性
No. 430	ノアサガオ	C	C	A
<i>Ipomoea indica</i> (Burm.) Merrill				

【原産地】本州、四国、九州、台湾【国内分布】本州、四国、九州(自生)【県内分布】南房総市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・つる1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】自生：自生【県内への侵入】300：2003年以前【侵入の影響】イリオモテアサガオ・不用意に投棄すると発根して広がる可能性もあるということで要注意。420,212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】37,50,58【文献県内】60

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度	容易性
No.431	マメアサガオ	C	C	B
	<i>Ipomoea launosa</i> L.			

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】主として北総西部に分布【生育状況】中程度
 【生活形】夏緑・つる1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：1955年以前【県内への侵入】240：1975年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,55,56,57,59,66,67,74,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度	容易性
No.432	アサガオ	D	C	A
	<i>Ipomoea nil</i> (L.) Roth (syn. <i>Pharbitis nil</i> (L.) Choisy)			

【原産地】ヒマラヤ・インド・中国南部【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】主として北総西部に分布【生育状況】少ない【生活形】夏緑・つる1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：平安時代（栽培）【県内への侵入】120：江戸時代（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,14,15,41,42,50,53,55,56,57,59,66,69,74,78【文献県内】60

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度	容易性
No.433	マルバアサガオ	D	C	B
	<i>Ipomoea purpurea</i> (L.) Roth			

【原産地】熱帯米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】主として北総西部に分布【生育状況】少ない【生活形】夏緑・つる1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：1934年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,74,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度	容易性
No.434	ホシアサガオ	C	C	B
	<i>Ipomoea triloba</i> L.			

【原産地】南米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】柏市・市川市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・つる1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：戦後【県内への侵入】240：1952年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,58,59,66,67,74,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度	容易性
No.435	モミジバルコウソウ	D	C	A
	<i>Ipomoea x multifida</i> (Raf.) Shinn. (syn.)			

【原産地】ルコウソウとマルバルコウソウの雑種【国内分布】本州【県内分布】富里市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・つる1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：江戸時代（栽培）【県内への侵入】120：1991年以前（逸出）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,8,14,15,22,41,42,50,57,59,66,67【文献県内】60

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度	容易性
No.436	オキナアサガオ	D	C	A
<i>Jacquemontia tamnifolia</i> Griseb.				

【原産地】熱帯米【国内分布】本州、九州【県内分布】柏市【生育状況】極少【生活形】夏緑・つる1年草
 【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：1950年頃【県内への侵入】240：1980年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,14,15,22,41,42,50,53,56,57,58,59,66,67,78,85【文献県内】60

種子植物	ヒルガオ科	影響度	緊急度	容易性
No.437	ツタノハヒルガオ	D	C	
<i>Merremia hederacea</i> (Burm.f.) Hallier f.				

【原産地】熱帯アジア【国内分布】本州【県内分布】船橋市に一時帰化【生育状況】極少【生活形】夏緑・つる1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】241：1945年【県内への侵入】241：1992年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,14,22,50,53,55,56,57,58,59,63,66,67,78,85【文献県内】60

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度	容易性
No.438	アラゲムラサキ	D	C	A
<i>Amsinckia barbata</i> Greene				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国【県内分布】芝山町【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】220：1948年以前【県内への侵入】220：1996年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,14,22,42,56,57,66,78,85【文献県内】60

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度	容易性
No.439	トゲムラサキ	D	C	A
<i>Asperugo procumbens</i> L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州【県内分布】千葉市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】220：1951年以前【県内への侵入】220：2002年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,8,14,41,42,50,56,57,59,66,78,85【文献県内】60

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度	容易性
No.440	シャゼンムラサキ	D	C	
<i>Echium Plantagineum</i> L.				

【原産地】欧州【国内分布】本州【県内分布】千葉市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】240：1963年以前【県内への侵入】240：2006年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,41,42,50,55,56,57,59,66【文献県内】-

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度	容易性
No. 441	シベナガムラサキ	D	C	A
	<i>Echium vulgare</i> L.			

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国【県内分布】船橋市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】240：1958年以前【県内への侵入】240：1958年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,8,14,42,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】60

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度	容易性
No. 442	アレチムラサキ	D	C	A
	<i>Heliotropium crassavicum</i> L.			

【原産地】北米【国内分布】本州【県内分布】袖ヶ浦市【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】220：1971年【県内への侵入】220：1971年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】15,22,42,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】61,60,35,33

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度	容易性
No. 443	ノムラサキ	D	C	A
	<i>Lappula squarrosa</i> (Retz.) Dumort.			

【原産地】アジア～地中海沿岸【国内分布】北海道、本州、四国【県内分布】船橋市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散、付着散：夏【日本への侵入】220：1929年【県内への侵入】220：1975年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】61,60

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度	容易性
No. 444	イヌムラサキ	D	C	A
	<i>Lithospermum arvense</i> L.			

【原産地】寒帯～温帯（広域）【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】八千代市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】220：1950年以前【県内への侵入】220：1932年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】自生のもものと帰化のものがある【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,37,41,42,53,55,56,57,59,66,69,74,78,85【文献県内】60,10

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度	容易性
No. 445	ノハラムラサキ	D	C	A
	<i>Myosotis arvensis</i> (L.) Hill.			

【原産地】欧州・ユーラシア【国内分布】北海道、本州【県内分布】鴨川市・佐倉市・いすみ市・芝山町【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】220：1927年以前【県内への侵入】220：1927年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】61,60

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度	容易性
No. 446	ハマワスレナグサ	D	C	A
<i>Myosotis discolor</i> Pers.				

【原産地】欧州～西アジア【国内分布】本州【県内分布】いすみ市【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】220：1934年【県内への侵入】220：1995年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,14,15,19,22,42,50,53,55,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】木村陽子・大場達之 1996. ハマワスレナグサの帰化. 千葉県植物誌資料 9:64.,62

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度	容易性
No. 447	ワスレナグサ	D	C	A
<i>Myosotis scorpioides</i> L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国【県内分布】富里市、市原市、館山市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：明治時代（栽培）【県内への侵入】120：1992年以前（逸出）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,8,22,41,42,50,53,57,59,62,62,65,66,74【文献県内】60,31

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度	容易性
No. 448	キバナムラサキ	D	C	
<i>Nonnea lutea</i> (Desr.) DC.				

【原産地】欧州【国内分布】本州【県内分布】船橋市（東邦大学）【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：昭和時代【県内への侵入】120：1985年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,50,57,59,66【文献県内】60

種子植物	ムラサキ科	影響度	緊急度	容易性
No. 449	ヒレハリソウ	C	C	B
<i>Symphytum officinale</i> L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】全県に分布【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】110：明治時代【県内への侵入】110：1952年以前（栽培）【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,15,19,41,42,50,53,55,56,57,59,63,66,74,78,85【文献県内】60,10

種子植物	クマツツラ科	影響度	緊急度	容易性
No. 450	ボタンクサギ	D	C	B
<i>Clerodendrum bungei</i> Steud.				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】北総西部に分布【生育状況】極少【生活形】夏緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：昭和以前【県内への侵入】120：1998年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】63【文献県内】60

種子植物	クマツツラ科	影響度	緊急度	容易性
No.451	ヤナギハナガサ	C	C	B
<i>Verbena bonariensis</i> L.				

【原産地】南米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県の低地に分布【生育状況】少ない
 【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：明治時代【県内への侵入】120：1984年以前【侵入の影響】212,420【外来種対策】-【備考】サンジャク バーベナの名で栽培【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,41,42,50,55,56,57,58,59,62,66,67,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	クマツツラ科	影響度	緊急度	容易性
No.452	アレチハナガサ	C	C	B
<i>Verbena brasiliensis</i> Vell.				

【原産地】南米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】主として東京湾岸に分布【生育状況】少ない
 【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】230：1957年頃【県内への侵入】230：1988年以前【侵入の影響】212,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,41,42,53,55,56,57,58,59,66,67,78,85【文献県内】60,10

種子植物	クマツツラ科	影響度	緊急度	容易性
No.453	ダキバアレチハナガサ	C	C	B
<i>Verbena incompta</i> Michael				

【原産地】南米【国内分布】本州【県内分布】主として北総に散在【生育状況】多い【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】230：1933年【県内への侵入】230：1986年以前【侵入の影響】212,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,42,53,57,59,66【文献県内】60

種子植物	クマツツラ科	影響度	緊急度	容易性
No.454	ヒメクマツツラ	C	C	A
<i>Verbena littoralis</i> Humb., Bonpl. et Kunth				

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】佐倉市【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】240：1955年以前【県内への侵入】240：2002年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,42,57,58,59,66,67【文献県内】寺村敬子 2003. 本埜村で「ヒメクマツツラ」を確認.千葉県植物誌資料 19:145.、62

種子植物	クマツツラ科	影響度	緊急度	容易性
No.455	シュクコンバーベナ	D	C	A
<i>Verbena rigida</i> Spreng.				

【原産地】ブラジル・アルゼンチン【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】香取市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：明治時代（栽培）【県内への侵入】120：1972年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,15,50,53,57,59,62,63,66,67【文献県内】60、小松崎一雄（1972）シュクコンバーベナが千葉県佐原で見つかった、植物採集ニュース(64):52.

種子植物	クマツヅラ科	影響度	緊急度	容易性
No.456	ヒメビジョザクラ	D	C	B
<i>Verbena tenera</i> Spreng.				

【原産地】南米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】120：戦後(栽培)【県内への侵入】120：1978年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,22,50,53,55,57,59,62,66,67【文献県内】60

種子植物	シソ科	影響度	緊急度	容易性
No.457	セイヨウジュウニヒトエ	C	C	B
<i>Ajuga reptans</i> L.				

【原産地】欧州北部【国内分布】本州【県内分布】主として北総・南総に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：1970年頃【県内への侵入】120：-【侵入の影響】212,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,22,41,42,53,57,59,66,67,78【文献県内】60,10

種子植物	シソ科	影響度	緊急度	容易性
No.458	チシマオドリコソウ	D	C	
<i>Daleopsis bifida</i> Boenn.				

【原産地】ユーラシア【国内分布】本州【県内分布】富津市【生育状況】少ない【生活形】夏緑【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】220：1948年以前【県内への侵入】220：1971年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,14,15,22,41,42,50,53,57,59,62,65,66【文献県内】61,60,29,35

種子植物	シソ科	影響度	緊急度	容易性
No.459	ヒメオドリコソウ	C	C	C
<i>Lamium purpureum</i> L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】極多【生活形】夏緑・草本【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】220：1898年【県内への侵入】220：1951年以前【侵入の影響】212,321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	シソ科	影響度	緊急度	容易性
No.460	ヨウシュハッカ	D	C	A
<i>Mentha arvensis</i> L. var. <i>arvensis</i>				

【原産地】北半球広域【国内分布】本州【県内分布】北総西部に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：1975年【県内への侵入】110：1992年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,14,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】60,35

種子植物	シソ科	影響度	緊急度	容易性
No. 461	ナガバハッカ	D	C	A
Mentha longifolia (L.) Huds.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】佐倉市・富里市【生育状況】極少【生活形】夏緑【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：1937年以前【県内への侵入】110：1992年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,14,19,22,41,42,50,55,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】60

種子植物	シソ科	影響度	緊急度	容易性
No. 462	メグサハッカ	D	C	A
Mentha pulegium L.				

【原産地】欧州【国内分布】本州、九州【県内分布】主として北総に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：1936年以前【県内への侵入】110：1991年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,69,78,85【文献県内】60

種子植物	シソ科	影響度	緊急度	容易性
No. 463	マルバハッカ	C	C	B
Mentha rotundifolia (L.) Huds.				

【原産地】欧州【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】県内各地に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：戦後以前【県内への侵入】110：2007年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,14,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】60

種子植物	シソ科	影響度	緊急度	容易性
No. 464	オランダハッカ	D	C	B
Mentha spicata L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】主として北総に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】110：1820年ごろ（栽培）【県内への侵入】110：1935年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,14,22,41,42,50,53,55,56,57,59,63,66,67,78【文献県内】60

種子植物	シソ科	影響度	緊急度	容易性
No. 465	アメリカハッカ	D	C	A
Mentha x gracilis Sole				

【原産地】欧州・北米【国内分布】本州、四国【県内分布】勝浦市・八千代市【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：1968年以前【県内への侵入】120：1958年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,14,19,22,42,50,53,56,57,59,66,78,85【文献県内】61,60,33

種子植物	シソ科	影響度	緊急度	容易性
No.466	コショウハッカ	D	C	A
	<i>Mentha x piperita</i> L.			

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】野田市・富里市【生育状況】極少【生活形】夏緑【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：1933年以前【県内への侵入】120：1977年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】60

種子植物	シソ科	影響度	緊急度	容易性
No.467	ハリゲヤグルマハッカ	D	C	A
	<i>Monarda dispersa</i> Small			

【原産地】-【国内分布】本州【県内分布】市原市【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：1991年以前【県内への侵入】120：1991年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】57,59【文献県内】城川四郎 2007. 千葉県植物誌496頁、シソ科のヤグルマハッカはハリゲヤグルマハッカ(新称)であった. 千葉県植物誌資料 23:206.

種子植物	シソ科	影響度	緊急度	容易性
No.468	ヤグルマハッカ	D	C	
	<i>Monarda fistulosa</i> L.			

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州(栽培)【県内分布】富里市【生育状況】極少【生活形】夏緑【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：昭和30年代以前(栽培)【県内への侵入】120：1995年【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】55,57,59,63,67,78【文献県内】60

種子植物	シソ科	影響度	緊急度	容易性
No.469	イヌハッカ	D	C	A
	<i>Nepeta cataria</i> L.			

【原産地】ユーラシア(広域)【国内分布】本州(一部自生)【県内分布】袖ヶ浦市【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：1912年以前【県内への侵入】120：1961年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,14,15,19,41,42,50,55,56,57,59,66,69,74,78,85【文献県内】60

種子植物	シソ科	影響度	緊急度	容易性
No.470	シソ	C	C	C
	<i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>crispa</i> (Thunb.) W.Deane			

【原産地】ヒマラヤ・中国南部【国内分布】北海道、本州、四国、九州(栽培)【県内分布】全県に分布【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：弥生時代【県内への侵入】110：弥生～室町時代【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,22,50,52,53,57,59,74【文献県内】60,10

種子植物	シソ科	影響度	緊急度	容易性
No.471	エゴマ	D	C	B
<i>Perilla frutescens</i> (L.) Britton var. <i>frutescens</i>				

【原産地】インド・中国南部【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】少ない
 【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】110：縄文時代
 【県内への侵入】110：弥生～室町時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,
 8,22,50,53,57,59,67,74【文献県内】60,10

種子植物	シソ科	影響度	緊急度	容易性
No.472	カクトラノオ	D	C	B
<i>Physostegia virginiana</i> (L.) Benth.				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主として北総に分布【生育状況】極少
 【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】120：
 大正年間【県内への侵入】120：昭和【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,22,
 42,50,53,57,59,62,66,67,74【文献県内】60,31

種子植物	シソ科	影響度	緊急度	容易性
No.473	セイヨウウツボグサ	D	C	
<i>Prunella vulgaris</i> L. subsp. <i>vulgaris</i>				

【原産地】ユーラシア（広域）・北アフリカ【国内分布】本州【県内分布】佐倉市【生育状況】極少【生
 活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：1998年以
 前【県内への侵入】120：2004年以前【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,42,57,59,
 66【文献県内】北公園調査グループ（植田美千代・辻さつき・松丸 清）2004. 佐倉市ユウカリが丘北公園
 でセイヨウウツボグサ発見.千葉県植物誌資料 20:159., 寺村敬子 2004. セイヨウウツボグサの観察.千葉
 県植物誌資料 20:159.,30

種子植物	シソ科	影響度	緊急度	容易性
No.474	アワモリハッカ	D	C	A
<i>Pycnanthemum flexuosum</i> (Walt.) B.S.P.				

【原産地】北米【国内分布】本州【県内分布】船橋市【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形
 態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：1959年頃【県内への侵入】240：1997年
 以前（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】42,50,56,57,59,66,78,85【文献
 県内】60

種子植物	シソ科	影響度	緊急度	容易性
No.475	イヌヒメコズチ	D	C	A
<i>Salvia reflexa</i> Hornem.				

【原産地】北・中米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】千葉市【生育状況】極少【生活形】夏緑・
 1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】240：1955年【県内への侵入】
 240：2003年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,8,15,41,42,50,57,59,66
 【文献県内】60

種子植物	シソ科	影響度	緊急度	容易性
No.476	ミナトタムラソウ	D	C	A
Salvia vervecna L.				

【原産地】欧州【国内分布】本州【県内分布】野田市【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：1961年【県内への侵入】240：1991年以前【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】15,22,42,50,55,56,57,59,78,85【文献県内】60

種子植物	シソ科	影響度	緊急度	容易性
No.477	ヤブチョロギ	D	C	A
Stachys arvensis L.				

【原産地】欧州・西アジア・北アフリカ【国内分布】本州、九州【県内分布】富津市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：戦後【県内への侵入】240：2000年以前【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,14,19,41,42,50,55,56,57,58,59,66,67,78,85【文献県内】川名 興 2000. ヤブチョロギが千葉県に帰化.千葉県植物誌資料 18:138.,62

種子植物	シソ科	影響度	緊急度	容易性
No.478	オトメイヌゴマ (仮称ギョウトクイヌゴマ)	C	C	
Stachys palustris L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州【県内分布】市川市【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】240：1987年以前【県内への侵入】240：2006年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】ギョウトクイヌゴマとして報告された植物は、オトメイヌゴマだったと聞いた。(大場達之未発表)【文献全般】1,42,59,66【文献県内】大場達之 2006. 市川市行徳鳥獣保護区のギョウトクイヌゴマ(仮称).千葉県植物誌資料 21:186-188.

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.479	ツノミチョウセンアサガオ	B	C	A
Datura ferox L.				

【原産地】熱帯米【国内分布】本州【県内分布】富津市【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：1977年【県内への侵入】240：2001年【侵入の影響】有毒,312【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,41,42,55,56,57,59,66,78【文献県内】川名 興・天野 誠・大場達之 2000. ツノミチョウセンアサガオとオオセンナリの帰化.千葉県植物誌資料18:129.,62

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.480	シロバナチョウセンアサガオ	B	C	B
Datura stramonium L.				

【原産地】熱帯米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：明治初期【県内への侵入】120：昭和30年代後半以降【侵入の影響】有毒,312【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,60,31

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.481	ヨウシュチョウセンアサガオ	B	C	B
Datura stramonium L. form. tatura (L.) Dabert.				

【原産地】熱帯米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】北総と南総に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：-【日本への侵入】120：明治時代【県内への侵入】120：1930年代以前【侵入の影響】有毒,312【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,8,14,15,22,41,42,50,57,59,69【文献県内】61,60,31,10

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.482	ケチョウセンアサガオ	B	C	B
Datura wrightii Regel				

【原産地】北米【国内分布】本州【県内分布】主として北総に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：江戸時代末期【県内への侵入】120：昭和30年代後半以降【侵入の影響】有毒,312【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】61,60

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.483	オオセンナリ	C	C	B
Nicandra physalodes (L.) Gaertn.				

【原産地】南米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主として北総西部に散在【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120,240：江戸時代【県内への侵入】120,240：1930年代以前【侵入の影響】有毒だが臭いよけに植栽,312【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,19,22,41,42,50,53,55,56,57,58,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,60,31,川名 興・天野 誠・大場達之 2000. ツノミチョウセンアサガオとオオセンナリの帰化. 千葉県植物誌資料18:129.

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.484	ホオズキ	D	C	C
Physalis alkekengi L. var. franchetii (Mast.) Makino				

【原産地】中国【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】主として北総に分布【生育状況】極少【生活形】夏緑・草本【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：平安時代【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,12,22,42,50,53,57,59,60,67,74【文献県内】10,60,31,木村陽子・勝山輝男 2000. 千葉県のホオズキ属（ナス科）について. 千葉県植物誌資料 15:113-116.

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.485	ヒロハフウリンホオズキ	B	B	B
Physalis angulata L. var. angulata				

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】240：1928年以前【県内への侵入】240：1983年以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,42,57,59,66【文献県内】木村陽子・勝山輝男 2000. 千葉県のホオズキ属（ナス科）について. 千葉県植物誌資料 15:113-116.,62

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.486	ホソバフウリンホオズキ	B	B	A
Physalis angulata L. var. lanceifolia (Nees) Waterfall (syn.)				

【原産地】北米西南部【国内分布】本州【県内分布】南房総市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草
 【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】240：1999年以前【県内への侵入】240：2000年以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,53,57,59,66【文献県内】木村陽子・川名 興 2000. ホソバフウリンホオズキが千葉県に帰化. 千葉県植物誌資料 18:139.,62

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.487	アイフウリンホオズキ	B	B	A
Physalis angulata L. var. pendula (Rydb.) Waterfall (syn.)				

【原産地】北米東南部【国内分布】本州【県内分布】佐倉市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草
 【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】240：1991年以前【県内への侵入】240：1991年以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,53,57,59,66【文献県内】木村陽子・勝山輝男 2000. 千葉県のホオズキ属（ナス科）について. 千葉県植物誌資料 15:113-116.,62

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.488	ヒロードホオズキ	D	C	A
Physalis heterophylla Nees				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州（千葉県）【県内分布】富里市、成田市【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】240：1933年【県内への侵入】240：1935年以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,22,41,55,56,57,59,66,78【文献県内】木村陽子・勝山輝男 2000. 千葉県のホオズキ属（ナス科）について. 千葉県植物誌資料 15:113-116.,62

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.489	ウスゲホオズキ	D	C	A
Physalis longifolia Nutt. var. subglabrata (Mackenz. et Bush) Cronq.				

【原産地】北米【国内分布】本州、四国【県内分布】市川市【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】240：1968年以前【県内への侵入】240：1968年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,42,57,59,66【文献県内】木村陽子・勝山輝男 2000. 千葉県のホオズキ属（ナス科）について. 千葉県植物誌資料 15:113-116.,62

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.490	ブドウホオズキ	D	C	A
Physalis peruviana L.				

【原産地】南米【国内分布】本州【県内分布】柏市【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】110：明治初期【県内への侵入】110：1956年【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】15,19,22,37,41,42,50,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】木村陽子・勝山輝男 2000. 千葉県のホオズキ属（ナス科）について. 千葉県植物誌資料 15:113-116.,62

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.491	シヨクヨウホオズキ	D	C	
<i>Physalis pubescens</i> L. var. <i>grisea</i> Waterfall (syn.)				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州(栽培)【県内分布】芝山町【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】110：昭和30年代以前【県内への侵入】110：1995年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】別名ケセンナリ【文献全般】19,22,41,42,50,52,55,59,78,85【文献県内】61,60,31,木村陽子・勝山輝男 2000. 千葉県の本オズキ属(ナス科)について.千葉県植物誌資料 15:113-116.

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.492	センナリホオズキ	C	C	B
<i>Physalis pubescens</i> L. var. <i>pubescens</i>				

【原産地】熱帯米【国内分布】本州【県内分布】全県に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】240：1856年以前【県内への侵入】240：1930年代以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,58,59,66,69,74,78,85【文献県内】木村陽子・勝山輝男 2000. 千葉県の本オズキ属(ナス科)について.千葉県植物誌資料 15:113-116.,62,30

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.493	ハコベホオズキ	C	C	B
<i>Salpichroa origanifolia</i> (Lam.) Baill. (syn.)				

【原産地】南米【国内分布】本州【県内分布】北総と南総の西部に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】240：明治中期?【県内への侵入】240：1976年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,8,14,15,22,41,42,50,53,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】60,大野影徳(1976) ハコベホオズキ習志野市谷津町に繁殖する.植物採集ニュース(88)48-49.

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.494	テリミノイヌホオズキ(垂れ実型)	C	C	
<i>Solanum americanum</i> Miller				

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】多い【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】240：1951年以前【県内への侵入】240：1960年以前【侵入の影響】212,321,312【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22【文献県内】60

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.495	カンザシイヌホオズキ	C	C	B
<i>Solanum americanum</i> Miller var.				

【原産地】南米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】主として北総と南総の西部に分布【生育状況】多い【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】240：1965年頃【県内への侵入】240：1983年以前【侵入の影響】212,321,312【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,14,22,56,78【文献県内】60

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.496	シロミノカンザシヌホオズキ			
Solanum americanum Miller var.				

【原産地】北米【国内分布】本州【県内分布】柏市【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】240：1996年以前【県内への侵入】240：1996年以前【侵入の影響】212,321,312【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】斉藤吉永 1996. シロミノカンザシヌホオズキ柏に現る.千葉県植物誌資料 6:35.

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.497	キンギンナスビ	D	C	A
Solanum capsicoides All. (syn. S. ciliatum Lam.)				

【原産地】熱帯南米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】鴨川市（仁右衛門島）【生育状況】多い【生活形】夏緑【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：明治初期【県内への侵入】120：1957年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】2,14,15,41,42,50,55,56,58,59,66,69,74,78,85【文献県内】61,60

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.498	ワルナスビ	B	B	C
Solanum carolinens				

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】240：1907年以前【県内への侵入】240：明治時代【侵入の影響】212,321,312,313【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】1,3,12,14,15,19,22,37,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.499	オオイヌホオズキ	C	C	B
Solanum nigrescens Mart. et Gal.				

【原産地】南米【国内分布】本州【県内分布】全県に分布【生育状況】多い【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】240：1910年以前【県内への侵入】240：1930年以前【侵入の影響】212,321,312【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,22,42,53,57,59,66【文献県内】60,10

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.500	ヒメケイヌホオズキ	D	C	A
Solanum physalifolium Rusby var. nitidibaccatum (Bitter) Edmonds				

【原産地】南米【国内分布】本州【県内分布】柏市、富津市【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】240：1950年代【県内への侵入】240：1958年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,42,53,57,59,66【文献県内】60

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.501	タマサンゴ	C	C	B
Solanum pseudocapsicum L.				

【原産地】ブラジル【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】船橋市市川市暖地で増える、極少【生活形】夏緑【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：明治中期【県内への侵入】120：1929年以前（栽培）【侵入の影響】420,312【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,15,19,22,41,42,53,56,57,59,62,66,67,69,74,78,85【文献県内】60

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.502	アメリカイヌホオズキ	C	C	C
Solanum ptycanthum Dunal ex DC.				

【原産地】北米～熱帯米【国内分布】本州【県内分布】全県に分布【生育状況】多い【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】240：昭和30年代以前【県内への侵入】240：1977年以前【侵入の影響】212,321,312【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,15,19,22,41,55,56,78,85【文献県内】60

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.503	ケイヌホオズキ	D	C	A
Solanum sarrachoides Sendtn.				

【原産地】南米【国内分布】本州【県内分布】柏市・富津市・館山市【生育状況】極少【生活形】夏緑【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】240：1950年【県内への侵入】240：1992年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,14,15,19,22,42,50,53,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】61,60,31,35

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.504	ハリナスビ	C	C	A
Solanum sisymbriifolium Lam.				

【原産地】南米【国内分布】本州【県内分布】主として南総西部に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：江戸時代末期【県内への侵入】120：1973年以前【侵入の影響】トゲ有り,212,321,312,313【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,14,15,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】61,60,83

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.505	トゲハリナスビ	C	C	
Solanum undatum Lam. (syn. S. coagulans auct. non. Forsc.)				

【原産地】中国南部・東南アジア・インド【国内分布】千葉県【県内分布】船橋市に一時帰化【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】240：1999年以前【県内への侵入】240：1999年以前【侵入の影響】トゲ有り,212,321,312,313【外来種対策】-【備考】-【文献全般】 【文献県内】60

種子植物	ナス科	影響度	緊急度	容易性
No.506	アカミノイヌホオズキ	D	C	A
<i>Solanum villosum</i> Mill. subsp. <i>miniatum</i> (Bernh. ex Willd.) Edmonds (syn.)				

【原産地】欧州【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】山武市【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】230：1931年以前【県内への侵入】230：1931年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】 【文献県内】60

種子植物	フジウツギ科	影響度	緊急度	容易性
No.507	フサフジウツギ	C	C	A
<i>Buddleja davidii</i> Franch.				

【原産地】中国西部【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】北総に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：1952年以前【県内への侵入】120：1950年代以前（栽培）【侵入の影響】212,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,6,15,19,38,48,53,56,57,62,63,66,74,78,85【文献県内】60

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.508	ヒサウチソウ	D	C	
<i>Bellardia trixago</i> (L.) All.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】本州【県内分布】千葉市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】240：1993年以前【県内への侵入】240：1998年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,42,57,59,66【文献県内】大野啓一 2007. 千葉市にヒサウチソウが帰化. 千葉県植物誌資料 23:198-199.

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.509	ヒナウンラン	D	C	A
<i>Chaenorrhinum minus</i> (L.) Lange				

【原産地】欧州【国内分布】千葉県【県内分布】千葉市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】220：1993年【県内への侵入】220：1993年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】42,55,56,57,59,66,78【文献県内】60

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.510	ツタバウンラン	C	C	B
<i>Cymbalaria muralis</i> Gaertn. Mey. et Scherb.				

【原産地】地中海沿岸～欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】主として北総西部に分布【生育状況】少ない【生活形】常緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】120：大正初年【県内への侵入】120：1986年以前【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,14,15,19,22,41,42,50,56,57,59,66,67,78,85【文献県内】60,10

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.511	イワカラクサ	D	C	A
<i>Erinus alpinus</i> L.				

【原産地】欧州【国内分布】本州・北海道（栽培）【県内分布】芝山町【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：1995年以前【県内への侵入】120：1995年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】 【文献県内】60

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.512	ヒメツルウンラン	D	C	A
<i>Kickxia elatine</i> (L.) Dumort.				

【原産地】欧州【国内分布】千葉県【県内分布】成田市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】220：1992年【県内への侵入】220：1992年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】42,57,59,66【文献県内】60

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.513	マツバウンラン	C	C	B
<i>Linaria canadensis</i> (L.) Dum.				

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】240：1941年【県内への侵入】240：1988年以前【侵入の影響】321,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,66,74,85【文献県内】60,10

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.514	ムラサキウンラン	D	C	A
<i>Linaria incarnata</i> (Vent.) Sprengel				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】全県に散在【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：1870年頃【県内への侵入】120：1988年以前（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,42,50,53,55,57,59,62,63,66【文献県内】60,10

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.515	ホソバウンラン	D	C	A
<i>Linaria vulgaris</i> Miller				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】茂原市・佐倉市・千葉市・富津市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120,220：大正時代【県内への侵入】120,220：1990年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,14,19,22,41,42,55,56,57,59,66【文献県内】60,10

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.516	ヒメアメリカアゼナ	D	C	A
Lindernia anagallidea (Michx.) Pennell				

【原産地】北米【国内分布】本州【県内分布】柏市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：1933年【県内への侵入】240：1997年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】7,19,22,41,42,53,55,56,57,59,66,78【文献県内】60

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.517	タケトアゼナ	B	B	B
Lindernia dubia (L.) Pennell var. dubia				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：1936年？【県内への侵入】240：1986年以前【侵入の影響】321【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】1,22,41,42,53,55,56,57,59,66,78【文献県内】60

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.518	アメリカアゼナ	B	B	C
Lindernia dubia (L.) Pennell var. major Pennell				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】240：1934年以前【県内への侵入】240：1934年以前【侵入の影響】321【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,74,78,85【文献県内】61,10,60,小松崎一雄(1967)千葉県白井にアメリカアゼナが現れた.植物採集ニュース(30):43.,浅野貞夫(1968)上総丘陵にもアメリカアゼナ帰化す.植物採集ニュース(38):20.

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.519	セイヨウヒキヨモギ	C	C	A
Parentucella viscosa Caruel				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】北総・南総の都市部に散在【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】220：1973年【県内への侵入】220：1992年以前【侵入の影響】212【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】8,15,19,22,41,42,56,57,59,66,67,78,85【文献県内】61,60

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.520	キリ	D	C	B
Paulownia tomentosa (Thunb. ex Murray) Steud.				

【原産地】中国南部【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】極少【生活形】落葉高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】110：奈良時代【県内への侵入】110：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】6,22,38,48,53,63,74【文献県内】60,10

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.521	トウテイラン	D	C	A
Pseudolysimachion ornatum (Monjus.) Holb.				

【原産地】本州（自生）【国内分布】北海道、本州、四国、九州(栽培)【県内分布】鋸南町【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：自生【県内への侵入】120：1962年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】37,50,63【文献県内】60

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.522	モウズイカ	D	C	A
Verbascum blattaria L.				

【原産地】欧州～北アフリカ【国内分布】北海道、本州【県内分布】富津市、船橋市、袖ヶ浦市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】220：1879年(栽培)【県内への侵入】220：1985年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,12,14,15,19,41,42,50,53,55,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】61,60

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.523	ビロードモウズイカ	C	B	B
Verbascum thapsus L.				

【原産地】欧州・ユーラシア【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】北総・南総の西部に分布【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120,220：明治初年(導入)【県内への侵入】120,220：1988年以前【侵入の影響】321,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,41,42,50,53,55,56,57,58,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.524	ホザキモウズイカ	D	C	A
Verbascum virgatum Stokes				

【原産地】欧州【国内分布】本州【県内分布】市川市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】220：1956年以前【県内への侵入】220：1986年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,14,15,22,41,42,50,53,59,66【文献県内】61,60

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.525	オオカワヂシャ	A	A	B
Veronica anagallis-aquatica				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】本州【県内分布】北総・南総西部に散在【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】水散：夏【日本への侵入】130：1867年【県内への侵入】130：1989年以前【侵入の影響】322,212【外来種対策】-【備考】特定外来生物【文献全般】3,19,22,41,42,50,55,56,57,59,66,74,78【文献県内】60,10

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.526	タチイヌノフグリ	C	C	C
Veronica arvensis L.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】極多【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1870年頃【県内への侵入】210：1928年以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,58,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31,35

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.527	コゴメイヌノフグリ	C	C	
Veronica cymbalaria Bodard				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】本州【県内分布】柏市の利根運河土手，千葉市都市緑化植物園へ移入【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：1961年(栽培)【県内への侵入】120：2007年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,42,55,56,57,59,66【文献県内】木村陽子 2008. 柏市利根運河のコゴメイヌノフグリ. 千葉県植物誌資料 24:220-221.

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.528	フラサバソウ	C	B	B
Veronica hederifolia L.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】中程度【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：明治【県内への侵入】210：1966年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,22,41,42,50,53,55,56,57,58,59,66,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,小松崎一雄(1962)10年前に千葉県松戸市で採集されたフラサバソウ. 植物採集ニュース(4):14.

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.529	オオイヌノフグリ	C	C	C
Veronica persica Poiret				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】極多【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1870年頃【県内への侵入】210：1927年以前【侵入の影響】321,212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,58,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31,35

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.530	コテングクワガタ	C	C	
Veronica serpyllifolia L. subsp. serpyllifolia				

【原産地】欧州【国内分布】本州【県内分布】-【生育状況】芝地由来で増えている，北方系。少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】220：1947年【県内への侵入】220：2004年以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,8,22,41,42,50,53,55,57,59,66,78【文献県内】引田園子 2006. コテングクワガタ ...現状と経過.... 千葉県植物誌資料 21:184.

種子植物	ゴマノハグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.531	ホナガカワヂシャ	B	B	A
	<i>Veronica x myriantha</i> Tos. Tanaka			

【原産地】日本(雑種)オオカワヂシャ×カワヂシャ(在来)【国内分布】本州【県内分布】野田市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】130：1999年以前【県内への侵入】130：1999年以前【侵入の影響】在来種との雑種で，遺伝子がく乱，100,212【外来種対策】-【備考】カワヂシャ(在来品)とオオカワヂシャ(帰化品)との雑種【文献全般】-【文献県内】木村陽子 2004. ホナガカワヂシャ千葉県に出現. 千葉県植物誌資料 20:160.

種子植物	ノウゼンカズラ科	影響度	緊急度	容易性
No.532	ノウゼンカズラ	D	C	
	<i>Campsis grandiflora</i> (Thunb. ex Murray) Loisel.			

【原産地】中国南部【国内分布】本州、四国、九州(栽培)【県内分布】北総・南総に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・藤本【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：平安時代【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,38,48,57,59,63,74【文献県内】60

種子植物	ノウゼンカズラ科	影響度	緊急度	容易性
No.533	アメリカキササゲ	D	C	
	<i>Catalpa bignonioides</i> Walt.			

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州(栽培)【県内分布】北総に散在【生育状況】極少【生活形】落葉高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自+風散：秋【日本への侵入】120：明治時代末期【県内への侵入】120：1928年以前(栽培)【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,22,48,63,66,74,78【文献県内】60

種子植物	ノウゼンカズラ科	影響度	緊急度	容易性
No.534	キササゲ	D	C	
	<i>Catalpa ovata</i> G. Don			

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州(栽培)【県内分布】北総・南総に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】自+風散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：1929年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,19,22,38,48,56,57,63,66,69,74,78【文献県内】60

種子植物	ハマウツボ科	影響度	緊急度	容易性
No.535	ヤセウツボ	B	B	C
	<i>Orobanche minor</i>			

【原産地】欧州～北アフリカ【国内分布】本州、四国【県内分布】全県に分布【生育状況】多い【生活形】無葉緑・草本【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】240：1937年以前【県内への侵入】240：1937年以前【侵入の影響】321,420【外来種対策】-【備考】要注意外来生物(情報不足)【文献全般】1,3,8,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】61,10,60,35

種子植物	タヌキモ科	影響度	緊急度	容易性
No.536	オオバナイトタヌキモ	C	B	
Utricularia gibba L.				

【原産地】北米【国内分布】本州【県内分布】千葉市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】水散：秋【日本への侵入】120,210：1952年以前【県内への侵入】210,ホームセンターなどで売っているホテイアオイなどに株子がついてくる。：1970年以前【侵入の影響】321,312,冬でも越冬して、強い植物。野外に逸出すると他の植物にからみつき除去が困難。【外来種対策】-【備考】-【文献全般】57,59,66【文献県内】60

種子植物	オオバコ科	影響度	緊急度	容易性
No.537	ヘラオオバコ	C	C	C
Plantago lanceolata				

【原産地】欧州、ユーラシア【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】多い【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重+着散：夏【日本への侵入】240：江戸時代末期【県内への侵入】240：1927年以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,58,58,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	オオバコ科	影響度	緊急度	容易性
No.538	セイヨウオオバコ	D	C	B
Plantago major L. var. major				

【原産地】欧州・西アジア・北アフリカ【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】多い【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重+着散：夏～秋【日本への侵入】240：1957年以前【県内への侵入】240：1991年以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,67,78,85【文献県内】60,10

種子植物	オオバコ科	影響度	緊急度	容易性
No.539	ハイオオバコ	D	C	A
Plantago squarrosa Murray				

【原産地】欧州南部【国内分布】神奈川県、千葉県【県内分布】習志野市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重+着散：夏【日本への侵入】240：1961年以前【県内への侵入】240：1961年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,42,53,57,59,66【文献県内】60

種子植物	オオバコ科	影響度	緊急度	容易性
No.540	ツボミオオバコ	C	C	C
Plantago virginica L.				

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】多い【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重+着散：夏【日本への侵入】240：1913年【県内への侵入】240：1952年以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,58,59,66,67,69,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	スイカズラ科	影響度	緊急度	容易性
No.541	ハナツクバネウツギ	D	C	B
<i>Abelia x grandiflora</i> Rehd.				

【原産地】欧州(交配種)【国内分布】北海道、本州、四国、九州(栽培)【県内分布】北総と南総に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：1929年以前【県内への侵入】120：1929年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,63【文献県内】60

種子植物	スイカズラ科	影響度	緊急度	容易性
No.542	キンギンボク	D	C	A
<i>Lonicera morrowii</i> A.Gray				

【原産地】北海道、本州、四国(自生)【国内分布】北海道、本州、四国(自生)【県内分布】市原市【生育状況】極少【生活形】落葉低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：自生【県内への侵入】120：1990年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,6,38,48,65,74【文献県内】60

種子植物	スイカズラ科	影響度	緊急度	容易性
No.543	サンゴジュ	D	C	B
<i>Viburnum odoratissimum</i> Ker.Gaul. var. <i>awabuki</i> (K.Koch) Zabel				

【原産地】本州南部・四国・九州・東南アジア【国内分布】本州、四国、九州(自生・栽培)【県内分布】全県に分布【生育状況】極少【生活形】常緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：自生【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,38,48,63【文献県内】60

種子植物	オミナエシ科	影響度	緊急度	容易性
No.544	ノヂシャ	C	C	B
<i>Valerianella locusta</i> (L.) Latter				

【原産地】欧州【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】主として北総に分布【生育状況】多い【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】210：明治初年【県内への侵入】210：1971年以前【侵入の影響】321,212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,12,15,22,41,42,50,53,57,59,65,66,67,69,74【文献県内】61,10,60,31

種子植物	マツムシソウ科	影響度	緊急度	容易性
No.545	オニナベナ	D	C	
<i>Dipsacus fullonum</i> L.				

【原産地】欧州【国内分布】本州【県内分布】印旛村【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散：秋【日本への侵入】210：江戸時代【県内への侵入】210：2003年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】48,63【文献県内】60

種子植物	キキョウ科	影響度	緊急度	容易性
No.546	ハタザオギキョウ	D	C	A
<i>Campanula rapunculoides</i> L.				

【原産地】コーカサス・小アジア【国内分布】北海道、本州、四国、九州(栽培)【県内分布】富里市【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：1890年頃【県内への侵入】120：1992年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】50,57,59,62,66,78【文献県内】60

種子植物	キキョウ科	影響度	緊急度	容易性
No.547	ロベリアソウ	D	C	A
<i>Lobelia inflata</i> L.				

【原産地】北米【国内分布】本州【県内分布】成田市・富里市・千葉市【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】210：明治時代(栽培)【県内への侵入】210：1965年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,14,15,42,50,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】61,60

種子植物	キキョウ科	影響度	緊急度	容易性
No.548	ヒナキキョウソウ	D	C	A
<i>Triodanis biflora</i> (Ruiz et Pav.) Greene				

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】千葉市・芝山町【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】210：1931年【県内への侵入】210：1990年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,14,19,22,41,42,50,53,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】60

種子植物	キキョウ科	影響度	緊急度	容易性
No.549	キキョウソウ	C	C	B
<i>Triodanis perfoliata</i> (L.) Nieuwl.				

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】北総と南総に分布【生育状況】中程度【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】210：1911年以前【県内への侵入】210：1975年以前【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,56,57,58,59,66,69,74,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.550	キバナノコギリソウ	D	C	A
<i>Achillea filipendulina</i> Lam.				

【原産地】西アジア【国内分布】北海道、本州(東北)でときに逸出【県内分布】市原市菊間【生育状況】極少～少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：明治【県内への侵入】120：明治～昭和30年代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,13,15,41,42,55,56,57,60,62,66,69,78,85【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.551	セイヨウノコギリソウ	C	C	B
Achillea millefolium L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】北総～東葛に多い【生育状況】極少～少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒、地下茎【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】110,120：1887年【県内への侵入】110,120：1951年年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,8,13,14,15,19,22,41,42,45,50,53,55,56,58,60,61,62,65,67,68,69,74,78,85【文献県内】61,60,31,34,36

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.552	アカバナセイヨウノコギリソウ	D	C	A
Achillea millefolium L. form.				

【原産地】欧州【国内分布】千葉県【県内分布】市原市、館山市【生育状況】極少、逸出帰化【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒、地下茎【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】110,120：昭和以前（栽培）【県内への侵入】110,120：1992年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】57,59【文献県内】-

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.553	ノコギリソウモドキ	D	C	
Achillea stricta (W.D.J.Koch) Schleich. ex Grenli				

【原産地】欧州【国内分布】千葉県・神奈川県【県内分布】富里市【生育状況】極少、栽培の逸出【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】120：1988年以前【県内への侵入】120：1993年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】53,57,59,60,66【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.554	ヌマツルギク	B	B	A
Acnella oppositifolia (Lam.) R.K.Jensen (syn. Spilanthes oppositifolia (Lam.) D.Arcy ; Spilanthes americana (L.) Hieron.)				

【原産地】北米【国内分布】本州（関東以西）、九州【県内分布】富里市葉山【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒、不定芽【散布形態】重散：夏～秋（不定芽は春～秋）【日本への侵入】130：1961年頃【県内への侵入】130：1997年以前【侵入の影響】212,繁殖力が強い【外来種対策】-【備考】-【文献全般】15,19,22,41,42,56,57,59,60,66,78,85【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.555	マルバフジバカマ	D	C	
Ageratina altissima (L.) R.M.King et H.Rob.				

【原産地】北米【国内分布】北海道、関東（関東周辺）【県内分布】佐倉市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒、不定芽【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：1916年【県内への侵入】120：2006年以前【侵入の影響】地下茎でさかんに繁殖する、なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,14,15,22,41,42,44,53,55,56,57,59,65,66,68,69,78,85【文献県内】寺村敬子 2007. マルバフジバカマの確認. 千葉県植物誌資料 22:195.

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.556	カッコウアザミ	D	C	A
<i>Ageratum conyzoides</i> L.				

【原産地】熱帯米、メキシコ【国内分布】本州（関東周辺）、四国、九州【県内分布】富里市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散、重散：夏～秋【日本への侵入】120：1870年頃【県内への侵入】120：1930年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】10,13,14,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,66,67,74,78,85【文献県内】10,60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.557	ブタクサ	B	C	C
<i>Ambrosia elatior</i>				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に普通【生育状況】中程度～多い【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：1880年【県内への侵入】240：1930年代以前【侵入の影響】212,繁殖力が強い,312,花粉症の原因【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】1,3,10,12,14,15,19,20,22,41,44,45,50,53,55,56,57,59,60,66,67,69,74,78,85【文献県内】10,60,31,35

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.558	オオブタクサ	A	A	C
<i>Ambrosia trifida</i>				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布、河原・造成地に極めて多い【生育状況】極多【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：1953年以前【県内への侵入】240：1957年以前【侵入の影響】212,繁殖力が強い,312,花粉症の原因になる,411【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（適否検討）【文献全般】1,3,8,10,12,14,15,19,22,41,44,45,53,55,56,59,60,61,66,67,73,74,77,78,84,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.559	アレチカミツレ	D	C	A
<i>Anthemis arvensis</i> L.				

【原産地】地中海沿岸、コーカサス、イラン【国内分布】北海道、本州【県内分布】県北部に稀【生育状況】極少～少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】240：明治初年【県内への侵入】240：1977年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,14,15,22,41,42,45,50,53,57,59,60,65,66,77【文献県内】33

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.560	カミツレモドキ	D	C	B
<i>Anthemis cotula</i>				

【原産地】欧州・北アフリカ・西アジア【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】極少～少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】210：1931年【県内への侵入】210：1977年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,44,45,50,55,56,58,60,61,65,66,67,69,77,78,85【文献県内】61,60,31

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.561	ゴボウ	D	C	A
Arctium lappa L.				

【原産地】ユーラシア【国内分布】秋田県・神奈川県・千葉県【県内分布】全県に散在【生育状況】極少
 【生活形】夏緑・2年～多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】110：弥生～奈良【県内への侵入】110：弥生～室町【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】42,57,59【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.562	ワタゲツルハナグルマ	C	C	A
Arctotheca prostrata (Salisb.) Britten				

【原産地】南アフリカ【国内分布】東京都・神奈川県・佐渡島【県内分布】千葉市幕張【生育状況】極少
 【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒、匍匐枝による栄養繁殖【散布形態】重散：春～秋
 【日本への侵入】120,150：1995年（逸出）【県内への侵入】120,150：1995年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,53,57,59,60【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.563	イワヨモギ	B	B	B
Artemisia gmelinii Weber ex Stechm.				

【原産地】北海道～青森（国内帰化）【国内分布】本州、四国、九州（国内帰化）【県内分布】県南部を中心に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草・亜高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】151：自生【県内への侵入】151：1995年以前【侵入の影響】212,法面緑化に使われ、自然度の高いところにも侵入,312,花粉症の原因【外来種対策】-【備考】-【文献全般】16,26,50,53,60,65【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.564	ハイイロヨモギ	B	B	A
Artemisia sieversiana				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】長野県・京都府・埼玉県・千葉県さらに分布の可能性【県内分布】柏市東上町【生育状況】極少【生活形】夏緑・1～2年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】151,300：1952年【県内への侵入】151：1997年以前【侵入の影響】212,法面緑化に使われ、自然度の高いところにも侵入,312,花粉症の原因【外来種対策】-【備考】まだ、千葉県には少なくとも予防的に、要注意外来生物（緑化植物）【文献全般】15,22,41,50,55,56,59,65,78,84,85【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.565	キダチコンギク	C	C	A
Aster pilosus Willd.				

【原産地】北米【国内分布】本州（関東以西）、四国、九州【県内分布】県北部に散在【生育状況】少ない
 【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】120：1950～53年頃【県内への侵入】120：1991年以前【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,8,14,15,19,22,41,42,45,47,53,55,56,57,59,60,78,85【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.566	ミヤマヨメナ	D	C	
Aster savatieri Makino				

【原産地】日本【国内分布】本州、四国、九州の山地に自生【県内分布】 - 【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】もともと自生：もともと自生【県内への侵入】120：1991年以前（逸出）【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】ミヤコワスレの名で栽培されるものが時に逸出【文献全般】60【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.567	オオホウキギク	B	C	B
Aster subulatus Michx. var. ligulatus Shinnars (syn. Aster exilis Elliot)				

【原産地】北米？【国内分布】本州（関東以西）、四国、九州でとびとびに分布【県内分布】東京湾岸の工業地帯に多い【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】240：1956年【県内への侵入】240：1968年以前【侵入の影響】212【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】3, 8, 10, 14, 19, 22, 42, 43, 45, 50, 53, 55, 56, 57, 60, 61, 66, 78, 85【文献県内】61, 10, 60, 35

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.568	ホウキギク	B	C	C
Aster subulatus Michx. var. obtusifolius Fernald				

【原産地】北米【国内分布】本州（小笠原）、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】中程度【生活形】冬緑・1年～多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風～水散：秋【日本への侵入】240：1910年頃【県内への侵入】240：1930年代以前【侵入の影響】212【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】1, 3, 8, 10, 12, 14, 15, 19, 22, 41, 44, 50, 53, 55, 56, 57, 59, 60, 61, 65, 69, 74, 78, 85【文献県内】61, 10, 60, 31, 35

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.569	ヒロハホウキギク	B	C	C
Aster subulatus Michx. var. subulatus				

【原産地】北米【国内分布】本州（関東以西）、四国、九州【県内分布】全県に普通【生育状況】極多～多い【生活形】夏緑・1～多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風～水散：秋【日本への侵入】240：1967年以前【県内への侵入】240：1983年以前【侵入の影響】212, 繁殖力が強い【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】3, 8, 10, 12, 14, 15, 19, 22, 41, 42, 53, 55, 56, 57, 59, 60, 65, 66, 78, 85【文献県内】10, 60, 35

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.570	キンバイタウコギ	D	C	A
Bidens aurea (Aiton) Sherff				

【原産地】中央米【国内分布】本州（関東以西）、四国、九州【県内分布】全県にあるが少ない【生育状況】極少～少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散：秋～冬【日本への侵入】120：1957年【県内への侵入】120：1984年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】7, 8, 14, 15, 22, 41, 42, 45, 53, 55, 56, 57, 59, 60, 61, 66, 78, 85【文献県内】61, 60, 斉藤吉永(1972)千葉県下に産するキンバイタウコギ. 植物採集ニュース(35):1-2.

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.571	コバノセンダングサ	D	C	B
Bidens bipinnata L.				

【原産地】熱帯米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散：秋～冬【日本への侵入】230：1925年以前【県内への侵入】230：1951年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,8,10,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,60,66,67,74,78,85【文献県内】10,60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.572	センダングサ	C	C	B
Bidens biternata (Lour.) Merr. et Sherff ex Sherff				

【原産地】暖帯～熱帯に広く分布【国内分布】関東以西、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散：秋～冬【日本への侵入】230：史前帰化説も【県内への侵入】230：1929年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】14,15,22,41,45,50,53,57,60,69【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.573	アメリカセンダングサ	B	B	C
Bidens frondosa				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に普通【生育状況】多い【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散+水散：秋～冬【日本への侵入】230：1920年【県内への侵入】230：1930年代以前【侵入の影響】212,321【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】1,3,7,10,12,14,15,19,22,41,45,50,53,55,56,59,60,61,65,66,67,68,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31,35

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.574	シロバナセンダングサ	B	B	B
Bidens pilosa L. var. pilosa form.				

【原産地】熱帯米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県にあり、コセンダングサと混生、最近増加傾向？【生育状況】中程度～多い【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散：秋～冬【日本への侵入】230：江戸時代末期【県内への侵入】230：1960年代以前【侵入の影響】212,繁殖力が強い【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,10,15,22,41,42,45,50,53,57,59,60,61,65,66,69,74【文献県内】61,10,31,35

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.575	コセンダングサ	B	B	C
Bidens pilosa var. pilosa				

【原産地】熱帯米【国内分布】本州、四国、九州に帰化【県内分布】全県に普通【生育状況】極多～多い【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散：秋～冬【日本への侵入】230：1908年以前【県内への侵入】230：1975年以前【侵入の影響】212,321,水田地帯や河原でも非常に多く、他の在来種と競合の恐れ【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】3,8,10,12,14,15,19,22,41,42,45,50,55,56,57,59,60,61,65,66,67,69,74,77,78,85【文献県内】61,10,60,31,35

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.576	タホウタウコギ	D	C	
Bidens polylepis Blake				

【原産地】北米【国内分布】新潟県・静岡県・千葉県など【県内分布】柏市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1～越年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散？：秋～冬【日本への侵入】120：1970年代以前【県内への侵入】120：1989年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】15,42,47,55,56,57,59,60,66,78【文献県内】斉藤吉永(1970).タホウタウコギの新知見.千葉植物誌38(2):59-60.

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.577	セイヨウトゲアザミ	C	C	A
Breea arvensis (L.) Less.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国【県内分布】東葛南部に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒、不定芽、地下茎による繁殖【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】240：1965年頃【県内への侵入】240,151(?)：1984年以前【侵入の影響】312,刺がある,321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,8,22,41,42,45,53,55,56,57,59,60,66,78,85【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.578	エゾノキツネアザミ	C	C	A
Breea setosa (M.Bieb.) Kitamura				

【原産地】中国～シベリア、ロシア【国内分布】北海道、本州（青森県）自生？【県内分布】千葉市ほか【生育状況】極少～少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】240：自生【県内への侵入】240：1965年以前【侵入の影響】312,刺がある,321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】45,50,53,57,60,65,74【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.579	ヒメキンセンカ	D	C	
Calendula arvensis L.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】下総町ほか【生育状況】少ない、園芸流通と繁殖の強さから増加傾向【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：春～秋、暖かいところは冬も【日本への侵入】120：江戸時代末期【県内への侵入】120,151,152：2001年以前【侵入の影響】420,こぼれ種による繁殖力が強い【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,22,50,53,57,59,60,63,66,74【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.580	キンセンカ	D	C	A
Calendula officinalis L.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】稀に逸出【県内分布】稀に逸出している程度【生育状況】極少～少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散：冬～春【日本への侵入】120,151,152：江戸時代（栽培）【県内への侵入】120,151,152：昭和初期（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】60【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.581	ヒメヒレアザミ	C	C	A
<i>Carduus pycnocephalus</i> L.				

【原産地】欧州【国内分布】兵庫県、三重県、千葉県【県内分布】東葛南部【生育状況】極少【生活形】冬夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：春～夏【日本への侵入】240：1963年【県内への侵入】240：2003年以前【侵入の影響】313,トゲ有り,繁殖する【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,15,42,44,47,50,55,56,60,66,69,78,85【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.582	ベニバナ	D	C	A
<i>Carthamus tinctorius</i> L. var. <i>spinosus</i> Kitamura				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】-【県内分布】県南部【生育状況】極少【生活形】夏緑・1～2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】110,151：平安時代（栽培）【県内への侵入】110,151：1991年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】14,15,22,41,42,45,50,53,57,59,60,65,66,74【文献県内】60,31

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.583	ムラサキイガヤグルマギク	C	C	A
<i>Centaurea caricitraps</i> L.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】神奈川県、三重県、岡山県など【県内分布】市川市【生育状況】極少【生活形】夏緑・2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散～風散：夏～秋【日本への侵入】240：昭和初期【県内への侵入】240：1955年以前【侵入の影響】313,トゲ有り,繁殖する【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,14,15,22,41,42,50,55,56,57,59,60,66,78,85【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.584	ヤグルマギク	D	C	A
<i>Centaurea cyanus</i> L.				

【原産地】地中海沿岸東部【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】全県に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：春～夏【日本への侵入】120,150,(110)：江戸時代末期【県内への侵入】120,150,(110)：1931年（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,8,19,22,41,42,50,53,55,57,59,60,65,66,74,78,85【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.585	クロアザミ	C	C	A
<i>Centaurea nigra</i> Willd.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州（千葉県）【県内分布】印旛【生育状況】放牧地の害草【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】100：1933年以前【県内への侵入】100：1933年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,15,45,50,55,56,59,60,66,78,85【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.586	イガヤグルマギク	C	C	A
Centaurea solstitialis L.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】船橋【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1~2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】240：1915年【県内への侵入】240：1972年以前【侵入の影響】312,トゲ有り【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,14,15,22,42,44,50,53,55,56,57,58,59,60,61,66,69,78,85【文献県内】61,60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.587	ヒレハリギク	C	C	A
Centaureum melitensis L.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】本州、四国、【県内分布】船橋市【生育状況】極少（一時帰化？）【生活形】夏冬緑1~2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】240：1915年【県内への侵入】240：1968年以前【侵入の影響】313,トゲ有り【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,14,15,22,42,55,56,57,59,60,61,66,69,78,85【文献県内】61,60,吉川代之助(1970)千葉県生物誌18:51.

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.588	シュンギク	D	C	
Chrysanthemum coronarium L.				

【原産地】南ヨーロッパ~地中海沿岸【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】極少（畑、人家近く）【生活形】冬夏緑・1~2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：春~夏【日本への侵入】110：江戸時代中期（栽培）【県内への侵入】110：明治時代（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】57,59,60【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.589	キク	B	C	B
Chrysanthemum morifolium Ramat.				

【原産地】中国【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】全県に散在【生育状況】極少（人里近くで時に逸出）【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋~冬【日本への侵入】120,152：奈良【県内への侵入】120,152：奈良~室町【侵入の影響】100,在来のキク属との交雑のおそれ【外来種対策】-【備考】複数種の交雑による園芸品【文献全般】37,50,62,63,74【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.590	サトイソギク	B	B	
Chrysanthemum morifolium x pacificum				

【原産地】日本（本州）【国内分布】本州【県内分布】銚子、安房の海岸地帯【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋~冬【日本への侵入】120,交雑種：江戸時代以前【県内への侵入】120,交雑種：江戸時代以前【侵入の影響】100,繁殖力強い、園芸で販売されている、イソギクなどの遺伝子汚染が心配【外来種対策】-【備考】イソギク×キク【文献全般】50【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.591	ハナイソギク	B	B	
<i>Chrysanthemum pacificum</i> x <i>morifolium</i>				

【原産地】本州【国内分布】本州【県内分布】銚子、安房の海岸地帯に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋～冬【日本への侵入】120,交雑種：江戸時代以前【県内への侵入】120,交雑種：江戸時代以前【侵入の影響】100,繁殖力強い、園芸で販売されている、イソギクなどの遺伝子汚染が心配【外来種対策】-【備考】イソギク×キク【文献全般】50【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.592	キクニガナ	D	C	A
<i>Cichorium intybus</i> L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、九州、【県内分布】全県にまばらに分布【生育状況】少ない（チコリの名で栽培、ときに逸出）【生活形】連緑・2～多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：春～夏【日本への侵入】110,120：明治？（栽培）【県内への侵入】110,120：明治～昭和30年代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,14,19,22,41,42,45,50,52,53,55,56,57,59,65,66,74,78,85【文献県内】61,60,82

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.593	フジアザミ	D	C	
<i>Cirsium purpuratum</i> (Maxim.) Matsum.				

【原産地】日本（国内帰化）【国内分布】宮城県～愛知県、岐阜県、福井県【県内分布】松戸【生育状況】千葉県では逸出、一時帰化で現在はない？【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】自生：自生【県内への侵入】240：1970年代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,37,50,65,74【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.594	アメリカオニアザミ	B	A	B
<i>Cirsium vulgare</i>				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、（北日本に多い）【県内分布】県北部を中心に分布【生育状況】中程度～多い【生活形】冬緑・2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】240：1960年以前【県内への侵入】240：1993年以前【侵入の影響】313,212,とげあり,繁殖力強い(岩槻メモ：Aでもいいくらい)【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】1,3,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】61,10,60,斎藤吉永(1996)アメリカオニアザミ佐倉市に侵入.千葉生物誌45(2):27-28.

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.595	アレチノギク	C	C	C
<i>Conyza bonariensis</i> (L.) Cronquist				

【原産地】南米【国内分布】北海道、本州、四国、九州、琉球、小笠原【県内分布】全県に分布【生育状況】中程度（都市的環境）【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：通年【日本への侵入】230：1890年前後【県内への侵入】230：1958年以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,65,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31,35

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.596	オオアレチノギク	B	C	C
<i>Conyza sumatrensis</i>				

【原産地】南米【国内分布】北海道、本州、四国、九州、琉球【県内分布】全県に普通【生育状況】多い～極多 ヒメムカシヨモギと共に大群生する【生活形】冬緑・1～2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】230：1920年前後【県内への侵入】230：1935年以前【侵入の影響】32, 1, 212, 繁殖力が強く大群生する【外来種対策】 - 【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】1, 3, 7, 12, 14, 15, 19, 41, 42, 45, 47, 50, 53, 55, 56, 57, 59, 65, 66, 67, 69, 74, 77, 78, 85【文献県内】61, 10, 31, 35

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.597	キンケイギク	D	C	A
<i>Coreopsis basalis</i> (A.Dietr.) S.F.Blake				

【原産地】北米【国内分布】本州（まれで、たまに一時帰化）【県内分布】全県にまばらに分布【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】120, (151)：明治【県内への侵入】120, (151)：2003年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】7, 14, 15, 19, 22, 42, 45, 50, 53, 56, 57, 59, 65, 66, 74, 78, 85【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.598	オオキンケイギク	A	A	B
<i>Coreopsis lanceolata</i>				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州、【県内分布】全県に散在【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】120, 151：明治【県内への侵入】120, 151：1984年以前【侵入の影響】420, 212, かなり繁殖している【外来種対策】 - 【備考】特定外来生物【文献全般】1, 3, 7, 8, 14, 15, 19, 22, 41, 42, 44, 53, 55, 56, 57, 58, 59, 62, 65, 66, 67, 74, 78, 85【文献県内】60, 31

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.599	ハルシャギク	C	C	B
<i>Coreopsis tinctoria</i> Nutt.				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】中程度、利根川河川敷で時々群落あり【生活形】冬緑・1～2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120, 151：明治【県内への侵入】120, 151：1927年以前（栽培）【侵入の影響】212, 420, 河川敷にあることも多く、河川敷固有種との競合が心配【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】1, 3, 7, 8, 14, 19, 22, 41, 42, 50, 53, 56, 57, 59, 62, 65, 66, 67, 74, 78, 85【文献県内】10, 60, 31

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.600	コスモス	D	C	B
<i>Cosmos bipinnatus</i> Cav.				

【原産地】メキシコ【国内分布】北海道、本州、四国、九州（時々逸出するが定着せず）【県内分布】北総～東葛南部の記録が多い【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：冬【日本への侵入】120, 151, 152：江戸時代【県内への侵入】120, 151, 152：（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】1, 3, 7, 8, 19, 22, 41, 42, 43, 45, 50, 53, 55, 56, 57, 62, 65, 66, 67, 74, 78, 85【文献県内】60, 31

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.601	キバナコスモス	D	C	B
Cosmos sulphureus Cav.				

【原産地】中央米～南米【国内分布】北海道、本州、四国、九州（時々逸出するが定着せず）【県内分布】北総で記録が多い【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：大正初期【県内への侵入】120：1943年（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,14,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,65,66,67,74,78,85【文献県内】60,31

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.602	マメカミツレ	C	C	B
Cotula australis (Sieber ex Spreng.) Hook.f.				

【原産地】豪州【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】東葛南部、東京湾沿い【生育状況】多い～極多（市街地）【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：都市部では通年【日本への侵入】220：1939年【県内への侵入】220：1958年以前【侵入の影響】321,繁殖力が強い【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,14,15,19,22,41,42,44,45,50,53,56,57,59,66,69,77,78,84,85【文献県内】61,10,60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.603	ベニバナボロギク	B	C	C
Crassocephalum crepidioides (Benth.) S.Moore				

【原産地】アフリカ【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】全県に普通【生育状況】中程度～多い（伐採地や崩壊地等）【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】230：1950年【県内への侵入】230：1984年以前【侵入の影響】212,山林にも侵入し時に群生【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,44,45,50,53,55,56,57,59,65,66,67,71,74,77,78,85【文献県内】61,10,60,浅野貞夫(1972)ベニバナボロギクが千葉県秘境で育つ。植物採集ニュース(60):19.

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.604	セイヨウニガナ	D	C	A
Crepis capillaris (L.) Wallr.				

【原産地】欧州【国内分布】千葉県、神奈川県、長野県【県内分布】千葉市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】240：1977年【県内への侵入】240：1991年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,42,45,55,56,57,59,66,78【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.605	ヤネタビラコ	D	C	B
Crepis tectorum L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、【県内分布】県北部に散在【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】240：1974年【県内への侵入】240：1974年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,15,19,22,41,42,53,55,56,57,59,65,66,78,85【文献県内】斉藤吉永(1974)新帰化植物ヤネタビラコとヒメハルガヤ。植物採集ニュース(73):19-21.

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.606	アメリカタカサブロウ	B	B	C
<i>Eclipta alba</i> (L.) Hassk.				

【原産地】熱帯アメリカ(?) 【国内分布】関東以西に広く分布、北日本の状況は不明【県内分布】全県に普通【生育状況】中程度～多い、水田わきや畑などに【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散～水散：夏～秋【日本への侵入】240：1989年以前【県内への侵入】240：1989年以前【侵入の影響】321, 在来のタカサブロウとはわりと共存するが、他の希少な水田雑草と競合のおそれ【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,22,41,42,53,57,59,66【文献県内】26,60,10,大場達之 1998. アメリカタカサブロウ.千葉県植物誌資料 11:73-75.

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.607	オオハキダメギク	D	C	A
<i>Eleutheranthera ruderalis</i> (Sw.) Sch.-Bip.				

【原産地】熱帯アメリカ【国内分布】本州【県内分布】船橋、市川【生育状況】極小、一時帰化?【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：1999年【県内への侵入】240：1999年【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】57【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.608	ナンカイウスベニニガナ	D	C	A
<i>Emilia fosbergii</i> Nicolson				

【原産地】アフリカ【国内分布】硫黄列島、千葉県【県内分布】習志野【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草(千葉では夏緑1年草)【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】240：昭和時代【県内への侵入】240：2000年頃【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】42,57,59【文献県内】林 信子 2006. ナンカイウスベニニガナ発見記.千葉県植物誌資料 21:174. 大場達之・大野啓一・木村陽子 2006. ナンカイウスベニニガナ同定記.千葉県植物誌資料 21:174-177.

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.609	ダンドボロギク	B	C	C
<i>Erechtites hieraciifolius</i> (L.) Raf. ex DC.				

【原産地】北米・熱帯米【国内分布】本州、四国、九州、琉球【県内分布】全県に普通【生育状況】多い、山林や林縁などに【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】230：1933年【県内への侵入】230：1942年以前【侵入の影響】212,山林、林縁にも侵入、繁殖力強い【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,44,45,50,53,55,56,58,59,65,66,67,69,74,77,78,85【文献県内】61,10,60,31,35

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.610	ヒメムカシヨモギ	B	B	C
<i>Erigeron canadensis</i>				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州、琉球【県内分布】全県に普通【生育状況】極多、空き地などに【生活形】連緑・1～2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】230：1870年頃【県内への侵入】230：1929年以前【侵入の影響】212,312,繁殖力強い【外来種対策】-【備考】要注意外来生物(情報不足)【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,44,50,53,55,56,58,59,65,66,67,69,74,77,78,85【文献県内】61,10,60,31,35

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.611	ペラペラヨメナ	C	C	B
Erigeron karvinskianus DC.				

【原産地】中央米【国内分布】本州（関東以西）～琉球にとびとびに分布【県内分布】館山など【生育状況】少ない、石垣のようなところ【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：1949年【県内への侵入】120：1985年以前【侵入の影響】212【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】15, 22, 41, 42, 44, 47, 50, 53, 55, 56, 57, 59, 66, 67, 73, 74, 77, 78, 85【文献県内】10, 60, 斉藤吉永(1986)ペラペラヨメナ房州館山に現れる. 千葉生物誌36(1):45.

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.612	ハルジオン	B	C	C
Erigeron philadelphicus				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に普通【生育状況】多い【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒、不定芽、無配生殖【散布形態】風散：春、秋～冬【日本への侵入】120：1920年頃【県内への侵入】120：1952年以前【侵入の影響】212, 312【外来種対策】 - 【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】1, 3, 7, 8, 12, 14, 15, 19, 22, 41, 42, 44, 45, 50, 53, 55, 56, 57, 59, 65, 66, 69, 74, 77, 78, 85【文献県内】10, 60, 31, 35, 浅野貞夫(1966)ハルジオン房州に渡来する. 植物採集ニュース(27):26.

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.613	ケナシヒメムカシヨモギ	C	C	B
Erigeron pusillus Nutt.				

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州、琉球【県内分布】北総～九十九里に散在【生育状況】中程度【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】230：1926年以前【県内への侵入】230：1962年以前【侵入の影響】212, 312, 繁殖力が強い【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】1, 3, 8, 12, 14, 15, 19, 22, 41, 42, 44, 45, 50, 53, 56, 57, 59, 65, 66, 67, 69, 74, 78, 85【文献県内】61, 60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.614	テンニンギク	D	C	A
Gaillardia pulchella Foug.				

【原産地】北米【国内分布】本州（近畿以西）、四国、九州、【県内分布】成東【生育状況】極少、栽培？現在はない？【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】120：明治中頃（栽培）【県内への侵入】120：1927年以前（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】1, 7, 22, 41, 42, 53, 55, 56, 57, 58, 59, 66, 67, 74, 78【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.615	コゴメギク	D	C	
Galinsoga parviflora Cav.				

【原産地】熱帯米【国内分布】本州、四国に点在【県内分布】東葛（関宿、木間ヶ瀬地区でかなり繁殖）【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】230：昭和初期【県内への侵入】230：1971年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】7, 12, 14, 15, 19, 22, 41, 42, 50, 55, 56, 57, 59, 65, 66, 69, 78, 85【文献県内】60, 31

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.616	ハキダメギク	C	C	C
<i>Galinsoga quadriradiata</i> Ruiz et Pav.				

【原産地】北米・熱帯米【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】全県に普通【生育状況】多い、畑、路傍など【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】230：1932年【県内への侵入】230：1971年以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1, 3, 7, 8, 12, 14, 15, 19, 22, 41, 42, 45, 47, 50, 53, 55, 56, 57, 59, 65, 66, 67, 69, 74, 78, 85【文献県内】61, 10, 60, 35

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.617	アイセイトカハハコグサ	B	C	B
<i>Gnaphalium affine</i> x <i>alboluteum</i>				

【原産地】日本【国内分布】神奈川県、千葉県【県内分布】北総で記録が多い【生育状況】少ない、ハハコグサとセイトカハハコグサが混生するところによく見られる【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：ほぼ通年【日本への侵入】230：2003年以前【県内への侵入】230：2003年以前【侵入の影響】100, ハハコグサとの交雑による遺伝子汚染【外来種対策】-【備考】ハハコグサ×セイトカハハコグサ【文献全般】57, 59【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.618	タチチコグサ	C	C	B
<i>Gnaphalium calviceps</i> Fernald				

【原産地】北アメリカ【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：ほぼ通年【日本への侵入】230：1918年【県内への侵入】230：1991年以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1, 3, 7, 8, 12, 19, 22, 39, 41, 42, 47, 53, 55, 56, 57, 59, 66, 78, 84, 85【文献県内】10, 60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.619	セイトカハハコグサ	B	C	C
<i>Gnaphalium luteoalbum</i> L.				

【原産地】欧州【国内分布】関東、兵庫県など【県内分布】全県に散在【生育状況】中程度【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：ほぼ通年【日本への侵入】230：戦後【県内への侵入】230：1982年以前【侵入の影響】100, ハハコグサとの交雑【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1, 7, 19, 22, 41, 42, 53, 55, 56, 57, 59, 66, 67, 78【文献県内】10, 60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.620	チコグサモドキ	B	C	C
<i>Gnaphalium pensylvanicum</i> Willd.				

【原産地】北アメリカ【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に普通【生育状況】中程度【生活形】冬夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：ほぼ通年【日本への侵入】230：大正【県内への侵入】230：1957年以前【侵入の影響】321, 繁殖力が強い【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1, 3, 7, 8, 12, 14, 15, 19, 22, 39, 41, 42, 45, 47, 50, 53, 55, 56, 58, 65, 66, 67, 69, 74, 78, 85【文献県内】10, 60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No. 621	ウスベニチチコグサ	C	C	C
<i>Gnaphalium purpureum</i> L.				

【原産地】アメリカ大陸【国内分布】本州（関東以西）～九州、とくに九州は多い【県内分布】全県に分布【生育状況】少ない【生活形】通緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】240：1968年【県内への侵入】240：1958年以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,10,15,19,22,41,42,47,50,53,55,56,57,58,59,60,61,66,69,78【文献県内】61,10,60,31,35

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No. 622	ウラジロチチコグサ	B	C	C
<i>Gnaphalium spicatum</i> Lam.				

【原産地】北アメリカ【国内分布】本州（関東以西）～九州【県内分布】全県にきわめて普通【生育状況】多い【生活形】通緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：ほぼ通年【日本への侵入】240：1965年頃【県内への侵入】240：1958年以前【侵入の影響】321,繁殖力が強い【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,10,19,22,26,41,42,53,55,56,57,59,60,66,78【文献県内】10,60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No. 623	キバナタカサブロウ	D	C	
<i>Guizotia abyssinica</i> (L.f.) Cass.				

【原産地】熱帯アフリカ【国内分布】千葉県、静岡県、山口県【県内分布】柏市【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：1960年【県内への侵入】110：1971年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,14,15,22,42,45,55,56,57,59,60,61,66,67,71,73,78,85【文献県内】61,60,31

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No. 624	ミズヒマワリ	A	A	A
<i>Gymnocornis spilanthoides</i>				

【原産地】南アメリカ【国内分布】本州（関東、東海、近畿）【県内分布】市川、佐原など【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒 ちぎれた茎からも繁殖【散布形態】重～水散：秋【日本への侵入】130：戦後（栽培）【県内への侵入】130：2001年以前【侵入の影響】322,212,222,水辺で大繁殖のおそれ【外来種対策】-【備考】特定外来生物【文献全般】42,46,59,60,76【文献県内】60,浅田正彦・林薫・林浩二(2009)千葉県の県管轄河川における特定外来生物緊急調査.千葉県生物多様性センター研究報告1:41-47.

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No. 625	サンシチソウ	D	C	A
<i>Gynura japonica</i> (L.f.) Juel				

【原産地】中国【国内分布】本州、【県内分布】成東など【生育状況】極少、一時帰化？【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】100：江戸時代末期【県内への侵入】100：1929年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,14,22,41,42,45,47,50,55,56,57,59,60,66,67,69,74,78,85【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No. 626	ダンゴギク	D	C	A
Helenium autumnale L.				

【原産地】北米【国内分布】本州、【県内分布】北総に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】120：大正時代【県内への侵入】120：1967年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,41,42,53,57,59,60,66,74【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No. 627	ヒマワリ	D	C	B
Helianthus annuus L.				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110,120,151：江戸時代（栽培）【県内への侵入】110,120,151：明治時代（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,10,22,50,53,55,57,59,60,62,65,66,74【文献県内】10

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No. 628	シロタエヒマワリ	D	C	A
Helianthus argophyllus Torr. et A.Gray				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】富里市、茂原市、芝山【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：明治（栽培）【県内への侵入】120：1995年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,22,41,42,50,53,55,57,59,60,66,78,85【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No. 629	ヒメヒマワリ	D	C	A
Helianthus cucumerifolius Torr. et A.Gray				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】大多喜町など全県で稀に見られる【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：1910年前後【県内への侵入】120：1934年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,14,15,19,22,41,42,50,53,56,57,59,60,61,62,66,67,74,78,85【文献県内】61,60,吉川代之助(1973)千葉県船橋の帰化植物4種.植物採集ニュース(68):85.

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No. 630	キクイモ	B	B	C
Helianthus tuberosus				

【原産地】アメリカ大陸【国内分布】北海道、本州、四国、九州、琉球【県内分布】全県に普通【生育状況】多い【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒 根茎、塊茎で繁殖【散布形態】重散：-【日本への侵入】110,120：江戸時代末期【県内への侵入】110,120：1981年以前【侵入の影響】212,繁殖力がきわめて強い【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】1,3,7,8,10,12,14,15,19,22,41,42,45,52,53,55,56,59,60,65,66,67,69,74,78,85【文献県内】10,60,31

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.631	コウリントンポポ	D	C	A
Hieracium aurantiacum L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、【県内分布】佐倉【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒 ランナー【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】120：明治【県内への侵入】120：1997年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,14,15,19,22,41,45,47,50,55,56,57,59,60,65,66,78,85【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.632	ヒメブタナ	D	C	A
Hypochaeris glabra L.				

【原産地】欧州【国内分布】本州（関東以西）、四国【県内分布】東葛～北総にまばら【生育状況】極少【生活形】通緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：春～夏【日本への侵入】240：1966年【県内への侵入】240：1980年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,15,19,22,44,45,55,56,57,58,59,60,66,78,85【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.633	ブタナ	B	C	C
Hypochaeris glabra				

【原産地】欧州【国内分布】全国【県内分布】全県【生育状況】中程度【生活形】通緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】240：1933年【県内への侵入】240,120,(151?)：1972年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】1,3,7,8,10,12,14,15,19,22,41,44,45,50,55,56,58,60,61,66,67,73,74,77,78,85【文献県内】61,10,35

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.634	オオグルマ	D	C	A
Inula helenium L.				

【原産地】ユーラシア西部【国内分布】千葉県【県内分布】富里市【生育状況】極少、一時的な逸出【生活形】夏緑～連緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】110(ハーブとして)：2003年以前【県内への侵入】110(ハーブとして)：2003年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】60【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.635	フナバシソウ	D	C	A
Iva xanthifolia Nutt.				

【原産地】-【国内分布】本州、四国に稀【県内分布】船橋市【生育状況】極少、一時帰化か?【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】200：1960年【県内への侵入】200：1960年【侵入の影響】312,花粉症の原因【外来種対策】-【備考】-【文献全般】14,42,50,57,59,60,61,66【文献県内】61,60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.636	マルバトゲチシャ	D	C	A
<i>Lactuca serriola</i> L. var. <i>integrata</i> Gren. et Godr.				

【原産地】ヨーロッパ【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】野田市【生育状況】少ない、トゲチシャと混生したり異所的に生えることも【生活形】冬緑・1~2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏~秋【日本への侵入】210：1949年？【県内への侵入】210：1998年【侵入の影響】312,トゲ有り【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,8,22,41,42,57,59,60,65【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.637	トゲチシャ	D	C	B
<i>Lactuca serriola</i> L. var. <i>serriola</i> (syn. <i>L. scariola</i> L.)				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】東葛を中心に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1~2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏~秋【日本への侵入】210：1939年以前【県内への侵入】210：1986年以前【侵入の影響】312,トゲ有り【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,30,41,42,45,50,53,55,56,59,60,61,65,66,67,74,78,84,85【文献県内】61,60,33,35

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.638	ナタネタビラコ	D	C	A
<i>Lapsana communis</i> L.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】北海道、本州（神奈川県、長野県、岐阜県、静岡県、三重県）【県内分布】船橋、佐倉、木更津など【生育状況】少ない【生活形】夏緑~冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏~秋【日本への侵入】210：1959年【県内への侵入】210：2000年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,8,14,22,41,42,44,50,53,55,56,57,59,60,65,66,78,85【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.639	ノースポールギク	D	C	B
<i>Leucanthemum paludosum</i> (Poir.) Bonnet et Barratte (syn. <i>Chrysanthemum paludosum</i> Poir.)				

【原産地】欧州【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】県北部に散在【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：春【日本への侵入】120：昭和時代（導入）【県内への侵入】120：1991年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,22,53,60,66【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.640	フランスギク	D	C	B
<i>Leucanthemum vulgare</i> Lam.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、【県内分布】県北部に多い【生育状況】中程度、栽培がときに逸出、利根川河川敷でも見かける【生活形】夏緑・草本【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：江戸時代末期【県内への侵入】120：1929年以前【侵入の影響】212,利根川河川敷にあるものが気になる【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,10,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,60,65,66,67,69,74,78,85【文献県内】10,60,31

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.641	イヌカミツレ	C	C	B
	<i>Matricaria inodora</i> L.			

【原産地】ユーラシア（広域）南部【国内分布】北海道、本州、琉球【県内分布】県北部に散在【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：春～夏【日本への侵入】210：明治【県内への侵入】210：1951年以前【侵入の影響】212,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,10,14,15,19,22,41,42,45,50,53,55,56,57,59,60,66,78,85【文献県内】10,31

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.642	コシカギク	D	C	A
	<i>Matricaria matricarioides</i> (Less.) Porter (syn. <i>M. discoidea</i> DC.; <i>M. suaveolens</i> (Pursh) Buchenau non L.)			

【原産地】ユーラシア北部【国内分布】北海道、本州、四国、【県内分布】千葉市など【生育状況】少ない、一時帰化？【生活形】夏冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：春～夏【日本への侵入】220：戦後と推定【県内への侵入】220：1980年以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,14,15,22,42,45,50,53,57,59,60,65,66,69,74【文献県内】斉藤吉永(1980)オロチャギクを千葉県柏市で採集. 植物採集ニュース(95):5.

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.643	カミツレ	C	C	B
	<i>Matricaria recutita</i> L.; <i>M. chamomilla</i> L.			

【原産地】欧州～西アジア【国内分布】本州（中、北部など）【県内分布】県北部を中心に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：春～夏【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：1935年以前【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,10,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,60,66,69,74,78【文献県内】10,60,31

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.644	コバレンギク	D	C	A
	<i>Ratibida columnifera</i> (Nutt.) Woot. et Standl.			

【原産地】北アメリカ～メキシコ【国内分布】本州（千葉県）、九州（宮崎県）【県内分布】千葉市【生育状況】栽培が時に逸出【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散：夏～秋【日本への侵入】120：昭和以前（栽培）【県内への侵入】120：1991年【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】57,59,60【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.645	アラゲハンゴンソウ	C	B	B
	<i>Rudbeckia hirta</i> L. var. <i>sericea</i> (T.V.Moore) Fernald			

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒、地下茎【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】120,151,152：1936年以前【県内への侵入】120,151,152：1936年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,10,14,15,19,22,41,42,44,45,50,55,56,58,60,61,62,65,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.646	オオハンゴンソウ	A	A	A
	<i>Rudbeckia laciniata</i>			

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州、【県内分布】北総に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒、地下茎【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】120：明治【県内への侵入】120：1931年以前【侵入の影響】212,湿地や河原に侵入し、在来希少種と競合【外来種対策】-【備考】特定外来生物【文献全般】1,3,7,8,14,15,19,22,41,42,44,45,50,53,55,56,57,59,60,62,65,66,67,74,78,85【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.647	ハナガサギク	D	C	A
	<i>Rudbeckia laciniata</i> L. var. <i>hortensis</i> L.H.Bailey			

【原産地】北アメリカ【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】北総に散在【生育状況】少ない、人家周辺に逸出【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散、不稔：夏～秋【日本への侵入】120：昭和以前【県内への侵入】120：1971年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,22,41,50,53,57,59,60,65,66,67【文献県内】60,31

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.648	ミツバオオハンゴンソウ	D	C	A
	<i>Rudbeckia triloba</i> L.			

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州、琉球【県内分布】館山市、東葛（柏市）【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年～越年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】120：昭和初期【県内への侵入】120：1989年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,14,15,22,41,42,45,50,53,56,57,59,60,66,78,85【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.649	ナルトサワギク	A	A	A
	<i>Senecio madagascariensis</i>			

【原産地】マダガスカル【国内分布】本州（中部以西）、四国、九州【県内分布】館山市【生育状況】少ない【生活形】1～多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：周年【日本への侵入】120,220：1976年【県内への侵入】120,220：2007年以前【侵入の影響】312,家畜に毒性あり,212,アレロパシー作用【外来種対策】-【備考】特定外来生物【文献全般】22,26,41,42,47,56,57,59,66,78,84【文献県内】_

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.650	ツタギク	D	C	A
	<i>Senecio mikanioides</i> Otto			

【原産地】南アフリカ【国内分布】千葉県・神奈川県【県内分布】館山市【生育状況】海岸の林縁に少ない【生活形】つる多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：-【日本への侵入】120：2003年以前【県内への侵入】120：2003年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】60【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.651	ネバリノボロギク	D	C	A
<i>Senecio viscosus</i> L.				

【原産地】欧州【国内分布】九州（散発的に見られるが稀）【県内分布】千葉市【生育状況】極少（一時帰化？）【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：ほぼ通年【日本への侵入】220：1994年【県内への侵入】220：1994年【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】42,44,55,56,57,59,60,66,78【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.652	ノボロギク	B	C	C
<i>Senecio vulgaris</i> L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】中程度～多い【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：ほぼ通年【日本への侵入】210：1870年前後【県内への侵入】210：1939年以前【侵入の影響】212,321,繁殖力が強い【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,10,12,15,19,22,41,42,50,53,55,56,58,59,60,61,65,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,31,35

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.653	ツクシメナモミ	D	C	A
<i>Sigesbeckia orientalis</i> L.				

【原産地】熱帯に広く分布【国内分布】本州（関東以西）、四国、九州【県内分布】鋸南町・館山市など【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散：秋【日本への侵入】230：自生？【県内への侵入】230：1950年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,60,74【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.654	オオアザミ	C	C	A
<i>Silybum marianum</i> (L.) Gaertn.				

【原産地】地中海沿岸南西部【国内分布】本州（栽培品がときに逸出）【県内分布】東葛に散在【生育状況】極少（栽培逸出）【生活形】冬緑・1～2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：1856年以前【県内への侵入】120：1977年以前【侵入の影響】313,トゲ有り【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,8,12,15,22,41,42,45,47,50,53,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】60,33

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.655	ヤーコン	D	C	A
<i>Smallanthus sonchifolia</i> (Poeppig et Endl.) H.Robinson				

【原産地】ペルー、ボリビア【国内分布】稀に逸出【県内分布】佐倉市【生育状況】極少（まれに逸出）【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒、根茎【散布形態】風散、__：秋、__【日本への侵入】110：昭和以前（導入）【県内への侵入】110：1998年【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】57【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No. 656	セイタカアワダチソウ	A	B	C
Solidago altissima				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県にごく普通【生育状況】河川敷・草地などに極多【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒、地下茎【散布形態】風散：秋～冬【日本への侵入】120：1908年頃【県内への侵入】120：1955年以前【侵入の影響】212,411,繁殖力は極めて強い,アレロパシー作用、秋冬の蜜源にも【外来種対策】-【備考】要注意外来生物(適否検討)【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,43,45,50,53,56,57,58,59,65,66,67,74,77,78,85【文献県内】61,10,60,31,35

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No. 657	オオアワダチソウ	C	B	B
Solidago gigantea var leiophylla				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】県北部に散在【生育状況】少し湿ったところに中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒、地下茎【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：明治【県内への侵入】120：1933年以前【侵入の影響】212,なし【外来種対策】-【備考】要注意外来生物(情報不足)【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,56,57,59,65,66,69,74,78,85【文献県内】61,60,31

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No. 658	メリケントキンソウ	A	A	
Soliva sessilis Ruiz et Pav.				

【原産地】南米【国内分布】本州(関東以西)、四国、九州【県内分布】江戸川河川敷、木更津市【生育状況】多い【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】着散、重散：夏～秋【日本への侵入】220：1930年【県内への侵入】220：2006年以前【侵入の影響】312,321,瘦果により人体を傷付け、発芽率がよく、ひろがるため、早急な撤去が必要【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,14,15,19,22,42,50,53,56,57,59,66,78,85【文献県内】木村陽子 2008. 千葉県のメリケントキンソウ(キク科). 千葉県植物誌資料 24:229-230.

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No. 659	オニノゲシ	B	C	C
Sonchus asper (L.) Hill				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県にごく普通【生育状況】道ばた・畑などに中程度【生活形】夏緑・冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：ほぼ通年【日本への侵入】230：明治【県内への侵入】230：1932年以前【侵入の影響】212,313,刺あり、繁殖力が強い,321,ハルノゲシと競合の恐れ【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,44,45,50,53,55,56,58,59,65,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31,35

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No. 660	ヒメジョオン	B	C	C
Stenactis annuus				

【原産地】欧州・北米?【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県にごく普通【生育状況】道ばた・畑などに多い【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】230：江戸時代末期【県内への侵入】230：1929年以前【侵入の影響】312,312,繁殖力が強い【外来種対策】-【備考】要注意外来生物(情報不足)【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,65,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31,35

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.661	ヤナギバヒメジョオン	B	C	B
<i>Stenactis pseudoannuus</i> (Makino) comb. nov. (syn. <i>Erigeron pseudoannuus</i> Makino)				

【原産地】北米? 【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】ヒメジョオンとヘラヒメジョオンが混生しているところに中程度【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】230(雑種と推定)：大正【県内への侵入】230(雑種と推定)：1932年以前【侵入の影響】212,321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,14,19,22,41,42,45,50,53,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】60,31

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.662	ヘラバヒメジョオン	C	C	B
<i>Stenactis strigosus</i> (Muhl. ex Willd.) DC. (syn. <i>Erigeron strigosus</i> Muhl. ex Willd.)				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】ススキ草原や土手などに少ない【生活形】冬緑・1～2年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】230：1961年以前【県内への侵入】230：1931年以前【侵入の影響】212,山地のススキ草原等、自然度の高いところにも入る【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,12,14,15,19,22,41,42,44,45,53,55,56,57,59,65,66,67,74,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.663	センジュギク	D	C	A
<i>Tagetes erecta</i> L.				

【原産地】北～中米【国内分布】本州、四国、九州(逸出)【県内分布】-【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散+不稔：夏～秋【日本への侵入】120,152：1965年以前【県内への侵入】120,152：1927年以前(栽培)【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,42,50,57,59,74【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.664	シオザキソウ	D	C	A
<i>Tagetes minuta</i> L.				

【原産地】南米【国内分布】本州、四国、九州、ただし定着しない【県内分布】県西部に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】230,150(?)：1955年以前【県内への侵入】230,150(?)：1975年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,8,14,15,19,22,41,42,45,50,55,56,57,59,66,71,78,84,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.665	コウオウソウ	D	C	
<i>Tagetes patula</i> L.				

【原産地】メキシコ【国内分布】関東(千葉県)、四国(香川県)、九州(宮崎県)【県内分布】北総に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】120：1933年以前【県内への侵入】120：2003年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】50,57,74【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.666	ナツシロギク	D	C	A
Tanacetum parthenium (L.) Sch.Bip. (syn.Chrysanthemum parthenium (L.) Bernh.)				

【原産地】欧州・西アジア【国内分布】北海道、新潟県など【県内分布】県北部に散在【生育状況】園芸種がときに逸出、極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：明治時代【県内への侵入】120：1996年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,22,42,50,55,57,59,66,67,78【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.667	ヨモギギク	D	C	A
Tanacetum vulgare L.				

【原産地】欧州・シベリア【国内分布】北海道、本州【県内分布】全県に稀【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】120,151：北海道上に自生【県内への侵入】120,151：1954年以前（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,14,22,41,42,50,55,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.668	シロバナタンポポ	C	C	
Taraxacum albidum Dahlst.				

【原産地】国内帰化？【国内分布】本州（関東以西）、四国、九州【県内分布】全県に点在【生育状況】西日本中心？千葉県は国内帰化？【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：春～夏【日本への侵入】西日本はもとの自生：自生【県内への侵入】120(?)：1951年以前【侵入の影響】212,分布拡大すれば在来タンポポとの競合の可能性【外来種対策】-【備考】国内帰化【文献全般】22,37,50,74【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.669	アカミタンポポ	B	C	B
Taraxacum laevigatum (Willd.) DC.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】都市環境に中程度～多い【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：ほぼ通年【日本への侵入】210：1918年【県内への侵入】210：1975年以前【侵入の影響】100,在来タンポポとの交雑【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,14,15,22,41,42,45,50,53,57,59,65,66,67【文献県内】61,10,60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.670	アイノコアカミタンポポ	B	C	A
Taraxacum laevigatum x platycarpum				

【原産地】アカミタンポポとカントウタンポポとの雑種【国内分布】千葉県・神奈川県【県内分布】県中部に散在【生育状況】少ない～中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：ほぼ通年【日本への侵入】230,雑種と推定：平成以前【県内への侵入】230,雑種と推定：1997年以前【侵入の影響】100,在来タンポポとの交雑・競合【外来種対策】-【備考】-【文献全般】53,57【文献県内】60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.671	セイヨウタンポポ (アイノコセイヨウ含む)	B	C	C
Taraxacum officinale Weber				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県にごく普通【生育状況】多い~極多だが最近では交雑が進んで純な個体は少ない【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒+無融合【散布形態】風散：ほぼ通年【日本への侵入】110,150,200：1904年以前【県内への侵入】110,150,200：1952年以前【侵入の影響】100,312,212,在来タンポポとの交雑・競合【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,14,15,22,41,42,45,50,53,57,58,59,65,66,67,69,74【文献県内】61,10,60,31,35

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.672	アイノコセイヨウタンポポ	B	C	C
Taraxacum officinale x platycarpum				

【原産地】セイヨウタンポポとカントウタンポポの雑種【国内分布】千葉県で記録【県内分布】全県できわめて普通【生育状況】多い~極多【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒+無融合【散布形態】風散：ほぼ通年【日本への侵入】230,雑種と推定：昭和以前【県内への侵入】230,雑種と推定：1997年以前【侵入の影響】100,在来タンポポとの交雑・競合【外来種対策】-【備考】-【文献全般】57【文献県内】10,60

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.673	キバナムギナデシコ	D	C	A
Tragopogon pratense L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州【県内分布】船橋市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：1877年ころ【県内への侵入】120：1978年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,15,42,44,45,50,57,59,65,66,69,74【文献県内】60,土屋守(1978)船橋市でキバナムギナデシコを採る.植物採集ニュース(96):14.

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.674	オオオナモミ	B	B	C
Xanthium canadense				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に普通【生育状況】河原・路傍・鉄道周辺に多い【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】着散：秋~冬【日本への侵入】200：1929年以前【県内への侵入】200：1936年以前【侵入の影響】313,果実に刺,花粉症の原因,212,在来のオナモミとの競合・交雑の恐れ【外来種対策】-【備考】要注意外来生物(情報不足)【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,50,53,55,56,57,59,65,66,67,69,78,85【文献県内】61,10,60,35

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.675	イガオナモミ	B	B	C
Xanthium italicum Moretti				

【原産地】熱帯アメリカ【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】荒地・沿岸地に多い【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】着散：秋~冬【日本への侵入】230：1958年以前【県内への侵入】230：1975年以前【侵入の影響】313,果実に刺あり,212,在来のオナモミとの競合・交雑の可能性【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,41,42,45,50,53,55,56,57,59,66,67,74,78,84,85【文献県内】61,10,60,35

種子植物	キク科	影響度	緊急度	容易性
No.676	トゲオナモミ	C	C	A
Xanthium spinosum L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州(定着はせず)【県内分布】東葛で記録あり【生育状況】極少(一時帰化で定着せず)【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型:風媒【散布形態】着散:秋~冬【日本への侵入】230:1934年以前【県内への侵入】230:1968年以前【侵入の影響】313,刺あり、花粉症の原因になる可能性【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,14,15,22,41,42,50,53,57,59,66,69【文献県内】61,60

種子植物	オモダカ科	影響度	緊急度	容易性
No.677	ヒロハシャゼンオモダカ	B	B	A
Echinodorus grandiflorus (Cham. et Schlechtendal) Micheli subsp. aureus (Fassett) Hynes et Nielsen				

【原産地】中米~南米【国内分布】千葉県【県内分布】佐倉市【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型:虫媒【散布形態】水散:秋【日本への侵入】130:昭和(栽培)【県内への侵入】130:2002年以前【侵入の影響】212,322【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】60,10

種子植物	オモダカ科	影響度	緊急度	容易性
No.678	ナガバオモダカ	B	B	A
Sagittaria graminea				

【原産地】北米【国内分布】本州【県内分布】千葉市【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型:虫媒【散布形態】水散:秋【日本への侵入】130:1975年頃【県内への侵入】130:1991年以前【侵入の影響】322,212【外来種対策】-【備考】要注意外来生物(情報不足)【文献全般】22,41,42,55,56,57,59,66,78【文献県内】60,大場達之 1996. ナガバオモダカが松戸市に生えた.千葉県植物誌資料 8:54. 大場達之 1996. ナガバオモダカ追記.千葉県植物誌資料 9:64.

種子植物	トチカガミ科	影響度	緊急度	容易性
No.679	オオカナダモ	A	A	B
Egeria densa				

【原産地】南米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】主として北総西部に分布【生育状況】極多【生活形】夏緑・沈水多年草【繁殖形態】花粉媒介型:虫媒【散布形態】水散: 【日本への侵入】130:大正【県内への侵入】130:1975年以前【侵入の影響】322,212【外来種対策】-【備考】要注意外来生物(適否検討)【文献全般】3,7,12,14,19,21,22,41,42,49,53,55,56,57,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,大滝末男(1973)千葉県印旛沼北部にもオオカナダモが生育する.植物採集ニュース(68):85.

種子植物	トチカガミ科	影響度	緊急度	容易性
No.680	コカナダモ	A	A	B
Elodea nuttallii				

【原産地】北米【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】主として北総に分布【生育状況】極多【生活形】夏緑・沈水多年草【繁殖形態】花粉媒介型:虫媒【散布形態】水散: 【日本への侵入】130:1961年以前【県内への侵入】130:1976年以前【侵入の影響】322,212【外来種対策】-【備考】要注意外来生物(適否検討)【文献全般】3,7,8,15,19,21,22,41,42,49,53,55,56,57,59,66,74,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	トチカガミ科	影響度	緊急度	容易性
No.681	アマゾントチカガミ	B	A	A
<i>Limnium laevigatum</i> (Humb. et Bonpl. ex Willd.) Heine				

【原産地】熱帯アメリカ（アルゼンチン、メキシコ、西インド諸島、パラグアイ、ブラジル）【国内分布】本州（大阪府、千葉県）、琉球【県内分布】印旛村山田 野田市瀬戸【生育状況】中程度【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】水散：初夏【日本への侵入】130：1973年以前（導入）【県内への侵入】130：2009年以前【侵入の影響】211【外来種対策】-【備考】千葉県立中央博物館収蔵標本（野田市三ヶ尾、2009.12.21、CBM-BS-277881）佐倉市畔戸では、除去した（2008年）。【文献全般】49,57,58,66【文献県内】大野啓一 2009. 北総にアマゾントチカガミが帰化. 千葉県植物誌資料25:238-241.

種子植物	カンナ科	影響度	緊急度	容易性
No.682	ハナカンナ	D	C	A
<i>Canna generalis</i> Bailey				

【原産地】インド【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】芝山町【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：1910年頃【県内への侵入】120：1995年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】49,57,59,62,63,66,74【文献県内】60,57

種子植物	カンナ科	影響度	緊急度	容易性
No.683	ダンドク	D	C	A
<i>Canna indica</i> L.				

【原産地】インド・マラッカ・マレー諸島【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】安房に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：1850年頃【県内への侵入】120：1992年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,42,49,56,57,58,58,59,62,62,66,67,74,78【文献県内】60

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No.684	ラッキョウ	D	C	A
<i>Allium chinense</i> G. Don				

【原産地】中国【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：江戸時代【県内への侵入】110：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,22,49,53,59,63,66,74【文献県内】60,10

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No.685	アサツキ	D	C	A
<i>Allium schoenoprasum</i> L. var. <i>foliosum</i> Regel				

【原産地】極東ロシア・東ロシア【国内分布】北海道、本州（北部）（自生）【県内分布】市原市・鋸南町【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：自生【県内への侵入】110：1991年以前（逸出）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】37,63【文献県内】60

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No.686	ニラ	D	C	B
<i>Allium tuberosum</i> Rottl.				

【原産地】中国【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】全県に分布【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】110：平安時代【県内への侵入】110：江戸時代以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1, 3, 22, 49, 52, 53, 57, 59, 63, 74【文献県内】60, 10

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No.687	キダチアロエ	D	C	A
<i>Aloe arborescens</i> Mill.				

【原産地】南アフリカ【国内分布】本州、四国、九州（屋外栽培）【県内分布】主として南総・安房に分布【生育状況】少ない【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】110：江戸時代【県内への侵入】110：昭和時代【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】63【文献県内】60

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No.688	タチテンモンドウ	D	C	A
<i>Asparagus cochinchinensis</i> (Lour.) Merr. var. <i>pygmaeus</i> Makino				

【原産地】南アフリカ【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】富津市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：明治以前【県内への侵入】120：1956年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】62, 63, 74【文献県内】60

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No.689	オランダキジカクシ	D	C	
<i>Asparagus officinalis</i> L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、四国（栽培）【県内分布】主として北総に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：1781年（江戸時代）【県内への侵入】120：明治時代（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1, 52, 53, 55, 57, 66, 74【文献県内】60

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No.690	ネズミボウキ	D	C	A
<i>Asparagus virgatus</i> Baker				

【原産地】南アフリカ【国内分布】本州、四国【県内分布】主として安房に散在【生育状況】中程度【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：昭和【県内への侵入】120：1997年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】57, 59【文献県内】60

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No. 691	ハラン	C	C	B
<i>Aspidistra elatior</i> Blume				

【原産地】中国南部【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】全県に分布【生育状況】中程度
 【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】虫散：秋【日本への侵入】120：江戸時代以前【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】212,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,12,22,37,49,53,57,67【文献県内】60,10

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No. 692	オリヅルラン	D	C	A
<i>Chlorophytum comosum</i> Bak.				

【原産地】南アフリカ【国内分布】本州、四国、九州（屋外栽培）【県内分布】佐倉市・市川市【生育状況】少ない
 【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：明治初期【県内への侵入】120：昭和以前（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】49,55,63,66,74【文献県内】60

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No. 693	スズラン	D	C	
<i>Convallaria keiskei</i> Miq.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】市原市【生育状況】少ない
 【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：自生【県内への侵入】120：1929年以前（栽培）【侵入の影響】312,有毒【外来種対策】-【備考】-【文献全般】37,49,63,74【文献県内】60

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No. 694	バイモ	D	C	A
<i>Fritillaria verticillata</i> Willd. var. <i>thunbergii</i> (Miq.) Baker				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】北総に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,57,62,66,74【文献県内】60

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No. 695	スズランスイセン	D	C	A
<i>Leucojum aestivum</i> L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】酒々井市【生育状況】少ない
 【生活形】冬緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：1936年（栽培）【県内への侵入】120：昭和以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,4,9,57,59,62【文献県内】60

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No.696	シンテッポウユリ	B	C	B
<i>Lilium formolongi hort.</i>				

【原産地】日本（タカサゴユリ×テッポウユリ 交配種）【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：1924年（導入）【県内への侵入】120：1998年以前【侵入の影響】212,繁殖力つよい,420【外来種対策】-【備考】タカサゴユリとテッポウユリの交雑種の園芸種【文献全般】22,49,53,57【文献県内】60,10

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No.697	オニユリ	D	C	B
<i>Lilium lancifolium Thunb.</i>				

【原産地】中国【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散+重散：秋【日本への侵入】110,120：自生？【県内への侵入】110,120：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,22,37,49,53,57,74【文献県内】60

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No.698	ルリムスカリ	D	C	A
<i>Muscari botryoides Mill.</i>				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】-【生育状況】少ない【生活形】冬緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：昭和以前【県内への侵入】120：1992年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,49,55,57,62,63,66【文献県内】60

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No.699	ハタケニラ	C	C	A
<i>Nothoscordum fragrans Kunth.</i>				

【原産地】アメリカ大陸【国内分布】神奈川県・千葉県【県内分布】柏市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：明治中期（導入）【県内への侵入】120：1952年以前（栽培）【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,15,19,22,41,42,49,53,55,56,57,59,66,69,78,85【文献県内】60

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No.700	ホソバオオアマナ	C	C	A
<i>Ornithogalum gussoneri Ten.</i>				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】富里市【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：1972年以前（栽培）【県内への侵入】120：1991年以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】14,22,41,49,53,56,57,59,66,78,85【文献県内】60

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No. 701	オオアマナ	C	C	B
Ornithogalum umbellatum L.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】北総に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：-【県内への侵入】120：1987年以前【侵入の影響】312, 炎症をおこす。食用，薬用にも, 321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1, 22, 49, 53, 55, 57, 59, 62, 66【文献県内】10, 60, 61

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No. 702	ナギイカダ	D	C	A
Ruscus aculeatus L.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】北総に散在【生育状況】極少【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：1860年代（江戸時代）【県内への侵入】120：1985年以前【侵入の影響】313【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6, 22, 53, 57, 66, 74【文献県内】60

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No. 703	台湾ンホトトギス	D	C	A
Tricyrtis formosana Baker				

【原産地】台湾【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】北総に分布【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】翼散：秋【日本への侵入】120：1950年代【県内への侵入】120：1995年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22, 49, 53, 56, 57, 58, 58, 66, 78【文献県内】60

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No. 704	ハナニラ	C	C	B
Tristagma uniflorum (Lindley) Traub.				

【原産地】南米【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】北総と南総に分布【生育状況】多い【生活形】冬緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：明治【県内への侵入】120：1964年以前【侵入の影響】321, 212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3, 7, 8, 14, 15, 19, 22, 41, 49, 52, 56, 57, 59, 66, 66, 69, 74, 78, 85【文献県内】60, 10

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No. 705	アツバキミガヨラン	A	A	B
Yucca gloriosa L.				

【原産地】北米南部【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】主として全県の水辺（海岸）に分布【生育状況】少ない【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：明治中期【県内への侵入】120：平成以前【侵入の影響】420, 212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6, 48, 63【文献県内】60

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No. 706	キミガヨラン	B	B	A
<i>Yucca recurvifolia</i> Salisb.				

【原産地】北米南部【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】全県に散在【生育状況】少ない
 【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：1995年以前【侵入の影響】420,212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】49,57,63,74【文献県内】60,31

種子植物	ユリ科	影響度	緊急度	容易性
No. 707	イトラン	B	B	A
<i>Yucca smalliana</i> Fern.				

【原産地】北米南部【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】八街市【生育状況】少ない【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：1931年以前（栽培）【侵入の影響】420,212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】63【文献県内】60

種子植物	ヒガンバナ科	影響度	緊急度	容易性
No. 708	インドハマユウ	B	B	A
<i>Crinum latifolium</i> L.				

【原産地】インド【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】富里市【生育状況】極少【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】海流散：秋【日本への侵入】120：昭和初期（導入）【県内への侵入】120：2003年以前【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】62,63【文献県内】60

種子植物	ヒガンバナ科	影響度	緊急度	容易性
No. 709	ヒガンバナ	C	C	C
<i>Lycoris radiata</i> (L.)Herit.) Herb.				

【原産地】中国南部【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】極多【生活形】冬緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】__：__【日本への侵入】110：弥生【県内への侵入】110：弥生～室町【侵入の影響】312,212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,12,22,37,49,63,65【文献県内】61,63

種子植物	ヒガンバナ科	影響度	緊急度	容易性
No. 710	ナツズイセン	D	C	A
<i>Lycoris squamigera</i> Maxim.				

【原産地】中国【国内分布】本州【県内分布】北総に散在【生育状況】少ない【生活形】冬緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】__：__【日本への侵入】120：自生？【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,19,22,49,53,57,59,62,66,74,78,85【文献県内】60

種子植物	ヒガンバナ科	影響度	緊急度	容易性
No. 711	ラッパズイセン	D	C	A
Narcissus pseudonarcissus L.				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】芝山町【生育状況】少ない
 【生活形】冬緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：1996年以前（逸出）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,49,66【文献県内】60

種子植物	ヒガンバナ科	影響度	緊急度	容易性
No. 712	スイセン	C	C	C
Narcissus tazetta L. var. chinensis Roemer				

【原産地】中国南部【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】主として北総・南総・安房の西部に分布
 【生育状況】多い【生活形】冬緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：室町【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】212,312【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,22,37,49,53,57,62,66,74【文献県内】60,10

種子植物	ヒガンバナ科	影響度	緊急度	容易性
No. 713	タマスダレ	D	C	B
Zephyranthes candida Herb.				

【原産地】ブラジル【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】全県に散在【生育状況】少ない
 【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：1870年頃【県内への侵入】120：1930年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,8,19,22,41,49,53,57,62,66,74,78【文献県内】60,31

種子植物	ヒガンバナ科	影響度	緊急度	容易性
No. 714	サフランモドキ	D	C	A
Zephyranthes grandiflora Lindl.				

【原産地】中央米【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】千葉市・館山市・南房総市【生育状況】少ない【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：1845年【県内への侵入】120：1951年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,8,14,15,19,22,41,49,53,56,57,58,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】60

種子植物	アルストロメリア科	影響度	緊急度	容易性
No. 715	ユリズイセン	D	C	A
Alstroemeria pulchella L.				

【原産地】南米高地【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】少ない【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：1935年（導入）【県内への侵入】120：1954年以前（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】63【文献県内】60

種子植物	ヤマノイモ科	影響度	緊急度	容易性
No. 716	ナガイモ	C	C	B
Dioscorea batatas Decne.				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州【県内分布】全県に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・つる多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】110：室町【県内への侵入】110：江戸時代【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,22,49,52,53,63,74【文献県内】60

種子植物	ミズアオイ科	影響度	緊急度	容易性
No. 717	ホテイアオイ	A	A	B
Eichhornia crassipes				

【原産地】熱帯米【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】全県に散在【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】水散：秋【日本への侵入】120,140：明治中期【県内への侵入】120,140：1975年以前【侵入の影響】212,322,411,420【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（適否検討）【文献全般】3,7,8,12,15,19,21,22,41,42,49,53,55,56,57,58,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度	容易性
No. 718	ヒメヒオウギズイセン	B	B	C
Crocosmia x crocosmifolia (Burb. et Dean) N.E.Br. (syn. Tritonia x crocosmaeflora N. E. Br.)				

【原産地】南アフリカ【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】全県に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：1890年頃【県内への侵入】120：1927年以前【侵入の影響】212,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,7,8,12,14,15,22,41,42,49,53,57,59,62,66,67,69,74【文献県内】61,10,60,31

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度	容易性
No. 719	オランダアヤメ	D	C	A
Gladiolus hybridus Hort.				

【原産地】南アフリカ【国内分布】本州【県内分布】北総の平野に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：江戸時代（栽培）【県内への侵入】120：昭和以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】62,63,66【文献県内】60

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度	容易性
No. 720	グラディオルス・トリスティス	D	C	A
Gladiolus tristis L.				

【原産地】南アフリカ【国内分布】本州【県内分布】安房地方に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：昭和時代（栽培）【県内への侵入】120：2001年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】63【文献県内】60

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度	容易性
No. 721	シャガ	C	C	C
	<i>Iris japonica</i> Thunb.			

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】全県に分布【生育状況】多い【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散（日本では不稔）：-【日本への侵入】120：江戸時代以前【県内への侵入】120：江戸時代以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,12,22,63,65,74【文献県内】61,10,60

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度	容易性
No. 722	キショウブ	B	B	C
	<i>Iris pseudoacorus</i>			

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】多い【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】水散：秋【日本への侵入】120：1896年頃（栽培）【県内への侵入】120：1932年以前【侵入の影響】212,322,420【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】1,3,7,8,12,15,19,21,37,41,42,49,53,55,56,57,59,62,66,74,78,85【文献県内】61,10,60,31

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度	容易性
No. 723	イクシア	D	C	A
	<i>Ixia hybrida</i>			

【原産地】南アフリカ【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】北総に散在【生育状況】極少【生活形】冬緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：明治時代（導入）【県内への侵入】120：1995年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】62,63【文献県内】60

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度	容易性
No. 724	オオニワゼキショウ	C	C	C
	<i>Sisyrinchium</i> aff. <i>iridifolium</i> H.B.K.			

【原産地】北米【国内分布】本州、【県内分布】全県に散在【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1930年以前【県内への侵入】210：1975年以前【侵入の影響】321,420【外来種対策】-【備考】学名を*S. aff. Iridifolium* H.B.K. としておく【文献全般】7,8,12,19,22,41,53,55,56,57,59,66,69,78【文献県内】61,60,大場達之 2007. アキマールニワゼキショウが千葉県にも現れた. 千葉県植物誌資料 23:211-212.

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度	容易性
No. 725	ルリニワゼキショウ	C	C	C
	<i>Sisyrinchium angustifolium</i> Bickn.			

【原産地】北米東部【国内分布】本州、【県内分布】全県に分布【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1970年代以前【県内への侵入】210：1975年以前【侵入の影響】321,420【外来種対策】-【備考】オオニワゼキショウと混同されることがある。【文献全般】41,42,49,53,57,59,66【文献県内】61,10,60,31,大場達之 2004. 千葉県のルリニワゼキショウ. 千葉県植物誌資料 20:151-153.,野口昭造・木村陽子・大場達之 2007. ヒトフサニワゼキショウとルリニワゼキショウの観察と学名. 千葉県植物誌資料 23:210-212.

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度	容易性
No. 726	ヒトフサニワゼキショウ	D	C	A
<i>Sisyrinchium montanum</i> Greene				

【原産地】北アメリカ東部【国内分布】本州【県内分布】船橋市【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草
 【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1981年【県内への侵入】210：2007年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】学名を*Sisyrinchium montanum* Greeneに変更。
 【文献全般】7,8,41,53,57,59,66【文献県内】10,60,野口昭造・木村陽子・大場達之 2007. ヒトフサニワゼキショウとルリニワゼキショウの観察と学名. 千葉県植物誌資料 23:210-212.

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度	容易性
No. 727	ニワゼキショウ	C	C	C
<i>Sisyrinchium rossulatum</i> Bickn.				

【原産地】北米南東部【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】多い
 【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】120：1887年頃【県内への侵入】120：1940年以前【侵入の影響】212,321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,8,12,14,15,19,22,37,41,42,49,53,55,56,57,58,59,66,67,69,74,74,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度	容易性
No. 728	キバナニワゼキショウ	C	C	A
<i>Sisyrinchium rossulatum</i> E.P.Bicknell (syn. <i>Sisyrinchium exile</i> E.P.Bicknell)				

【原産地】北米【国内分布】本州、【県内分布】-【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1986年以前【県内への侵入】210：2004年以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】8,56,57,58,59,66,78【文献県内】木村陽子 2004. 千葉県のキバナニワゼキショウ. 千葉県植物誌資料 20:151.

種子植物	アヤメ科	影響度	緊急度	容易性
No. 729	アキマルニワゼキショウ	C	C	A
<i>Sisyrinchium rossulatum</i> E.P.Bicknell x <i>Sisyrinchium</i> aff. <i>iridifolium</i> H.B.K.				

【原産地】北米【国内分布】本州【県内分布】-【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：2007年以前【県内への侵入】210：2007年以前【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】ニワゼキショウとオオニワゼキショウとの雑種。【文献全般】-【文献県内】大場達之 2007. アキマルニワゼキショウが千葉県にも現れた. 千葉県植物誌資料 23:211-212.

種子植物	イグサ科	影響度	緊急度	容易性
No. 730	カラフトハナビゼキショウ	D	C	A
<i>Juncus articulatus</i> L.				

【原産地】ユーラシア北部、北米【国内分布】千葉県、神奈川県【県内分布】成田市【生育状況】少ない
 【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：1987年以前【県内への侵入】240：1987年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,42,53,57,59,66【文献県内】60

種子植物	イグサ科	影響度	緊急度	容易性
No. 731	セイタカクサイ	D	C	
Juncus interior Wieg.				

【原産地】北米【国内分布】千葉県【県内分布】富里市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】240：1992年以前【県内への侵入】240：1992年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】別名トミサトクサイ【文献全般】57,59【文献県内】60,内野秀重 2003. イグサ科. In 千葉県植物誌（県史シリーズ51.千葉県の自然誌別編，4），pp.1181 千葉県.

種子植物	イグサ科	影響度	緊急度	容易性
No. 732	ニセコウガイゼキショウ	D	C	
Juncus marginatus Rostk.				

【原産地】北米【国内分布】千葉県【県内分布】印旛村、船橋市坪井町【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】240：1990年以前【県内への侵入】240：1990年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】（別名，タカナベイ，マツカサコウガイゼキショウ）船橋市 坪井町 2535 2009.8.26 木村陽子 田島敏子 標本【文献全般】57,59【文献県内】60,内野秀重 2004. 和名があった Juncus marginatus Rostk.千葉県植物誌資料20:158.

種子植物	イグサ科	影響度	緊急度	容易性
No. 733	コゴメイ	B	B	B
Juncus sp.				

【原産地】ユーラシア？【国内分布】本州【県内分布】北総に散在【生育状況】中程度、河川敷，池，湿地などはびこる【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】240：1980年代【県内への侵入】240：1989年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,42,53,57,59,66【文献県内】60,10

種子植物	イグサ科	影響度	緊急度	容易性
No. 734	クサイ	C	C	C
Juncus tenuis Willd.				

【原産地】ユーラシア、アメリカ、北アフリカ、オーストラリア【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】全県に分布【生育状況】多い【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】230：自生？【県内への侵入】230：1929年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,12,22,49,74【文献県内】10,60,35

種子植物	ツククサ科	影響度	緊急度	容易性
No. 735	ブライダルベール	C	C	A
Gibasis pellucida (M.Martens et Galeotti) R.R.Hunt				

【原産地】メキシコ【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】北総西部に散在【生育状況】少ない【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：昭和時代（栽培）【県内への侵入】120：1992年以前【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】57,59,63【文献県内】60

種子植物	ツクサ科	影響度	緊急度	容易性
No. 736	トキワツククサ	A	A	C
Tradescantia fluminensis Vell.				

【原産地】南米【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】全県に分布【生育状況】極多【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：昭和以前【県内への侵入】120：1937年以前【侵入の影響】212,411【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,8,22,42,49,53,57,59,63,66,67【文献県内】61,10,60

種子植物	ツクサ科	影響度	緊急度	容易性
No. 737	ムラサキツククサ	D	C	B
Tradescantia reflexa Rafin.				

【原産地】北米【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】北総西部に分布【生育状況】少ない【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：1870年頃【県内への侵入】120：1938年（栽培）【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,7,19,22,49,53,57,59,63,66,74,78【文献県内】60

種子植物	ツクサ科	影響度	緊急度	容易性
No. 738	オオトキワツククサ	B	B	B
Tradescantia sp.				

【原産地】南米【国内分布】静岡県、千葉県【県内分布】主として安房に散在【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：1972年以前【県内への侵入】120：1972年以前【侵入の影響】212,412【外来種対策】-【備考】-【文献全般】42,57,59,63【文献県内】60

種子植物	ツクサ科	影響度	緊急度	容易性
No. 739	オオムラサキツククサ	D	C	A
Tradescantia virginiana L.				

【原産地】北米南部【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】野田市【生育状況】極少【生活形】夏緑【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】120：昭和初期【県内への侵入】120：2002年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,22,49,53,55,57,59,63,66【文献県内】60,31

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 740	ヤギムギ	D	C	A
Aegilops cylindrica Host				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】-【県内分布】千葉市のみ【生育状況】少ない 現在の生存不明【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】着散：初夏【日本への侵入】210：1973年【県内への侵入】-：1990年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】15,16,41,55,56,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.741	ニセコムギダマシ	D	C	A
Agropyron desertorum (Fisch. ex Link) Schult.				

【原産地】ヨーロッパ南部，ウラル山脈，モンゴル【国内分布】千葉県が日本新産地 他県の情報不明【県内分布】千葉市浜田のみ【生育状況】少ない 現在の生存不明【生活形】夏緑・多年草 【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】210：1991年【県内への侵入】-：1991年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】侵入確認：1991.07.05，1993.06.18千葉市浜田【文献全般】-【文献県内】木村陽子・酒井俊英・大場達之 1994 ニセコムギダマシ（新称）?Agropyron desertorum (Fisch. ex Link) Schlt.の帰化 千葉生物誌43:18-21.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.742	ナンカイヌカボ	D	C	A
Agrostis avenacea J.F.Gmel.				

【原産地】豪州【国内分布】-【県内分布】千葉市青葉町 浦安市明海【生育状況】極少 青葉町のは，絶滅 2005.06.12に浦安市で採集されるが，その後絶滅【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：初夏【日本への侵入】220：-【県内への侵入】-：1996年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】19,22,78【文献県内】木村陽子 1996. 千葉市青葉町でナンカイヌカボを採る.千葉県植物誌資料 9:62-63.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.743	コヌカグサ	C	C	C
Agrostis gigantea Roth. (syn. Agrostis alba L.)				

【原産地】北半球温帯（広域）【国内分布】-【県内分布】県内全域普通【生育状況】中程度【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：初夏【日本への侵入】111：江戸時代末期【県内への侵入】-：明治～昭和30年代【侵入の影響】411,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,12,14,15,16,19,22,41,55,56,69,74,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.744	クロコヌカグサ	D	C	A
Agrostis nigra With.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】北日本に多い【県内分布】全域【生育状況】少ない【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：初夏【日本への侵入】111：-【県内への侵入】-：明治～昭和30年代【侵入の影響】411【外来種対策】-【備考】コヌカグサと分けない見解もある【文献全般】1,3,16,19,41,55,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.745	エゾヌカボ	D	C	A
Agrostis scabra Willd.				

【原産地】本州中部以北 東アジア北部 サハリン?北米【国内分布】日本北部では在来種【県内分布】千葉市 袖ヶ浦市【生育状況】極少 おそらく絶滅【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：初夏【日本への侵入】230：-【県内への侵入】-：1985年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】本来の分布は，本州中部以北なので，県内のは持ちこまれたものである【文献全般】-【文献県内】浅野貞夫 1986. ムラサキナギナタガヤとエゾヌカボを採る 千葉生物誌36:38.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 746	ハイコヌカグサ	C	C	C
<i>Agrostis stolonifera</i> L.				

【原産地】北半球温帯（広域）【国内分布】-【県内分布】全域散発【生育状況】少ない【生活形】多年草
 【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】111：明治【県内への侵入】-：明治
 ~昭和30年代【侵入の影響】411,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,14,16,19,22,41,55,56,7
 8,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 747	バケヌカボ	D	C	
<i>Agrostis x dimorpholemma</i> Ohwi				

【原産地】地中海【国内分布】宮城県【県内分布】船橋市 など数カ所【生育状況】極少【生活形】夏緑・
 多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】210：-【県内への侵入】-：1
 991年【侵入の影響】100【外来種対策】-【備考】イトコヌカグサ *A. tenuis* Sibthorpとイベリアヌカボ
A. castellana Boisser et Reuterの交雑により生じた【文献全般】-【文献県内】木村陽子 1996. 船橋市
 でバケヌカボを採る.千葉県植物誌資料 8:51.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 748	ヌカススキ	C	C	A
<i>Aira caryophyllaea</i> L.				

【原産地】欧州・西アジア・北アフリカ【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】少ない【生活形】1年
 草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：明治【県内への侵入】-：明
 治~昭和30年代【侵入の影響】411【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,14,16,19,22,41,56,69,74,7
 8,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 749	ハナヌカススキ	C	C	B
<i>Aira elegans</i> Willd. ex Gaudin				

【原産地】欧州【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】中程度【生活形】1年草【繁殖形態】花粉媒
 介型：風媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：-【県内への侵入】-：昭和30年代後半以降【侵入
 の影響】411【外来種対策】-【備考】-【文献全般】14,16,19,22,41,56,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 750	ヒメヌカススキ	C	C	
<i>Aira elegans</i> Willd. ex Gaudin subsp. <i>ambigua</i> (Aecang.) Holub.				

【原産地】欧州【国内分布】-【県内分布】鴨川市のみ【生育状況】少ない【生活形】1年草【繁殖形態】花
 粉媒介型：風媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：-【県内への侵入】-：1948年【侵入の影響】4
 11【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 751	ノスズメノテッポウ	D	C	A
<i>Alopecurus myosuroides</i> Huds.				

【原産地】欧州・温帯アジア【国内分布】-【県内分布】船橋市日ノ出町【生育状況】少ない 牧草地や市街地 おそらく絶滅【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：初夏【日本への侵入】210：1973年【県内への侵入】-：1973年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】侵入確認：1973.6.21【文献全般】16,52,55,56,85【文献県内】吉川代之助 1974. 千葉県の新帰化植物アツミゲシとノスズメノテッポウ. 植物採集ニュース(74):27.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 752	オオスズメノテッポウ	D	C	B
<i>Alopecurus pratensis</i> L.				

【原産地】欧州・西アジア・北アフリカ【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】中程度 牧草として入れられる【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：初夏【日本への侵入】111：明治【県内への侵入】-：明治～昭和30年代【侵入の影響】411,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,14,16,19,22,41,55,56,69,74,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 753	オオハマガヤ (アメリカハマニンニク)	A	A	
<i>Ammophila breviligulata</i> Fernald.				

【原産地】北米・カナダ大西洋岸【国内分布】青森県、秋田県、山形県、石川県 静岡県【県内分布】館山市 横芝光町 【生育状況】極多【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】153：1950年代静岡県【県内への侵入】-：1990年代？【侵入の影響】411 420 砂防用で導入され地下茎でふえる，海岸植生をこわす問題植物【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】由良 浩 2006. オオハマガヤ *Ammophila breviligulata* Fernald. 千葉県植物誌資料 21:178-179., 木村陽子 2006. オオハマガヤ追記. 千葉県植物誌資料 21:179.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 754	メリケンカルカヤ	B	B	C
<i>Andropogon virginicus</i>				

【原産地】北米～中央米【国内分布】-【県内分布】全域 【生育状況】極多?多い【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】220：1940年頃【県内への侵入】-：昭和30年代後半以降【侵入の影響】321 420 芝地・ゴルフ場などの強害草【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】3,14,16,19,22,41,55,56,74,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 755	ヒメハルガヤ	D	C	A
<i>Anthoxanthum aristatum</i> Boiss.				

【原産地】欧州【国内分布】-【県内分布】船橋市小室【生育状況】少ない おそらく絶滅【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：初夏【日本への侵入】210：1973年船橋市が日本初上陸【県内への侵入】-：1973年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,15,16,22,41,55,56,78,85【文献県内】斉藤吉永 1974. 新帰化植物 ヤネタピラコとヒメハルガヤ. 植物採集ニュース(73):19-21.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 756	ハルガヤ	C	C	
Anthoxanthum odoratum L.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】極多 牧草【生活形】多年草
 【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：初夏【日本への侵入】111：明治【県内への侵入】-：縄文以前【侵入の影響】312【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,12,14,15,16,19,41,55,56,74,78,85
 【文献県内】花粉症（参天製薬ホームページより）

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 757	オオカニツリ	D	C	A
Arrhenatherum elatius (L.) Presl.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】-【県内分布】成田市 木更津市【生育状況】多い 牧草
 【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：初夏【日本への侵入】111：明治初期
 【県内への侵入】-：昭和30年代後半以降【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,14,15,16,19,22,41,55,56,69,74,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 758	チョロギガヤ	D	C	A
Arrhenatherum elatius (L.) Presl. var. bulbosum (Willd.) Spenner				

【原産地】欧州【国内分布】-【県内分布】市原市の数カ所【生育状況】少ない おそらく絶滅【生活形】多年草
 【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：初夏【日本への侵入】111：-【県内への侵入】-：明治～昭和30年代【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,14,15,22,55,56,69,74,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 759	オートムギ	D	C	B
Avena sativa L.				

【原産地】欧州 カラスムギから改良された【国内分布】-【県内分布】数カ所【生育状況】少ない【生活形】1年草
 【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】110：江戸時代末期【県内への侵入】-：-【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 760	セイヨウチャヒキ	D	C	
Avena strigosa Schreb.				

【原産地】欧州 栽培種【国内分布】-【県内分布】富里市のみだが，調べればさらに産地は増える【生育状況】少ない【生活形】1年草
 【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】110：-【県内への侵入】-：1992年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】侵入確認：富里市、1992.05.08【文献全般】55【文献県内】木村陽子 2006. セイヨウチャヒキ(イネ科)千葉県に産す.千葉県植物誌資料 21:181-183.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 761	ホウライチク	D	C	A
<i>Baumbusa multiplex</i> (Lour.) Raeusch				

【原産地】南中国【国内分布】関東地方以西で栽培【県内分布】船橋市など【生育状況】中程度【生活形】常緑・中高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：春【日本への侵入】120：-【県内への侵入】-：-【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,55,78【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 762	ダイサンチク	D	C	A
<i>Baumbusa vulgaris</i> Schrad. ex Wendl.				

【原産地】南中国あるいはマダガスカルといわれるが不明【国内分布】東海地方以西に希に栽培【県内分布】館山市【生育状況】中程度【生活形】常緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：不明【日本への侵入】120：-【県内への侵入】-：-【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 763	オオモンツキガヤ	D	C	A
<i>Bothriochloa pertusa</i> (Linn.) A.Camus				

【原産地】中国広東，雲南の標高1500mあたりの山中やインド【国内分布】千葉県のみ【県内分布】船橋市【生育状況】極少 おそらく絶滅【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】210：1960年【県内への侵入】-：1960年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】25, 桑原義晴 1977. 日本イネ科植物生態図譜(北陸の植物の会) 3:71.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 764	コニクキビ	D	C	A
<i>Brachiaria distachya</i> (L.) Stapf				

【原産地】熱帯アジア，東アフリカ【国内分布】千葉県のみ【県内分布】船橋市旭町【生育状況】少ない 現地では絶滅【生活形】1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】241：1999/10/22【県内への侵入】園芸用土のヤシマットから：1999年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】25

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 765	ケニクキビ	D	C	A
<i>Brachiaria ramosa</i> (L.) Stapf				

【原産地】旧世界の熱帯【国内分布】千葉県のみ【県内分布】船橋市旭町【生育状況】少ない 現地では絶滅【生活形】1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】241：1999/10/22【県内への侵入】園芸用土のヤシマットから：1999年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】25

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 766	ニクキビ	D	C	A
Brachiaria subquadripara (Trin.) Hitchc.				

【原産地】奄美，琉球；台湾，インド，マレーシア，ミクロネシア【国内分布】-【県内分布】船橋市旭町 千葉市中央港【生育状況】少ない 船橋市では絶滅【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】220 241：-【県内への侵入】園芸用土のヤシマットから：1999年【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】25

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 767	コバンソウ	C	C	B
Briza maxima L.				

【原産地】欧州・地中海沿岸【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】中程度 草地 道端など【生活形】1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：初夏【日本への侵入】120：明治【県内への侵入】-：昭和30年代後半以降【侵入の影響】411【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,12,14,16,19,22,41,55,56,69,74,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 768	ヒメコバンソウ	C	C	C
Briza minor L.				

【原産地】欧州【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】多い 草地 道端など 群落になることもある【生活形】1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：初夏【日本への侵入】120：1867年【県内への侵入】-：昭和30年代後半以降【侵入の影響】411【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,12,14,15,16,19,22,41,55,56,69,74,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 769	ムクゲチャヒキ	D	C	A
Bromus commutatus Schrad.				

【原産地】アジア西部～北アフリカ【国内分布】-【県内分布】芝山町 旭市【生育状況】少ない おそらく絶滅【生活形】1～2年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】210：1950年代【県内への侵入】-：昭和30年代後半以降【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,14,19,55,56,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 770	コスズメノチャヒキ	D	C	A
Bromus inermis Leyss.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】-【県内分布】木更津市貝淵埋め立て地 野田市 千葉市【生育状況】少ない 牧草として栽培もある【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】111：1962年以前【県内への侵入】-：1969年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】侵入確認：木更津市、1969.6.12【文献全般】1,14,16,22,41,55,56,78,85【文献県内】27,28

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.771	ハトノチャヒキ	D	C	A
Bromus molliformis J.Lloyd				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】-【県内分布】分布は散発的、船橋市、浦安市【生育状況】極少 おそらく絶滅【生活形】1~2年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】210：1952年【県内への侵入】-：昭和30年代後半以降【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】ハマチャヒキと分けられない見解あり【文献全般】1,14,22,41,56,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.772	ハマチャヒキ	D	C	A
Bromus mollis L.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】-【県内分布】木更津市貝淵埋め立て地【生育状況】極少 おそらく絶滅【生活形】1~2年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】210：1950年代【県内への侵入】-：1969年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,14,16,19,22,41,55,56,69,78,85【文献県内】27,28

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.773	ヒゲナガスズメノチャヒキ	C	C	B
Bromus rigidus Roth.				

【原産地】欧州【国内分布】-【県内分布】東京湾沿い【生育状況】多い 空き地など【生活形】1~2年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】210：1912年【県内への侵入】-：昭和30年代後半以降【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,12,14,15,16,19,22,41,55,56,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.774	アレチノチャヒキ	D	C	A
Bromus sterilis L.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】-【県内分布】野田市のみ【生育状況】少ない【生活形】1~2年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】210：1912年【県内への侵入】-：1997年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,12,14,22,55,56,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.775	ウマノチャヒキ	D	C	B
Bromus tectorum L.				

【原産地】欧州【国内分布】-【県内分布】船橋市 北総【生育状況】少ない 空き地に 船橋市では2000年代でも見られる【生活形】1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】210：1941年以前【県内への侵入】-：1968年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】侵入確認：1968.06.19【文献全般】1,14,15,16,19,22,41,55,56,78,85【文献県内】80

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.776	イヌムギ	B	C	C
Bromus unioloides H. B. K. (syn. Bromus catharticus Vahl)				

【原産地】南米【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】多い 空き地，草地，道端に普通にみられる
牧草【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：春?夏 【日本への侵入】210：
明治初期【県内への侵入】-：明治～昭和30年代【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】
1,3,12,14,15,16,19,22,41,55,56,69,74,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.777	シンクリノイガ	D	C	A
Cenchrus echinatus L.				

【原産地】熱帯アメリカ【国内分布】-【県内分布】船橋市日の出町のみ【生育状況】少ない おそらく絶
滅【生活形】1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】着散：秋【日本への侵入】210：-【県内へ
の侵入】-：1975年【侵入の影響】313【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】吉川代之助 19
76. 千葉県船橋市にシンクリノイガ現る. 植物採集ニュース(86):30.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.778	カンチク	D	C	A
Chimonobambusa marmorea (Mitf.) Makino				

【原産地】日本産であるがはっきりとした自生地は不明(鈴木貞夫)【国内分布】本州中部以南に栽培【県
内分布】県南部【生育状況】中程度【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重
散：不明【日本への侵入】-：-【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】411,420【外来種対策】-
【備考】タケノコは晩秋から【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.779	アフリカヒゲシバ	D	C	A
Chloris gayana Kunth				

【原産地】南アフリカ【国内分布】-【県内分布】鴨川市 野田市下三ヶ尾利根運河 【生育状況】極少
牧草【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散 着散：秋【日本への侵入】111：1
962年頃【県内への侵入】-：1990年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,15,16,1
9,22,41,55,56,58,74,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.780	クシヒゲシバ	D	C	A
Chloris pectinata Benth.				

【原産地】オーストラリア【国内分布】-【県内分布】市川市鬼高の元日本毛織【生育状況】極少 絶滅
【生活形】1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散 着散：秋【日本への侵入】240：-【県
内への侵入】毛織り工場の羊毛から：1950年代【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】
-【文献県内】5

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.781	チャボヒゲシバ	D	C	A
Chloris truncata R.Br.Prod.				

【原産地】太平洋諸島【国内分布】-【県内分布】船橋市船橋高校校庭 市川市市川毛織【生育状況】極少
絶滅【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散 着散：秋【日本への侵入】24
0：-【県内への侵入】毛織り工場の羊毛から：1960年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】侵入確
認：船橋市、1960.10.04 桑原義晴が船橋市の船橋高校で採集したものの図がある【文献全般】55,78【文
献県内】桑原義晴 1977. 日本イネ科植物生態図譜(北陸の植物の会)3：70.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.782	オヒゲシバ	D	C	A
Chloris virgata Swartz.				

【原産地】熱帯米【国内分布】-【県内分布】我孫子市 千葉市 市川市 市原市【生育状況】少ない【生
活形】1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散 着散：秋【日本への侵入】210：1922年【県
内への侵入】-：1968年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】侵入確認：1968.10.29 【文献全般】
3,14,16,22,41,55,56,69,78,85【文献県内】斉藤吉永 1969 帰化品だより(2)千葉県手賀沼畔のオヒゲシ
バ .植物採集ニュース(43):53-54.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.783	ジュズダマ	C	C	C
Coix lacryma-jobi L.				

【原産地】熱帯?亜熱帯【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】中程度【生活形】1~多年草【繁殖形
態】花粉媒介型：風媒【散布形態】水散：秋【日本への侵入】120：古い時代に栽培のため移入【県内への
侵入】-：江戸時代【侵入の影響】411【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.784	ハトムギ	D	C	A
Coix lacryma-jobi L. var. mayuen (Roman.) Stapf				

【原産地】熱帯?亜熱帯【国内分布】-【県内分布】全域に希【生育状況】少ない 栽培畑から逸出【生活
形】1~多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】水散：秋【日本への侵入】110：古い時代に栽培
のため移入【県内への侵入】-：江戸時代【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文
献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.785	パンパスグラス	D	C	A
Cortaderia selloana (Schult.) Aschers. et Graebn.				

【原産地】南米【国内分布】-【県内分布】全域 時折【生育状況】少ない 植栽放置的【生活形】多年草
【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】120：-【県内への侵入】-：1990年
代?【侵入の影響】420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 786	ヒゲガヤ	D	C	A
<i>Cynosurus echinatus</i> L.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】千葉県, 神奈川県, 岡山県にまれに帰化【県内分布】木更津市貝淵埋め立て地 柏市【生育状況】極少 おそらく絶滅【生活形】1年草【繁殖形態】花粉媒介型: 風媒【散布形態】重散: 初夏【日本への侵入】210: 1960年【県内への侵入】-: 1970年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】侵入確認: 木更津市、1970.6.12【文献全般】1, 14, 15, 16, 19, 22, 55, 56, 78, 85【文献県内】28

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 787	カモガヤ	B	C	C
<i>Dactylis glomerata</i>				

【原産地】欧州~西アジア【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】多い【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型: 風媒【散布形態】重散: 夏【日本への侵入】111: 江戸時代末期【県内への侵入】-: 明治~昭和30年代【侵入の影響】312【外来種対策】-【備考】要注意外来生物(緑化植物)【文献全般】1, 3, 12, 14, 15, 16, 19, 22, 41, 55, 56, 69, 74, 78, 85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 788	タツノツメガヤ	C	C	A
<i>Dactyloctenium aegyptium</i> (L.) P.Beauv.				

【原産地】琉球・奄美・小笠原諸島, 旧世界熱帯地方【国内分布】琉球では在来種【県内分布】千葉市 市原市 八千代市 船橋市 市川市【生育状況】少ない【生活形】1年草【繁殖形態】花粉媒介型: 風媒【散布形態】着散: 秋【日本への侵入】240: -【県内への侵入】毛織り工場の羊毛から: 1955年【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】侵入確認: 市川市日本毛織、1955.09.10【文献全般】-【文献県内】K, 0 1956 第20回さく葉展 千葉生物誌 6 (1): 20

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 789	チャボメヒシバ	D	C	A
<i>Digitaria longiflora</i> (Retz.) Pers.				

【原産地】旧世界の熱帯【国内分布】琉球 千葉県【県内分布】船橋市旭町【生育状況】少ない 絶滅【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型: 風媒【散布形態】重散: 秋【日本への侵入】241: -【県内への侵入】園芸用土のヤシマットから : 1999年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】25

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 790	イヌメヒシバ	D	C	A
<i>Digitaria microbachne</i> (Presl) Henr. (syn. <i>D. setigera</i> Roth apud Roem. et Schult.)				

【原産地】熱帯アジア【国内分布】琉球 千葉県【県内分布】船橋市旭町【生育状況】少ない 絶滅【生活形】1年草【繁殖形態】花粉媒介型: 風媒【散布形態】重散: 秋【日本への侵入】241: -【県内への侵入】園芸用土のヤシマットから : 1999年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】55, 56, 69, 78【文献県内】25

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 791	ザラツキコメヒシバ (仮称)	D	C	A
Digitaria sp.				

【原産地】不明【国内分布】千葉県【県内分布】船橋市旭町【生育状況】少ない 絶滅【生活形】多年草？
 【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】241：-【県内への侵入】園芸用土の
 ヤシマットから：1999年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】25

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 792	ハキダメガヤ	D	C	A
Dinebra retroflexa (Vahl) Panz. (syn. Dinebra arabica Jacq.)				

【原産地】インド西部～アフリカ東部・南アフリカ？【国内分布】-【県内分布】市原市【生育状況】極少
 絶滅か？【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】210：1
 931年【県内への侵入】-：1992年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】侵入確認：千葉県立中央博
 物館収蔵標本（市原市ちはら台、1992.11.06、CBM-BS-47417）【文献全般】1,14,16,22,41,56,69,74,78,85
 【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 793	コヒメビエ	D	C	A
Echinochloa colonum (L.) Link				

【原産地】アジア・アフリカ熱帯【国内分布】奄美，琉球，小笠原では，在来種【県内分布】船橋市旭町
 【生育状況】少ない 絶滅【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本へ
 の侵入】241：-【県内への侵入】園芸用土のヤシマットから：1999年【侵入の影響】321【外来種対策】-
 【備考】-【文献全般】22,41,55,56,74【文献県内】25

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 794	シバムギ	D	C	A
Elymus repens				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】-【県内分布】船橋市 八千代市 富浦町【生育状況】少ない【生活
 形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】220：明治【県内への
 侵入】3：明治～昭和30年代【侵入の影響】321,213 トウモロコシへのアレロパシー【外来種対策】-【備
 考】要注意外来生物（緑化植物）【文献全般】1,14,16,19,22,41,55,56,69,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 795	ノゲシバムギ	D	C	A
Elymus repens (L.) Gould. var. aristatum Baumg.				

【原産地】欧州【国内分布】-【県内分布】船橋市2カ所【生育状況】少ない【生活形】多年草【繁殖形態】
 花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】220：1953年【県内への侵入】3：-【侵入の
 影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 796	シナダレスズメガヤ	B	B	C
Eragrostis curvula				

【原産地】南アフリカ【国内分布】全域【県内分布】全域【生育状況】多い【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：夏?秋【日本への侵入】151：昭和初期【県内への侵入】5：昭和30年代後半以降【侵入の影響】411,420【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（緑化植物）【文献全般】1,3,12,14,15,16,19,22,41,55,56,74,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 797	ノハラカゼクサ	D	C	A
Eragrostis intermedia Hitch.				

【原産地】北米南部【国内分布】-【県内分布】市原市【生育状況】少ない 絶滅か?【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：夏?秋【日本への侵入】210：-【県内への侵入】1：1992年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,78【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 798	スズメガヤ	D	C	B
Eragrostis minor Host. (syn. Eragrostis cilianensis (All.) F.T.Hubb.)				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】少ない 現在はほとんどみられない【生活形】1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】210：-【県内への侵入】3 4：1928年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 799	コスズメガヤ	C	C	C
Eragrostis poaeoides P.Beauv.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】中程度【生活形】1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】210：明治以降【県内への侵入】3 4：明治～昭和30年代【侵入の影響】321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,12,14,16,19,22,41,55,56,69,74,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No. 800	シナダレスズメガヤモドキ(仮称)	D	B	B
Eragrostis sp.				

【原産地】不明【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】多い 河原 空き地に砂防用に植栽される【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】151：-【県内への侵入】5：1990年代?【侵入の影響】411,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】10

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.801	コバンソウモドキ	D	C	A
<i>Eragrostis superba</i> Peyr.				

【原産地】アフリカ【国内分布】山梨県 千葉県【県内分布】船橋市旭町【生育状況】極少 絶滅【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】241：1953年【県内への侵入】園芸用土のヤシマットから：1999年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】5 5,56,78【文献県内】25

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.802	ヌカカゼクサ	D	C	A
<i>Eragrostis tenella</i> (L.) P.Beauv. ex Roem. et Schult.				

【原産地】アジア熱帯，亜熱帯【国内分布】-【県内分布】千葉市川崎鉄工所内 船橋市旭町【生育状況】極少 絶滅か？【生活形】1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：夏?秋【日本への侵入】241：-【県内への侵入】園芸用土のヤシマットから：1950年代【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】14,41,55,56,69,78,85【文献県内】25,K,0 1956. 第20回さく葉展 千葉生物誌6 (1)：20.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.803	ベニスズメガヤ	D	C	A
<i>Eragrostis unioides</i> (Retz.) Nees ex Steud.				

【原産地】熱帯アジア【国内分布】-【県内分布】船橋市旭町【生育状況】極少 絶滅【生活形】1~多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】241：-【県内への侵入】園芸用土のヤシマットから：1999年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】25

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.804	チャボウシノシッペイ	C	C	A
<i>Eremochloa ophiuroides</i> (Munro) Hach.				

【原産地】東南アジア・中国南部・台湾【国内分布】-【県内分布】散発【生育状況】極多 芝生につかわれる 有るところには群落になる【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】151：-【県内への侵入】5：2000年頃【侵入の影響】411【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,55,56,58,78【文献県内】長谷川義人 2003. 千葉県のチャボウシノシッペイ. 千葉県植物誌資料 19:148.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.805	ムラサキノキビ	D	C	A
<i>Eriochloa procera</i> (Retz.) C.E.Hubb.				

【原産地】熱帯アジア，アフリカ，オーストラリア【国内分布】琉球，小笠原，名古屋【県内分布】市川市 日本毛織 船橋市旭町【生育状況】少ない 絶滅【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240,241：-【県内への侵入】園芸用土のヤシマットから 毛織り工場から：1955年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】侵入確認：市川市、1955.9.10【文献全般】-【文献県内】25

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.806	オニウシノケグサ	B	B	C
	<i>Festuca arundinacea</i>			

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】多い【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】111：昭和【県内への侵入】4：明治～昭和30年代【侵入の影響】312,411,420【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（緑化植物）【文献全般】1,3,12,14,16,19,22,41,55,56,69,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.807	ウシノケグサ	D	C	
	<i>Festuca ovina</i> L.			

【原産地】-【国内分布】北海道，本州，四国，九州【県内分布】千葉県のはおそらく帰化品 全域【生育状況】少ない【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】210：-【県内への侵入】-：縄文以前【侵入の影響】411【外来種対策】-【備考】千葉県のものは逸出【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.808	ヒロハウシノケグサ	B	B	C
	<i>Festuca pratensis</i> Huds.			

【原産地】欧州～シベリア【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】多い【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】111：明治【県内への侵入】4：明治～昭和30年代【侵入の影響】411,420【外来種対策】-【備考】オニウシノケグサとの交雑品が良くつかわれるようになっている【文献全般】1,3,12,14,16,19,22,41,55,56,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.809	オオウシノケグサ	C	C	C
	<i>Festuca rubra</i> L.			

【原産地】北半球の温帯?亜寒帯【国内分布】北海道，本州，四国，九州【県内分布】千葉県のはおそらく帰化品 全域【生育状況】少ない【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】210：-【県内への侵入】4：明治～昭和30年代【侵入の影響】411【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.810	ムカゴオオウシノケグサ	C	C	B
	<i>Festuca rubra</i> L. form. <i>vivipara</i> L. Kawano - <i>Festuca vivipara</i> (L.) Sm.			

【原産地】北半球の温帯?亜寒帯【国内分布】北海道，本州，四国，九州【県内分布】千葉県のはおそらく帰化品【生育状況】少ない【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】210：-【県内への侵入】4：明治～昭和30年代【侵入の影響】411,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.811	ハリノホ	D	C	A
Hainardia cylindrica (Willd.) Greuter				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】 - 【県内分布】安房郡 富津市【生育状況】少ない【生活形】1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】水散：初夏【日本への侵入】210：1959年【県内への侵入】3：1950年代【侵入の影響】不明【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】14,16,22,56,78,85【文献県内】田村正道 1959. 安房郡各駅における帰化植物の研究.千葉生物誌 8 (3) : 59-63

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.812	シラゲガヤ	D	C	B
Holcus lanatus L.				

【原産地】欧州・西アジア【国内分布】 - 【県内分布】全域【生育状況】少ない【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1905年以前【県内への侵入】 - : 1974年【侵入の影響】不明【外来種対策】 - 【備考】侵入確認：平塚市博収蔵標本（船橋市小室、1974.6.2、平塚市博標本46213）【文献全般】1,3,12,14,15,16,19,22,41,55,56,69,74,78,85【文献県内】 -

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.813	ニセシラゲガヤ	D	C	A
Holcus mollis L.				

【原産地】欧州【国内分布】 - 【県内分布】富里市、野田市【生育状況】極少【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1984年【県内への侵入】 - : 1991年【侵入の影響】不明【外来種対策】 - 【備考】侵入確認：千葉県立中央博物館収蔵標本（印旛郡富里町中沢、1991.07.03、CBM-BS-60838）【文献全般】1,22,41,55,56,78【文献県内】 -

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.814	ヤバネムギ	D	C	A
Hordeum distichon L.				

【原産地】ユーラシア（広域）オオムギの改良種【国内分布】 - 【県内分布】船橋市 八街市【生育状況】少ない【生活形】1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：初夏【日本への侵入】110：明治以降？ビールの原料【県内への侵入】 - : 明治～昭和30年代【侵入の影響】不明【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】 - 【文献県内】 -

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.815	ホソノゲムギ	D	C	A
Hordeum jubatum L.				

【原産地】東アジア～北米（広域）【国内分布】北海道 群馬県 千葉県【県内分布】船橋市日の出町【生育状況】少ない【生活形】1年草（原産地では多年草）【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：初夏【日本への侵入】210：明治以降【県内への侵入】 - : 1968年【侵入の影響】不明【外来種対策】 - 【備考】侵入確認：1968.7.17【文献全般】1,14,19,22,41,55,56,78,85【文献県内】吉川代之助 1969. 千葉県船橋港に上陸したホソノゲムギ.植物採集ニュース(42):44.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.816	ムギクサ	C	C	B
Hordeum murinum L.				

【原産地】欧州・西アジア【国内分布】全域【県内分布】全域【生育状況】中程度【生活形】1~2年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：初夏【日本への侵入】210：1868年【県内への侵入】-：昭和30年代後半以降【侵入の影響】411,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,14,16,19,22,41,55,56,69,74,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.817	オオムギクサ	D	C	A
Hordeum murinum L. subsp. leporinum (Link) Arcang.				

【原産地】欧州【国内分布】福島県【県内分布】富里市、八街市【生育状況】少ない？【生活形】1~2年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】-：初夏【日本への侵入】210：明治以降【県内への侵入】-：2000年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】侵入確認：八街市、2000.5.9、今井正臣【文献全般】5,78【文献県内】18

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.818	タイワンアイアシ	D	C	A
Ischaemum rugosum Salisb.				

【原産地】熱帯アジア【国内分布】琉球【県内分布】船橋市旭町【生育状況】少ない 絶滅【生活形】1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】241：-【県内への侵入】園芸用土のヤシマットから：1999年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】侵入確認：船橋市、1999.10.22【文献全般】-【文献県内】25

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.819	ウサギノオ	D	C	A
Lagurus ovatus L.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】-【県内分布】館山市 八千代市【生育状況】中程度【生活形】1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】120：1975年【県内への侵入】-：1988年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】侵入確認：観察記録（館山市船形、1988.5.29、山井廣氏資料目録）【文献全般】22,41,55,56,74,78【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.820	ハマガヤ	D	C	B
Leptochloa fusca (L.) Kunth (syn. Diplachne fusca (L.) P.Beauv.)				

【原産地】アジア~アフリカ【国内分布】-【県内分布】全域海岸部【生育状況】中程度【生活形】1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】水散：秋【日本への侵入】240：-【県内への侵入】-：1934年【侵入の影響】411 420【外来種対策】-【備考】侵入確認：千葉県立中央博物館収蔵標本（長生郡一松村鷲海岸、1934.07.15、CBM-BS-1690）【文献全般】14,16,19,22,41,55,56,74,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.821	ニセアゼガヤ	D	C	A
<i>Leptochloa uninervia</i> (C. Presl) Hitchc. et Chase.				

【原産地】アメリカ大陸【国内分布】愛知県，神奈川県【県内分布】船橋市【生育状況】少ない【生活形】1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】水散：秋【日本への侵入】240：-【県内への侵入】-：1989年【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】侵入確認：船橋市、1989.11.5、別名ニブイロアゼガヤ【文献全般】22,41,55,78【文献県内】木村陽子 1989. 船橋市・海浜公園の帰化植物3種. 千葉生物誌39(1)：32-33.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.822	ハマニンニク	C	C	B
<i>Leymus mollis</i> (Trin.) Pilger				

【原産地】千島，サハリン，北米 日本【国内分布】北海道，本州，九州【県内分布】全域海岸部【生育状況】多い【生活形】多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：夏【日本への侵入】153：-【県内への侵入】千葉県では砂防用の植栽からの逸出：1950年代【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】九十九里浜に砂防用に植えられたものから逸出している． 海上郡銚子町犬吠 1929.5.1の標本は自生品か？【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.823	ネズミムギ	B	B	C
<i>Lolium multiflorum</i> Lamarck				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】中程度?多い【生活形】冬緑・1~2年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】111：明治【県内への侵入】-：明治~昭和30年代【侵入の影響】312【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,12,14,16,19,22,41,55,56,74,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.824	ホソムギ	B	B	C
<i>Lolium perenne</i> L.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】中程度【生活形】冬緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】111：明治【県内への侵入】-：明治~昭和30年代【侵入の影響】312,411,412【外来種対策】-【備考】花粉症（参天製薬ホームページより）【文献全般】1,3,12,14,16,19,22,41,55,56,58,69,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.825	ボウムギ	C	C	B
<i>Lolium rigidum</i> Gaudin subsp. <i>lepturoides</i> (Boiss.) Sennen et Mauricio				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】-【県内分布】全域の沿海地【生育状況】中程度【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】210：1931年【県内への侵入】-：昭和30年代後半以降【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,12,14,16,19,22,41,55,56,69,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.826	ドクムギ	C	C	B
Lolium temulentum L.				

【原産地】欧州【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】中程度【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】210：明治【県内への侵入】-：明治～昭和30年代【侵入の影響】311 果実に毒性のある菌がつく【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,12,14,16,19,41,55,56,69,74,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.827	ネズミホソムギ	B	B	C
Lolium x hybridum Hausskn				

【原産地】ユーラシア（広域）ホソムギとネズミムギの交配種【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】中程度?多い【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】111：-【県内への侵入】-：昭和30年代後半以降【侵入の影響】411,412【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.828	コネズミガヤ	D	C	
Muhlenbergia schreberi J.F.Gmel.				

【原産地】北米【国内分布】-【県内分布】佐倉市 鴨川市【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】220：1929年【県内への侵入】-：1997年【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】侵入確認：千葉県立中央博物館収蔵標本（鴨川市平塚愛宕山、1997.10.31、CBM-BS-153793）【文献全般】14,15,16,22,55,56,69,74,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.829	ハナクサキビ	D	C	A
Panicum capillare L.				

【原産地】北米【国内分布】-【県内分布】銚子市ヤマサ醤油工場 浦安市【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】210,220：1955年【県内への侵入】211 220 輸入大豆から：1954年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】侵入確認：銚子市ヤマサ醤油工場、1954.8.25【文献全般】1,12,14,16,19,22,41,55,56,78,85【文献県内】4

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.830	オオクサキビ	C	C	C
Panicum dichotomiflorum Michx.				

【原産地】北米【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】220：1927年【県内への侵入】-：明治～昭和30年代【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,12,14,15,16,19,22,41,55,56,69,74,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.831	ニコゲヌカキビ	D	C	A
Panicum lanuginosum E11.				

【原産地】北米【国内分布】-【県内分布】北総 君津市【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】210：1940年【県内への侵入】-：1991年【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】侵入確認：千葉県立中央博物館収蔵標本（印旛郡富里町金堀、1991.07.09、CBM-BS-60878）【文献全般】1,14,16,22,56,69,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.832	キビ	D	C	A
Panicum miliaceum L.				

【原産地】インド【国内分布】-【県内分布】佐倉市 我孫子市 成東町【生育状況】極少【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】110：-【県内への侵入】-：明治～昭和30年代【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.833	ヒゲギネアキビ（仮称）	D	C	A
Panicum sp.				

【原産地】学名未詳につき不明【国内分布】-【県内分布】八千代市【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】210：1999年【県内への侵入】-：1999年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】侵入確認：八千代市、1999.08.20【文献全般】-【文献県内】25

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.834	スズメノナギナタ	C	C	A
Parapholis incurva (L.) C. E. Hubb.				

【原産地】欧州【国内分布】-【県内分布】千葉市 船橋市など東京湾海岸部 鴨川市【生育状況】多い【生活形】1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：初夏【日本への侵入】240：1988年【県内への侵入】-：1988年【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】侵入確認：千葉中央港、1988年【文献全般】22,55,56,78【文献県内】木村陽子 1989 船橋市・海浜公園の帰化植物3種. 千葉生物誌39(1)：32-33

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.835	オガサワラスズメノヒエ	D	C	A
Paspalum conjugatum Bergius				

【原産地】新世界の熱帯【国内分布】琉球 千葉県【県内分布】船橋市旭町【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】241：-【県内への侵入】園芸用土のヤシマットから：1999年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】侵入確認：船橋市、1999.09.30【文献全般】-【文献県内】25

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.836	シマスズメノヒエ	B	C	C
Paspalum dilatatum Poir.				

【原産地】南米【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】少ない?中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】210：1915年【県内への侵入】-：明治～昭和30年代【侵入の影響】411【外来種対策】-【備考】熱帯では牧草として栽培される【文献全般】3,12,14,16,19,22,41,55,56,58,74,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.837	チクゴスズメノヒエ	B	B	B
Paspalum distichum L. var. indutum Shinners				

【原産地】北米南部【国内分布】-【県内分布】南房以外【生育状況】多い【生活形】夏緑・抽水多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】-：戦後【県内への侵入】-：1986年【侵入の影響】411 420【外来種対策】-【備考】侵入確認：千葉県立中央博物館収蔵標本（栄町北、1986.10.10、CBM-BS-057898）【文献全般】3,16,19,21,22,41,55,56,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.838	キシウスズメノヒエ	B	B	C
Paspalum distichum var. distichum				

【原産地】熱帯（広域）【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】極多【生活形】夏緑・抽水多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】-：1924年【県内への侵入】-：昭和30年代後半以降【侵入の影響】411 420【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（緑化植物）【文献全般】3,12,14,16,19,21,22,41,55,56,58,69,74,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.839	アメリカスズメノヒエ	C	C	B
Paspalum notatum Flgge				

【原産地】熱帯米・南米【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】210：1969年【県内への侵入】-：昭和30年代後半以降【侵入の影響】411【外来種対策】-【備考】牧草として【文献全般】3,15,16,19,22,41,55,56,58,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.840	スズメノコヒエ	D	C	A
Paspalum scrobiculatum Linn.				

【原産地】旧世界の熱帯【国内分布】東海地方以西 千葉県【県内分布】船橋市旭町【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】241：-【県内への侵入】園芸用土のヤシマットから 1999年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】侵入確認：船橋市、1999.9.30【文献全般】-【文献県内】25

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.841	タチスズメノヒエ	C	C	B
Paspalum urvillei Steud.				

【原産地】南米【国内分布】-【県内分布】全域 分布拡大傾向【生育状況】少ない?中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】210：1958年【県内への侵入】-：1985年【侵入の影響】411【外来種対策】-【備考】侵入確認：千葉県立中央博物館収蔵標本（鴨川市前原、1985.09.07、CBM-BS-058384）【文献全般】3,12,14,16,19,22,41,55,56,58,74,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.842	シロガネチカラシバ	D	C	A
Pennisetum villosum Fresen.				

【原産地】アフリカ?アラビア半島【国内分布】千葉県が日本新産【県内分布】市川市妙典【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草 原産地では多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：秋【日本への侵入】220：2001年【県内への侵入】220 植え込み花壇から：2001年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】「ギンギツネ」観賞用としても栽培される。侵入確認：市川市、2001.10.11【文献全般】-【文献県内】25

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.843	コササガヤ	D	C	A
Perotis indica (L.) Kuntze				

【原産地】熱帯?亜熱帯アジア【国内分布】-【県内分布】船橋市旭町【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草-多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】着散：秋【日本への侵入】241：-【県内への侵入】園芸用土のヤシマットから：1999年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】侵入確認：船橋市、1999.9.30【文献全般】-【文献県内】25

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.844	オニクサヨシ	D	C	A
Phalaris aquatica L.				

【原産地】北アフリカ ヨーロッパ 西アジア【国内分布】神奈川県 千葉県【県内分布】千葉市青葉町造成地【生育状況】少ない 造成地に出現したが絶滅【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】220：1986年神奈川県横浜市【県内への侵入】220：1998年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】侵入確認：千葉市、1998.6.2【文献全般】-【文献県内】木村陽子・大場達之 2003. ミノボロモドキとオニクサヨシの帰化. 千葉県植物誌資料 19:144.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.845	カナリークサヨシ	D	C	B
Phalaris canariensis L.				

【原産地】欧州・西アジア・シベリア【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：初夏【日本への侵入】110：江戸時代末期【県内への侵入】-：-【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】小鳥のえさ【文献全般】1,3,14,16,19,22,41,55,56,69,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.846	アレチクサヨシ (ヒメセトガヤモドキ)	D	C	
Phalaris paradoxa L. var. praemorsa (Lam.) Coss. et Dur.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】-【県内分布】八街市大街道【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草
 【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】210：-【県内への侵入】210：2003年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】侵入確認：八街市、2003.5.26【文献全般】-【文献県内】木村陽子 2004. アレチクサヨシ (イネ科) 千葉県に産す. 千葉県植物誌資料 20:154-155.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.847	ヒメカナリークサヨシ	D	C	A
Phalaris minor Retz.				

【原産地】ユーラシア (広域)【国内分布】-【県内分布】船橋市日の出町 八千代市 市川市【生育状況】極少【生活形】冬緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：初夏【日本への侵入】210：昭和初期【県内への侵入】210：1969年【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】侵入確認：船橋市、1969.6.1 吉川代之助 HCM52787【文献全般】1,14,16,19,22,41,55,56,69,78,85【文献県内】81

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.848	オオアワガエリ	C	C	B
Phleum pratense				

【原産地】ユーラシア (広域)【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】中程度 牧草地【生活形】冬緑：多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：-【日本への侵入】-：明治【県内への侵入】-：戦前？【侵入の影響】312【外来種対策】-【備考】侵入確認：千葉県立中央博物館収蔵標本 (千葉市、1944.05.30、CBM-BS-183271) 要注意外来生物 (緑化植物) 花粉症 (参天製薬ホームページより)【文献全般】1,3,12,14,15,16,19,22,41,55,56,69,74,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.849	ホテイチク	D	C	B
Phyllostachys aurea Carr. ex A.Riv. et C.Riv.				

【原産地】中国【国内分布】全国【県内分布】全域に希【生育状況】少ない【生活形】常緑・中高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：春 (栄養繁殖)【日本への侵入】120：-【県内への侵入】-：江戸時代【侵入の影響】410,412【外来種対策】-【備考】タケ亜科は春に開花するが、開花周期が67~120年と長く、栄養繁殖が主。【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.850	タイワンマダケ	C	C	A
Phyllostachys makinoi Hayata				

【原産地】台湾固有種【国内分布】希に栽培・逸出【県内分布】八日市場市吉崎浜【生育状況】中程度【生活形】常緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：-【日本への侵入】120：-【県内への侵入】-：-【侵入の影響】410,412【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.851	クロチク	D	C	A
Phyllostachys nigra (Lodd.) Munro				

【原産地】中国【国内分布】北海道南部以南【県内分布】散見【生育状況】少ない【生活形】常緑・中高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：-【日本への侵入】120：-【県内への侵入】-：江戸時代【侵入の影響】410,412【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.852	ハチク	D	C	B
Phyllostachys nigra (Lodd.) Munro var. henonis (Bean) Stapf ex Rendle				

【原産地】中国【国内分布】北海道南部以南【県内分布】県南部の方が多【生育状況】中程度【生活形】常緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：-【日本への侵入】120：-【県内への侵入】-：弥生～室町【侵入の影響】410,412【外来種対策】-【備考】日本在来と中国から持ち込み両方あり【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.853	モウソウチク	C	B	C
Phyllostachys pubescens Mazel ex Houz. de Leh.				

【原産地】中国【国内分布】函館市以南【県内分布】全域【生育状況】多い?極多【生活形】常緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：-【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】-：江戸時代【侵入の影響】410,412【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,12,22,52,74【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.854	タイミンチク	D	C	A
Pleioblastus gramineus (Been) Nakai				

【原産地】琉球諸島【国内分布】関東以西【県内分布】山武郡，安房郡，長生郡【生育状況】中程度【生活形】常緑・亜高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：-【日本への侵入】120：-【県内への侵入】-：-【侵入の影響】410,412【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.855	カンザンチク	D	C	
Pleioblastus hindsii (Munro) Nakai				

【原産地】中国【国内分布】関東地方南部以西【県内分布】一宮町，富津市，佐倉市【生育状況】少ない【生活形】常緑・亜高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：-【日本への侵入】120：-【県内への侵入】-：-【侵入の影響】410,412【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.856	リュウキュウチク	D	C	A
Pleioblastus linearis (Hackel) Nakai				

【原産地】琉球諸島【国内分布】本州中部以西【県内分布】佐倉市 睦岡村【生育状況】少ない【生活形】常緑・亜高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：-【日本への侵入】120：-【県内への侵入】-：明治～昭和30年代【侵入の影響】410,412【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.857	ホソバナガハグサ	D	C	A
Poa angustifolia L.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】-【県内分布】船橋市小室町【生育状況】少ない【生活形】連緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】111：-【県内への侵入】-：1998年【侵入の影響】411【外来種対策】-【備考】侵入確認：千葉県立中央博物館収蔵標本（野田市岩名、1998.05.17、CBM-BS-238899）【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.858	アオスズメノカタビラ	C	C	C
Poa annua L. subsp. annua				

【原産地】欧州【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】少ない?中程度【生活形】冬?連緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：春?冬【日本への侵入】210：明治以降【県内への侵入】-：明治以降【侵入の影響】411,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】11,25

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.859	コイチゴツナギ	D	C	B
Poa compressa L.				

【原産地】欧州【国内分布】-【県内分布】-【生育状況】少ない【生活形】冬緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】210,220：戦後【県内への侵入】-：昭和30年代後半以降【侵入の影響】411【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,14,16,19,22,55,56,69,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.860	ミスジナガハグサ	D	C	A
Poa humilis Ehrh.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】-【県内分布】富津市小久保【生育状況】中程度【生活形】連緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】111：-【県内への侵入】-：1991年【侵入の影響】411【外来種対策】-【備考】侵入確認：千葉県立中央博物館収蔵標本（富津市小久保、1991.05.16、CBM-BS-150783）【文献全般】3,22,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.861	ナガハグサ	C	C	C
Poa pratensis L.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】多い【生活形】連緑・多年草
 【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】111：明治初期【県内への侵入】
 -：1928年【侵入の影響】411,420【外来種対策】-【備考】侵入確認：千葉県立中央博物館収蔵標本（山武
 郡成東町、1928.06.05、CBM-BS-26437）【文献全般】1,3,12,14,16,19,41,55,56,74,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.862	ケナガハグサ	D	C	A
Poa pratensis L. var. hirsata Asch. et Graebn.				

【原産地】欧州【国内分布】-【県内分布】船橋市古和釜町【生育状況】少ない【生活形】連緑・多年草
 【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】111：-【県内への侵入】-：2000
 年【侵入の影響】411【外来種対策】-【備考】侵入確認：千葉県立中央博物館収蔵標本（船橋市古和釜町、
 2000.05.22、CBM-BS-180263）【文献全般】78【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.863	オオスズメノカタビラ	C	C	C
Poa trivialis L.				

【原産地】欧州～西アジア【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】中程度?多い【生活形】冬緑・多年
 草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】210：明治以降【県内への侵
 入】-：明治～昭和30年代【侵入の影響】411【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,14,16,19,22,41,5
 5,56,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.864	タマオオスズメノカタビラ	D	C	A
Poa trivialis L. form. bulbifera prov.				

【原産地】-【国内分布】-【県内分布】船橋市【生育状況】中程度【生活形】冬緑・多年草【繁殖形態】花
 粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】210：-【県内への侵入】-：2001年【侵入の影
 響】411【外来種対策】-【備考】侵入確認：船橋市、2001.05.18【文献全般】-【文献県内】11

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.865	ヤダケ	C	C	C
Psuedosasa japonica (Siebold et Zucc. ex Steud.) Makino				

【原産地】本州，四国，九州；朝鮮南部【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】多い?極多【生活形】
 常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：夏【日本への侵入】-：-【県内への侵入】10
 0：弥生～室町【侵入の影響】411,420【外来種対策】-【備考】本州，四国，九州に在来【文献全般】-【文
 献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.866	ミノボロモドキ	D	C	A
Rostraria cristata (L.) Tsvet.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】 - 【県内分布】君津市を中心とした内房沿岸部【生育状況】中程度?多い
 【生活形】 - 【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：初夏【日本への侵入】 - : 1932年【県内への侵入】220：1997年【侵入の影響】411【外来種対策】 - 【備考】侵入確認：袖ヶ浦市、1997.05.17【文献全般】14,16,19,22,41,55,56,69,78,85【文献県内】木村陽子・大場達之 2003. ミノボロモドキとオニクサヨシの帰化. 千葉県植物誌資料 19:144.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.867	オクヤマザサ	D	C	
Sasa cernua Makino				

【原産地】樺太，北朝鮮，北海道，本州北部【国内分布】北海道，本州北部は在来【県内分布】鴨川市，佐倉市，山武町【生育状況】中程度【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：春【日本への侵入】 - : - 【県内への侵入】120： - 【侵入の影響】411,420【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】 - 【文献県内】 -

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.868	チマキザサ	D	C	A
Sasa palmata (Marl.) Nakai				

【原産地】北海道，本州（日本海側）；樺太，千島【国内分布】 - 【県内分布】佐倉市【生育状況】中程度
 【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：春?夏【日本への侵入】 - : - 【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】411,420【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】 - 【文献県内】 -

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.869	クマザサ	C	C	C
Sasa veitchii (Carr.) Rehder				

【原産地】京都府の山地【国内分布】全域【県内分布】全域【生育状況】多い【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：春【日本への侵入】 - : - 【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】411,420【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】 - 【文献県内】 -

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.870	ナリヒラダケ	D	C	A
Semiarundinaria fastuosa (Mitf.) Makino				

【原産地】本州西南部原産【国内分布】関東地方以西で栽培【県内分布】南部【生育状況】中程度【生活形】常緑・小高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋?春【日本への侵入】 - : - 【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】411,420【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】 - 【文献県内】 -

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.871	ビゼンナリヒラ	D	C	A
Semiarundinaria okudoi Makino				

【原産地】岡山県？【国内分布】関東地方以西で栽培【県内分布】清澄山【生育状況】中程度【生活形】常緑・小高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：不明【日本への侵入】-：-【県内への侵入】120：-【侵入の影響】411,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.872	ヤシャダケ	D	C	A
Semiarundinaria yashadake (Makino) Makino				

【原産地】日本原産だがはっきりとした産地は不明【国内分布】本州以南で栽培【県内分布】清澄山【生育状況】中程度【生活形】常緑・小高木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：不明【日本への侵入】-：-【県内への侵入】120：-【侵入の影響】411,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.873	フシネキンエノコロ	C	C	A
Setaria gracilis Kunth				

【原産地】熱帯アメリカ【国内分布】関東以南？【県内分布】大多喜町中野【生育状況】中程度【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】210：-【県内への侵入】-：2009年【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】侵入確認：千葉県立中央博物館収蔵標本（大多喜町中野、2009.8.18、CBM-BS-282541）。学名は検討の余地がある。【文献全般】-【文献県内】天野誠・2009。ついにフシネキンエノコロが千葉県で見つかった。いすみ大多喜植物調査通信5:1.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.874	コツブキンエノコロ	C	C	C
Setaria pallide-fusca (Schumach.) Stapf et Hubb.				

【原産地】旧世界の熱帯と暖地，琉球では在来か？【国内分布】本州，四国，九州，琉球【県内分布】全域【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】-：琉球では在来品【県内への侵入】300：明治～昭和30年代【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】平凡社帰化植物，神植誌2001では，在来種扱い【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.875	イヌエノコロ	D	C	
Setaria x decipiens Schimp.				

【原産地】欧州【国内分布】-【県内分布】-【生育状況】-【生活形】-【繁殖形態】-【散布形態】-：秋【日本への侵入】-：戦後【県内への侵入】-：-【侵入の影響】不明【外来種対策】-【備考】エノコログサとザラツキエノコログサとの雑種。【文献全般】12,55,56,78【文献県内】18,木村陽子 2007。イヌエノコロ（イネ科）が千葉県で記録。千葉県植物誌資料 22:190-191.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.876	ムラサキオオエノコ	C	C	A
Setaria x pycnocomma (Steud.) Henrard ex Nakai form.				

【原産地】 - 【国内分布】 - 【県内分布】 - 【生育状況】 - 【生活形】 - 【繁殖形態】 - 【散布形態】 - : 秋【日本への侵入】 - : - 【県内への侵入】 - : - 【侵入の影響】 411,420【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】 - 【文献県内】 -

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.877	オオエノコ	C	C	C
Setaria x pycnocomma (Steud.) Henrard ex Nakai				

【原産地】 - 【国内分布】 - 【県内分布】 - 【生育状況】 - 【生活形】 - 【繁殖形態】 花粉媒介型：風媒【散布形態】 重散：秋【日本への侵入】 - : - 【県内への侵入】 - : 明治～昭和30年代【侵入の影響】 411,420【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】 - 【文献県内】 -

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.878	オカメザサ	C	C	B
Shibataea kumasasa (Zoll.) Makino				

【原産地】 日本西南【国内分布】 全国【県内分布】 全域【生育状況】 中程度【生活形】 常緑・低木【繁殖形態】 花粉媒介型：風媒【散布形態】 重散：希に初夏【日本への侵入】 - : - 【県内への侵入】 120：江戸時代【侵入の影響】 411.420【外来種対策】 - 【備考】 - 【文献全般】 - 【文献県内】 -

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.879	セイバンモロコシ (ヒメモロコシ含む)	B	B	C
Sorghum halepense (L.) Pers.				

【原産地】 旧世界の熱帯?亜熱帯【国内分布】 - 【県内分布】 全域【生育状況】 中程度?多い 牧草【生活形】 - 【繁殖形態】 - 【散布形態】 - : 夏?秋【日本への侵入】 110：1943年【県内への侵入】 110：1943年【侵入の影響】 420 ススキ草地の破壊【外来種対策】 - 【備考】 1943年千葉県三里塚が日本新産【文献全般】 - 【文献県内】 久内清孝 1947.セイバンモロコシの帰化. 植物研究雑誌21：142.

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.880	イヌシバ	D	C	A
Stenotaphrum secundatum Kuntze				

【原産地】 北米南部～南米【国内分布】 - 【県内分布】 和田町【生育状況】 中程度【生活形】 - 【繁殖形態】 花粉媒介型：風媒【散布形態】 重散：秋【日本への侵入】 151：1956年【県内への侵入】 - : 1998年【侵入の影響】 212【外来種対策】 - 【備考】 アメリカでは芝生として栽培。侵入確認：千葉県立中央博物館収蔵標本（和田町花園、1998.10.14、CBM-BS-161268）【文献全般】 14,16,19,55,56,74,78,85【文献県内】 -

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.881	シホウチク	D	C	A
Tetragonocalamus angulatus (Munro) Nakai				

【原産地】中国四川省峨眉山，台湾は持ち込まれた【国内分布】関東地方以西【県内分布】県南【生育状況】少ない【生活形】常緑・低木【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：不明【日本への侵入】-：-【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】411,412【外来種対策】-【備考】タケノコは10月【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.882	ナギナタガヤ	B	C	C
Vulpia myuros (L.) K.C.Gmel.				

【原産地】欧州～西アジア【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】中程度?極多【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：初夏【日本への侵入】111：明治【県内への侵入】-：明治～昭和30年代【侵入の影響】411,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】1,3,12,14,16,19,22,41,55,56,69,74,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.883	オオナギナタガヤ	C	C	A
Vulpia myuros (L.) K.C.Gmel. var. megalura (Nutt.) Rydb.				

【原産地】北米【国内分布】-【県内分布】富里町、袖ヶ浦市 など【生育状況】少ない【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：初夏【日本への侵入】111：明治【県内への侵入】-：昭和30年代後半以降【侵入の影響】411,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】14,16,19,22,41,55,56,69,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.884	ムラサキナギナタガヤ	C	C	A
Vulpia octoflora (Walt.) Rydb.				

【原産地】北米【国内分布】-【県内分布】佐倉市 袖ヶ浦市【生育状況】少ない【生活形】冬緑・1～2年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：初夏【日本への侵入】111：-【県内への侵入】-：明治～昭和30年代【侵入の影響】411,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】14,16,19,41,55,56,78,85【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.885	コウシュンシバ	D	C	B
Zoysia matrella (L.) Merr.				

【原産地】九州，琉球，小笠原；東南アジア【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】芝地【生活形】-【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】120：-【県内への侵入】-：明治～昭和30年代【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.886	コウライシバ	D	C	
<i>Zoysia pacifica</i> (Goudwaard) M.Hotta et S.Kuroki				

【原産地】九州南部，琉球；台湾，中国南部，東南アジア【国内分布】-【県内分布】全域【生育状況】芝地【生活形】-【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】120：-【県内への侵入】-：縄文以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	イネ科	影響度	緊急度	容易性
No.887	ネズミウシノケグサ(仮称)	D	C	A
<i>x Festulolium braunii</i> (K.Richter) A.Camus				

【原産地】ユーラシア【国内分布】千葉県のみ【県内分布】千葉市青葉町生態園【生育状況】少ない 絶滅【生活形】1-2年草と多年草との雑種なので，多年草？【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：初夏【日本への侵入】210：-【県内への侵入】210：1989年【侵入の影響】211【外来種対策】-【備考】侵入確認：1989.5、千葉市青葉町。ヒロハウシノケグサかオオウシノケグサとネズミムギの属間雑種。【文献全般】-【文献県内】大場達之 1989. 生態園今のみどころ-ムギの秋-No.13.

種子植物	ヤシ科	影響度	緊急度	容易性
No.888	シュロ	B	B	
<i>Trachycarpus fortunei</i> (Hook.) H.Wendl.				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】全県に分布【生育状況】中程度【生活形】常緑・高木【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：江戸時代以前【県内への侵入】120：1937年以前【侵入の影響】212,420【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,6,7,12,22,38,48,49,58【文献県内】61,10,60

種子植物	サトイモ科	影響度	緊急度	容易性
No.889	ムサシアブミ	D	C	A
<i>Arisaema ringens</i> (Thunb.) Schott				

【原産地】関東以南の暖地，千葉県のは逸出？【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】富里市【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】自生：自生【県内への侵入】120：1995年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22,37,57,63【文献県内】60

種子植物	サトイモ科	影響度	緊急度	容易性
No.890	サトイモ	D	C	B
<i>Colocasia esculenta</i> (L.) Schott				

【原産地】熱帯アジア【国内分布】北海道、本州、四国、九州（栽培）【県内分布】各地に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】110：縄文時代（栽培）【県内への侵入】110：弥生～室町【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】42,52,57,63【文献県内】60

種子植物	サトイモ科	影響度	緊急度	容易性
No.891	ボタンウキクサ	A	A	A
	<i>Pistia stratiotes</i>			

【原産地】熱帯アフリカ【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】各地に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・浮遊多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】水散：秋【日本への侵入】130：1887年以前【県内への侵入】130：1995年以前【侵入の影響】212,411,322【外来種対策】-【備考】特定外来生物【文献全般】7,19,22,41,42,49,53,55,56,57,58,59,66,67,78【文献県内】60

種子植物	サトイモ科	影響度	緊急度	容易性
No.892	オランダカイウ	C	C	A
	<i>Zantedeschia aethiopica</i> Spreng.			

【原産地】南アフリカ【国内分布】本州、四国、九州（栽培）【県内分布】北総に散在【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】水散：秋【日本への侵入】120：江戸時代【県内への侵入】120：2003年以前【侵入の影響】420,322【外来種対策】-【備考】-【文献全般】42,57,63【文献県内】60

種子植物	ウキクサ科	影響度	緊急度	容易性
No.893	イボウキクサ	D	C	A
	<i>Lemna gibba</i> L.			

【原産地】欧州【国内分布】本州、四国、【県内分布】袖ヶ浦市【生育状況】多い【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：水媒【散布形態】水散：秋【日本への侵入】210：1974年以前【県内への侵入】210：2000年以前【侵入の影響】321,212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】15,19,21,22,41,42,49,55,56,57,59,66,78,85【文献県内】60

種子植物	ウキクサ科	影響度	緊急度	容易性
No.894	ヒナウキクサ	D	C	A
	<i>Lemna miniscula</i> Herter			

【原産地】北米【国内分布】本州【県内分布】富里市、佐倉市【生育状況】多い【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：水媒【散布形態】水散：秋【日本への侵入】210：1965年以前【県内への侵入】210：1982年以前【侵入の影響】212,321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】15,19,21,22,42,49,55,56,57,58,59,66,78,85【文献県内】60,大滝末男（1981）印旛沼にヒメウキクサの大繁殖を見る.水草研究会会報(6):10-11.

種子植物	ウキクサ科	影響度	緊急度	容易性
No.895	コウキクサ	C	C	B
	<i>Lemna minor</i> L.(s.l.)			

【原産地】南米を除く全世界【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】北総に散在【生育状況】極多【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：水媒【散布形態】水散：秋【日本への侵入】210：自生？【県内への侵入】210：1975年以前【侵入の影響】212,321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】21,37,74【文献県内】61,60

種子植物	ウキクサ科	影響度	緊急度	容易性
No.896	ヒメウキクサ			
<i>Spirodela punctata</i> (G.F.W.) Thomson				

【原産地】オーストラリア、アフリカ南部、東アジア【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】君津市 亀山湖【生育状況】極多【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：水媒【散布形態】水散：秋【日本への侵入】110：自生？【県内への侵入】110：2009年以前【侵入の影響】212,321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,15,21,37,41,57,59,66【文献県内】-

種子植物	ウキクサ科	影響度	緊急度	容易性
No.897	ミジンコウキクサ	C	C	A
<i>Wolffia globosa</i> (Roxb.) Hartog et Plas				

【原産地】欧州南部【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】各地に散在【生育状況】極多【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：水媒【散布形態】水散：秋【日本への侵入】210：1938年【県内への侵入】210：1975年以前【侵入の影響】212,321【外来種対策】-【備考】-【文献全般】3,7,15,19,21,37,41,42,55,56,57,58,59,66,67,69,74,78,85【文献県内】61,10,60

種子植物	ガマ科	影響度	緊急度	容易性
No.898	モウコガマ	B	B	A
<i>Typha laxmannii</i> Lepech.				

【原産地】ユーラシア（広域）【国内分布】本州、【県内分布】芝山町【生育状況】少ない【生活形】夏緑・挺水多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】120：1990年代？【県内への侵入】120：1995年以前【侵入の影響】212【外来種対策】-【備考】-【文献全般】21,22,42,55,57,59,60【文献県内】17,60,折目庸雄・大場達之 1996. モウコガマが芝山町に現れた. 千葉県植物誌 資料 9:55-56.

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.899	オオハタガヤ	D	C	A
<i>Bulbostylis puberula</i> (Poir.) Clarke				

【原産地】熱帯アジア、アフリカ【国内分布】千葉県のみ【県内分布】船橋市旭町【生育状況】一時的、極少（消滅）【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】240：-【県内への侵入】240：1999年【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】11

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.900	アメリカヤガミスゲ	C	C	
<i>Carex scoparia</i> Schkuhr				

【原産地】北アメリカ【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】非常にまれ【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：春【日本への侵入】200：1980年代【県内への侵入】200：2002年【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.901	シュロガヤツリ	D	C	A
	<i>Cyperus alternifolius</i> L.			

【原産地】マダガスカル島【国内分布】本州、四国、九州、琉球、小笠原【県内分布】各地に散在【生育状況】少ない【生活形】常緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】水散：夏～秋【日本への侵入】120,300：-【県内への侵入】120：明治～昭和30年代【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】19,22,41,55,56,78【文献県内】-

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.902	ナガミイッスンガヤツリ	D	C	
	<i>Cyperus castaneus</i> Willd.			

【原産地】東南アジア、インド、北オーストラリア【国内分布】千葉県のみ【県内分布】船橋市旭町【生育状況】極少（一時的、消滅）【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：春～秋【日本への侵入】240(園芸用のヤシマットから)：-【県内への侵入】-：1999年のみ【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】木村陽子・大場達之・須賀はる子 2007. 船橋市に一時帰化したクルマバヒメクグ,ヒメナンヨウガヤツリ,ナガミイッスンガヤツリ(新称). 千葉県植物誌資料 23:207-209.

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.903	ユメノシマガヤツリ	B	B	B
	<i>Cyperus congestus</i> (Vahl) C.B.Clarke			

【原産地】アフリカ南部・オーストラリア【国内分布】本州、【県内分布】各地に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】200,300：1980年頃【県内への侵入】200,300：昭和30年代後半以降【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】19,22,41,56,78,85【文献県内】大野景徳・木村陽子 1996. 千葉県内に広がるユメノシマガヤツリ. 千葉県植物誌資料 7:42-43.,大野景徳・木村陽子・倉俣武男 1996. 千葉県内に広がるユメノシマガヤツリ続報. 千葉県植物誌資料 8:54.

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.904	ホウキガヤツリ	D	C	
	<i>Cyperus distans</i> L.f.			

【原産地】熱帯【国内分布】四国、琉球【県内分布】船橋市旭町【生育状況】極少（一時的、消滅）【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】200,300：-【県内への侵入】240(園芸用ヤシマットから)：1999～2000年【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】木村陽子 2006. ホウキガヤツリの一時帰化. 千葉県植物誌資料 21:184-185.

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.905	ホソミキンガヤツリ	B	B	B
	<i>Cyperus engelmannii</i>			

【原産地】北米【国内分布】本州、小笠原【県内分布】北部に散在【生育状況】中程度【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散、水散：秋【日本への侵入】200：1980年代【県内への侵入】200：1980年代？【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22【文献県内】-

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.906	メリケンガヤツリ	B	B	B
	<i>Cyperus eragrostis</i>			

【原産地】熱帯米【国内分布】本州～琉球、小笠原【県内分布】北部に散在【生育状況】少ない【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】200：1959年【県内への侵入】200：-【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】15,19,22,41,55,56,74,78,85【文献県内】-

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.907	キハマスゲ	B	B	B
	<i>Cyperus esculentus</i> L.			

【原産地】ヨーロッパ～アフリカ【国内分布】本州【県内分布】北部に散在【生育状況】少ない。水田の畦、穀類、豆類の畑に多い【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】200：1980年代【県内への侵入】200：1990年代【侵入の影響】シヨクヨウガヤツリに同じ【外来種対策】-【備考】要注意外来生物（情報不足）【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.908	セイタカハマスゲ	D	C	
	<i>Cyperus longus</i> L.			

【原産地】地中海沿岸、西南アジア、アフリカ【国内分布】本州（関東）【県内分布】佐倉市【生育状況】極少（一時的、消滅）【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】200：1984年【県内への侵入】200：1990年代【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】41,55【文献県内】-

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.909	シチトウイ	D	C	
	<i>Cyperus monophyllus</i> Vahl			

【原産地】熱帯アジア【国内分布】本州以南【県内分布】かつて散在したが、現在は確認されない【生育状況】極少（消滅か？）【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散、水散：秋【日本への侵入】200：-【県内への侵入】200：-【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】41,55,56,58,78【文献県内】-

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.910	タイトウクゲ	D	C	A
	<i>Cyperus sesquiflorus</i> (Torrey) Mattfeld et Kukenth. var. <i>subtriceps</i> (Nees) T.Koyama			

【原産地】アジア～アフリカの熱帯【国内分布】琉球【県内分布】袖ヶ浦市の港湾【生育状況】極少（消滅か？）【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：秋【日本への侵入】200,300：-【県内への侵入】200(荷揚げ物資や埋め立て用土に混入か)：1985年【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】-

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.911	ゴマフガヤツリ	D	C	A
<i>Cyperus sphacelatus</i> Rottb.				

【原産地】熱帯米【国内分布】千葉県、東京都、神奈川県【県内分布】船橋市旭町【生育状況】消滅（一時的、消滅）【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】240：-【県内への侵入】240：1999年【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22【文献県内】11

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.912	シバヤマハリイ	D	C	A
<i>Eleocharis engelmanni</i> Steud. var. <i>detonsa</i> A.Gray				

【原産地】北アメリカ【国内分布】千葉県のみ【県内分布】芝山町【生育状況】極小（消滅）【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】水散：秋【日本への侵入】200,300：1990年代【県内への侵入】200：1995年【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】17,折目庸雄・大場達之・木村陽子・勝山輝男・小崎昭則・遠藤泰彦 1996. ハリイ属の新しい帰化種. 千葉県植物誌資料 6:29-33.

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.913	ヒメナンヨウガヤツリ	D	C	
<i>Kyllinga polyphylla</i> Willd. ex Kunth				

【原産地】インド、東南アジア、オーストラリア【国内分布】千葉県のみ【県内分布】船橋市旭町【生育状況】極小（一時的、消滅）【生活形】夏緑・1年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】200,300：-【県内への侵入】240(園芸用ヤシマットから)：1999年のみ【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】74,78【文献県内】木村陽子・大場達之・須賀はる子 2007. 船橋市に一時帰化したクルマバヒメクグ,ヒメナンヨウガヤツリ,ナガミイッスンガヤツリ(新称). 千葉県植物誌資料 23:207-209.

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.914	クルマバヒメクグ			
<i>Kyllinga polyphylla</i> Willd. ex Kunth				

【原産地】熱帯アフリカ, マダガスカル【国内分布】現在の所, 千葉県のみか?【県内分布】船橋市旭町【生育状況】極少 絶滅【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】241：-【県内への侵入】園芸用土のヤシマットから：1999年【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】-【文献県内】木村陽子・大場達之・須賀はる子 2007. 船橋市に一時帰化したクルマバヒメクグ,ヒメナンヨウガヤツリ,ナガミイッスンガヤツリ(新称). 千葉県植物誌資料 23:207-209.

種子植物	カヤツリグサ科	影響度	緊急度	容易性
No.915	セフリアブラガヤ	D	C	A
<i>Scirpus georgianus</i> R.M.Harper				

【原産地】北米【国内分布】本州、九州、【県内分布】印西市【生育状況】極小（一時的、消滅）【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：風媒【散布形態】重散：夏～秋【日本への侵入】200,300：1980年代【県内への侵入】200：1989年【侵入の影響】-【外来種対策】-【備考】-【文献全般】22【文献県内】木村陽子 1998. セフリアブラガヤ、印西市に産す. 千葉県植物誌資料 11:78-79.

種子植物	バショウ科	影響度	緊急度	容易性
No.916	バショウ	D	C	A
Musa basjoo Makino				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】鋸南町【生育状況】極少【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥食散：秋【日本への侵入】120：平安時代【県内への侵入】120：江戸時代【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】6,49,57,63,66,74,78【文献県内】-

種子植物	ショウガ科	影響度	緊急度	容易性
No.917	ミョウガ	C	C	C
Zingiber mioga (Thunb.) Roscoe				

【原産地】中国【国内分布】本州、四国、九州、【県内分布】全県に分布【生育状況】多い【生活形】夏緑・多年草【繁殖形態】花粉媒介型：虫媒【散布形態】鳥散：秋【日本への侵入】110：奈良時代以前【県内への侵入】110：江戸時代以前【侵入の影響】212,411【外来種対策】-【備考】-【文献全般】7,22,49,53,57,59,63,65,67,74【文献県内】60

蘚苔類	ミカツキゼニゴケ科	影響度	緊急度	容易性
No.918	ミカツキゼニゴケ	B	C	C
Lunularia cruciata Dumort.				

【原産地】地中海沿岸【国内分布】全国【県内分布】全県の裸地【生育状況】極多【生活形】多年生【繁殖形態】孢子、無性芽【散布形態】風、靴に付着：通年【日本への侵入】230：昭和4年【県内への侵入】230：不明【侵入の影響】裸地の表面を覆ってしまうため、道端に生育するコケ植物や維管束植物への影響が懸念される【外来種対策】-【備考】-【文献全般】B10【文献県内】B2

蘚苔類	ハタケゴケ科	影響度	緊急度	容易性
No.919	ウロコハタケゴケ	B	B	B
Riccia lamellosa Raddi				

【原産地】欧米【国内分布】関東地方【県内分布】下総台地の社寺、公園、畑【生育状況】極多【生活形】多年生【繁殖形態】孢子【散布形態】靴に付着：秋から春【日本への侵入】230：2000年頃以降【県内への侵入】230：2000年頃以降【侵入の影響】大量に生育するため、在来のウキゴケ属への影響が懸念される【外来種対策】-【備考】-【文献全般】B4【文献県内】B7, B12

蘚苔類	ハタケゴケ科	影響度	緊急度	容易性
No.920	サビイロハタケゴケ	C	B	B
Riccia nigrella DC.				

【原産地】欧米【国内分布】関東地方【県内分布】都市部の社寺、公園【生育状況】多い【生活形】多年生【繁殖形態】孢子【散布形態】靴に付着：秋から春【日本への侵入】230：2000年頃以降【県内への侵入】230：2000年頃以降【侵入の影響】大量に生育するため、在来のウキゴケ属への影響が懸念される【外来種対策】-【備考】-【文献全般】B11【文献県内】B11, B12

藓苔類	ヒジキゴケ科	影響度	緊急度	容易性
No.921	ヒジキゴケ	D	C	A
<i>Hedwigia ciliata</i> (Hedw.) P.Beauv.				

【原産地】日本在来種【国内分布】全国【県内分布】詳細は不明、社寺や人家【生育状況】多い【生活形】多年生【繁殖形態】孢子【散布形態】風：秋から春【日本への侵入】241：在来【県内への侵入】241：不明【侵入の影響】特になし【外来種対策】-【備考】生育状況から推測して国内外来種だと思われる【文献全般】B10【文献県内】B2, B6

藓苔類	ギボウシゴケ科	影響度	緊急度	容易性
No.922	ケギボウシゴケ	D	C	B
<i>Grimmia pilifera</i> P. Beauv.				

【原産地】日本在来種【国内分布】全国【県内分布】詳細は不明、社寺や人家【生育状況】多い【生活形】多年生【繁殖形態】孢子【散布形態】風：秋から春【日本への侵入】241：在来【県内への侵入】241：不明【侵入の影響】特になし【外来種対策】-【備考】生育状況から推測して国内外来種だと思われる【文献全般】B10【文献県内】B2, B3, B6, B9

藓苔類	ギボウシゴケ科	影響度	緊急度	容易性
No.923	チヂレゴケ	D	C	B
<i>Ptychomitrium sinense</i> (Mitt.) A.Jaeger				

【原産地】日本在来種【国内分布】全国【県内分布】道路脇のコンクリート壁【生育状況】中程度【生活形】多年生【繁殖形態】孢子【散布形態】風：秋から春【日本への侵入】240：在来【県内への侵入】240：不明【侵入の影響】特になし【外来種対策】-【備考】好石灰性だが、石灰質の凝灰岩にはみられないため、国内外来種だと思われる【文献全般】B10【文献県内】B1, B6, B8, B9, B12

藓苔類	ギボウシゴケ科	影響度	緊急度	容易性
No.924	ナガバチヂレゴケ	D	C	B
<i>Ptychomitrium linearifolium</i> Reim.				

【原産地】日本在来種【国内分布】全国【県内分布】詳細は不明、社寺や人家【生育状況】中程度【生活形】多年生【繁殖形態】孢子【散布形態】風：秋から春【日本への侵入】241：在来【県内への侵入】241：不明【侵入の影響】特になし【外来種対策】-【備考】生育状況から推測して国内外来種だと思われる【文献全般】B10【文献県内】B6, B8, B12, B14

藓苔類	ギボウシゴケ科	影響度	緊急度	容易性
No.925	コバノスナゴケ	D	C	B
<i>Racomitrium barbuloides</i> Cardot				

【原産地】日本在来種【国内分布】全国【県内分布】市原市、白井市、佐倉市ほか【生育状況】中程度【生活形】多年生【繁殖形態】孢子【散布形態】風：秋から春【日本への侵入】241：在来【県内への侵入】241：不明【侵入の影響】特になし【外来種対策】-【備考】生育状況から推測して国内外来種だと思われる【文献全般】B10【文献県内】B5, B6, B8, B12

藓苔類	ギボウシゴケ科	影響度	緊急度	容易性
No.926	チョウセンスナゴケ	D	C	A
Racomitrium carinatum Cardot				

【原産地】日本在来種【国内分布】本州以南【県内分布】東金市【生育状況】中程度【生活形】多年生【繁殖形態】孢子【散布形態】風：秋から春【日本への侵入】241：在来【県内への侵入】241：不明【侵入の影響】特になし【外来種対策】-【備考】生育状況から推測して国内外来種だと思われる【文献全般】B10【文献県内】B9

藓苔類	ギボウシゴケ科	影響度	緊急度	容易性
No.927	シモフリゴケ	D	C	B
Racomitrium lanuginosum (Hedw.) Brid.				

【原産地】日本在来種【国内分布】全国の高山【県内分布】市原市、白井市【生育状況】少ない【生活形】多年生【繁殖形態】孢子【散布形態】風：夏【日本への侵入】241：在来【県内への侵入】241：不明【侵入の影響】特になし【外来種対策】-【備考】生育状況から推測して国内外来種だと思われる【文献全般】B10【文献県内】B8

藓苔類	ギボウシゴケ科	影響度	緊急度	容易性
No.928	コメバギボウシゴケ	D	C	B
Schistidium liliputarum (Muell.Hal.) Deguchi				

【原産地】日本在来種【国内分布】全国【県内分布】詳細は不明、社寺【生育状況】中程度【生活形】多年生【繁殖形態】孢子【散布形態】風：秋から春【日本への侵入】241：在来【県内への侵入】241：不明【侵入の影響】特になし【外来種対策】-【備考】社寺の灯籠などにあり、千葉県には史前移入とも考えられる【文献全般】B3, B10【文献県内】B3, B8

藓苔類	ギボウシゴケ科	影響度	緊急度	容易性
No.929	ホソバギボウシゴケ	D	C	B
Schistidium strictum (Turn.) O.Maert.				

【原産地】日本在来種【国内分布】全国【県内分布】詳細は不明、社寺【生育状況】中程度【生活形】多年生【繁殖形態】孢子【散布形態】風：秋から春【日本への侵入】241：在来【県内への侵入】241：不明【侵入の影響】特になし【外来種対策】-【備考】社寺の灯籠などにあり、千葉県には史前移入とも考えられる【文献全般】B3, B10【文献県内】B3, B6, B14

藓苔類	センボンゴケ科	影響度	緊急度	容易性
No.930	チュウゴクネジクチゴケ	D	C	C
Didymodon constrictus (Mitt.) Saito				

【原産地】日本在来種【国内分布】本州以南【県内分布】道路脇のコンクリート壁【生育状況】多い【生活形】多年生【繁殖形態】孢子、無性芽【散布形態】風：通年【日本への侵入】240：在来【県内への侵入】240：不明【侵入の影響】特になし【外来種対策】-【備考】好石灰性だが、石灰質の凝灰岩にはみられないため、国内外来種だと思われる【文献全般】B10, B13【文献県内】B5, B6, B12, B13, B14

藓苔類	ジンガサゴケ科	影響度	緊急度	容易性
No.931	ミヤコゼニゴケ	C	C	B
<i>Mannia fragrans</i> (Barbis) Frye et Clark				

【原産地】日本在来種【国内分布】関東地方【県内分布】詳細は不明、公園や人家、畑【生育状況】多い
 【生活形】多年生【繁殖形態】孢子【散布形態】風：初冬【日本への侵入】210：在来【県内への侵入】210：戦後【侵入の影響】特になし【外来種対策】-【備考】-【文献全般】B10【文献県内】B2

地衣類	イワノリ科	影響度	緊急度	容易性
No.932	ウスバイシバイイワノリ	D	C	A
<i>Collema latzelii</i> Zahlbr.				

【原産地】北半球【国内分布】不明（国内在来種）【県内分布】千葉市中央区【生育状況】定着しているが、逸出は確認できない【生活形】葉状【繁殖形態】子のう孢子【散布形態】風散：不明【日本への侵入】-：-【県内への侵入】241,当該地衣が付着する庭石（石灰岩）の搬入に伴う。明らかに県外から。：2001年以前【侵入の影響】なし【外来種対策】-【備考】文献情報なし、未発表。生育確認（原田浩,2001.10.12）【文献全般】-【文献県内】未発表

大型菌類	ショウロ科	影響度	緊急度	容易性
No.933	ショウロ	D	C	C
<i>Rhizopogon rubescens</i> (Tul. & C. Tul.) Tul. & C. Tul.				

【原産地】北半球一帯【国内分布】-【県内分布】千葉市美浜区、中央区【生育状況】植栽クロマツ林【生活形】外生菌根共生（マツ属）【繁殖形態】孢子と植物に感染した菌糸【散布形態】孢子と植物に感染した菌糸：秋～冬【日本への侵入】-：-【県内への侵入】210,植栽クロマツの苗土壌と共に、おそらく県外から持ち込まれた種類：1970年代以降【侵入の影響】100【外来種対策】植栽を可能な限り県内産にする【備考】千葉県内各地に自生する種類だが、県外からの外来と思われるものが、東京湾岸の埋め立て地の植栽クロマツ林内に見られる【文献全般】-【文献県内】70,吹春俊光・服部力・腰野文男・大作晃一・野村麻結実・堀米礼子. 1995. 千葉県菌類誌（I）千葉県産大型担子菌類相. 中博自報特別号（2）：125-155.千葉県環境部自然保護課.

大型菌類	キシメジ科	影響度	緊急度	容易性
No.934	ハマシメジ	D	C	C
<i>Tricholoma myomyces</i> (Pers.) J.E.Lange				

【原産地】欧州、北米、日本【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】千葉市美浜区、中央区【生育状況】植栽クロマツ林【生活形】外生菌根共生（マツ属）【繁殖形態】孢子と植物に感染した菌糸【散布形態】孢子と植物に感染した菌糸：秋【日本への侵入】-：-【県内への侵入】210,植栽クロマツの苗土壌と共に、おそらく県外から持ち込まれた種類：1970年代以降【侵入の影響】100【外来種対策】植栽を可能な限り県内産にする【備考】千葉県内各地に自生する種類だが、県外からの外来と思われるものが、東京湾岸の埋め立て地の植栽クロマツ林内に見られる【文献全般】-【文献県内】70,吹春俊光・腰野文男・服部力・大作晃一・小沼良子. 2002. 千葉県菌類誌（II）大型担子菌類追加目録. 中博自報特別号（5）：95-110.

大型菌類	イグチ科	影響度	緊急度	容易性
No.935	シロヌメリイグチ	D	C	A
<i>Suillus laricinus</i> (Berk.) Kuntze				

【原産地】ユーラシア、北米、日本【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】千葉市泉自然公園・佐倉市佐倉城址公園【生育状況】植栽カラマツ【生活形】外生菌根共生（カラマツ属）【繁殖形態】孢子と植物に感染した菌糸【散布形態】孢子と植物に感染した菌糸：夏～秋【日本への侵入】-：-【県内への侵入】210,植栽カラマツの苗土壌と共に、明らかに県外から持ち込まれた種類：1996年【侵入の影響】なし【外来種対策】カラマツ植栽の制限【備考】-【文献全般】-【文献県内】吹春俊光・腰野文男・服部力・大作晃一・小沼良子. 2002. 千葉県菌類誌（II）大型担子菌類追加目録. 中博自報特別号（5）：95-110.

大型菌類	タマハジキタケ科	影響度	緊急度	容易性
No.936	タマハジキタケ属種	D	C	A
Sphaerobolus sp.				

【原産地】中国【国内分布】-【県内分布】松尾町木刀【生育状況】観葉植物カラーの鉢植え土壌表面
 【生活形】腐生性【繁殖形態】孢子と菌糸【散布形態】自散：夏～秋【日本への侵入】241：-【県内への侵入】241,堆肥とともに海外から持ち込まれた可能性がある：1992年【侵入の影響】321【外来種対策】堆肥導入時の滅菌【備考】-【文献全般】-【文献県内】70,香川晴彦・柴田忠裕・吹春俊光・堀江義一. 1994. 各種薬剤によるタマハジキタケ属菌のグレバ塊飛散抑制効果. 関東東山病害虫研究会年報 No.41;161-162.

大型菌類	ウラベニガサ科	影響度	緊急度	容易性
No.937	トゲウラベニガサ	D	C	A
Pluteus magnus McClatchie				

【原産地】北米【国内分布】-【県内分布】長柄町長柄山【生育状況】マイタケ栽培の廃棄培地放棄跡【生活形】腐生性【繁殖形態】孢子と菌糸【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】241：-【県内への侵入】241,栽培きのこの培地（木材チップ？）と共に持ち込まれた可能性がある：2007年【侵入の影響】なし【外来種対策】培地廃棄時の滅菌（オートクレーブ121℃,2気圧,1時間）【備考】-【文献全般】-【文献県内】Takehashi,S. and T.Kasuya. 2009. Pluteus magnus and Pluteus podospileus f. podospileus, two agaric species new to Japan. Mycoscience 50: 74-77. (日本新産種として報告された,分布は北米と日本の千葉県)

大型菌類	ハラタケ科	影響度	緊急度	容易性
No.938	ツブエノシメジ	D	C	B
Melanoleuca verrucipes (Fr.) Singer				

【原産地】欧州【国内分布】北海道、本州、四国、九州【県内分布】我孫子市・印旛郡・佐倉市・千葉市・市原市【生育状況】公園,植栽木,公園内の園路沿い,などの周囲に撒布された木材チップ,バーク堆肥などの場所【生活形】腐生性【繁殖形態】孢子と菌糸【散布形態】風散：夏～秋【日本への侵入】-:-【県内への侵入】241,木材チップなどとともに県外から持ち込まれた可能性が高い：1987年【侵入の影響】なし【外来種対策】県内産木材チップだけに制限【備考】-【文献全般】-【文献県内】吹春俊光・服部力・腰野文男・大作晃一・野村麻結実・堀米礼子. 1995. 千葉県菌類誌 (I) 千葉県産大型担子菌類相. 中博自報特別号 (2): 125-155.

10 千葉県外来植物リストに追加するか検討を要する種のリスト(要検討種リスト 第一版)

番号	分類群	科	和名	学名	評価備考
1	シダ植物	サンシヨウモ科	ニシノオオカウキクサ (仮称)	<i>Azolla filiculoides</i> Lam.	旧沼南町で採取。オオアカウキクサ大和型。 兵庫県産の鈴木武氏によると「外来種の可 能性が高い」
2	種子植物	イラクサ科	ツルマオ	<i>Gonostegia hirta</i> (Blume) Miq.	
3	種子植物	タデ科	ツルンバ	<i>Persicaria chinensis</i>	
4	種子植物	アブラナ科	ハマダイコン	<i>Raphanus sativus</i> L. var. <i>raphanistroides</i> Makino	
5	種子植物	ユキノシタ科	ユキノシタ	<i>Saxifraga stolonifera</i> Meerb.	
6	種子植物	トウダイグサ科	ヤマアイ	<i>Mercurialis leiocarpa</i> Siebold et Zucc.	
7	種子植物	ツリフネノウ科	オオキツリフネ	<i>Impatiens</i> sp.	
8	種子植物	グミ科	ナワシログミ	<i>Elaeagnus pungens</i> Thunb.	
9	種子植物	グミ科	オオナワシログミ	<i>Elaeagnus x submacrophylla</i> Servett. (syn. <i>Elaeagnus nikaii</i> Nakai)	
10	種子植物	アカバナ科	ノダアカバナ	<i>Epilobium adenocaulon</i> Hassk.	
11	種子植物	ヒシ科	オニビシ	<i>Trapa natans</i> L. var. <i>japonica</i> Nakai	
12	種子植物	キク科	カワラハハコ	<i>Anaphalis margaritacea</i> (L.) Benth. et Hook.f. var. <i>yedoensis</i> (Franch. et Sav.) Ohwi	
13	種子植物	キク科	クソニンジン	<i>Artemisia annua</i> L.	
14	種子植物	キク科	カワラニンジン	<i>Artemisia apiacea</i> Hance	
15	種子植物	イグサ科	ヒメコウガイゼキショウ	<i>Juncus bufonius</i> L.	
16	種子植物	ツユクサ科	マルバツユクサ	<i>Commelina benghalensis</i> L.	北総の分布は外来の可能性あり
17	種子植物	ツユクサ科	シマツユクサ	<i>Commelina diffusa</i> Burm.f.	
18	種子植物	イネ科	ホッスガヤ	<i>Calamagrostis pseudophragmites</i> (Haller fil.) Koeler	
19	種子植物	イネ科	トキワススキ	<i>Miscanthus floridulus</i> (Labill.) Warb.	
20	種子植物	イネ科	アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i> Herrm.	

引用文献

引用文献は、本文中に記述したものその他、下記の文献については、文献番号を示した。

- 1)五十嵐博 2000. 北海道帰化植物便覧. 195pp. 北海道野生植物研究所.
- 2)いがりまさし 1996. 日本のスマレ. 247pp. 山と溪谷社.
- 3)伊藤洋 1998. 埼玉県植物誌. 833pp. 埼玉県教育委員会.
- 4)岩瀬徹 1956. 帰化植物数種. 千葉生物誌 6 (4):96.
- 5)岩瀬徹・小滝一夫 1958. 帰化植物の生態. In 千葉県植物誌. pp.101-119. 千葉県生物学会.
- 6)上原敬二 1959～1961. 樹木大図説. 有明書房.
- 7)大久保一治 1999. 増補改訂岡山県植物目録.
- 8)太田久次 1997. 改訂三重県帰化植物誌.
- 9)大滝末男・石戸忠 1980. 日本水生植物図鑑. 318pp. 北隆館.
- 10)大場達之・村田威夫 2000. 佐倉市植物目録. In 佐倉市自然環境調査報告書, pp.23-67. 佐倉市経済環境部環境保全課.
- 11)大場達之・木村陽子 2002. 船橋市の植物. In 船橋市内環境調査報告書(本編), pp.212-342. 船橋市環境部環境保全課.
- 12)岡国夫 1972. 山口県植物誌. 607pp. 山口県植物誌刊行会.
- 13)岡山大学資源生物科学研究所野生植物学研究室ホームページ - 日本の帰化植物一覧表.
(http://www.rib.okayama-u.ac.jp/wild/kika_table.htm)
- 14)長田武正 1972. 日本帰化植物図鑑. 294pp. 北隆館.
- 15)長田武正 1976. 原色日本帰化植物図鑑. 425pp. 保育社.
- 16)長田武正 1993. 増補日本イネ科植物図譜. 777pp. 平凡社.
- 17)折目庸雄 1997. 芝山の植物(千葉県山武郡芝山町植物誌) 千葉県植物誌資料特集 1. 60pp. 千葉県植物誌資料編集同人.
- 18)折目庸雄 2007. 増補改訂 富里の植物(千葉県富里市植物誌) 千葉県植物誌資料特集 4. 126pp. ふるさと房総の植物を記録する会.
- 19)外来種影響・対策研究会 2001. 河川における外来種対策に向けて [案]. リバーフロント整備センター.
- 20)科学朝日 31.
- 21)角野康郎 1994. 日本水草図鑑. 文一総合出版.
- 22)神奈川県立生命の星・地球博物館 2001. 神奈川県植物誌 2001. 1580pp. 神奈川県植物誌調査会.
- 23)神奈川自然誌資料 18,20,21.
- 24)環境省野生生物保護対策検討会移入種問題分科会(移入種検討会)(2002)移入種(外来種)への対応方針 pdf 文書(<http://www.env.go.jp/nature/report/h14-01/honpen.pdf>).

- 25)木村陽子 2003. イネ科. In 千葉県植物誌(県史シリーズ 51.千葉県の自然誌別編, 4), pp.711-787 & 789-791. 千葉県.
- 26)近畿植物同好会会報 15,21,60-62,65,70,73.
- 27)小畠裕子 1970. 木更津貝淵埋め立て地の帰化植物. 千葉生物誌 19 (1):1-2
- 28)小畠裕子 1970. 木更津市およびその周辺地区の帰化植物. みちくさ創刊号(木更津みちくさ会):11-16.
- 29)小畠裕子 1971. 木更津及びその近郊で採った帰化植物. 植物採集ニュース(53):57.
- 30)採集と飼育
- 31)斉藤吉永 1970. 千葉県柏市帰化植物目録. 38pp. 自刊(千葉県).
- 32)斉藤吉永 1970. 千葉県採集メモ. 千葉生物誌(52):25-27.
- 33)斉藤吉永 1977. 千葉県下の帰化植物の近況. 植物採集ニュース(90):66-67.
- 34)斉藤吉永 1986. 最近見た北総の帰化植物. 千葉生物誌 36(1):35.
- 35)斉藤吉永 1987. 海岸埋立地のフロラ. In 都市化・工業化が湾岸生態系に及ぼす影響調査 I. (沼田真編) ,pp.75-97. 千葉県環境部環境調整課.
- 36)斉藤吉永 1988. 海岸埋立地のフロラ. In 都市化・工業化が湾岸生態系に及ぼす影響調査 II. (沼田真編) ,pp.125-175. 千葉県環境部環境調整課.
- 37)佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫 1981～1982. 日本の野生植物 草本 1～3. 平凡社.
- 38)佐竹義輔・大井次三郎・北村四郎・亘理俊次・富成忠夫 1989. 日本の野生植物 木本 1-2. 平凡社.
- 39)静岡生物
- 40)自然誌研究雑誌
- 41)清水矩宏・森田弘彦・廣田伸七 2001. 日本帰化植物写真図鑑. 554pp. 全国農村教育協会.
- 42)清水建美 2003. 日本の帰化植物. 337pp. 平凡社.
- 43)駿遠植物調査資料
- 44)植物研究雑誌
- 45)植物採集ニュース
- 46)植物地理分類研究
- 47)植物分類・地理
- 48)杉本順一 1972. 新樹木総検索誌. 井上書店.
- 49)杉本順一 1982. 日本草本植物総検索誌 単子葉編. 630pp. 井上書店.
- 50)杉本順一 1983. 改訂増補日本草本植物総検索誌 双子葉編. 871pp. 井上書店.
- 51)すげの会会報
- 52)高橋四郎 1964. 原色日本野菜図鑑. 保育社.
- 53)高橋秀男・勝山輝男・田中徳久 2003. 横浜の植物. 1325pp. 横浜植物会.
- 54)滝田謙讓 2001. 北海道植物図譜. 1452. 自刊.

- 55)竹松哲夫・一前宣正 1987～1997. 世界の雑草 合弁花類・ 離弁花類・ 単子葉類.
全国農村教育協会.
- 56)太刀掛優 1998. 帰化植物便覧. 比婆科学教育振興会.
- 57)太刀掛優・中村慎吾 2007. 改訂増補帰化植物便覧. 684pp. 比婆科学教育振興会.
- 58)多和田真淳・石原直樹 1979 沖縄植物野外活用図鑑 帰化植物. 新星図書.
- 59)近田文弘・清水建美・浜崎恭美 2006. 帰化植物を楽しむ. 239pp. トンボ出版.
- 60)千葉県史料研究財団 2003. 千葉県植物誌(県史シリーズ 51.千葉県の自然誌別編, 4).
1181pp. 千葉県.
- 61)千葉県生物学会 1975. 新版千葉県植物誌. 567pp. 井上書店.
- 62)塚本洋太郎 1977～1978. 原色日本園芸植物図鑑 ～ . 保育社.
- 63)塚本洋太郎 1994. 園芸植物大事典 1～6 小学館.
- 64)富山市科学文化センター報告 20.
- 65)長野県植物誌編纂委員会 1997. 長野県植物誌. 1735pp. 信濃毎日新聞社.
- 66)日本生態学会 2002. 外来種ハンドブック. 408pp. 地人書館.
- 67)初島住彦・天野鉄夫 1994. 増補訂正琉球植物目録. 沖縄生物学会.
- 68)林弥栄・平野隆久 1989. 野に咲く花. 623pp. 山と溪谷社.
- 69)久内清孝 1950. 帰化植物. 272pp. 科学図書出版会.
- 70)吹春俊光 2004. 植物一菌類(きのこ). In 変わりゆく千葉県の自然(千葉県の自然誌本
編,8), pp.417-425. 千葉県史料研究財団.
- 71)フロライばらき
- 72)分類
- 73)北陸の植物
- 74)牧野富太郎 1989. 改訂増補牧野新日本植物図鑑. 1453pp. 北隆館.
- 75)牧野植物同好会誌
- 76)水草研究会会報
- 77)野草
- 78)山口裕文 1997. 雑草の自然史 [たくましさの生態学]. 294pp. 北海道大学図書刊行会.
- 79)横須賀市博物館研究報告 (自然科学) 18.
- 80)吉川代之助 1968. 「千葉県植物目録」に帰化植物 11 種を追加. 植物採集ニュース(40):32.
- 81)吉川代之助 1969. 千葉県船橋市に現れた帰化植物 3 種. 植物採集ニュース(45):66-67.
- 82)吉川代之助 1971. 千葉県船橋市に現れた帰化植物 4 種. 植物採集ニュース(53):58.
- 83)吉川代之助 1974. 千葉県の帰化植物 6 種. 植物採集ニュース(71):4-5.
- 84)レポート日本の植物 5-7,9-13,15,20,23,25,30-35,37,38,40.
- 85)鷺谷いづみ・森本信生 1993. 日本の帰化生物. 191pp. 保育社.
- B1)浅野貞夫 1975. 千葉県の蘚苔植物. In 千葉県生物学会(編), 新版千葉県の植物誌, pp.
245-249, 499-516. 井上書店、東京.

- B2)千葉県史料研究財団(編) 1998. 千葉県の自然誌本編 4. 千葉県の植物 I-細菌類・菌類・地衣類・藻類・コケ類-. 837 pp. 千葉県, 千葉市.
- B3)Deguchi, H. 1979. A revision of the genera *Grimmia*, *Schistidium* and *Coscinodon* (Musci) of Japan. *J. Sci. Hiroshima Univ., Ser. B, Div. 2*, 16: 121-256.
- B4)古木達郎 2000. 日本新産の *Riccia lamellosa* Raddi (ウロコハタケゴケ、新称). *蘚苔類研究* 7: 314-316.
- B5)古木達郎 2000. 佐倉市のコケ植物相. In 佐倉市自然環境調査団(編), 佐倉市自然環境調査報告書, 113-120 pp. 佐倉市経済環境部環境保全課, 佐倉市..
- B6)古木達郎 2000. 下総台地における蘚苔類相—各環境における生育状況—. In 千葉県臨海開発地域等動植物影響調査会(編), 開発地域等における自然環境モニタリング手法に係る基礎調査 III, pp.9-14. 千葉県環境部環境調整課, 千葉,
- B7)古木達郎 2004. ウロコハタケゴケの新産地. *蘚苔類研究* 8: 278-279.
- B8)古木達郎 2009. 白井市のコケ植物. 白井市生物多様性調査報告書, pp. 7-20.白井市.
- B9)古木達郎・高宮宏 2002. 千葉県東金市のコケ植物, 千葉中央博自然誌研究報告特別号 4: 79-93..
- B10)岩月善之助・出口博則・古木達郎 2001. 日本の野生植物コケ. 355pp. 平凡社.
- B11)河津英子・古木達郎. 2005. 日本新産の *Riccia nigrella* DC.(サビイロハタケゴケ、新称). *蘚苔類研究* 9: 6-11.
- B12)金子久男・金子和子・古木達郎 2009. 千葉県習志野市のコケ植物, 千葉中央博自然誌研究報告 10: 33-44.
- B13)Saito, K. 1975. A monograph of Japanese Pottiaceae (Musci). *J. Hattori Bot. Lab.* 39: 373-537.
- B14)須賀はる子・中村俊彦・古木達郎 1996. 千葉市のコケ植物. In 千葉市自然環境調査団(編), 千葉市野生動植物の生息状況及び生態系調査報告書, pp. 343-364. 千葉市環境衛生局環境部, 千葉.

索引

アイオオアカウキクサ	2	アマゾントチカガミ	137
アイセイタカハハコグサ	124	アマナズナ	38
アイノコアカミタンポポ	134	アメリカアサガオ	86
アイノコセイヨウ	135	アメリカアゼナ	104
アイノコセイヨウタンポポ	135	アメリカアリタソウ	22
アイフウリンホオズキ	98	アメリカイヌホオズキ	101
アオイツナソ	69	アメリカオオアカウキクサ	2
アオギリ	72	アメリカオニアザミ	119
アオゲイトウ	26	アメリカキカシグサ	74
アオスズメノカタビラ	172	アメリカキササゲ	107
アオモジ	28	アメリカキンゴジカ	71
アカザ	21	アメリカスズカケノキ	44
アカザカズラ	16	アメリカスズメノヒエ	168
アカバナセイヨウノコギリソウ	111	アメリカスミレサイシン	72
アカバナルリハコベ	80	アメリカセンダングサ	115
アカボシツリフネ	67	アメリカタカサブロウ	122
アカミタンポポ	134	アメリカツノクサネム	55
アカミノイヌホオズキ	102	アメリカネナシカズラ	85
アキニレ	7	アメリカハッカ	93
アキノエノコログサ	189	アメリカハマニンニク	151
アキマルニワゼキショウ	146	アメリカハリフタバ	85
アケビガキ	28	アメリカビユ	21
アコウゲンバイ	38	アメリカフウロ	59
アサ	8	アメリカホドイモ	50
アサガオ	87	アメリカミズユキノシタ	75
アサツキ	137	アメリカヤガミスゲ	180
アスナロ	3	アライトツメクサ	18
アツバキミガヨラン	141	アラゲハンゴンソウ	129
アツミゲシ	34	アラゲムラサキ	88
アブラギリ	63	アリタソウ	22
アブラナ	37	アレチウリ	73
アフリカナガバモウセンゴケ	32	アレチエゾノギシギシ	12
アフリカヒゲシバ	156	アレチカミツレ	112
アフリカフウチョウソウ	35	アレチギシギシ	12
アベマキ	6	アレチクサヨシ	170
アマ	61	アレチナガバギシギシ	12

アレチナズナ	35	イワヨモギ	113
アレチニシキソウ	62	インドハマユウ	142
アレチヌスビトハギ	51	ウイキョウ	79
アレチノギク	119	ウサギアオイ	70
アレチノチャヒキ	155	ウサギノオ	164
アレチハナガサ	91	ウシオハナツメクサ	20
アレチムラサキ	89	ウシノケグサ	162
アワモリハッカ	95	ウスゲホオズキ	98
イガオナモミ	135	ウスバイシバイイワノリ	187
イガホビユ	26	ウスベニチチコグサ	125
イガヤグルマギク	118	ウスベニツメクサ	20
イクシア	145	ウチワサボテン	27
イスノキ	45	ウチワゼニクサ	79
イタチハギ	50	ウマゴヤシ	53
イチジク	7	ウマノチャヒキ	155
イチビ	68	ウラジロアカザ	23
イチョウ	3	ウラジロチチコグサ	125
イトラン	142	ウラジロハコヤナギ	4
イヌエノコロ	175	ウルシ	66
イヌカキネガラシ	44	ウロコナズナ	40
イヌカタヒバ	1	ウロコハタケゴケ	184
イヌカミツレ	129	ウンシュウミカン	64
イヌケホシダ	1	ウンリュウヤナギ	5
イヌゴシユユ	64	エゴマ	95
イヌコハコベ	21	エゾスズシロ	40
イヌコモチナデシコ	17	エゾヌカボ	149
イヌシバ	176	エゾノギシギシ	13
イヌハッカ	94	エゾノキツネアザミ	116
イヌヒメコズチ	95	オオアザミ	131
イヌムギ	156	オオアブラギリ	63
イヌムラサキ	89	オオアマナ	141
イヌメヒシバ	158	オオアレチノギク	120
イボウキクサ	179	オオアワガエリ	170
イモカタバミ	57	オオアワダチソウ	132
イワカラクサ	103	オオイヌノフグリ	106
イワムシロ	47	オオイヌホオズキ	100

オオウシノケグサ	162	オオヘビイチゴ	48
オオエノコロ	176	オオホウキギク	114
オオオナモミ	135	オオホナガアオゲイトウ	26
オオカナダモ	136	オオマツヨイグサ	75
オオカナメモチ	47	オオミツバタヌキマメ	51
オオカニツリ	152	オオムギクサ	164
オオカラスノエンドウ	57	オオムラサキ	80
オオカワヂシャ	105	オオムラサキツユクサ	148
オオキツリフネ	189	オオモンツキガヤ	153
オオキバナカタバミ	58	オガサワラコミカンソウ	62
オオキンケイギク	120	オガサワラスズメノヒエ	167
オオクサキビ	166	オカタイトゴメ	46
オオグルマ	127	オカメザサ	176
オオケタデ	10	オキジムシロ	48
オオシラタマソウ	19	オキナアサガオ	88
オオスズメノカタビラ	173	オクヤマザサ	174
オオスズメノテッポウ	151	オシロイバナ	14
オオセンナリ	97	オッタチカタバミ	58
オオトキワツユクサ	148	オトメイヌゴマ	96
オートムギ	152	オトメフウロ	59
オオナギナタガヤ	177	オニウシノケグサ	162
オオナワシログミ	189	オニクサヨシ	169
オオニシキソウ	61	オニクロイチゴ	50
オオニワゼキショウ	145	オニゲシ	34
オオハキダメギク	122	オニナベナ	109
オオハタガヤ	180	オニノゲシ	132
オオバナイトタヌキモ	108	オニハマダイコン	37
オオバノキハダ	65	オニビシ	189
オオバベニガシワ	61	オニユリ	140
オオハマガヤ	151	オノマンネングサ	45
オオハルタデ	11	オハツキガラシ	40
オオハンゴンソウ	130	オヒゲシバ	157
オオフサモ	77	オランダアヤメ	144
オオブタクサ	112	オランダカイウ	179
オオフタバムグラ	83	オランダガラシ	41
オオベニタデ	10	オランダキジカクシ	138

オランダゼリ	80	キクイモ	126
オランダハッカ	93	キクニガナ	119
オランダフウロ	59	キクノハアオイ	71
オランダミツバ	78	キクバオウレン	29
オランダミミナグサ	17	キササゲ	107
オリヅルラン	139	キシユウスズメノヒエ	168
カキノキ	80	キショウブ	145
カクトラノオ	95	キダチアロエ	138
カザンデマリ	49	キダチコマツナギ	52
カジノキ	7	キダチコンギク	113
カスミソウ	17	キヌヤナギ	5
カッコウアザミ	112	キバナコスモス	121
カナメモチ	47	キバナスズシロ	39
カナリーキツタ	77	キバナタカサブロウ	125
カナリークサヨシ	169	キバナニワゼキショウ	146
カベイラクサ	8	キバナノコギリソウ	110
カミツレ	129	キバナノマツバニンジン	60
カミツレモドキ	112	キバナヒメフウチョウ	35
カミヤツデ	78	キバナムギナデシコ	135
カモガヤ	158	キバナムラサキ	90
カラクサケマン	35	キハマスゲ	182
カラクサナズナ	39	キビ	167
カラシナ	36	キミガヨラン	142
カラタチ	65	キョウチクトウ	82
カラフトハナビゼキショウ	146	ギョウトクイヌゴマ	96
カラムシ	8	キリ	104
カロリナアオイゴケ	85	キレハイヌガラシ	43
カロリナボブラ	4	キンギンナスビ	100
カワラニンジン	189	キンギンボク	109
カワラハハコ	189	キンケイギク	120
カワリバマキエハギ	51	キンゴジカ	71
カンザシイヌホオズキ	99	キンシバイ	32
カンザンチク	171	キンセンカ	116
カンチク	156	ギンセンカ	69
キキョウソウ	110	キンバイタウコギ	114
キク	118	キンモクセイ	81

ギンモクセイ	81	コウシュンシバ	177
クサイ	147	コウゾ	7
クサトケイソウ	73	ゴウダソウ	41
クシヒゲシバ	156	コウマゴヤシ	53
クジラグサ	39	コウライシバ	178
クスダマツメクサ	55	コウリントンボポ	127
クスノキ	28	コエンドロ	79
クソニンジン	189	コカナダモ	136
クチナシ	84	コガネギシギシ	13
クマザサ	174	コゴメイ	147
グラディオオルス・トリスティス	144	コゴメイヌノフグリ	106
クルマバザクロソウ	15	コゴメギク	123
クルマバヒメクグ	183	コゴメバオトギリ	32
クルマバヒメハギ	66	コササガヤ	169
クロアザミ	117	コシカギク	129
クロガラシ	37	コシナガワハギ	53
クロコヌカグサ	149	コシミノナズナ	40
クロチク	171	ゴシュユ	64
クロヤナギ	5	コショウハッカ	94
ゲンバイナズナ	44	コスズメガヤ	160
ケイトウ	27	コスズメノチャヒキ	154
ケイヌホオズキ	101	コスモス	120
ケイノコヅチモドキ	24	コセンダングサ	115
ケカキネガラシ	44	コタネツケバナ	38
ケギボウシゴケ	185	コツブキンエノコロ	175
ケチョウセンアサガオ	97	コテングクワガタ	106
ゲッケイジュ	28	コニクキビ	153
ケナガハグサ	173	コニシキソウ	61
ケナシヒメムカシヨモギ	123	コヌカグサ	149
ケニクキビ	153	コネズミガヤ	166
ゲンゲ	51	コハコベ	21
コアカザ	22	コバナキジムシロ	48
コイチゴツナギ	172	コバノスナゴケ	185
コウオウソウ	133	コバノセンダングサ	115
コウキクサ	179	コバノニシキソウ	61
ゴウシュウアリタソウ	23	コバホウライシダ	1

コバレンギク	129	シバムギ	159
コバンソウ	154	シバヤマハリイ	183
コバンソウモドキ	161	シベナガムラサキ	89
コヒメビエ	159	シホウチク	177
ゴボウ	113	シマスズメノヒエ	168
コマツヨイグサ	76	シマツユクサ	189
ゴマフガヤツリ	183	シマミソハギ	74
コメツブウマゴヤシ	53	シモフリゴケ	186
コメツブツメクサ	55	シャガ	145
コメバギボウシゴケ	186	シャクチリソバ	9
コメバミソハギ	74	シャグマハギ	55
コリヤナギ	5	ジャコウオランダフウロ	59
コンテリクラマゴケ	1	シャゼンムラサキ	88
ザクロ	75	シャリンバイ	49
サツマイモ	86	シュウカイドウ	73
サトイソギク	118	シュウメイギク	29
サトイモ	178	シュクコンアマ	60
サビイロハタケゴケ	184	シュクコンパーベナ	91
サフランモドキ	143	ジュズダマ	157
ザラツキコメヒシバ	159	シュロ	178
サルスベリ	74	シュロガヤツリ	181
サワラ	2	シュンギク	118
サンゴジュ	109	ショウロ	187
サンシキスミレ	72	ショカツサイ	42
サンシチソウ	125	ショクヨウホオズキ	99
シオザキソウ	133	シラゲガヤ	163
シグレヤナギ	6	シラタマソウ	20
シソ	94	シラホシムグラ	83
シダレヤナギ	4	シラクキゲシ	33
シチトウイ	182	シロイヌナズナ	36
シナガワハギ	54	シロガネチカラシバ	169
シナサルナシ	31	シロガラシ	43
シナサワグルミ	3	シロザ	22
シナダレスズメガヤ	160	シロタエヒマワリ	126
シナダレスズメガヤモドキ	160	シロツメクサ	56
シバツメクサ	18	シロヌメリイグチ	187

シロバナシナガワハギ	54	セイヨウヒキヨモギ	104
シロバナセンダングサ	115	セイヨウヒルガオ	85
シロバナタンポポ	134	セイヨウフウチョウソウ	35
シロバナチョウセンアサガオ	96	セイヨウミヤコグサ	52
シロバナマンテマ	19	セイヨウヤブイチゴ	50
シロミノカンザシイヌホオズキ	100	セイヨウワサビ	36
シロヤマブキ	49	ゼニアオイ	70
シンクリノイガ	156	ゼニバアオイ	70
シンテッポウユリ	140	セフリアブラガヤ	183
スイセン	143	セリバヒエンソウ	29
スギモリゲイトウ	25	センジュギク	133
スズカケノキ	45	センダン	65
スズメガヤ	160	センダングサ	115
スズメノコビエ	168	センナリホオズキ	99
スズメノナギナタ	167	ソテツ	3
スズラン	139	ソバ	9
スズランスイセン	139	ソバカズラ	9
セイコヤナギ	4	ソメイヨシノ	47
セイトカアワダチソウ	132	ダイサンチク	153
セイトカクサイ	147	タイトウクグ	182
セイトカハハコグサ	124	タイミンチク	171
セイトカハマスゲ	182	タイワンアイアシ	164
セイバンモロコシ	176	タイワンツナソ	68
セイヨウアブラナ	37	タイワンホトトギス	141
セイヨウイラクサ	9	タイワンマダケ	170
セイヨウウツボグサ	95	ダキバアレチハナガサ	91
セイヨウオオバコ	108	タケトアゼナ	104
セイヨウオトギリ	32	タチイヌノフグリ	106
セイヨウキヅタ	77	タチオランダゲンゲ	56
セイヨウジュウニヒトエ	92	タチスズメノヒエ	169
セイヨウタンポポ	135	タチスベリヒユ	15
セイヨウチャヒキ	152	タチチチコグサ	124
セイヨウトゲアザミ	116	タチテンモンドウ	138
セイヨウニガナ	121	タチバナモドキ	49
セイヨウノコギリソウ	111	タツノツメガヤ	158
セイヨウノダイコン	42	タホウタウコギ	116

タマオオスズメノカタビラ	173	ツノミナズナ	39
タマガラシ	42	ツブエノシメジ	188
タマザキクサフジ	54	ツボミオオバコ	108
タマザキフタバムグラ	84	ツメクサダマシ	56
タマサンゴ	101	ツルソバ	189
タマシダ	2	ツルタデ	9
タマスダレ	143	ツルドクダミ	11
タマハジキタケ属種	188	ツルニチニチソウ	82
ダンゴギク	126	ツルノゲイトウ	24
ダンドク	137	ツルマオ	189
ダンドボロギク	122	ツルマンネングサ	46
チクゴスズメノヒエ	168	ツルムラサキ	16
チゴフウロ	60	ツレザキヒルガオ	85
チシマオドリコソウ	92	テリミノイヌホオズキ	99
チチコグサモドキ	124	テンニンギク	123
チヂレゴケ	185	トウカエデ	66
チマキザサ	174	トウゴマ	63
チャノキ	31	トウテイラン	105
チャボウシノシッペイ	161	トウネズミモチ	81
チャボタイゲキ	62	トウビシ	77
チャボヒゲシバ	157	トガリバツメクサ	55
チャボメヒシバ	158	トキワサンザシ	49
チャンチン	65	トキワススキ	189
チュウゴクネジクチゴケ	186	トキワツユクサ	148
チョウセンスナゴケ	186	ドクゼリモドキ	78
チョウセンレンギョウ	81	ドクニンジン	79
チョロギガヤ	152	ドクムギ	166
ツキミセンノウ	19	トゲウラベニガサ	188
ツキミソウ	76	トゲオナモミ	136
ツクシメナモミ	131	トゲチシャ	128
ツタギク	130	トゲハリナスビ	101
ツタノハヒルガオ	88	トゲミゲシ	34
ツタバウンラン	102	トゲミノキツネノボタン	29
ツナソ	68	トゲムラサキ	88
ツノミオランダフウロ	59	トチュウ	7
ツノミチョウセンアサガオ	96	トネリコ	81

トミサトオトギリ	31	ニコゲヌカキビ	167
ナガイモ	144	ニシキアオイ	68
ナガエコミカンソウ	62	ニシノオオアカウキクサ	189
ナガエツルノゲイトウ	24	ニセアゼガヤ	165
ナガエモウセンゴケ	33	ニセコウガイゼキショウ	147
ナガキンカン	64	ニセコムギダマシ	149
ナガバオモダカ	136	ニセシラゲガヤ	163
ナガバギシギシ	13	ニセマメグンバイナズナ	41
ナガハグサ	173	ニッケイ	28
ナガバチヂレゴケ	185	ニラ	138
ナガバハッカ	93	ニワウルシ	65
ナガミイッスンガヤツリ	181	ニワゼキショウ	146
ナガミヒナゲシ	33	ニワナズナ	41
ナギイカダ	141	ニワフジ	52
ナギナタガヤ	177	ヌカイトナデシコ	17
ナタネタピラコ	128	ヌカカゼクサ	161
ナタネハタザオ	39	ヌカススキ	150
ナツシロギク	134	ヌマツルギク	111
ナツズイセン	142	ネコヤナギ	5
ナツダイダイ	64	ネズミウシノケグサ	178
ナツツバキ	31	ネズミボウキ	138
ナハカノコソウ	14	ネズミホソムギ	166
ナミキドロ	4	ネズミムギ	165
ナヨクサフジ	57	ネバリノボロギク	131
ナリヒラダケ	174	ネバリノミノツヅリ	16
ナルトサワギク	130	ネビキミヤコグサ	52
ナワシログミ	189	ノアサガオ	86
ナンカイウスベニニガナ	122	ノウゼンカズラ	107
ナンカイヌカボ	149	ノースポールギク	128
ナンキンハゼ	63	ノゲイトウ	27
ナンゴクヒメミソハギ	73	ノゲシバムギ	159
ナンテン	30	ノコギリソウモドキ	111
ナンバンカラムシ	8	ノスズメノテッポウ	151
ニオイスミレ	72	ノダアカバナ	189
ニオイタデ	10	ノヂシャ	109
ニクキビ	154	ノハラカゼクサ	160

ノハラガラシ	43	ハトノチャヒキ	155
ノハラジャク	78	ハトムギ	157
ノハラダイオウ	13	ハナイソギク	119
ノハラツメクサ	20	ハナガサギク	130
ノハラナデシコ	17	ハナカタバミ	57
ノハラムラサキ	89	ハナカンナ	137
ノボロギク	131	ハナクサキビ	166
ノミノコブスマ	20	ハナツクバネウツギ	109
ノムラサキ	89	ハナヅルソウ	15
ノラニンジン	79	ハナナ	37
ハイアオイ	70	ハナニラ	141
ハイイロヨモギ	113	ハナヌカススキ	150
ハイオオバコ	108	ハナハマセンブリ	82
ハイキジムシロ	48	ハナビザクロソウ	14
ハイキンボウゲ	29	ハナビシソウ	33
ハイコヌカグサ	150	ハナヤエムグラ	84
ハイニシキソウ	62	ハマカキネガラシ	44
ハイビユ	25	ハマガヤ	164
ハイマキエハギ	51	ハマシメジ	187
ハイミチヤナギ	11	ハマダイコン	189
バイモ	139	ハマチャヒキ	155
ハカマオニゲシ	33	ハマニンニク	165
ハキダメガヤ	159	ハマヒサカキ	31
ハキダメギク	124	ハマワスレナグサ	90
ハクチョウゲ	84	ハラン	139
バクヤギク	15	ハリエンジュ	54
バケヌカボ	150	ハリゲナタネ	37
ハコベホオズキ	99	ハリゲヤグルマハッカ	94
ハシカグサモドキ	84	ハリナスビ	101
パショウ	184	ハリノホ	163
ハス	30	ハリヒメハギ	66
ハゼラン	16	ハリビユ	26
ハタケニラ	140	ハルガヤ	152
ハタザオガラシ	43	ハルザキヤマガラシ	36
ハタザオギキョウ	110	ハルジオン	123
ハチク	171	ハルシャギク	120

ハルタデ	10	ヒメセトガヤモドキ	170
パンパスグラス	157	ヒメツルウンラン	103
ヒイラギナンテン	30	ヒメツルソバ	10
ヒイラギモクセイ	82	ヒメナンヨウガヤツリ	183
ヒガンバナ	142	ヒメヌカススキ	150
ヒゲガヤ	158	ヒメハマアカザ	23
ヒゲギネアキビ	167	ヒメハルガヤ	151
ヒゲナガスズメノチャヒキ	155	ヒメヒオウギズイセン	144
ヒゴスミレ	72	ヒメビジョザクラ	92
ヒサウチソウ	102	ヒメヒマワリ	126
ヒジキゴケ	185	ヒメヒレアザミ	117
ビゼンナリヒラ	175	ヒメフウロ	60
ヒトフサニワゼキショウ	146	ヒメブタナ	127
ヒナウキクサ	179	ヒメマツバボタン	16
ヒナウンラン	102	ヒメムカシヨモギ	122
ヒナキキョウソウ	110	ヒメモロコシ	176
ヒナゲシ	34	ヒメヤシャブシ	6
ヒナツメクサ	57	ヒユ	26
ヒノキ	2	ビヨウヤナギ	32
ヒマワリ	126	ヒルザキツキミソウ	76
ヒメアオゲイトウ	25	ヒレタゴボウ	75
ヒメアマ	60	ヒレハリギク	118
ヒメアマナズナ	38	ヒレハリソウ	90
ヒメアメリカアゼナ	104	ビロードホオズキ	98
ヒメウキクサ	180	ビロードモウズイカ	105
ヒメウコギ	77	ヒロハウシノケグサ	162
ヒメオドリコソウ	92	ヒロハシャゼンオモダカ	136
ヒメカナリークサヨシ	170	ヒロハフウリンホオズキ	97
ヒメキンセンカ	116	ヒロハホウキギク	114
ヒメクマツヅラ	91	ビワ	47
ヒメケイヌホオズキ	100	フィリゲンジスミレ	73
ヒメコウガイゼキショウ	189	フウセンカズラ	67
ヒメコバンソウ	154	フサジュンサイ	30
ヒメジョオン	132	フサフジウツギ	102
ヒメシロビユ	24	フジアザミ	119
ヒメスイバ	12	フシネキンエノコロ	175

ブタクサ	112	ホソノゲムギ	163
ブタナ	127	ホソバアカザ	22
フッキソウ	68	ホソバイヌビユ	25
ブドウホオズキ	98	ホソバウンラン	103
フナバシソウ	127	ホソバオオアマナ	140
フユアオイ	70	ホソバギボウシゴケ	186
フヨウ	69	ホソバキンゴジカ	71
フヨウカタバミ	58	ホソバツルノゲイトウ	24
ブライダルベール	147	ホソバナガハグサ	172
フラサバソウ	106	ホソバヒイラギナンテン	30
フランスギク	128	ホソバヒメミソハギ	74
フリソデヤナギ	6	ホソバフウリンホオズキ	98
ペカン	3	ホソバモンパミミナグサ	14
ベニカタバミ	58	ホソミキンガヤツリ	181
ベニスズメガヤ	161	ホソムギ	165
ベニバナ	117	ボタンウキクサ	179
ベニバナセンブリ	82	ボタンクサギ	90
ベニバナツメクサ	56	ホッスガヤ	189
ベニバナボロギク	121	ホテイアオイ	144
ヘラオオバコ	108	ホテイチク	170
ヘラバヒメジョオン	133	ホナガイヌビユ	27
ペラペラヨメナ	123	ホナガカワヂシャ	107
ハウキガヤツリ	181	マグワ	8
ハウキギ	23	マサキ	67
ハウキギク	114	マツバウンラン	103
ボウムギ	165	マツバギク	15
ハウライシダ	1	マツバゼリ	78
ハウライチク	153	マツヨイグサ	76
ホオズキ	97	マツヨイセンノウ	18
ホコガタアカザ	21	マテバシイ	6
ホザキニワヤナギ	12	マメアサガオ	87
ホザキマンテマ	19	マメガキ	80
ホザキモウズイカ	105	マメカミツレ	121
ホシアサガオ	87	マメグンバイナズナ	41
ホソアオゲイトウ	25	マルバアサガオ	87
ホソエガラシ	43	マルバアメリカアサガオ	86

マルバツユクサ	189	ムラサキウンラン	103
マルバトゲチシャ	128	ムラサキオオエノコロ	176
マルバハッカ	93	ムラサキカタバミ	58
マルバフジバカマ	111	ムラサキツメクサ	56
マルバマンネングサ	45	ムラサキツユクサ	148
マルバルコウ	86	ムラサキナギナタガヤ	177
マンテマ	19	ムラサキノキビ	161
ミカツキゼニゴケ	184	メキシコマンネングサ	46
ミジンコウキクサ	180	メグサハッカ	93
ミスジナガハグサ	172	メノマンネングサ	46
ミズヒマワリ	125	メマツヨイグサ	75
ミチタネツケバナ	38	メリケンガヤツリ	182
ミチヤナギ	11	メリケンカルカヤ	151
ミツバオオハンゴンソウ	130	メリケントキンソウ	132
ミツモトソウ	48	メリケンムグラ	83
ミナトアカザ	23	モウコガマ	180
ミナトタムラソウ	96	モウズイカ	105
ミナトムグラ	83	モウソウチク	171
ミノボロモドキ	174	モクゲンジ	67
ミミイヌガラシ	42	モミジアオイ	69
ミヤガラシ	42	モミジバスズカケノキ	45
ミヤコグサモドキ	54	モミジバルコウソウ	87
ミヤコゼニゴケ	187	モンツキナガミヒナゲシ	34
ミヤマハタザオ	36	ヤーコン	131
ミヤマヨメナ	114	ヤギムギ	148
ミョウガ	184	ヤグルマギク	117
ムカゴオオウシノケグサ	162	ヤグルマハッカ	94
ムギクサ	164	ヤシャダケ	175
ムクゲ	69	ヤセウツボ	107
ムクゲチャヒキ	154	ヤダケ	173
ムクロジ	67	ヤナギトウワタ	83
ムサシアブミ	178	ヤナギハナガサ	91
ムシトリナデシコ	18	ヤナギバヒメジョオン	133
ムシトリマンテマ	18	ヤネタヒラコ	121
ムラサキイガヤグルマギク	117	ヤノネボンテンカ	71
ムラサキウマゴヤシ	53	ヤバネムギ	163

ヤブチョロギ	96
ヤマアイ	189
ヤマゴボウ	14
ヤンバルミチヤナギ	11
ユウゲショウ	76
ユキノシタ	189
ユキヤナギ	50
ユズ	63
ユメノシマガヤツリ	181
ユリズイセン	143
ユリノキ	27
ヨウシュチョウセンアサガオ	97
ヨウシュハッカ	92
ヨウシュヤマゴボウ	13
ヨコハママンネングサ	46
ヨモギギク	134
ラッキョウ	137
ラッパズイセン	143
リュウキュウチク	172
リュウキュウハゼ	66
ルリニワゼキショウ	145
ルリムスカリ	140
ロベリアソウ	110
ワサビ	40
ワスレナグサ	90
ワタゲツルハナグルマ	113
ワタリミヤコグサ	52
ワルナスビ	100

千葉県外来種（植物）の現状等に関する報告書

発行日 平成 22 年 3 月 二 日

発 行 千葉県外来種対策（植物）検討委員会

（事務局）千葉県生物多様性センター

千葉県中央区青葉町 955-2

千葉県立中央博物館内

電話 043-265-3601

千葉県外来種（植物）の現状等に関する報告書

発行日 平成 22 年 3 月 二 日

発 行 千葉県外来種対策（植物）検討委員会

（事務局）千葉県生物多様性センター

千葉県中央区青葉町 955-2

千葉県立中央博物館内

電話 043-265-3601